

## 【Ⅱ】 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所 周辺の海域モニタリング

### 1. はじめに

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震とこれに伴う津波によって発生した東電福島第一原発事故による放射性物質の影響を把握するため、総合モニタリング計画の一環として、海域モニタリングを実施した。

### 2. モニタリング方法

#### 1) 調査経過

令和 3 年度の調査では、平成 25 年度から実施している

- ・東電福島第一原発から概ね 10km 以内の範囲とした近傍・沿岸海域

に加え、平成 22 年度から実施している

- ・宮城県・金華山沖から千葉県・銚子沖にかけての沖合海域

- ・東経 142° から東経 144° までの外洋海域

を令和 2 年度から引き続いて対象海域とした。

#### 2) 調査試料の採取

##### (1) 近傍・沿岸海域

近傍・沿岸海域における調査測点は 7 測点であり、それらの配置を図Ⅱ-2-1 に、緯度経度及び海水採水層を表Ⅱ-2-1 に示す。

各測点において令和 3 年 4 月から令和 4 年 3 月までの 12 か月を対象に、月に 1 回の頻度で表層（海面から約 1m 下までの層）の海水を採取した。海水試料の採取に際しては、海水試料に含まれる  $^{90}\text{Sr}$ 、 $^{134}\text{Cs}$  及び  $^{137}\text{Cs}$  の放射能分析用として容量 20L のフレキシブル成形液体容器（藤森工業株式会社製成形液体容器「キュービテナー®」）等に計 120L となるように分取した。分取した海水試料は、海水に含まれる目的とする放射性核種の器壁への吸着を防ぐため、海水 1L 当たり 1mL の濃硝酸を添加して硝酸酸性とした。また、トリチウム分析用として別途ポリエチレン製容器に 2L 分取し、酸を添加せず、分析を開始するまで冷暗所で保存した。

##### (2) 沖合海域

沖合海域における調査測点は 32 測点であり、それらの配置を図Ⅱ-2-2 に、緯度経度及び海水・海底土採取層を表Ⅱ-2-2 に示す。

各測点において令和 3 年 5、8、11 月及び令和 4 年 1 月の 4 回、海水試料及び海底土試料を採取した。試料の採取に際しては、気象・海象条件に影響されにくく、かつ大型採水器

や大型採泥器を洋上で安全に運用するためのウインチ等、そして海洋観測機器などの必要機材を備えた大型調査船舶（例えば 500 トンクラス）を用いた。

また、位置情報の観測には海技士免状を有する者の助言を受けて船舶用の全地球航法衛星システム（GNSS（Global Navigation Satellite System）と称されるシステムで衛星のみ使用時で精度±10m 以下；国際海事機関（International Maritime Organization；IMO）が定める国際的な基準を満たしているもの）の利用や、正確な水深を把握するための極深海音響測深機などの観測結果から、試料採取位置について測点を中心として約 1,800m 以内（緯度で 1 分以内）とし、併せて水深（深度）についてはウインチワイヤの長さ、音響測探機及び魚群探知機などの複数の機器により確認を行った。

海水試料は全測点において、大型バンドーン採水器（120L×3 連）を用いて表層（海面から 1m 下）と下層（海底面から概ね 10～40m 上）の 2 層から採取した。この他に測点毎に採水層が異なるが、海面から 50、100m の層（以下、「中層」という。）から海水試料を併せて採取した。なお、海水試料の採取に当たっては、採取深度、塩分及び水温を同時かつ連続的に観測できる機器を大型バンドーン採水器に装着して深度等の数値を確認しつつ、揚取時の採水容器間水温で±0.1℃（3 連容器の場合、最大 0.2℃の差）までを許容することとし、目的とする海水試料を採取した。

採取した海水試料については、 $^{90}\text{Sr}$ 、 $^{134}\text{Cs}$  及び  $^{137}\text{Cs}$  の放射能分析用として容量 20L のフレキシブル成形液体容器に計 80L となるように分取した。分取した海水試料は、海水に含まれる目的とする放射性核種の器壁への吸着を防ぐため、海水 1L 当たり 1mL の濃硝酸を添加して硝酸酸性とした。また、全ベータ放射能分析用としてポリエチレン製容器に 5L 分取し、海水 1L に対して濃塩酸 2mL を添加し、分析開始まで冷暗所にて保存した。さらに、トリチウム分析用として別途ポリエチレン製容器に 2L 分取し、酸を添加せず、分析を開始するまで冷暗所で保存した。

海底土試料は、全測点においてマルチプルコアラーを用いて海底土の表面から深さ 3cm までの層を分け取り、湿重量で約 2kg を目安として採取した。採取した海底土試料は、採泥時に目視及び触手確認により、泥色と大まかな粒形を観察した。その後、必要量を分取して、ビニール袋に入れたのちプラスチック製容器に収納し、冷凍保管とした。

### (3) 外洋海域

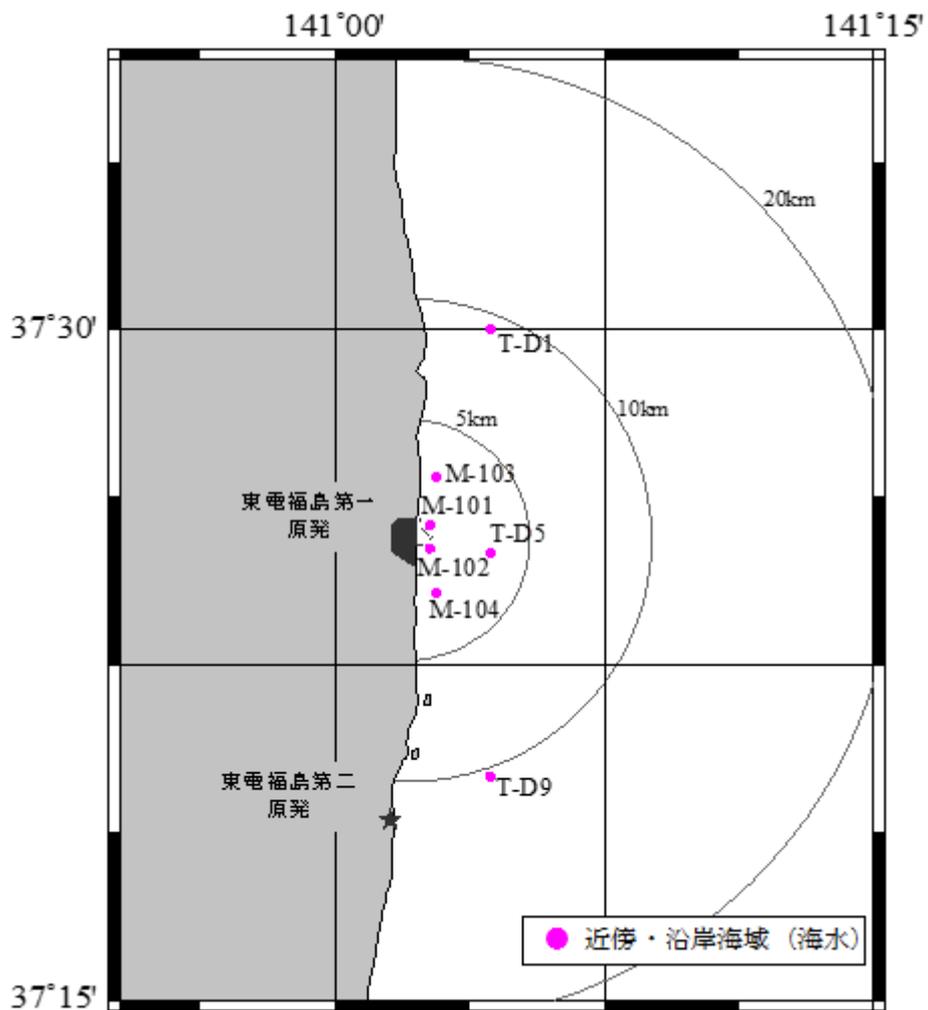
外洋海域における調査測点は 10 測点であり、それらの配置を図Ⅱ-2-2 に、緯度経度及び海水採水層を表Ⅱ-2-3 に示す。

各測点において令和 3 年 7 月、12 月の 2 回、海水試料を採取した。試料の採取に際しては、沖合海域と同様に、大型調査船舶（例えば 500 トンクラス）を用い、測点を中心とし

て約 1,800m 以内（緯度で 1 分以内）とし、併せて水深（深度）についてはウインチワイヤの長さ、音響測探機及び魚群探知機などの複数の機器により確認を行った。

海水試料は全測点において、大型バンドーン採水器（120L×3 連）またはニスキン採水器（10L×12 連）を用いて表層（海面から 1m 下）、100、200、300 及び 500m の計 5 層から採取した。なお、海水試料の採取に当たっては、沖合海域と同様に、採取深度、塩分及び水温を同時かつ連続的に観測できる機器を大型バンドーン採水器またはニスキン採水器に装着して深度等の数値を確認しつつ、揚収時の採水容器間水温で±0.1℃（3 連容器の場合、最大 0.2℃の差）までを許容することとし、目的とする海水試料を採取した。

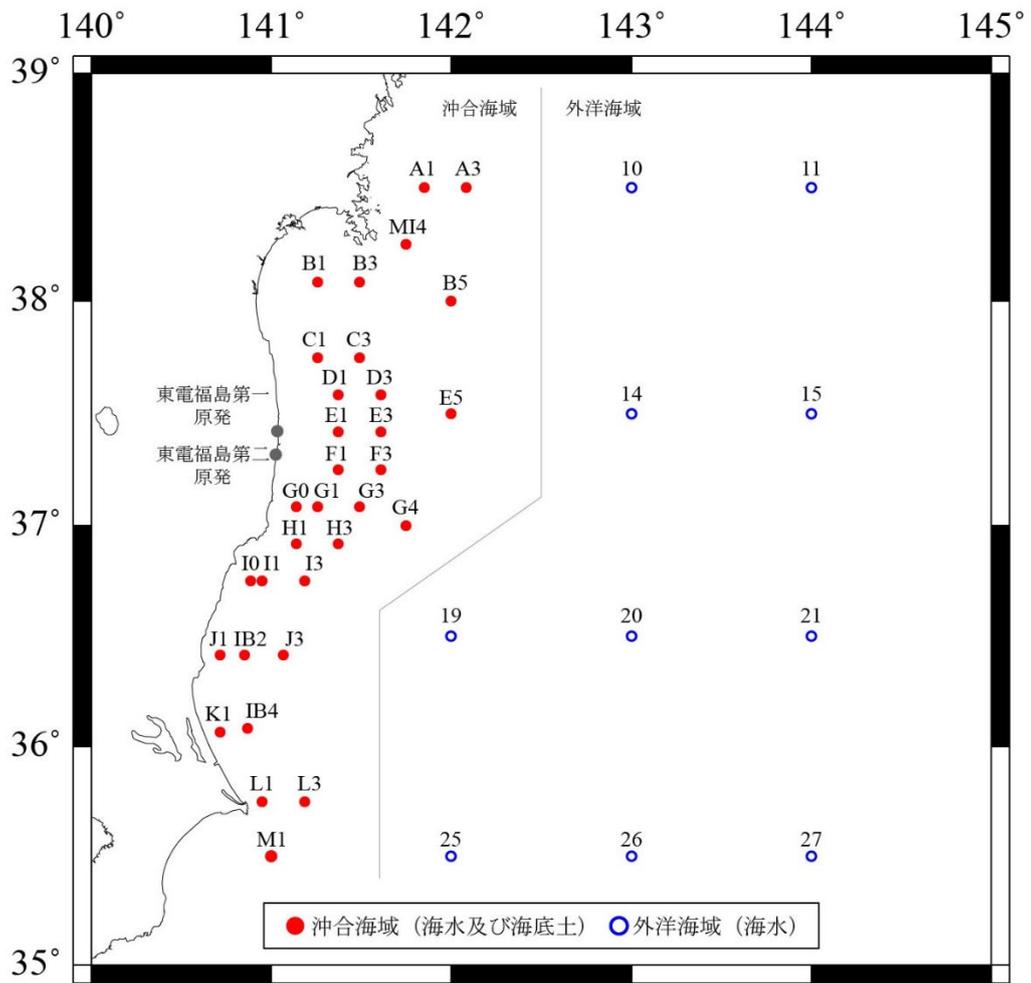
海水試料の採取に際しては、海水試料に含まれる  $^{134}\text{Cs}$  及び  $^{137}\text{Cs}$  の放射能分析用として容量 20L のフレキシブル成形液体容器に計 80L となるように分取した。分取した海水試料は、海水に含まれる放射性核種の器壁への吸着を防ぐため、海水 1L 当たり 1mL の濃硝酸を添加して硝酸酸性とした。



図Ⅱ-2-1 東電福島第一原発周辺の海域モニタリング（近傍・沿岸海域）における測点

表Ⅱ-2-1 近傍・沿岸海域において海水を採取した測点の緯度経度及び採取層

測点	緯度（北緯）		経度（東経）		採取層
M-101	37°	25.6′	141°	02.6′	表層
M-102	37°	25.1′	141°	02.6′	表層
M-103	37°	26.7′	141°	02.8′	表層
M-104	37°	24.1′	141°	02.8′	表層
T-D1	37°	30.0′	141°	04.3′	表層
T-D5	37°	25.0′	141°	04.3′	表層
T-D9	37°	20.0′	141°	04.3′	表層



図Ⅱ-2-2 東電福島第一原発周辺の海域モニタリング（沖合海域、外洋海域）における測点

表Ⅱ-2-2 沖合海域での海水・海底土試料を採取した測点の緯度経度及び採取層

測点	採取測点位置		採取層			
	緯度（北緯）	経度（東経）	海水試料		海底土試料	
A1	38° 30.0′	141° 51.0′	表層	100m層	下層	表面～深さ3cm
A3	38° 30.0′	142° 05.0′	表層	100m層	下層	表面～深さ3cm
M14	38° 15.0′	141° 45.0′	表層	100m層	下層	表面～深さ3cm
B1	38° 05.0′	141° 15.4′	表層	—*1	下層	表面～深さ3cm
B3	38° 05.0′	141° 29.4′	表層	50m層	下層	表面～深さ3cm
B5	38° 00.0′	142° 00.0′	表層	100m層	下層	表面～深さ3cm
C1	37° 45.0′	141° 15.4′	表層	—	下層	表面～深さ3cm
C3	37° 45.0′	141° 29.4′	表層	50m層	下層	表面～深さ3cm
D1	37° 35.0′	141° 22.4′	表層	50m層	下層	表面～深さ3cm
D3	37° 35.0′	141° 36.4′	表層	100m層	下層	表面～深さ3cm
E1	37° 25.0′	141° 22.4′	表層	50m層	下層	表面～深さ3cm
E3	37° 25.0′	141° 36.4′	表層	100m層	下層	表面～深さ3cm
E5	37° 30.0′	142° 00.0′	表層	100m層	下層	表面～深さ3cm
F1	37° 15.0′	141° 22.4′	表層	—	下層	表面～深さ3cm
F3	37° 15.0′	141° 36.4′	表層	100m層	下層	表面～深さ3cm
G0	37° 05.0′	141° 08.4′	表層	50m層	下層	表面～深さ3cm
G1	37° 05.0′	141° 15.4′	表層	—	下層	表面～深さ3cm
G3	37° 05.0′	141° 29.4′	表層	100m層	下層	表面～深さ3cm
G4	37° 00.0′	141° 45.0′	表層	100m層	下層	表面～深さ3cm
H1	36° 55.0′	141° 08.4′	表層	—	下層	表面～深さ3cm
H3	36° 55.0′	141° 22.4′	表層	100m層	下層	表面～深さ3cm
I0	36° 45.0′	140° 53.0′	表層	—	下層	表面～深さ3cm
I1	36° 45.0′	140° 57.0′	表層	50m層	下層	表面～深さ3cm
I3	36° 45.0′	141° 11.0′	表層	100m層	下層	表面～深さ3cm
J1	36° 25.0′	140° 43.0′	表層	—	下層	表面～深さ3cm
J3	36° 25.0′	141° 04.0′	表層	100m層	下層	表面～深さ3cm
IB2	36° 25.0′	140° 51.0′	表層	—	下層	表面～深さ3cm
K1	36° 04.0′	140° 43.0′	表層	—	下層	表面～深さ3cm
IB4	36° 05.0′	140° 52.0′	表層	—	下層	表面～深さ3cm
L1	35° 45.0′	140° 57.0′	表層	—	下層	表面～深さ3cm
L3	35° 45.0′	141° 11.0′	表層	100m層	下層	表面～深さ3cm
M1	35° 30.0′	141° 00.0′	表層	—	下層	表面～深さ3cm

\*1 「—」は試料採取対象外を示す。

表Ⅱ-2-3 外洋海域での海水試料を採取した測点の緯度経度及び採取層

測点	採取測点位置		採取層				
	緯度（北緯）	経度（東経）					
10	38° 30.0′	143° 00.0′	表層	100m層	200m層	300m層	500m層
11	38° 30.0′	144° 00.0′	表層	100m層	200m層	300m層	500m層
14	37° 30.0′	143° 00.0′	表層	100m層	200m層	300m層	500m層
15	37° 30.0′	144° 00.0′	表層	100m層	200m層	300m層	500m層
19	36° 30.0′	142° 00.0′	表層	100m層	200m層	300m層	500m層
20	36° 30.0′	143° 00.0′	表層	100m層	200m層	300m層	500m層
21	36° 30.0′	144° 00.0′	表層	100m層	200m層	300m層	500m層
25	35° 30.0′	142° 00.0′	表層	100m層	200m層	300m層	500m層
26	35° 30.0′	143° 00.0′	表層	100m層	200m層	300m層	500m層
27	35° 30.0′	144° 00.0′	表層	100m層	200m層	300m層	500m層

### 3) 放射性核種の分析

各調査海域で採取した試料の分析対象とする放射性核種を表Ⅱ-2-4に、また、各試料の分析方法と分析対象とする放射性核種の検出目標レベルを表Ⅱ-2-5に示す。各試料の前処理及びこれらに含まれる放射性核種の放射能分析は、全て放射能測定法シリーズに基づいた方法により実施した。

#### (海水試料)

$^{134}\text{Cs}$  及び  $^{137}\text{Cs}$  についてはリンモリブデン酸アンモニウム共沈法による化学分離・精製を行ったのち、高純度ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーにより定量した。 $^{90}\text{Sr}$  については化学分離・精製したのち、 $^{90}\text{Sr}$  からミルクキングした  $^{90}\text{Y}$  のベータ線をガスフローカウンタで測定して  $^{90}\text{Sr}$  を定量した。全ベータ放射能については海水試料を鉄バリウム共沈法により処理した後、ガスフローカウンタでベータ線計測を行い、全ベータ放射能を求めた。トリチウムについては、蒸留及び電解濃縮装置による濃縮・精製を行い、精製した試料溶液を有機系シンチレータと混合させ、試料溶液に含まれるトリチウムを低バックグラウンド液体シンチレーション計数装置による液体シンチレーション計測により定量した。

#### (海底土)

海底土試料の前処理として、 $105^{\circ}\text{C}$  で乾燥後目開き 2mm のステンレス製ふるいを通して小石等を除いたのち、粉碎・混合することにより、乾燥土状態の分析試料を得た。 $^{134}\text{Cs}$  及び  $^{137}\text{Cs}$  を高純度ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリーにより定量した。また、化学分離・精製後に  $^{90}\text{Sr}$  からミルクキングした  $^{90}\text{Y}$  のベータ線をガスフローカウンタで測定して  $^{90}\text{Sr}$  を定量した。さらに、 $^{238}\text{Pu}$ 、 $^{239+240}\text{Pu}$  及びアルファ線放出核種については、化学分離・精製後に、シリコン半導体検出器によるアルファ線スペクトロメトリーにより定量した。

表Ⅱ-2-4 各調査海域で分析対象とする放射性核種

海域	測点	海水				海底土		
		$^3\text{H}^{*2}$	$^{90}\text{Sr}^{*2}$	$^{134}\text{Cs}, ^{137}\text{Cs}$	全 $\beta^{*2}$	$^{90}\text{Sr}$	$^{134}\text{Cs}, ^{137}\text{Cs}$	$\alpha$ 核種
近傍・沿岸*1	M-101	○	○	○	—	—	—	—
	M-102	○	○	○	—	—	—	—
	M-103	○	○	○	—	—	—	—
	M-104	○	○	○	—	—	—	—
	T-D1	○	○	○	—	—	—	—
	T-D5	○	○	○	—	—	—	—
	T-D9	○	○	○	—	—	—	—
沖合	A1	—	—	○	—	—	○	—
	M14	—	—	○	—	—	○	—
	A3	—	—	○	—	—	○	—
	B1	—	—	○	—	—	○	—
	B3	—	○	○	—	○	○	○*3
	B5	—	—	○	—	—	○	—
	C1	—	○	○	—	—	○	—
	C3	○	○	○	○	—	○	—
	D1	—	○	○	—	○	○	—
	D3	○	○	○	○	—	○	—
	E1	—	○	○	—	○	○	○*3
	E3	○	○	○	○	—	○	—
	E5	○	○	○	○	—	○	—
	F1	—	—	○	—	○	○	—
	F3	○	○	○	○	—	○	—
	G0	—	—	○	—	—	○	—
	G1	—	—	○	—	—	○	—
	G3	○	○	○	○	—	○	—
	G4	○	○	○	○	—	○	—
	H1	—	—	○	—	—	○	—
	H3	○	○	○	○	—	○	—
	I0	—	○	○	—	—	○	—
	I1	—	—	○	—	○	○	○*3
	I3	—	—	○	—	—	○	—
	J1	—	○	○	—	○	○	—
	IB2	—	—	○	—	—	○	—
	J3	—	—	○	—	—	○	—
K1	—	—	○	—	—	○	—	
IB4	—	—	○	—	—	○	—	
L1	—	—	○	—	—	○	—	
L3	—	—	○	—	—	○	—	
M1	—	—	○	—	—	○	—	
外洋	10	—	—	○	—	—	—	—
	11	—	—	○	—	—	—	—
	14	—	—	○	—	—	—	—
	15	—	—	○	—	—	—	—
	19	—	—	○	—	—	—	—
	20	—	—	○	—	—	—	—
	21	—	—	○	—	—	—	—
	25	—	—	○	—	—	—	—
	26	—	—	○	—	—	—	—
27	—	—	○	—	—	—	—	

○：析対象測点、—：分析対象外

\*1 分析：令和3年2月～令和4年1月採取分（採取時期は令和3年4月～令和4年3月）

\*2 表層のみ

\*3 8月期のみ

表Ⅱ-2-5 東電福島第一原発周辺の海域モニタリングにおける各試料の分析・測定方法及び検出目標レベル

試料の種類	海域	分析・測定方法	対象核種	分析 供試料*1	検出目標レベル
海底土	沖合海域	・105℃で約3日間乾燥後、2mm孔径のふるいわけ ・高純度ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー	$^{134}\text{Cs}$	400g	0.6Bq/kg-乾燥土
			$^{137}\text{Cs}$		0.6Bq/kg-乾燥土
		・105℃で約3日間乾燥後、2mm孔径のふるいわけ ・シュウ酸塩法またはイオン交換法 ・ガスフローカウンタによるベータ線計測	$^{90}\text{Sr}$	150g	0.1Bq/kg-乾燥土
			・105℃で約3日間乾燥後、2mm孔径のふるいわけ ・陽イオンあるいは陰イオン交換樹脂カラム法 ・シリコン半導体検出器によるアルファ線スペクトロメトリー	$^{238}\text{Pu}$	100g
		$^{239+240}\text{Pu}$		0.01Bq/kg-乾燥土	
		$^{241}\text{Am}$		0.02Bq/kg-乾燥土	
		$^{242}\text{Cm}$		0.009Bq/kg-乾燥土	
$^{243+244}\text{Cm}$	0.009Bq/kg-乾燥土				
海水試料	近傍・沿岸海域	・リンモリブデン酸アンモニウム（AMP）沈殿法 ・高純度ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー	$^{134}\text{Cs}$	60L	0.9mBq/L
			$^{137}\text{Cs}$		0.5mBq/L
		・陽イオン交換樹脂カラム法 ・ガスフローカウンタによるベータ線計測	$^{90}\text{Sr}$	40L	0.9mBq/L
			トリチウム	500mL	100mBq/L
	沖合海域	・リンモリブデン酸アンモニウム（AMP）沈殿法 ・高純度ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー	$^{134}\text{Cs}$	40L	1mBq/L
			$^{137}\text{Cs}$		0.6mBq/L
		・陽イオン交換樹脂カラム法 ・ガスフローカウンタによるベータ線計測	$^{90}\text{Sr}$	40L	0.9mBq/L
			トリチウム	820mL	100mBq/L
		・鉄・バリウム共沈法 ・ガスフローカウンタによるベータ線計測	全 $\beta$ 放射能	2L	20mBq/L
	外洋海域	・リンモリブデン酸アンモニウム（AMP）沈殿法 ・高純度ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー	$^{134}\text{Cs}$	60L	1mBq/L
			$^{137}\text{Cs}$		0.6mBq/L

\*1 分析供試料については目安の量を示している。

### 3. モニタリング結果

#### 1) 海水試料

##### (1) 近傍・沿岸海域

近傍・沿岸海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果を資料 5-1-1 に示す。また、調査を開始した平成 25 年 11 月から令和 4 年 1 月までに採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能濃度の月別変化を図Ⅱ-3-1 から図Ⅱ-3-4 に示す。

測点と東電福島第一原発との位置関係は、同原発近傍の M-101 及び M-102、約 1~2km 沖合の M-103 及び M-104、3km 以上沖合の T-D1、T-D5、T-D9 である（図Ⅱ-2-1）。令和 3 年 2 月から令和 4 年 1 月までの  $^{134}\text{Cs}$ 、 $^{137}\text{Cs}$ 、 $^{90}\text{Sr}$  及びトリチウムの放射能濃度の空間的な分布を見ると、試料の採取時期でそれぞれ変動はあるものの、同原発の近傍の測点で高く、遠方の測点ほど低い傾向が見られた（図Ⅱ-3-1~4）。

令和 3 年 2 月から令和 4 年 1 月まで近傍・沿岸海域で測定された放射性核種の濃度範囲や平均値などを表Ⅱ-3-1 に示す。

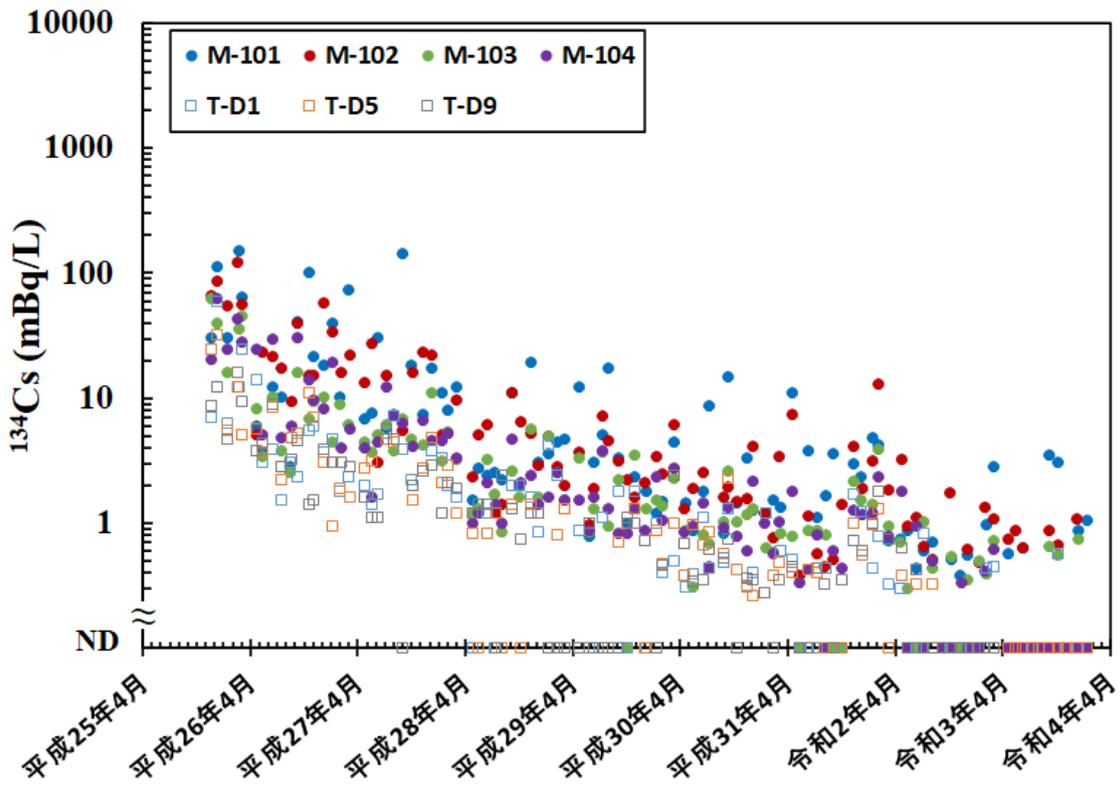
表Ⅱ-3-1 近傍・沿岸海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能濃度範囲

（単位：mBq/L）

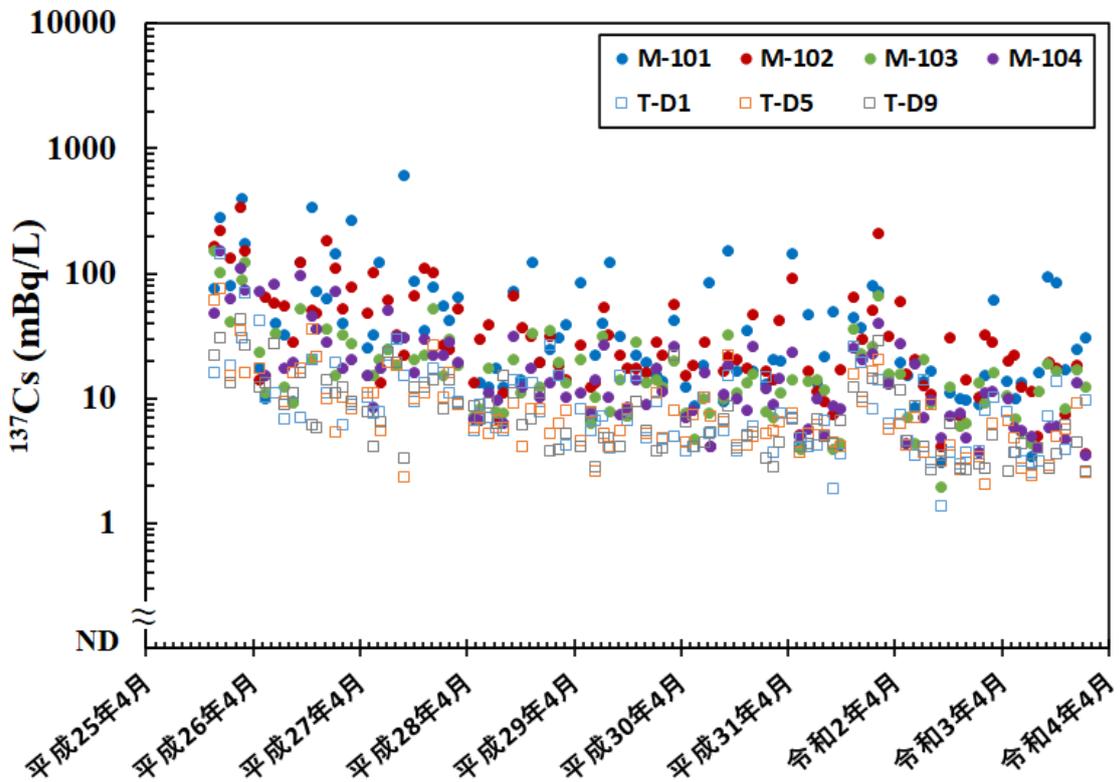
	放射能濃度 範囲	平均値±標準偏差	最高値が観測された月及び測点	
			月	測点
$^{134}\text{Cs}$	ND~3.5	1.0±0.81 (内 ND*1 58/84 試料)	9 月	M-101
$^{137}\text{Cs}$	2.0~93	12±15 (内 ND 0/84 試料)	9 月	M-101
$^{90}\text{Sr}$	0.57~11	1.3±1.7 (内 ND 0/84 試料)	3 月、9 月	M-101
トリチウム	ND~380	110±59 (内 ND 13/84 試料)	9 月	M-101

\*1 ND は検出下限値以下を示す

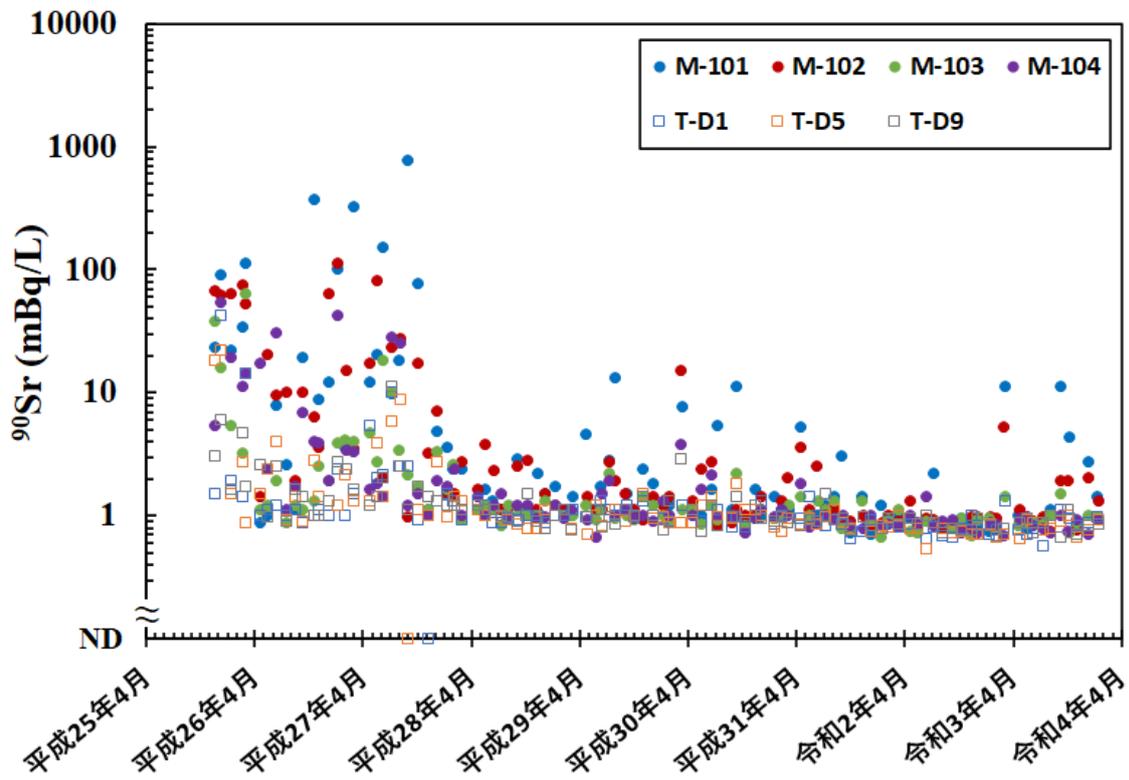
全ての測点において  $^{134}\text{Cs}$  については時間経過とともに減少傾向を示しており、 $^{134}\text{Cs}$  については近年では検出されなくなりつつある。 $^{137}\text{Cs}$ 、 $^{90}\text{Sr}$  及びトリチウムについてはほぼ横ばいで推移している。近傍・沿岸海域では散発的に高い放射能濃度が確認されており、その要因について(4) 福島モニタリングにおける放射性核種の放射能濃度の変動要因の考察で述べる。



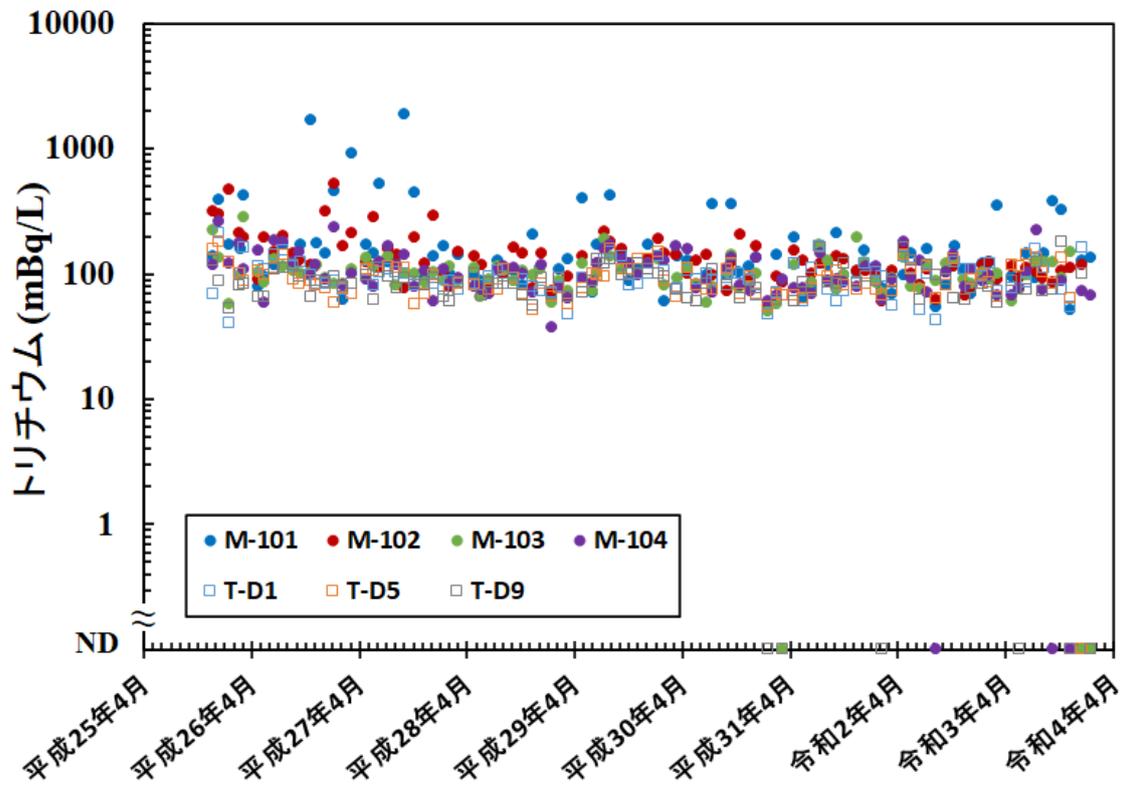
図Ⅱ-3-1 近傍・沿岸海域で採取した海水試料に含まれる  $^{134}\text{Cs}$  の放射能濃度の月別変化 (NDは検出下限値以下を示す。)



図Ⅱ-3-2 近傍・沿岸海域で採取した海水試料に含まれる  $^{137}\text{Cs}$  の放射能濃度の月別変化 (NDは検出下限値以下を示す。)



図Ⅱ-3-3 近傍・沿岸海域で採取した海水試料に含まれる  $^{90}\text{Sr}$  の放射能濃度の月別変化 (NDは検出下限値以下を示す。)



図Ⅱ-3-4 近傍・沿岸海域で採取した海水試料に含まれるトリチウムの放射能濃度の月別変化 (NDは検出下限値以下を示す。)

(2) 沖合海域

令和3年度に沖合海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果を資料5-1-2に示し、併せて<sup>134</sup>Cs及び<sup>137</sup>Csの放射能濃度の時系列変化を図Ⅱ-3-5及び図Ⅱ-3-6に示す。なお、これらの図には外洋海域におけるデータも合わせて示している。

沖合海域で採取された海水試料に含まれる<sup>134</sup>Csの放射能濃度範囲とその平均値を表Ⅱ-3-2に示す。

表層で<sup>134</sup>Csが検出された測点とその放射能濃度は、

8月：0.095mBq/L (D3)

であった。また、中層及び下層水において<sup>134</sup>Csが検出された測点とその放射能濃度はそれぞれ、

5月：0.23mBq/L (B1：下層)

8月：0.066mBq/L (E1：下層)

11月：0.069mBq/L (F1：下層)

1月：0.063mBq/L (B5：中層)、0.067mBq/L (G0：中層)、0.17mBq/L (I1：下層)

であり、令和2年度の調査結果と比べて、同程度またはそれ以下であった。沖合海域では近傍・沿岸海域と同様に、<sup>134</sup>Csは時間経過とともに減少傾向を示しており、近年ではほとんど検出されなくなりつつある。

表Ⅱ-3-2 沖合海域で採取した海水試料に含まれる<sup>134</sup>Csの放射能濃度範囲と平均値

(単位：mBq/L)

		第一期 (5月)	第二期 (8月)	第三期 (11月)	第四期 (1月)
表層	放射能濃度範囲	全て ND*1	ND~0.095	全て ND	全て ND
	平均値 ±標準偏差	<sup>134</sup> Csについては検出されたデータが少数のため平均値は算出しない			
中層及び下層	放射能濃度範囲	ND~0.23	ND~0.066	ND~0.069	ND~0.17
	平均値 ±標準偏差	<sup>134</sup> Csについては検出されたデータが少数のため平均値は算出しない			

\*1 NDは検出下限値以下を示す。

沖合海域で採取された海水に含まれる  $^{137}\text{Cs}$  の放射能濃度範囲とその平均値を表Ⅱ-3-3に示す。

$^{137}\text{Cs}$  の放射能濃度は、令和 2 年度の調査結果と比べて、同程度またはそれ以下であり、東電福島第一原発事故前 5 年間（平成 18～22 年度）の福島第一及び福島第二海域で採取した海水試料に含まれる  $^{137}\text{Cs}$  の放射能濃度の平均値（約 1.6mBq/L）と同程度であった。

表Ⅱ-3-3 沖合海域で採取した海水試料に含まれる  $^{137}\text{Cs}$  の放射能濃度範囲と平均値

（単位：mBq/L）

		第一期 (5月)	第二期 (8月)	第三期 (11月)	第四期 (1月)
表層	放射能濃度範囲	1.1～2.4	1.2～2.3	1.4～2.0	1.4～2.0
	平均値 ±標準偏差	1.7±0.33 (内 ND*1 0/32 試料)	1.6±0.27 (内 ND 0/32 試料)	1.5±0.18 (内 ND 0/32 試料)	1.6±0.15 (内 ND 0/32 試料)
中層及び下層	放射能濃度範囲	0.46～6.7	0.28～2.5	0.43～3.5	0.46～5.6
	平均値 ±標準偏差	1.5±0.80 (内 ND 0/52 試料)	1.6±0.41 (内 ND 0/52 試料)	1.5±0.43 (内 ND 0/52 試料)	1.6±0.64 (内 ND 0/52 試料)

\*1 ND は検出下限値以下を示す。

沖合海域で採取した表層水に含まれる  $^{90}\text{Sr}$  の放射能濃度の時系列変化を図Ⅱ-3-7 に示す。また、沖合海域で採取された海水試料に含まれる  $^{90}\text{Sr}$  の放射能濃度範囲とその平均値を表Ⅱ-3-4 に示す。

$^{90}\text{Sr}$  の放射能濃度は、令和 2 年度の調査結果と比べて同程度であり、東電福島第一原発事故前 5 年間（平成 18～22 年度）の福島第一及び福島第二海域で採取した海水試料に含まれる  $^{90}\text{Sr}$  の放射能濃度の平均値（約 1.2mBq/L）と同程度であった。

表Ⅱ-3-4 沖合海域で採取した海水試料に含まれる  $^{90}\text{Sr}$  の放射能濃度範囲と平均値

（単位：mBq/L）

		第一期 (5月)	第二期 (8月)	第三期 (11月)	第四期 (1月)
表層	放射能濃度範囲	0.57～0.95	0.68～0.95	0.57～0.89	0.67～0.94
	平均値 ±標準偏差	0.76±0.10 (内 ND*1 0/14 試料)	0.84±0.082 (内 ND 0/14 試料)	0.73±0.081 (内 ND 0/14 試料)	0.80±0.087 (内 ND 0/14 試料)

\*1 ND は検出下限値以下を示す。

沖合海域で採取した表層水に含まれるトリチウムの放射能濃度の時系列変化を図Ⅱ-3-8 に示す。また、沖合海域で採取された海水試料に含まれるトリチウムの放射能濃度範囲とその平均値を表Ⅱ-3-5 に示す。

トリチウムの放射能濃度は、令和 2 年度の調査結果と比べて同程度であり、事故前の放射能濃度レベル（約 100mBq/L）より低くなりつつある。

表Ⅱ-3-5 沖合海域で採取した海水試料に含まれるトリチウムの放射能濃度範囲と平均値

（単位：mBq/L）

		第一期 (5月)	第二期 (8月)	第三期 (11月)	第四期 (1月)
表層	放射能濃度範囲	43～86	43～69	45～72	46～74
	平均値 ±標準偏差	64±17 (内 ND*1 0/8 試料)	55±8.8 (内 ND 0/8 試料)	62±8.7 (内 ND 0/8 試料)	58±8.8 (内 ND 0/8 試料)

\*1 ND は検出下限値以下を示す。

沖合海域で採取した表層水に含まれる全ベータ放射能の時系列変化を図Ⅱ-3-9 に示す。また、沖合海域で採取された海水試料に含まれる全ベータ放射能の範囲とその平均値を表Ⅱ-3-6 に示す。

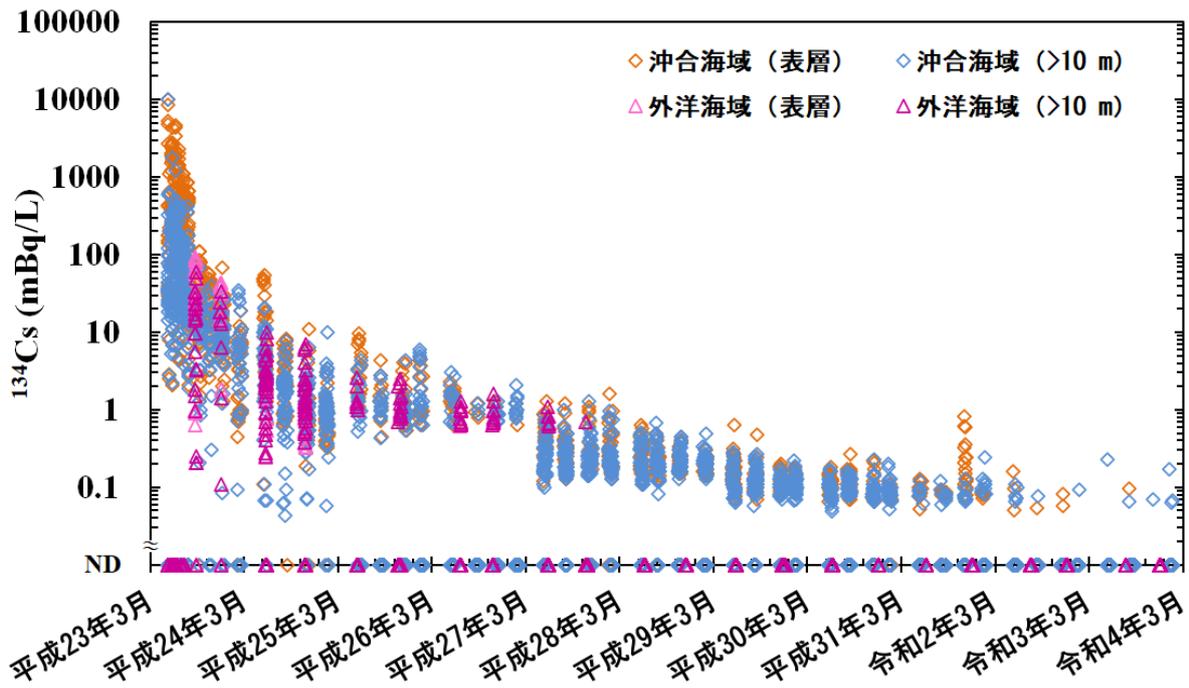
全ベータ放射能は、令和2年度の調査結果と比べて同程度であった。

表Ⅱ-3-6 沖合海域で採取した海水試料に含まれる全ベータ放射能の範囲と平均値

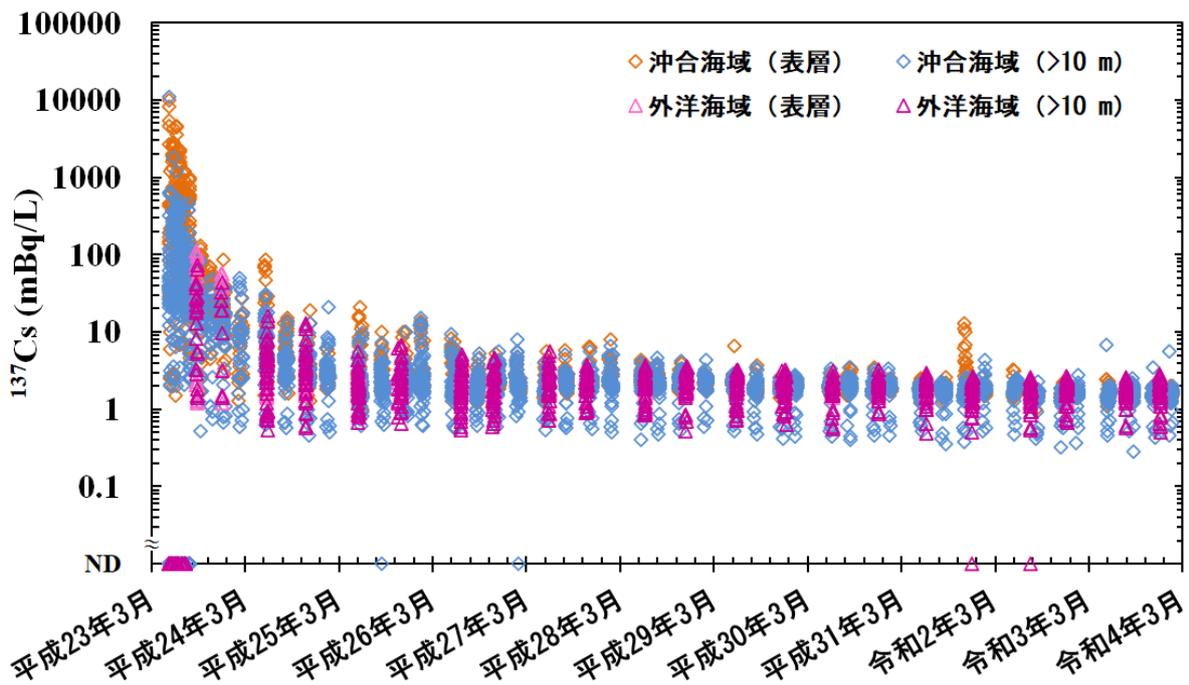
(単位：mBq/L)

		第一期 (5月)	第二期 (8月)	第三期 (11月)	第四期 (1月)
表層	放射能 濃度範囲	23～30	19～36	29～34	26～34
	平均値 ±標準偏差	26±2.7 (内 ND*1 0/8 試料)	29±5.6 (内 ND 0/8 試料)	32±1.3 (内 ND 0/8 試料)	31±3.0 (内 ND 0/8 試料)

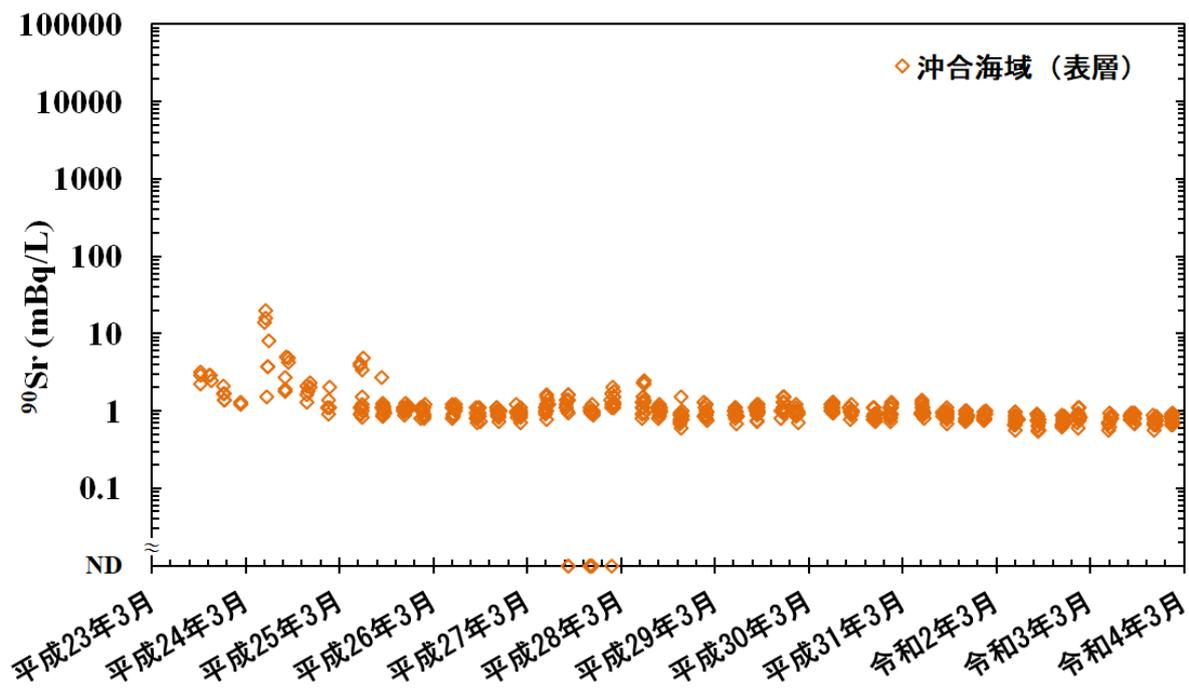
\*1 ND は検出下限値以下を示す。



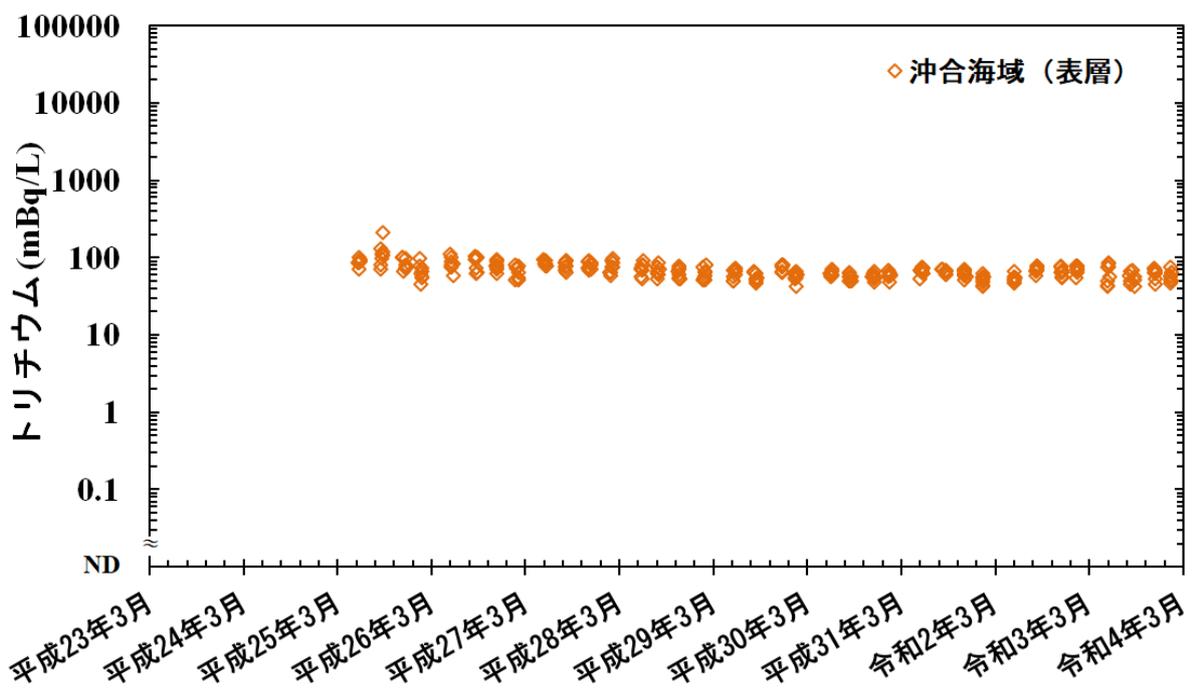
図Ⅱ-3-5 沖合及び外洋海域で採取した海水試料に含まれる  $^{134}\text{Cs}$  の放射能濃度の時系列変化 (ND は検出下限値以下を示す。)



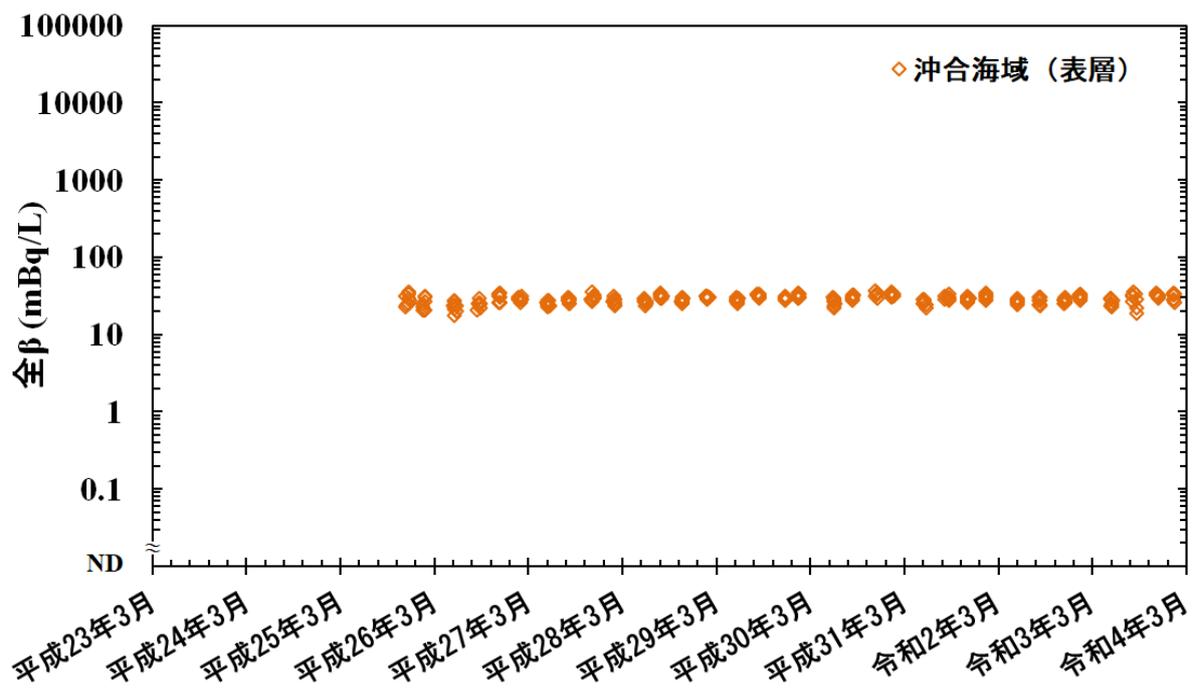
図Ⅱ-3-6 沖合及び外洋海域で採取した海水試料に含まれる  $^{137}\text{Cs}$  の放射能濃度の時系列変化 (ND は検出下限値以下を示す。)



図Ⅱ-3-7 沖合海域で採取した海水試料に含まれる  $^{90}\text{Sr}$  の放射能濃度の時系列変化 (ND は検出下限値以下を示す。)



図Ⅱ-3-8 沖合海域で採取した海水試料に含まれるトリチウムの放射能濃度の時系列変化 (ND は検出下限値以下を示す。)



図Ⅱ-3-9 沖合海域で採取した海水試料に含まれる全ベータ放射能の時系列変化（NDは検出下限値以下を示す。）

### (3) 外洋海域

令和3年度に外洋海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果を資料5-1-3に示す。

外洋海域の表層及び100～500m層で採取した海水試料に含まれる<sup>134</sup>Csの放射能濃度は、7月及び12月において、全ての測点で検出下限値以下であった(図II-3-5)。なお、平成28年度以降の調査では<sup>134</sup>Csは検出されておらず、令和3年度の調査においても検出されなかった。

外洋海域で採取された海水試料に含まれる<sup>137</sup>Csの放射能濃度範囲とその平均値を表II-3-7に示す。

外洋海域で採取された海水試料に含まれる<sup>137</sup>Csの放射能濃度は、表層及び100～500m層ともに令和2年度の結果と同程度であった。東電福島第一原発事故前5年間(平成18～22年度)の福島第一及び福島第二海域で採取した海水試料に含まれる<sup>137</sup>Csの放射能濃度の平均値(約1.6mBq/L)と比較しても同程度であった。

表II-3-7 外洋海域で採取した海水試料に含まれる<sup>137</sup>Csの放射能濃度範囲と平均値

(単位：mBq/L)

		前期 (7月)	後期 (12月)
表層	放射能濃度範囲	1.2～1.7	1.3～2.0
	平均値 ±標準偏差	1.5±0.16 (内 ND*1 0/10 試料)	1.6±0.18 (内 ND 0/10 試料)
中層 及び 下層	放射能濃度範囲	0.57～2.6	0.51～2.9
	平均値 ±標準偏差	1.7±0.43 (内 ND 0/40 試料)	1.7±0.58 (内 ND 0/40 試料)

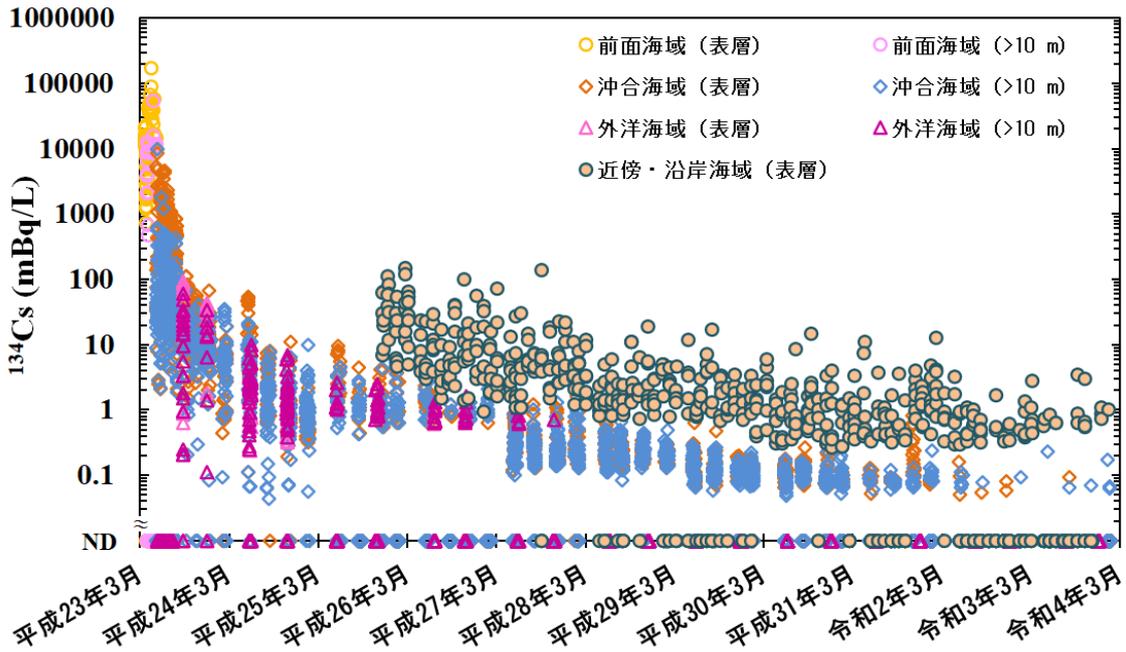
\*1 NDは検出下限値以下を示す。

#### (4) 福島モニタリングにおける放射性核種の放射能濃度の変動要因の考察

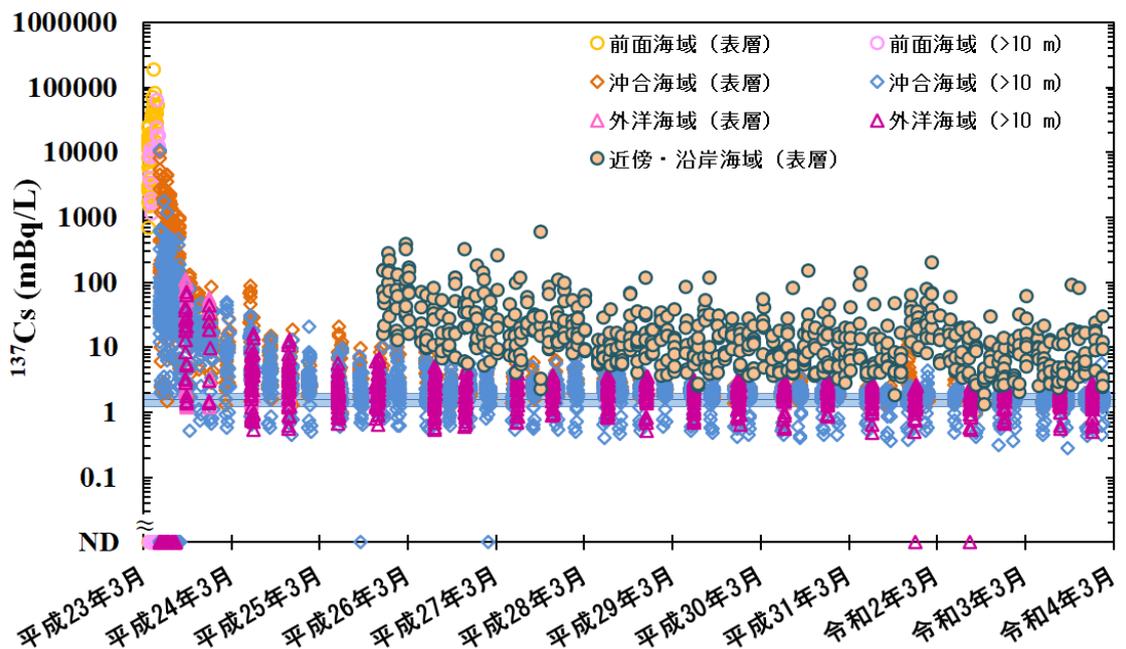
平成 23 年 3 月以降に実施した東電福島第一原発周辺の海域モニタリングで得られた放射性核種全ての時系列データの結果を図Ⅱ-3-10 から図Ⅱ-3-13 に示す。

平成 25 年 11 月から調査を行っている近傍・沿岸海域では、放射性セシウム ( $^{134}\text{Cs}$ 、 $^{137}\text{Cs}$ ) や  $^{90}\text{Sr}$  でこれまで散発的に 1 桁程度の高い放射能濃度が観測されてきた。これは降雨等のイベントにより陸上から放射性核種が付加されたために通常時より高い放射能濃度が観測されたことが予想される。そこで、平成 25 年 11 月より近傍・沿岸海域において観測された  $^{137}\text{Cs}$ 、 $^{90}\text{Sr}$  及びトリチウムの放射能濃度の変動要因について考察する。

平成 25 年 11 月から令和 4 年 1 月までの  $^{137}\text{Cs}$ 、 $^{90}\text{Sr}$  及びトリチウムの放射能濃度と塩分の関係を図Ⅱ-3-14～16 に示す。比較対象として、令和 3 年度調査の沖合海域で採取された表層海水も併せて図示した。近傍・沿岸海域では沖合海域に比べて塩分が大きく変動していることが確認された。また、 $^{137}\text{Cs}$  及び  $^{90}\text{Sr}$  の放射能濃度は塩分が 28～34 付近と幅広い範囲で高い放射能濃度が確認された。 $^{137}\text{Cs}$  及び  $^{90}\text{Sr}$  の放射能濃度が高いものとしては、東電福島第一原発事故に由来する  $^{137}\text{Cs}$  の沈着量が多い地域を流れる河川水や福島第一原発敷地内を通過する地下水、原発港湾内の海水などが考えられる。トリチウムについては塩分の低下とともにわずかに放射能濃度が上昇していく傾向が確認された。これは河川水などの陸水や降水が海水に比べてトリチウム放射能濃度が高いため、それらと混合することにより上記の関係が確認されたと考えられる。しかし、トリチウムでも比較的塩分の高い試料についても高い放射能濃度が確認されていることもあり、河川水などの陸水や降水以外にも変動要因が考えられる。既往知見では沿岸域の  $^{137}\text{Cs}$  の放射能濃度の変動要因として河川水、河川水に含まれる懸濁粒子からの溶出及び堆積物からの再溶出などを指摘しており<sup>1,2)</sup>、近傍・沿岸海域の測点についてもその可能性が示唆された。塩分との関係だけでは変動要因の解明には至らなかったが、今後さらなる解析により変動要因について明らかにする必要があると考えられる。



図Ⅱ-3-10 東電福島第一原発事故以降の $^{134}\text{Cs}$ の放射能濃度の時系列変化（NDは検出下限値以下を示す。前面海域は平成23年3月から5月までの30km圏外付近を取り囲むように配置した8~12測点の調査海域である。）



図Ⅱ-3-11 東電福島第一原発事故以降の $^{137}\text{Cs}$ の放射能濃度の時系列変化（NDは検出下限値以下を示す。前面海域は平成23年3月から5月までの30km圏外付近を取り囲むように配置した8~12測点の調査海域である。図中の青色の帯は福島第一及び福島第二海域で得られた平成18~22年度の $^{137}\text{Cs}$ の放射能濃度の平均値（1.6mBq/L）とその標準偏差を示す。）

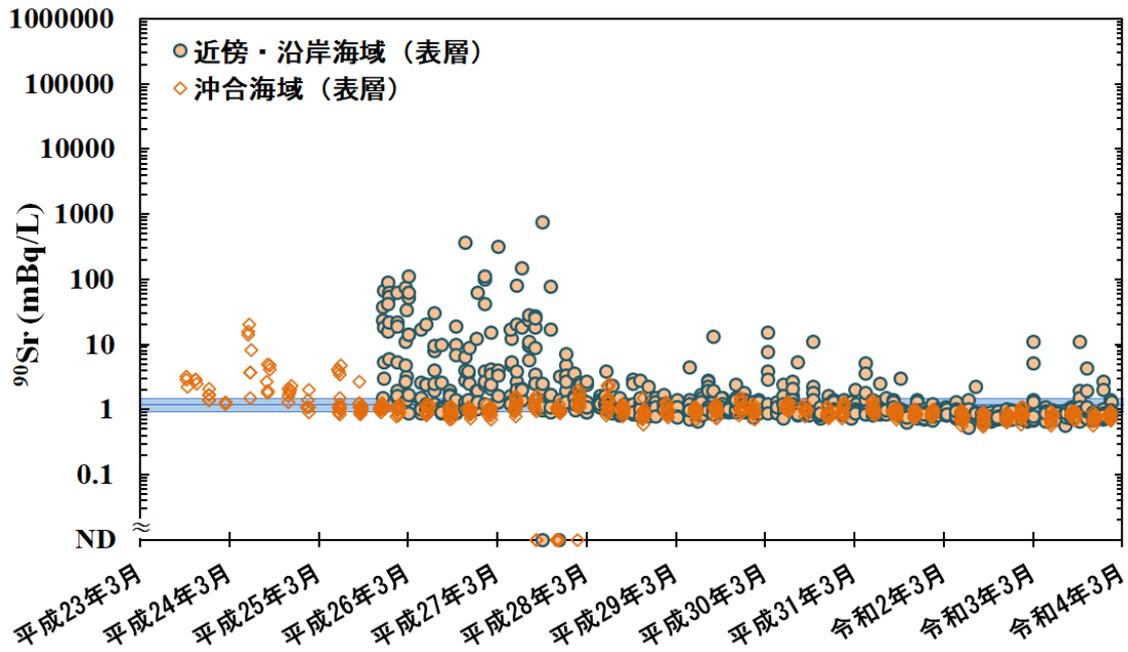


図 II-3-12 東電福島第一原発事故以降の<sup>90</sup>Srの放射能濃度の時系列変化（NDは検出下限値以下を示す。図中の青色の帯は福島第一及び第二海域で得られた平成18～22年度の<sup>90</sup>Srの放射能濃度の平均値（1.2mBq/L）とその標準偏差を示す。）

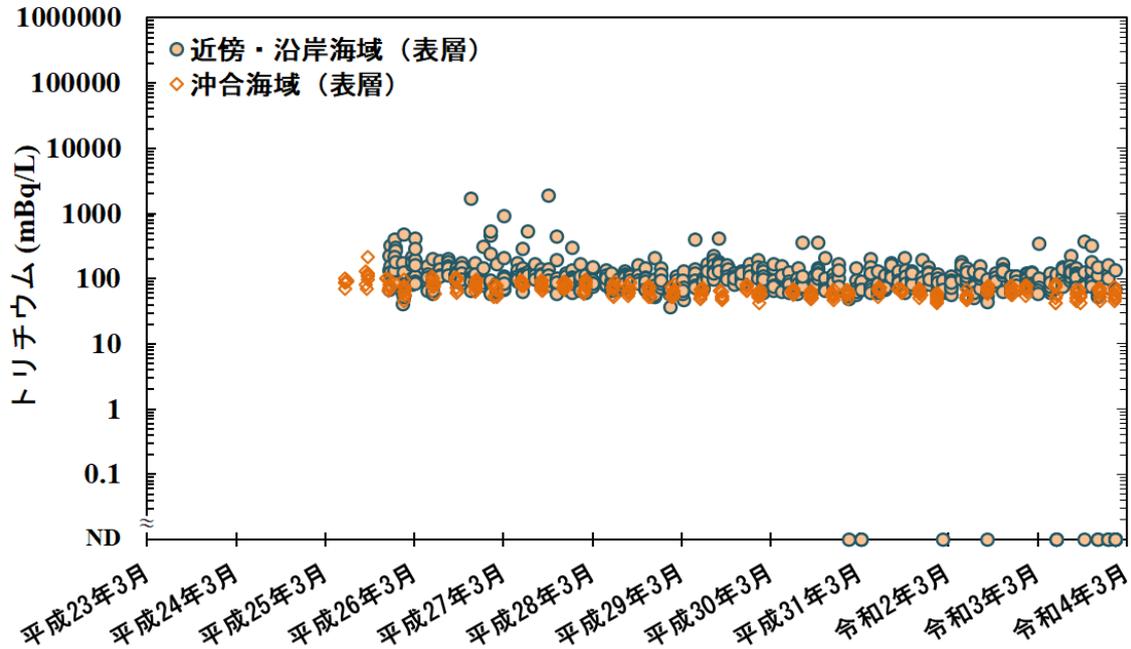
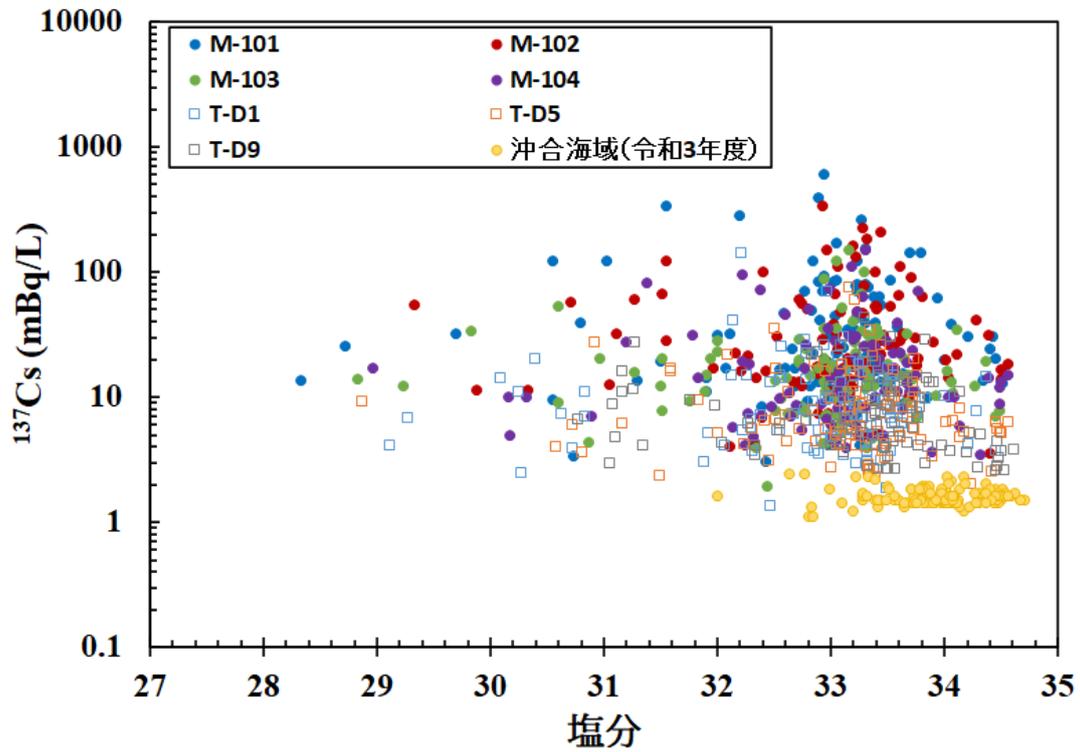
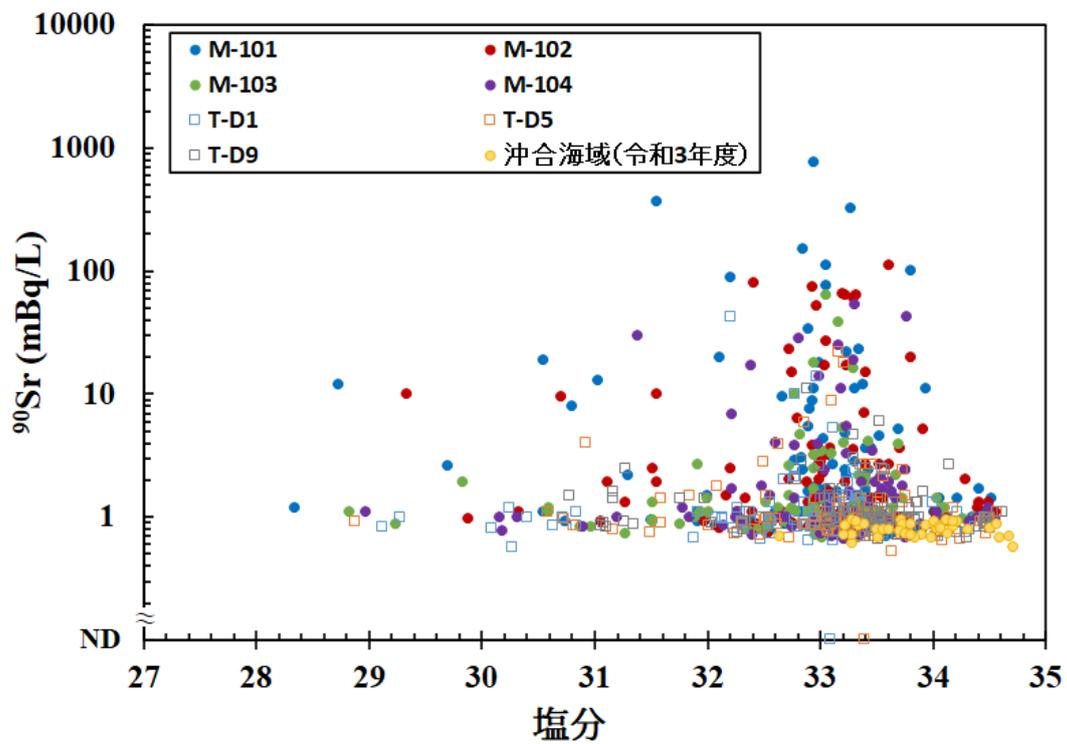


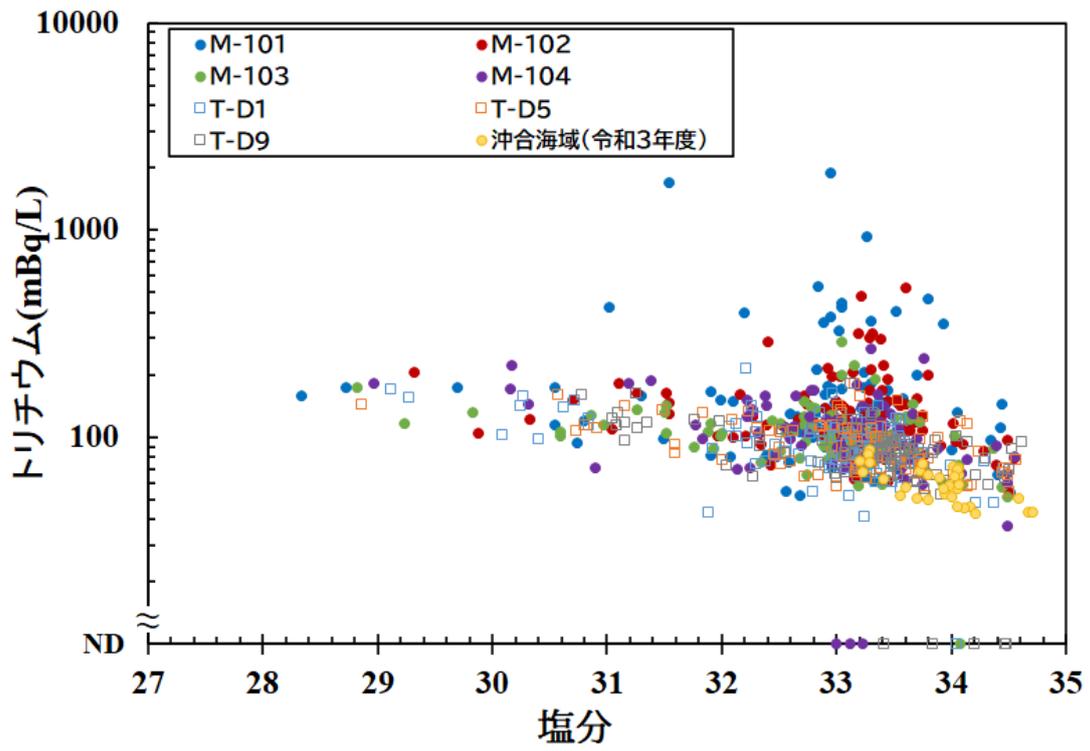
図 II-3-13 東電福島第一原発事故以降のトリチウムの放射能濃度の時系列変化（NDは検出下限値以下を示す。）



図Ⅱ-3-14 平成 25 年 11 月から令和 4 年 1 月までの近傍沿岸海域海水試料の塩分と  $^{137}\text{Cs}$  の放射能濃度の関係



図Ⅱ-3-15 平成 25 年 11 月から令和 4 年 1 月までの近傍沿岸海域海水試料の塩分と  $^{90}\text{Sr}$  の放射能濃度の関係 (ND は検出下限値以下を示す。)



図Ⅱ-3-16 平成 25 年 11 月から令和 4 年 1 月までの近傍沿岸海域海水試料の塩分とトリチウムの放射能濃度の関係（ND は検出下限値以下を示す。）

## 2) 海底土試料

### < $^{134}\text{Cs}$ 及び $^{137}\text{Cs}$ >

沖合海域で採取した海底土試料の放射性核種の放射能分析結果を資料 5-2-1~4 に示す。

令和 3 年度に調査した海域内での  $^{137}\text{Cs}$  の放射能濃度は、0.39Bq/kg-乾燥土から 400Bq/kg-乾燥土の広い範囲に分布していた。中でも 3 つの測点 (G0、I0、I1) ではばらつきはあるものの他の測点と比べると、高い放射能濃度を示した。

前述した 3 つの測点の  $^{137}\text{Cs}$  の放射能濃度の年間平均は以下のようになる。

G0 : 69Bq/kg-乾燥土

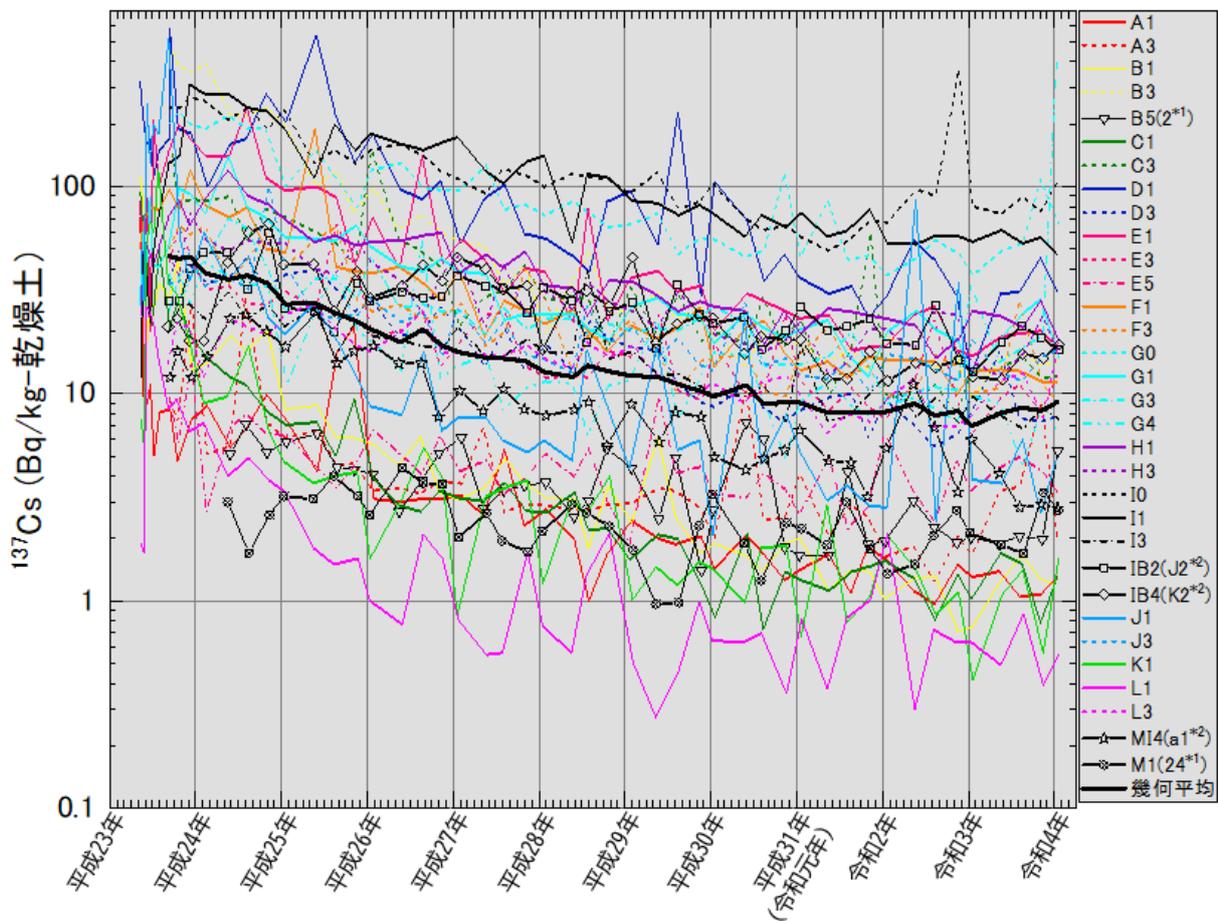
I0 : 86Bq/kg-乾燥土

I1 : 55Bq/kg-乾燥土

一方、最も低い  $^{137}\text{Cs}$  の放射能濃度 (0.39Bq/kg-乾燥土) は測点 L1 で確認され、測点 L1 の年間平均は 0.57Bq/kg-乾燥土であった。この測点における海底土は粘土成分が極めて少なく砂質がもっとも卓越していることが低濃度の原因の一つの要因と考えられる<sup>3)</sup>。このことに加えて、同測点は東電福島第一原発事故由来の  $^{137}\text{Cs}$  にほとんど汚染されていない黒潮の影響を受けていることも影響しているであろう。

令和 3 年度に採取した海底土 128 試料 (=32 測点×4 回調査) 中、 $^{134}\text{Cs}$  が検出されたのは 76 試料であった。その放射能濃度は 0.29~13Bq/kg-乾燥土の範囲にある。これらの試料について、平成 23 年 3 月 11 日に減衰補正した  $^{134}\text{Cs}/^{137}\text{Cs}$  放射能比の平均と標準偏差は  $1.1 \pm 0.23$  であり、事故由来の放射能比 ( $\sim 1$ )<sup>4)</sup> とほぼ一致している。

表層海底土に含まれる  $^{137}\text{Cs}$  の放射能濃度の経年変化を図 II-3-17 に示す。事故後半年間は測点間にばらつきはあるものの、 $^{137}\text{Cs}$  の放射能濃度は上昇傾向にあり、その後は減少傾向に転じている。平成 23 年 9 月から各観測期間の幾何平均を計算して、図中にプロットした (黒太線)。約 10 年半で、幾何平均値は 46Bq/kg-乾燥土から 9.1Bq/kg-乾燥土まで指数関数的に減少している。指数関数をフィットさせることにより、その半減期は約 4.1 年と見積もられた。しかし、前半 (平成 23 年 9 月~同 27 年 8 月) と後半 (平成 27 年 11 月~令和 4 年 1 月) に分けて、半減期を計算すると、それぞれ 2.2 年及び 7.5 年となった。これはすなわち、海底土に含まれる  $^{137}\text{Cs}$  の放射能濃度の減少速度が低減化していることを示唆している。



図Ⅱ-3-17 各測点で採取した海底土試料に含まれる  $^{137}\text{Cs}$  の放射能濃度の時系列変化

\*1 平成 25 年度調査より測点名を変更 (2→B5、24→M1)

\*2 平成 24 年度調査より測点名を変更 (J2→IB2、K2→IB4、a1→MI4)

海底土試料に含まれる  $^{137}\text{Cs}$  の放射能濃度が減少している原因としては、

- (1) 底棲生物の海底土表層攪乱による下方移動<sup>5)</sup>
- (2) 海底土の再懸濁と水平移動
- (3) 海底土からの溶出・脱着等

が考えられる。

このことについて、既往知見では  $^{137}\text{Cs}$  の放射能濃度の鉛直分布を調べたうえで、鉛直方向への増加は確認できなかったことが報告されている<sup>3)</sup> ことを鑑みると、(1)の要因が減少の主原因とはならないと考えられる。一方、前述の既往知見では、海底土の平均粒径が大きいところは放射能濃度の減少率も大きいことも併せて報告されている。これは、比較的  $^{137}\text{Cs}$  の放射能濃度が高く、粒径の小さい粒子は再懸濁して水平移動しやすいため、大粒子が卓越している海底土では減少速度が早い傾向を示すことを示唆している。加えて、海

底土からの溶出・脱着の可能性も考えられる<sup>1, 6~8)</sup>。いずれにしろ、減少速度の低減化に関わる一つの可能性として、事故初期から数年のうちに移動（または溶出）しやすいものは既に大部分は移動（または溶出）してしまい、移動しにくい部分が残されたことが考えられる。詳細なメカニズム解明には更なる調査研究が必要である。

#### <<sup>90</sup>Sr 及びアルファ線放出核種>

過去のモニタリングで海底土試料に含まれる<sup>137</sup>Csの放射能濃度が比較的高かった6つの測点（B3、D1、E1、F1、I1及びJ1）において、<sup>90</sup>Srの放射能濃度を測定した結果を表Ⅱ-3-8に示す。また、令和2年度調査において沖合海域で採取された海底土試料に含まれる<sup>90</sup>Srの放射能濃度について、再分析を行った結果を資料5-2-4に示す。

令和3年度調査で採取した海底土に含まれる<sup>90</sup>Srの放射能濃度は、検出下限値以下～0.13Bq/kg-乾燥土の範囲にあった。東電福島第一原発事故前には、沖合海域から採取した海底土試料に含まれる<sup>90</sup>Srは測定されていなかったため、ここで検出された<sup>90</sup>Srが同原発事故由来かどうかは直ちに断定できない。しかし、同原発事故以前の調査で得られている<sup>137</sup>Csの放射能濃度が比較的類似している核燃海域の海底土の結果において、平成18年度から平成22年度 of 海底土試料に含まれる<sup>90</sup>Srの放射能濃度は、検出下限値以下～0.78Bq/kg-乾燥土の濃度範囲にあり<sup>9~13)</sup>、測点は異なるものの、同原発事故後に得られた放射能濃度と同水準にあった。さらに上記6つの測点における海水中の<sup>90</sup>Sr/<sup>137</sup>Cs放射能比は事故後0.1～0.8の範囲にあるが、海底土から得られた放射能比は概ね1～2桁低い<sup>14)</sup>。海洋環境における<sup>90</sup>Srの海水から海底土への詳細な移動機構や移動量は未解明ではあるものの、海底土中の同原発事故に由来する<sup>90</sup>Srの存在量は<sup>137</sup>Csと比べると極めて少ないものと考えられる。

令和3年8月期の調査で採取した3つの表層海底土試料（測点B3、E1及びI1）について、アルファ線放出核種（<sup>238</sup>Pu、<sup>239+240</sup>Pu、<sup>241</sup>Am、<sup>242</sup>Cm及び<sup>243+244</sup>Cm）を測定した結果を表Ⅱ-3-9に示す。また、上記3つの測点における海底土試料に含まれる<sup>239+240</sup>Puと<sup>241</sup>Amの放射能濃度の平成24年度から令和3年度の時系列変化を図Ⅱ-3-18に示す。令和3年度はキュリウム同位体以外の放射性核種で有意の放射能が検出された。

<sup>238</sup>Puの放射能濃度については、3つの測点において0.017～0.018Bq/kg-乾燥土が観測された。同時に<sup>238</sup>Pu/<sup>239+240</sup>Pu放射能比は0.015～0.019の範囲にあり、これらはグローバルフォールアウト（0.032）とビキニ環礁核実験フォールアウト（0.001-0.014）の値<sup>14, 15)</sup>の範囲内にあり、東電福島第一原発由来（1号機炉心：2.92、2号機炉心：2.38、3号機炉心：2.30）<sup>16)</sup>とは考えられない。

<sup>241</sup>Am/<sup>239+240</sup>Pu放射能比は0.48～0.56の範囲内にあり、他の海域で観測された従来の値

17)及び東電福島第一原発事故前の平成 20 年度に発電所海域で観測された放射能比<sup>18)</sup>との差異は認められない。検出された<sup>241</sup>Am は同原発事故由来とは考えられず、<sup>239+240</sup>Pu と同様に、グローバルフォールアウトとビキニ環礁核実験フォールアウト由来の<sup>241</sup>Pu から生成した<sup>241</sup>Am が堆積していると考えられる<sup>14)</sup>。

Zheng ら<sup>19)</sup>の報告においても、海底土に含まれるプルトニウム同位体の放射能濃度について東電福島第一原発事故前後で有意な差は報告されていない。さらに、上記 3 つの測点における海底土試料に含まれる<sup>239+240</sup>Pu と<sup>241</sup>Am の放射能濃度の平成 24 年度から令和 3 年度の時系列変化でも、事故前に発電所海域で観測された放射能濃度<sup>18)</sup>との差異及び事故後の放射能濃度の上昇は認められない。

表Ⅱ-3-8 沖合海域で採取した海底土試料（表層（0-3cm））に含まれる<sup>90</sup>Sr の放射能濃度  
（単位：Bq/kg-乾燥土）

測点	令和 3 年 5 月	令和 3 年 8 月	令和 3 年 11 月	令和 4 年 1 月
B3	ND	0.11 ± 0.023	0.095 ± 0.019	0.062 ± 0.020
D1	ND	0.13 ± 0.022	0.090 ± 0.018	0.088 ± 0.021
E1	ND	0.095 ± 0.021	0.062 ± 0.017	0.083 ± 0.019
F1	ND	0.069 ± 0.020	ND	ND
I1	ND	0.074 ± 0.021	0.065 ± 0.017	0.083 ± 0.020
J1	ND	ND	0.060 ± 0.017	ND

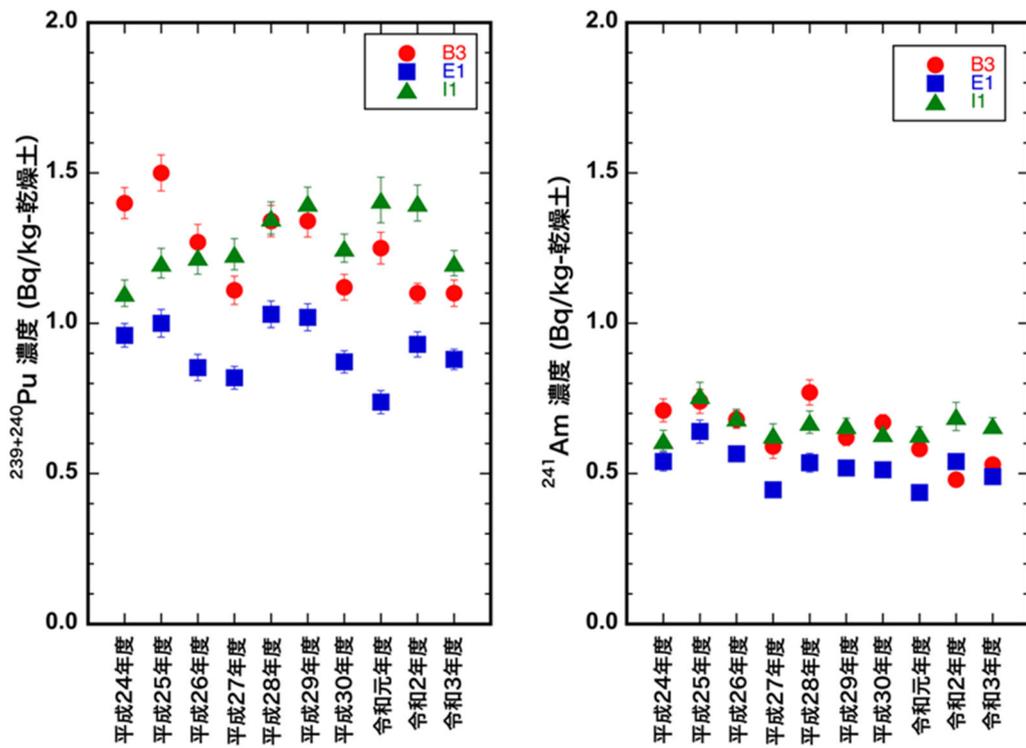
\*ND は検出下限値以下を示す。

表Ⅱ-3-9 沖合海域の海底土表層（0-3cm）に含まれるアルファ線放出核種の放射能濃度  
（単位：Bq/kg-乾燥土）

測点	<sup>238</sup> Pu	<sup>239+240</sup> Pu	<sup>241</sup> Am	<sup>242</sup> Cm	<sup>243+244</sup> Cm
	(Bq/kg-乾燥土) (誤差は計数誤差)				
B3	0.018 ± 0.0037	1.1 ± 0.044	0.53 ± 0.022	ND	ND
E1	0.017 ± 0.0033	0.88 ± 0.034	0.49 ± 0.022	ND	ND
I1	0.018 ± 0.0032	1.2 ± 0.042	0.66 ± 0.026	ND	ND

\*調査日（試料採取日）：令和 3 年 8 月 4 日～8 月 19 日。

\*ND は検出下限値以下を示す。



図Ⅱ-3-18 各測点で採取した海底土試料に含まれる  $^{239+240}\text{Pu}$  と  $^{241}\text{Am}$  の放射能濃度の平成24年度から令和3年度の時系列変化

#### 4. まとめ

令和3年度における東電福島第一原発周辺の海域モニタリング結果から、海水は東電福島第一原発の近傍・沿岸海域では、放射性セシウムは未だ事故前のレベルに至っていないものの、その放射能濃度は拡散、希釈に加え、その物理半減期によって減少傾向にあることが確認された。また、 $^{90}\text{Sr}$ については散発的に高い放射能濃度が観測されることもあるが、事故前のレベルを下回る放射能濃度が観測されつつあり、減少傾向がみえつつある。東電福島第一原発から30km圏外での沖合及び外洋海域においては、東電福島第一原発事故前のレベルまで減少していることが分かった。

福島及びその近隣県沖における海底土に含まれる $^{137}\text{Cs}$ の放射能濃度は、水平的には非常に大きな変動(0.39~400Bq/kg-乾燥土)を示した。また、時系列的には、各測点毎に大きな変動を示したものの、各測点のデータの幾何平均の時系列変化は比較的スムーズな減少傾向を示し、その半減期は約4.1年と見積もられた。ただ、減少傾向は鈍化しつつある。また、海底土に含まれる $^{90}\text{Sr}$ の放射能濃度は、検出下限値以下~0.13Bq/kg-乾燥土の範囲であった。 $^{238}\text{Pu}/^{239+240}\text{Pu}$ 放射能比、 $^{241}\text{Am}/^{239+240}\text{Pu}$ 放射能比及び $^{239+240}\text{Pu}$ と $^{241}\text{Am}$ の放射能濃度の平成24年度から令和3年度の時系列変化の結果から、 $^{90}\text{Sr}$ 及びアルファ線放出核種については東電福島第一原発事故由来のものは認められなかった。グローバルフォールアウトとビキニ環礁核実験フォールアウト由来の $^{239+240}\text{Pu}$ と $^{241}\text{Am}$ が堆積していると考えられる。

#### 引用文献

- 1) Kambayashi, S., Zhang, J. and Narita, H. (2021). Significance of Fukushima-derived radiocaesium flux via river-estuary-ocean system. *Science of The Total Environment*, 793, 148456. DOI: 10.1016/j.scitotenv.2021.148456.
- 2) Takata, H., Aono, T., Aoyama, M., Inoue, M., Kaeriyama, H. Suzuki, S. Tsuruta, T., Wada, T. and Wakiyama, Y. (2020) Suspended Particle-Water Interactions Increase Dissolved  $^{137}\text{Cs}$  Activities in the Nearshore Seawater during Typhoon Hagibis. *Environmental Science and Technology*, **54**, 10678-10687
- 3) Kusakabe, M., Inatomi, N., Takata, H. and Ikenoue, T. (2017). Decline in radiocesium in seafloor sediments off Fukushima and nearby prefectures. *Journal of Oceanography*, **73**. 529-545.
- 4) Buesseler, K., Aoyama M. and Fukasawa M. (2011) Impacts of the Fukushima Nuclear Power Plants on Marine Radioactivity. *Environmental Science and Technology*, **45**, 9931-9935

- 5) Black, E. and Buesseler, K.O. (2014). Spatial variability and the fate of cesium in coastal sediments near Fukushima, Japan. *Biogeosciences*, **11**, 5123-5137.
- 6) Takata, H., Hasegawa, K., Oikawa, S., Kudo, N., Ikenoue, T., Isono, R.S. and Kusakabe, M. (2015). Remobilization of radiocesium on riverine particles in seawater: The contribution of desorption to the export flux to the marine environment. *Marine Chemistry*, **176**, 51-63.
- 7) Takata, H., Kusakabe, M., Inatomi, N., Ikenoue, T. and Hasegawa, K. (2016). The contribution of sources to the sustained elevated inventory of <sup>137</sup>Cs in offshore waters east of Japan after the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station Accident. *Environmental Science and Technology*, **50**, 6957-6963.
- 8) Otsuka, S., Kambayashi, S., Fukuda, M., Tsuruta, T., Misonou, T., Suzuki, T., and Aono, T. (2020). Behavior of radiocesium in sediments in Fukushima coastal waters: Verification of desorption potential through pore water. *Environmental Science and Technology*, **54**, 13778-13785.
- 9) 海洋生物環境研究所(2007). 平成 18 年度海洋環境放射能総合評価事業 成果報告書.
- 10) 海洋生物環境研究所(2008). 平成 19 年度海洋環境放射能総合評価事業 成果報告書.
- 11) 海洋生物環境研究所(2009). 平成 20 年度海洋環境放射能総合評価事業 成果報告書.
- 12) 海洋生物環境研究所(2010). 平成 21 年度海洋環境放射能総合評価事業 成果報告書.
- 13) 海洋生物環境研究所(2011). 平成 22 年度海洋環境放射能総合評価事業 成果報告書.
- 14) Yamada, M., Oikawa, S., Shirotani, Y., Kusakabe, K. and Shindo, K. (2021) Transuranic nuclides Pu, Am and Cm isotopes, and <sup>90</sup>Sr in seafloor sediments off the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant during the period from 2012 to 2019. *Journal of Environmental Radioactivity*, **227**, 106459. DOI: 10.1016/j.jenrad.2020.106459.
- 15) Zheng, J., Tagami, K. and Uchida, S. (2013). Release of plutonium isotopes into the environment from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: What is known and what needs to be known. *Environmental Science and Technology* **47**, 9584-9595.
- 16) 西原健司・岩元大樹・須山賢也 (2012) 福島第一原子力発電所の燃料組成評価, JAEA Data/Code 2012-018. 日本原子力研究開発機構, pp. 1-190.
- 17) Nakanishi, T., Shiba, Y., Muramatsu, M. and Haque, M. A. (1995). Estimation of mineral aerosol fluxes to the Pacific by using environmental plutonium as a tracer. In: Sakai, H. and Nozaki, Y. (Eds), *Biogeochemical Processes and Ocean Flux in the Western Pacific*. TERRAPUB, Tokyo, pp. 15-30.

- 18) Oikawa, S., Watabe, T., Takata, H., Misonoo, J. and Kusakabe, M. (2015). Plutonium isotopes and  $^{241}\text{Am}$  in surface sediments off the coast of the Japanese islands before and soon after the Fukushima Dai-ichi nuclear power plant accident. *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry* **303**, 1513-1518.
- 19) Zheng, J., Aono, T., Uchida, S., Zhang, J. and Honda, M.C. (2012). Distribution of Pu isotopes in marine sediments in the Pacific 30 km off Fukushima after the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident. *Geochemical Journal* **46**, 361-369.

### 【Ⅲ】 調査結果の評価

本事業の実施に当たって、調査計画及び内容、測定値の信頼性、調査結果等について審議することなどを目的に、環境放射能学、海洋学及び水産学等の有識者ならびに漁業関係者等から構成する海洋放射能検討委員会を設置した。令和3年度海洋放射能検討委員会の委員名簿を表Ⅲ-1-1に示す。

海洋放射能検討委員会からは、

- ・原子力発電所等周辺海域及び核燃料（原子燃料）サイクル施設沖合海域において実施した解析調査を含めた海洋放射能調査
- ・東電福島第一原発周辺の海域モニタリングに関する調査内容全般

について指導、助言いただき、併せてこれらの調査計画の内容などについて了承を得るとともに、

- ・調査結果等について内容の検討、評価及び結果のとりまとめなどについて指導、議論や審議及び了承を得た。

令和3年度においては、この海洋放射能検討委員会を4回（原子力規制委員会原子力規制庁と事前に協議のうえで資料送付によるメール会合とした）開催し、開催期間及び主な審議内容等は以下のとおりであった。

#### ○第1回海洋放射能検討委員会

（令和3年5月11日～同5月17日、資料送付によるメール会合（※1））

- ・調査計画の了承
- ・調査内容の妥当性の検討

#### ○第2回海洋放射能検討委員会臨時会議

（令和3年8月24日～同8月30日、資料送付によるメール会合（※2））

- ・平成29年度から令和2年度に実施した原子力施設等防災対策等委託費（海洋環境における放射能調査及び総合評価）事業 調査報告書の記載内容の訂正の検討及び了承

#### ○第3回海洋放射能検討委員会

（令和3年12月14日～同12月20日、資料送付によるメール会合（※3））

- ・調査内容の妥当性の検討と評価
- ・測定値の信頼性確認

- ・ 中間とりまとめの検討、評価及び了承

#### ○第4回海洋放射能検討委員会

(令和4年3月10日～同3月16日、資料送付によるメール会合(※4))

- ・ 測定値の信頼性確認
- ・ 調査結果の検討、評価及び了承
- ・ 調査報告書及び調査結果概要の検討、評価、了承

また、より技術的、専門的観点から得られたデータの解析手法及び結果の解釈等について検討し、指導や助言を得るため、検討委員会の下部に環境放射能学、海洋学、水産学等の専門家からなるデータ解析専門部会を設置した。令和3年度データ解析専門部会の委員名簿を表Ⅲ-1-2に示す。

なお、令和3年度においてはこの部会を2回(いずれも資料送付によるメール会合)開催し、開催期間及び主な審議内容等は以下のとおりであった。

#### ○第1回データ解析専門部会

(令和3年9月28日～同10月4日、資料送付によるメール会合(※5))

- ・ 調査内容(計画・進捗)の検討、指導及び助言
- ・ 調査結果の検討、指導及び助言

#### ○第2回データ解析専門部会

(令和4年2月24日～同3月2日、資料送付によるメール会合(※4))

- ・ 調査結果(調査報告書)の検討、指導及び助言

(※1) 令和3年4月23日付け新型コロナウイルス感染症対策本部からの新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言及び新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置に関する公示の全部を変更する公示などに基づく社会情勢を鑑みて、原子力規制委員会原子力規制庁とも事前に協議のうえで資料送付によるメール会合とした。

(※2) 令和3年7月30日付け新型コロナウイルス感染症対策本部からの新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言及び新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置に関する公示の全部を変更する公示などに基づく社会情勢を鑑みて、原子力規制委員会原子力規制庁とも事前に協議のうえで資料送付によるメール会合とした。

- (※3) 令和3年11月12日付政府の新型コロナウイルス感染症対策本部のとりまとめた「次の感染拡大に向けた安心確保のための取組の全体像」の考え方に基づいて原子力規制委員会原子力規制庁とも事前に協議のうえで資料送付によるメール会合とした。
- (※4) 令和4年1月7日付け新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置に関する公示及び令和4年2月18日付け新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置に関する公示の全部を変更する公示などに基づく社会情勢を鑑みて、原子力規制委員会原子力規制庁とも事前に協議のうえで資料送付によるメール会合とした。
- (※5) 令和3年9月9日付け新型コロナウイルス感染症対策本部からの新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言及び新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置に関する公示の全部を変更する公示などに基づく社会情勢を鑑みて、原子力規制委員会原子力規制庁とも事前に協議のうえで資料送付によるメール会合とした。

表Ⅲ-1-1 令和3年度海洋放射能検討委員会 委員名簿

(敬称略、五十音順)

氏名	所属・役職	専門等
青野 辰雄 (※)	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 放射線医学研究所 福島再生支援研究部 環境動態研究グループリーダー	海洋放射能
阿部 琢也	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究部門 原子力科学研究所 放射線管理部 放射線計測技術課 技術副主幹	放射能分析、放射線計測
石川 大蔵	八戸漁業指導協会 事務局長	漁業関係団体
帰山 秀樹	国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所 水産資源研究センター 海洋環境部 放射能調査グループ長	海洋生態、海洋放射能
木山 真一	全国漁業協同組合連合会 漁政部 次長	漁業関係団体
熊木 正徳	青森県漁業協同組合連合会 専務理事	漁業関係団体
小佐古 敏荘 (主査)	国立大学法人東京大学 名誉教授	環境放射能、放射線防護
塚田 祥文	国立大学法人福島大学 環境放射能研究所 教授	環境放射能
東嶋 和子	科学ジャーナリスト	ジャーナリスト
長尾 誠也	国立大学法人金沢大学 環日本海域環境研究センター センター長・教授	環境動態、環境放射能
西 浩幸	島根県防災部原子力安全対策課 原子力環境センター センター長	環境放射能、環境放射線
久松 俊一 (※)	公益財団法人環境科学技術研究所 理事長アドバイザー	環境放射能
松野 健	国立大学法人九州大学 名誉教授	海洋物理
森泉 純	国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学 大学院工学研究科総合エネルギー工学専攻 准教授	環境放射能、環境放射線

所属・役職は、令和4年3月1日現在

(※) 令和3年度データ解析専門部会委員との兼任委員(2名)

表Ⅲ-1-2 令和3年度データ解析専門部会 委員名簿

(敬称略、五十音順)

氏名	所属・役職	専門等
青野 辰雄 (※)	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 放射線医学研究所 福島再生支援研究部 環境動態研究グループリーダー	海洋放射能
國井 芳彦	福島県環境創造センター 調査・分析部長兼環境調査課長	環境放射能、環境放射線
栗田 豊	国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所 水産資源研究センター 海洋環境部 副部長	海洋生態系
永岡 美佳	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料・バックエンド研究開発部門 核燃料サイクル工学研究所 放射線管理部 環境監視課 主査	環境放射能分析、放射線計測、放射性排水放出管理
東 博紀	国立研究開発法人国立環境研究所 地域環境保全領域 海洋環境研究室 主幹研究員	海洋物理
久松 俊一 (※) (主査)	公益財団法人環境科学技術研究所 理事長アドバイザー	環境放射能
和田 浩司	青森県原子力センター 分析課 主任研究員	環境放射能、環境放射線

所属・役職は、令和4年3月1日現在

(※) 令和3年度海洋放射能検討委員会委員との兼任委員(2名)

(このページは空白ページです)

## 【Ⅳ】 調査結果の報告・説明

### 1. 報告資料の印刷

令和 2 年度に実施した令和 2 年度原子力施設等防災対策等委託費（海洋環境における放射能調査及び総合評価）事業で得られた調査結果や成果について、関係機関・団体の職員等に対して報告・説明するための資料として、これらを取りまとめた令和 2 年度原子力施設等防災対策等委託費（海洋環境における放射能調査及び総合評価）事業調査報告書（令和 3 年 3 月、公益財団法人海洋生物環境研究所）を印刷した。

また、令和 2 年度原子力施設等防災対策等委託費（海洋環境における放射能調査及び総合評価）事業調査報告書の概要として、パンフレット「漁場を見守る」（海洋環境における放射能調査及び総合評価事業 海洋放射能調査（令和 2 年度））（公益財団法人海洋生物環境研究所）を印刷した。

### 2. 関係機関・団体等への調査結果の報告・配布

#### 1) 調査計画概要の郵送

令和 3 年度第 1 回海洋放射能検討委員会では了承を得た令和 3 年度海洋環境における放射能調査及び総合評価事業に係る調査計画の概要について、令和 3 年度において個別に訪問のうえ結果説明等を実施した機関を中心に、

- ・ 関係道県漁業協同組合連合会及び関係漁業協同組合等の漁業関係機関：42 機関
- ・ 関係自治体の水産関係部署：16 機関
- ・ 関係自治体の原子力安全対策や環境放射線関係部署：38 機関
- ・ 試料採取の海域を所管する海上保安部（署）：13 機関

の計 109 機関の機関・団体等へ郵送により配付した（※1）。

（※1）新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る社会的情勢や、政府（厚生労働省）から発信されている「新しい生活様式」の実践例のうち、「移動に関する感染対策」等の例を鑑みて、例年結果説明訪問時に併せて説明を行ってきたところ、令和 2 年度に実施する調査計画をあらかじめ周知することを目的に、令和 3 年 6 月に郵送にて対応を行ったもの。

#### 2) 調査結果の訪問説明等

「1) 調査計画概要の郵送」に示した調査報告書、パンフレットを用い、調査対象海域の漁業関係者や関係機関・団体に対して令和 3 年 11 月から令和 4 年 3 月の期間において、

- ・ 令和 2 年度原子力施設等防災対策等委託費（海洋環境における放射能調査及び総合評価）事業 調査報告書（令和 3 年 3 月、公益財団法人海洋生物環境研究所）
- ・ パンフレット「漁場を見守る」（海洋環境における放射能調査及び総合評価事業 海洋

放射能調査（令和２年度）（公益財団法人海洋生物環境研究所）を用いて、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る社会的情勢等を鑑みて、それぞれ個別に訪問または資料郵送による結果説明等を実施した（※2）。

このうち、個別に訪問のうえ結果説明等を実施した機関・団体等の数は、

- ・ 関係道県漁業協同組合連合会及び関係漁業協同組合等の漁業関係機関：34 機関
- ・ 関係自治体の水産関係部署：14 機関
- ・ 関係自治体の原子力安全対策や環境放射線関係部署：33 機関
- ・ 試料採取の海域を所管する海上保安部（署）：10 機関

の計 91 機関であった（個別に訪問のうえ結果説明を実施した機関に対しては、併せて結果説明等に関するアンケートを依頼した）。

また、資料郵送の対応で結果説明等を実施した機関・団体等の数は、

- ・ 関係道県漁業協同組合連合会及び関係漁業協同組合等の漁業関係機関：13 機関
- ・ 関係自治体の水産関係部署：3 機関
- ・ 関係自治体の原子力安全対策や環境放射線関係部署：8 機関
- ・ 試料採取の海域を所管する海上保安部（署）：3 機関

の計 27 機関であった。

（※2）新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る社会的情勢や、政府（厚生労働省）から発信されている「新しい生活様式」の実践例のうち、「移動に関する感染対策」等の例を鑑みて訪問予定先のご都合を伺ったうえで、資料郵送での対応とした。

また、令和４年１月に令和３年度原子力施設等防災対策等委託費（海洋環境における放射能調査及び総合評価）事業の中間取りまとめ（令和４年１月、公益財団法人海洋生物環境研究所）を作成し、2.1)に記載した調査計画概要を送付した関係機関（計 109 機関）へ郵送により配付した。

なお、令和２年度原子力施設等防災対策等委託費（海洋環境における放射能調査及び総合評価）事業調査報告書（令和３年３月、公益財団法人海洋生物環境研究所）及びパンフレット「漁場を見守る」（海洋環境放射能総合評価事業海洋放射能調査（令和２年度））（令和３年５月、公益財団法人海洋生物環境研究所）は、原子力規制委員会原子力規制庁のご了承を得て、当研究所のウェブサイト上に「委託調査成果」として公表した。

## 【V】本事業で得られた関連試料の保管・管理

令和3年度に実施した本事業で得られた試料を仕様書の指示に従い適切に整理・保管した。試料の保管に当たっては、当研究所との賃貸契約に基づいて使用している倉庫（所在：千葉県四街道市鹿渡）で行い、試料の整理・管理を円滑に行うために整備した保管棚に収めた。これらの試料は保管台帳に記録し、再分析等、原子力規制委員会原子力規制庁からの指示に速やかに対応できるよう管理した。さらに同倉庫に収まりきらない試料については、試料等の保管業務を行っている専門の倉庫会社（所在：千葉県山武市下布田）にて保管・管理した。



倉庫に設置した保管棚に収納している海水試料（写真は一つ20Lのもの）

また、これまで適切に保管・管理していた令和2年度までに採取した海水試料のうち、

- ・ 海洋放射能調査海域における福島第一海域及び福島第二海域を除く原子力発電所等周辺海域と核燃料（原子燃料）サイクル施設沖合海域で採取した海水試料と、
- ・ 放射能分析に供し、その分析結果が確定するまで適切に保管・管理を行っていたろ液等の試料

の約2,600個（総重量約53,560kg）については廃棄処分した。

なお、これらの処分に当たっては、専門の産業廃棄物処理業者に依頼し、保管場所である倉庫（千葉県四街道市及び山武市）から搬出し、処分施設まで搬送した。その後、産業廃棄物（廃酸）として適切な処分を依頼した（産業廃棄物の委託処理における排出事業者責任の明確化と、不法投棄の未然防止を目的としたマニフェスト制度に準じた確認を実施した）。



大型倉庫から廃棄対象となる海水試料をパレットに積載して搬出するところ

(このページは空白ページです)

## 資料編

### 【Ⅰ】 海洋放射能調査

- 資料1-1 令和3年度に発電所海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果
- 資料1-2 令和3年度に核燃海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果
- 資料2-1 令和3年度に発電所海域で採取した海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果
- 資料2-2 令和3年度に核燃海域で採取した海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果
- 資料3-1 令和3年度に発電所海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果
- 資料3-2 令和3年度に核燃海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果
- 資料4-1 令和3年度 解析調査 海底土の性状
  - (参考1) 平成18年度から平成22年度（事故前5年間）の調査における海産生物試料の代替実績
  - (参考2) 令和3年度までの直近10年間の調査における海産生物試料の代替実績
  - (参考3) 海洋放射能調査における作業等の様子

### 【Ⅱ】 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所周辺の海域モニタリング

- 資料 5-1-1 海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 近傍・沿岸海域
- 資料 5-1-2 海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 沖合海域
- 資料 5-1-3 海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 外洋海域
- 資料 5-2-1 海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 沖合海域
- 資料 5-2-2 海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果（ $\alpha$ 線放出核種）  
沖合海域
- 資料 5-2-3 海底土の色・質・生物種等
- 資料 5-2-4 令和2年度海底土試料に含まれる<sup>90</sup>Sr放射能分析結果 沖合海域（再解析）
  - (参考4) 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所周辺の海域モニタリングにおける作業等の様子

資料 1-1-1 令和 3 年度に発電所海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		北海道海域					
試料		ホッケ	ソウハチ	ミズダコ	ホッケ	ヒラメ	マサバ*2
漁獲年月日		令和 3 年 6 月 7 日	令和 3 年 6 月 7 日	令和 3 年 6 月 7 日	令和 3 年 12 月 21 日	令和 3 年 12 月 21 日	令和 3 年 12 月 21 日
漁獲場所		岩内沖	岩内沖	岩内沖	岩内沖	岩内沖	岩内沖
漁法		底建網	底建網	底建網	底建網	底建網	底建網
試料の個体数		78	91	2	88	34	53
平均全長±標準偏差 最小/最大 (cm)		30.8±2.3 25.2/36.1	28.5±2.3 23.7/33.6	175.3±31.5 153.0/197.5	31.8±2.3 28.0/39.0	40.2±3.7 32.5/54.5	35.0±1.6 30.7/38.9
平均体重±標準偏差 最小/最大 (g)		269±75 137/515	231±70 111/382	10141±3563 7621/12661	250±63 157/531	640±199 322/1546	381±43 297/479
供試部位		肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部
灰分 (%)		1.37	1.35	2.31	1.48	1.49	1.24
分析供試量 (g 灰)		66.72	70.07	78.51	57.77	54.18	59.55
測定年月日		令和 3 年 6 月 30 日	令和 3 年 6 月 29 日	令和 3 年 6 月 29 日	令和 4 年 1 月 20 日	令和 4 年 1 月 20 日	令和 4 年 1 月 26 日
放射能濃度*1 (Bq/kg-生鮮物)							
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	0.13 ±0.0082	0.10 ±0.0094	ND	0.13 ±0.0088	0.097 ±0.011	0.13 ±0.0079
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。					
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>40</sup> K	130±0.57	120±0.64	75±0.61	120±0.61	140±0.80	110±0.53
	<sup>208</sup> Tl	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>214</sup> Bi	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>228</sup> Ac	ND	ND	ND	ND	ND	ND

\*1 試料の放射能濃度は漁獲年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

\*2 漁獲量の減少によりスケトウダラをマサバに変更した。

資料 1-1-2 令和 3 年度に発電所海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		青森海域					
試料		クロソイ	アイナメ	ホッケ	クロソイ	アイナメ	ヤリイカ
漁獲年月日		令和 3 年 4 月 28 日	令和 3 年 4 月 12 日～ 4 月 24 日	令和 3 年 4 月 21 日	令和 3 年 11 月 24 日	令和 3 年 10 月 24 日～ 10 月 31 日	令和 3 年 12 月 4 日
漁獲場所		東通村 小田野沢沖	白糠沖	東通村 小田野沢沖	東通村沖	白糠沖	白糠沖
漁法		底建網	一本釣	定置網	定置網	一本釣	一本釣
試料の個体数		26	39	64	34	27	188
平均全長±標準偏差 最小/最大 (cm)		34.0±5.0 23.2/40.3	38.6±3.9 31.8/46.0	34.7±1.4 28.5/36.8	32.9±5.0 23.2/56.6	37.8±5.5 28.9/46.3	15.4±0.7*2 13.8/17.2*2
平均体重±標準偏差 最小/最大 (g)		771±345 193/1301	768±251 390/1303	453±62 249/594	642±396 226/2723	736±326 315/1367	54±6 39/73
供試部位		肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部
灰分 (%)		1.17	1.31	1.28	1.27	1.35	2.48
分析供試量 (g 灰)		73.42	69.45	68.41	51.67	53.70	55.92
測定年月日		令和 3 年 9 月 10 日	令和 3 年 6 月 1 日	令和 3 年 6 月 1 日	令和 3 年 12 月 27 日	令和 3 年 12 月 23 日	令和 3 年 12 月 28 日
放射能濃度*1 (Bq/kg-生鮮物)							
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	0.18 ±0.0086	0.18 ±0.010	0.14 ±0.0092	0.12 ±0.010	0.10 ±0.011	0.043 ±0.013
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。					
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>40</sup> K	110±0.52	120±0.65	120±0.63	110±0.67	130±0.73	120±0.94
	<sup>208</sup> Tl	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>214</sup> Bi	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>228</sup> Ac	ND	ND	ND	ND	ND	ND

\*1 試料の放射能濃度は漁獲年月日（漁獲年月日が複数日の場合にはその最終日）に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

\*2 外套長の値である。

資料 1-1-3 令和 3 年度に発電所海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		宮城海域					
試料	マダラ	アイナメ	マアナゴ	マダラ	アイナメ	マアナゴ	
漁獲年月日	令和 3 年 4 月 12 日	令和 3 年 4 月 13 日～ 4 月 21 日	令和 3 年 4 月 10 日～ 4 月 21 日	令和 3 年 10 月 13 日	令和 3 年 10 月 19 日～ 10 月 23 日	令和 3 年 10 月 9 日	
漁獲場所	女川沖	石巻沖	女川沖～ 石巻沖	女川沖	牡鹿半島沖	女川沖	
漁法	定置網	刺網	穴子筒	底引網	刺網	穴子筒	
試料の個体数	7	25	25	10	24	20	
平均全長±標準偏差 最小/最大 (cm)	68.9±6.8 60.3/79.4	43.9±2.5 39.4/49.5	76.4±9.7 63.5/109.5	56.4±4.4 51.0/63.3	38.6±2.4 34.3/44.4	83.9±4.5 73.1/91.8	
平均体重±標準偏差 最小/最大 (g)	4383±1155 2965/6178	1182±222 838/1853	779±388 385/2366	1969±252 1520/2364	845±157 556/1170	1017±195 698/1352	
供試部位	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	
灰分 (%)	1.25	1.40	1.16	1.27	1.38	1.14	
分析供試量 (g 灰)	71.20	74.85	73.71	53.76	60.85	52.77	
測定年月日	令和 3 年 6 月 28 日	令和 3 年 6 月 29 日	令和 3 年 6 月 28 日	令和 3 年 11 月 17 日	令和 3 年 11 月 18 日	令和 3 年 11 月 18 日	
放射能濃度*1 (Bq/kg-生鮮物)							
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	0.33 ±0.011	0.18 ±0.010	0.10 ±0.0080	0.27 ±0.013	0.24 ±0.012	0.12 ±0.0087
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。					
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>40</sup> K	120±0.59	120±0.63	100±0.54	110±0.68	130±0.70	100±0.57
	<sup>208</sup> Tl	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>214</sup> Bi	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>228</sup> Ac	ND	ND	ND	ND	ND	ND

\*1 試料の放射能濃度は漁獲年月日（漁獲年月日が複数日の場合にはその最終日）に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 1-1-4 令和 3 年度に発電所海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		福島第一海域					
試料	ソウハチ*2	ババガレイ*3	ヤナギダコ*4	サバ類*5	ユメカサゴ*6	ヤリイカ*7	
漁獲年月日	令和 3 年 4 月 25 日	令和 3 年 4 月 25 日	令和 3 年 4 月 25 日	令和 3 年 10 月 24 日	令和 3 年 10 月 24 日	令和 3 年 10 月 24 日	
漁獲場所	相馬市沖	相馬市沖	相馬市沖	浪江沖	浪江沖	浪江沖	
漁法	底曳網	底曳網	底曳網	底曳網	底曳網	底曳網	
試料の個体数	57	69	37	96	248*8	313*8	
平均全長±標準偏差 最小/最大 (cm)	35.3±4.7 26.5/45.5	32.6±4.8 22.3/49.3	57.0±7.1 46.2/76.2	29.2±1.9 25.3/37.7	16.7±1.7*9 14.2/21.0*9	13.2±2.1*9*10 7.4/17.5*9*10	
平均体重±標準偏差 最小/最大 (g)	483±204 142/984	406±203 152/1226	726±228 368/1216	208±49 114/430	75±27*9 41/154*9	53±20*9 14/109*9	
供試部位	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	
灰分 (%)	1.50	1.43	2.58	1.81	1.79	2.27	
分析供試量 (g 灰)	62.96	72.52	81.46	55.40	58.61	57.67	
測定年月日	令和 3 年 9 月 10 日	令和 3 年 9 月 10 日	令和 3 年 9 月 10 日	令和 4 年 1 月 17 日	令和 4 年 1 月 19 日	令和 4 年 1 月 18 日	
放射能濃度*1 (Bq/kg-生鮮物)							
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	0.16 ±0.011	0.15 ±0.0086	0.045 ±0.010	0.12 ±0.011	0.18 ±0.011	0.034 ±0.0098
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。					
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>40</sup> K	110±0.67	110±0.51	75±0.65	130±0.70	96±0.61	92±0.66
	<sup>208</sup> Tl	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>214</sup> Bi	ND	ND	ND	0.060 ±0.019	ND	ND
	<sup>228</sup> Ac	ND	ND	ND	ND	ND	ND

\*1 試料の放射能濃度は漁獲年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

\*2 漁獲量の減少によりズキをソウハチに変更した。

\*3 漁獲量の減少によりメバルをババガレイに変更した。

\*4 漁獲量の減少によりイシガレイをヤナギダコに変更した。

\*5 漁獲量の減少によりズキをサバ類（マサバ、ゴマサバの混合試料）に変更した。

\*6 漁獲量の減少によりメバルをユメカサゴに変更した

\*7 漁獲量の減少によりイシガレイをヤリイカに変更した。

\*8 任意の 100 個体から得られた平均体重で試料重量を除いて求めた個体数である。

\*9 任意の 100 個体から得られた値である。

\*10 外套長の値である。

資料 1-1-5 令和 3 年度に発電所海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		福島第二海域					
試料	マアナゴ*2	マガレイ	ヤナギダコ*3	カナガシラ*4	マガレイ	マダコ*5	
漁獲年月日	令和 3 年 5 月 13 日	令和 3 年 5 月 13 日	令和 3 年 5 月 13 日	令和 3 年 10 月 28 日	令和 3 年 10 月 28 日	令和 3 年 10 月 28 日	
漁獲場所	久ノ浜沖	広野沖	いわき市沖	久ノ浜沖	久ノ浜沖	久ノ浜沖	
漁法	底曳網	底曳網	底曳網	底曳網	底曳網	底曳網	
試料の個体数	57	94	32	123	117	58	
平均全長±標準偏差 最小/最大 (cm)	66.4±5.8 52.9/77.6	30.7±3.2 23.2/39.2	57.8±7.9 42.3/74.4	25.3±2.2 20.2/31.2	25.9±2.3 22.0/31.8	51.4±7.5 37.0/68.9	
平均体重±標準偏差 最小/最大 (g)	520±152 242/959	328±113 126/775	553±166 262/880	162±42 78/276	173±49 100/331	334±169 113/749	
供試部位	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	
灰分 (%)	1.14	1.40	2.45	1.66	1.50	2.31	
分析供試量 (g 灰)	65.54	59.61	71.61	55.00	52.37	63.73	
測定年月日	令和 3 年 9 月 16 日	令和 3 年 9 月 16 日	令和 3 年 9 月 22 日	令和 4 年 1 月 4 日	令和 4 年 1 月 5 日	令和 4 年 1 月 6 日	
放射能濃度*1 (Bq/kg-生鮮物)							
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	0.33 ±0.011	0.72 ±0.016	0.047 ±0.011	0.65 ±0.017	0.56 ±0.016	0.082 ±0.011
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。					
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>40</sup> K	89±0.52	110±0.64	65±0.64	120±0.77	120±0.75	87±0.72
	<sup>208</sup> Tl	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>214</sup> Bi	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>228</sup> Ac	ND	ND	ND	ND	ND	ND

\*1 試料の放射能濃度は漁獲年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

\*2 漁獲量の減少によりマダコをマアナゴに変更した。

\*3 漁獲量の減少によりミズダコをヤナギダコに変更した。

\*4 漁獲量の減少によりマダコをカナガシラに変更した。

\*5 漁獲量の減少によりミズダコをマダコに変更した。

資料 1-1-6 令和 3 年度に発電所海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		茨城海域					
試料	カナガシラ*2	キンメダイ*3	ヤナギダコ*4	ヒラメ	ムシガレイ*5	ヤナギダコ*4	
漁獲年月日	令和 3 年 4 月 7 日	令和 3 年 4 月 9 日	令和 3 年 4 月 8 日	令和 3 年 12 月 11 日	令和 3 年 10 月 19 日	令和 3 年 10 月 19 日	
漁獲場所	日立市沖	日立市沖	日立市沖	日立沖	日立沖	日立沖	
漁法	底曳網	底曳網	底曳網	底引網	底引網	底引網	
試料の個体数	213	121	23	20	157	30	
平均全長±標準偏差 最小/最大 (cm)	23.8±1.6 20.0/28.2	23.4±1.0 20.3/26.0	62.7±6.1 53.5/76.5	44.6±10.7 30.6/70.1	24.1±1.0 21.3/26.6	46.7±5.1 34.0/58.5	
平均体重±標準偏差 最小/最大 (g)	146±31 89/272	168±20 93/217	741±131 548/1103	1003±748 252/3156	129±17 87/187	350±80 225/526	
供試部位	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	
灰分 (%)	1.67	1.34	2.48	1.44	1.65	2.38	
分析供試量 (g 灰)	65.58	63.73	76.90	54.80	56.66	58.93	
測定年月日	令和 3 年 6 月 30 日	令和 3 年 8 月 17 日	令和 3 年 6 月 28 日	令和 4 年 1 月 19 日	令和 3 年 12 月 16 日	令和 3 年 12 月 22 日	
放射能濃度*1 (Bq/kg-生鮮物)							
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	0.34 ±0.014	0.15 ±0.010	ND	0.26 ±0.011	0.28 ±0.012	ND
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。					
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>40</sup> K	110±0.70	110±0.65	65±0.60	130±0.65	110±0.64	56±0.53
	<sup>208</sup> Tl	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>214</sup> Bi	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>228</sup> Ac	ND	ND	ND	ND	ND	ND

\*1 試料の放射能濃度は漁獲年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

\*2 漁獲量の減少によりヒラメをカナガシラに変更した。

\*3 漁獲量の減少によりマコガレイをキンメダイに変更した。

\*4 漁獲量の減少によりミズダコをヤナギダコに変更した。

\*5 漁獲量の減少によりマコガレイをムシガレイに変更した。

資料 1-1-7 令和 3 年度に発電所海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		静岡海域					
試料	イサキ*2	ニベ	アカカマス*3	マゴチ	ニベ	アカシタ ピラメ*4	
漁獲年月日	令和 3 年 6 月 9 日	令和 3 年 4 月 1 日～ 6 月 4 日	令和 3 年 6 月 14 日	令和 3 年 10 月 1 日～ 10 月 31 日	令和 3 年 11 月 11 日	令和 3 年 10 月 1 日～ 10 月 17 日	
漁獲場所	浜岡原発沖	御前崎～ 相良沖	御前崎～ 相良沖	御前崎～ 相良沖	相良沖	御前崎～ 相良沖	
漁法	一本釣	定置網	刺網	刺網	定置網	刺網	
試料の個体数	77	68	103	17	88	36	
平均全長±標準偏差 最小/最大 (cm)	27.1±1.7 22.5/29.7	28.9±2.0 24.4/33.8	31.6±2.9 25.4/38.8	54.2±6.6 33.6/62.5	26.8±2.5 21.1/32.2	42.5±4.7 34.7/52.2	
平均体重±標準偏差 最小/最大 (g)	265±44 161/372	351±97 207/614	201±57 99/378	1111±314 225/1519	236±79 86/458	574±195 303/966	
供試部位	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	
灰分 (%)	1.42	1.24	1.39	1.40	1.22	1.31	
分析供試量 (g 灰)	74.74	62.47	79.29	57.2	52.92	72.98	
測定年月日	令和 3 年 9 月 16 日	令和 3 年 7 月 28 日	令和 3 年 9 月 1 日	令和 4 年 1 月 5 日	令和 3 年 12 月 6 日	令和 3 年 11 月 10 日	
放射能濃度*1 (Bq/kg-生鮮物)							
人工 放射 性核 種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	0.14 ±0.0082	0.11 ±0.0088	0.19 ±0.0098	0.10 ±0.010	0.10 ±0.0097	0.054 ±0.0081
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。					
自然 放射 性核 種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>40</sup> K	140±0.57	120±0.62	140±0.64	130±0.69	120±0.67	120±0.63
	<sup>208</sup> Tl	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>214</sup> Bi	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>228</sup> Ac	ND	ND	ND	ND	ND	ND

\*1 試料の放射能濃度は漁獲年月日（漁獲年月日が複数日の場合にはその最終日）に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

\*2 漁獲量の減少によりマゴチをイサキに変更した。

\*3 漁獲量の減少によりクロウシノシタをアカカマスに変更した。

\*4 漁獲量の減少によりクロウシノシタをアカシタピラメに変更した。

資料 1-1-8 令和 3 年度に発電所海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		新潟海域					
試料	スケトウダラ	ホッケ	ミズダコ	スケトウダラ	ホッケ	ミズダコ	
漁獲年月日	令和 3 年 4 月 12 日	令和 3 年 4 月 12 日	令和 3 年 5 月 16 日	令和 3 年 11 月 29 日～ 12 月 6 日	令和 3 年 10 月 25 日	令和 3 年 10 月 25 日	
漁獲場所	出雲崎沖	出雲崎沖	出雲崎沖	出雲崎沖	出雲崎沖	出雲崎沖	
漁法	底曳網	底曳網	底曳網	底曳網	底曳網	底曳網	
試料の個体数	19	58	9	23	69	5	
平均全長±標準偏差 最小/最大 (cm)	53.8±4.4 46.8/62.2	33.1±1.2 30.6/36.0	92.5±14.4 70.0/122.0	50.1±6.0 38.4/61.0	31.0±1.7 27.9/36.6	110.5±12.7 95.5/123.0	
平均体重±標準偏差 最小/最大 (g)	1032±252 646/1534	344±40 279/469	1603±662 929/3074	824±349 318/1726	289±40 223/419	2565±538 1874/3246	
供試部位	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	
灰分 (%)	1.21	1.35	1.83	1.22	1.34	1.90	
分析供試量 (g 灰)	73.74	66.32	74.93	56.37	56.81	56.86	
測定年月日	令和 3 年 9 月 9 日	令和 3 年 7 月 6 日	令和 3 年 9 月 9 日	令和 4 年 1 月 3 日	令和 3 年 12 月 6 日	令和 3 年 12 月 6 日	
放射能濃度*1 (Bq/kg-生鮮物)							
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	0.17 ±0.0080	0.12 ±0.0094	ND	0.15 ±0.0097	0.12 ±0.010	ND
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。					
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>40</sup> K	110±0.48	110±0.64	74±0.47	110±0.63	120±0.70	69±0.54
	<sup>208</sup> Tl	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>214</sup> Bi	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>228</sup> Ac	ND	ND	ND	ND	ND	ND

\*1 試料の放射能濃度は漁獲年月日（漁獲年月日が複数日の場合にはその最終日）に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 1-1-9 令和 3 年度に発電所海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域	石川海域						
試料	ニギス	ハタハタ	ホッコクアカエビ	ニギス	アカガレイ	ホッコクアカエビ	
漁獲年月日	令和 3 年 4 月 8 日	令和 3 年 4 月 8 日	令和 3 年 5 月 20 日	令和 3 年 10 月 28 日	令和 3 年 10 月 27 日	令和 3 年 10 月 24 日	
漁獲場所	西海港沖	金沢港沖	金沢港沖	金沢港沖	金沢港沖	金沢港沖	
漁法	底曳網	底曳網	底曳網	底曳網	底曳網	底曳網	
試料の個体数	236*2	467*2	1498*2	434*2	95	1307*2	
平均全長±標準偏差 最小/最大 (cm)	23.8±1.0*3 20.4/26.5*3	17.7±1.3*3 14.8/21.2*3	15.4±1.0*3 13.4/17.7*3	20.1±1.5*3 14.3/23.1*3	28.0±1.1 25.7/30.5	15.3±1.0*3 10.8/18.0*3	
平均体重±標準偏差 最小/最大 (g)	82±12*3 49/138*3	41±10*3 23/66*3	14±3*3 9/21*3	46±10*3 19/79*3	207±25 153/267	15±3*3 5/22*3	
供試部位	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	
灰分 (%)	1.39	1.29	1.58	1.48	1.14	1.50	
分析供試量 (g 灰)	70.99	58.20	72.52	58.90	51.41	66.92	
測定年月日	令和 3 年 7 月 1 日	令和 3 年 8 月 13 日	令和 3 年 9 月 10 日	令和 3 年 11 月 24 日	令和 3 年 12 月 6 日	令和 3 年 11 月 25 日	
放射能濃度*1 (Bq/kg-生鮮物)							
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	0.13 ±0.0085	0.073 ±0.0083	0.039 ±0.0075	0.16 ±0.011	0.097 ±0.0090	0.032 ±0.0085
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。					
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>40</sup> K	110±0.60	100±0.61	86±0.56	120±0.71	100±0.58	85±0.57
	<sup>208</sup> Tl	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>214</sup> Bi	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>228</sup> Ac	ND	ND	ND	ND	ND	ND

\*1 試料の放射能濃度は漁獲年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

\*2 任意の 100 個体から得られた平均体重で試料重量を除いて求めた個体数である。

\*3 任意の 100 個体から得られた値である。

資料 1-1-10 令和 3 年度に発電所海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域	福井第一海域						
試料	ハタハタ	アカガレイ	スルメイカ	ムシガレイ*2	アカガレイ	キダイ*3	
漁獲年月日	令和 3 年 4 月 12 日	令和 3 年 4 月 12 日	令和 3 年 5 月 10 日	令和 3 年 10 月 4 日	令和 3 年 10 月 4 日	令和 3 年 10 月 4 日	
漁獲場所	越前岬沖	越前岬沖	若狭湾	越前岬沖	越前岬沖	越前岬沖	
漁法	底曳網	底曳網	釣り	底曳網	底曳網	底曳網	
試料の個体数	512*4	71	230	113	87	174	
平均全長±標準偏差 最小/最大 (cm)	17.2±1.5*5 12.1/20.3*5	31.2±1.1 28.5/34.4	15.1±1.3*6 12.3/18.0*6	26.9±1.2 24.3/30.3	28.7±1.1 26.4/32.4	18.0±0.9 15.6/20.6	
平均体重±標準偏差 最小/最大 (g)	39±11*5 13/68*5	290±29 208/360	75±17 42/134	175±27 125/249	232±29 157/302	119±16 78/178	
供試部位	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	
灰分 (%)	1.28	1.16	2.02	1.33	1.16	1.46	
分析供試量 (g 灰)	68.98	74.91	67.28	55.02	57.32	58.77	
測定年月日	令和 3 年 7 月 29 日	令和 3 年 6 月 15 日	令和 3 年 8 月 5 日	令和 3 年 11 月 8 日	令和 3 年 11 月 8 日	令和 3 年 11 月 8 日	
放射能濃度*1 (Bq/kg-生鮮物)							
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	0.071 ±0.0077	0.093 ±0.0078	0.040 ±0.011	0.11 ±0.011	0.076 ±0.0070	0.091 ±0.011
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。					
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>40</sup> K	97±0.54	110±0.53	130±0.82	120±0.69	96±0.49	130±0.76
	<sup>208</sup> Tl	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>214</sup> Bi	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>228</sup> Ac	ND	ND	ND	ND	ND	ND

\*1 試料の放射能濃度は漁獲年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

\*2 漁獲量の減少によりヒラメをムシガレイに変更した。

\*3 漁獲量の減少によりスルメイカをキダイに変更した。

\*4 任意の 100 個体から得られた平均体重で試料重量を除いて求めた個体数である。

\*5 任意の 100 個体から得られた値である。

\*6 外套長の値である。

資料 1-1-11 令和 3 年度に発電所海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		福井第二海域					
試料	アカガレイ	スズキ	マアナゴ	アカガレイ	マダイ	マアナゴ	
漁獲年月日	令和 3 年 4 月 16 日	令和 3 年 4 月 28 日	令和 3 年 4 月 28 日	令和 3 年 10 月 26 日	令和 3 年 10 月 28 日	令和 3 年 10 月 28 日	
漁獲場所	若狭湾沖	若狭湾沖	若狭湾沖	越前沖	若狭湾沿岸	若狭湾沿岸	
漁法	底曳網	底曳網	底曳網	底曳網	底曳網	底曳網	
試料の個体数	34	13	37	28	21	73	
平均全長±標準偏差 最小/最大 (cm)	39.6±1.4 37.4/43.5	55.7±6.9 44.3/65.2	67.1±7.6 53.2/83.1	41.0±3.1 34.5/47.7	41.5±4.9 36.2/52.7	56.5±4.1 46.4/67.8	
平均体重±標準偏差 最小/最大 (g)	602±64 504/823	1542±547 761/2335	530±222 266/1095	737±173 431/1245	990±342 628/1861	272±63 146/444	
供試部位	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	
灰分 (%)	1.13	1.20	1.14	1.09	1.44	1.09	
分析供試量 (g 灰)	67.61	75.15	70.75	59.28	55.08	54.48	
測定年月日	令和 3 年 9 月 3 日	令和 3 年 8 月 27 日	令和 3 年 8 月 27 日	令和 3 年 12 月 14 日	令和 3 年 12 月 14 日	令和 3 年 12 月 16 日	
放射能濃度*1 (Bq/kg-生鮮物)							
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	0.11 ±0.0082	0.19 ±0.0095	0.092 ±0.0077	0.12 ±0.0076	0.11 ±0.011	0.079 ±0.0080
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。					
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>40</sup> K	100±0.55	120±0.59	99±0.53	98±0.48	140±0.77	93±0.55
	<sup>208</sup> Tl	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>214</sup> Bi	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>228</sup> Ac	ND	ND	ND	ND	ND	ND

\*1 試料の放射能濃度は漁獲年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 1-1-12 令和 3 年度に発電所海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		島根海域					
試料	マダイ	ヒラメ	ムシガレイ	マダイ	マトウダイ*2	ホウボウ*3	
漁獲年月日	令和 3 年 4 月 14 日	令和 3 年 4 月 23 日～ 5 月 31 日	令和 3 年 4 月 26 日	令和 3 年 10 月 11 日	令和 3 年 11 月 2 日	令和 3 年 11 月 2 日	
漁獲場所	島根半島沖	恵曇沖～ 島根半島沖	島根半島沖	島根半島沖	島根半島沖	島根半島沖	
漁法	底曳網	ヒラメ網 ・底曳網	底曳網	底曳網	底曳網	底曳網	
試料の個体数	44	21	86	42	29	68	
平均全長±標準偏差 最小/最大 (cm)	31.7±2.1 28.5/37.1	46.3±3.8 38.8/51.5	28.7±1.6 25.3/35.2	33.0±1.8 28.9/36.2	34.4±1.6 31.7/36.8	31.2±1.9 27.2/34.7	
平均体重±標準偏差 最小/最大 (g)	461±86 328/692	987±204 675/1461	229±38 175/413	496±82 333/687	686±78 539/845	295±57 181/484	
供試部位	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	
灰分 (%)	1.42	1.49	1.42	1.45	1.37	1.44	
分析供試量 (g 灰)	79.10	68.45	66.47	55.28	55.28	54.97	
測定年月日	令和 3 年 9 月 15 日	令和 3 年 7 月 28 日	令和 3 年 8 月 3 日	令和 3 年 12 月 14 日	令和 3 年 12 月 15 日	令和 3 年 12 月 15 日	
放射能濃度*1 (Bq/kg-生鮮物)							
人工 放射 性核 種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	0.094 ±0.0076	0.15 ±0.011	0.085 ±0.0094	0.088 ±0.011	0.12 ±0.0094	0.12 ±0.012
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。					
自然 放射 性核 種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>40</sup> K	140±0.55	150±0.72	130±0.67	140±0.80	130±0.63	140±0.81
	<sup>208</sup> Tl	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>214</sup> Bi	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>228</sup> Ac	ND	ND	ND	ND	ND	ND

\*1 試料の放射能濃度は漁獲年月日（漁獲年月日が複数日の場合にはその最終日）に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

\*2 漁獲量の減少によりヒラメをマトウダイに変更した。

\*3 漁獲量の減少によりムシガレイをホウボウに変更した。

資料 1-1-13 令和 3 年度に発電所海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域	愛媛海域						
試料	ハモ*2	ケンサキイカ*3	エビ類	カナガシラ類*4	コウイカ	シログチ	
漁獲年月日	令和 3 年 8 月 11 日	令和 3 年 7 月 1 日	令和 3 年 7 月 1 日	令和 3 年 12 月 14 日	令和 3 年 12 月 14 日	令和 3 年 12 月 22 日	
漁獲場所	伊方原発沖	伊方原発沖	伊方原発沖	伊方原発沖	伊方原発沖	伊方原発沖	
漁法	底引網	底引網	底引網	底引網	底引網	底引網	
試料の個体数	40	459*5	2749*5	238	75	639*5	
平均全長±標準偏差 最小/最大 (cm)	70.0±7.5 55.6/86.8	8.4±0.7*6*7 6.5/9.9*6*7	9.1±1.0*6 7.4/12.7*6	16.1±2.6 12.2/28.6	11.5±0.5*7 10.3/12.5*7	13.9±1.9*6 11.9/23.2*6	
平均体重±標準偏差 最小/最大 (g)	493±161 254/935	24±5*6 12/37*6	8±3*6 3/16*6	51±37 18/297	140±15 105/173	29±22*6 15/153*6	
供試部位	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	
灰分 (%)	1.56	2.35	2.17	1.61	2.44	1.38	
分析供試量 (g 灰)	58.78	65.32	56.94	54.17	54.99	49.97	
測定年月日	令和 3 年 9 月 22 日	令和 3 年 9 月 21 日	令和 3 年 9 月 16 日	令和 4 年 1 月 18 日	令和 4 年 1 月 19 日	令和 4 年 1 月 28 日	
放射能濃度*1 (Bq/kg-生鮮物)							
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	0.093 ±0.0087	0.055 ±0.012	0.042 ±0.011	0.089 ±0.0096	ND	0.077 ±0.0063
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。					
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>40</sup> K	120±0.63	110±0.81	100±0.82	120±0.67	100±0.73	110±0.44
	<sup>208</sup> Tl	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>214</sup> Bi	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>228</sup> Ac	ND	ND	ND	ND	ND	ND

\*1 試料の放射能濃度は漁獲年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

\*2 漁獲量の減少によりカナガシラをハモに変更した。

\*3 漁獲量の減少によりコウイカをケンサキイカに変更した。

\*4 漁獲量の減少によりカナガシラをカナガシラ類（カナガシラ、トゲカナガシラ、イゴダカホドリの混合試料）に変更した。

\*5 任意の 100 個体から得られた平均体重で試料重量を除いて求めた個体数である。

\*6 任意の 100 個体から得られた値である。

\*7 外套長の値である。

資料 1-1-14 令和 3 年度に発電所海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		佐賀海域					
試料	イサキ*2	マダイ*3	メジナ	イサキ*2	マダイ*3	メジナ	
漁獲年月日	令和 3 年 5 月 26 日	令和 3 年 5 月 15 日	令和 3 年 5 月 7 日	令和 3 年 11 月 26 日	令和 3 年 11 月 2 日	令和 3 年 11 月 19 日	
漁獲場所	玄海灘	玄海灘	玄海灘	玄海灘	玄海灘	玄海灘	
漁法	定置網	定置網	定置網	定置網	定置網	定置網	
試料の個体数	29	26	41	52	30	40	
平均全長±標準偏差 最小/最大 (cm)	35.6±1.5 33.1/39.7	35.4±1.8 32.4/39.6	29.0±1.7 25.7/32.8	32.4±1.1 30.2/34.6	35.7±1.1 32.9/38.2	30.1±1.2 27.3/32.0	
平均体重±標準偏差 最小/最大 (g)	669±74 552/905	735±77 601/903	468±59 345/618	400±38 332/488	664±59 570/777	506±73 363/664	
供試部位	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	
灰分 (%)	1.41	1.52	1.30	1.45	1.55	1.32	
分析供試量 (g 灰)	77.28	64.05	59.18	55.75	57.11	56.57	
測定年月日	令和 3 年 6 月 29 日	令和 3 年 9 月 21 日	令和 3 年 6 月 28 日	令和 3 年 12 月 27 日	令和 3 年 12 月 16 日	令和 3 年 12 月 16 日	
放射能濃度*1 (Bq/kg-生鮮物)							
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	0.10 ±0.0083	0.089 ±0.0088	0.067 ±0.0096	0.11 ±0.0096	0.11 ±0.011	0.082 ±0.0091
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。					
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>40</sup> K	130±0.56	140±0.65	120±0.68	140±0.67	150±0.80	130±0.70
	<sup>208</sup> Tl	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>214</sup> Bi	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>228</sup> Ac	ND	ND	ND	ND	ND	ND

\*1 試料の放射能濃度は漁獲年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

\*2 漁獲量の減少によりスズキをイサキに変更した。

\*3 漁獲量の減少によりカサゴをマダイに変更した。

資料 1-1-15 令和 3 年度に発電所海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		鹿児島海域					
試料		チダイ	カイワリ	アカエイ	ヘダイ*3	マアジ*4	アカエイ
漁獲年月日		令和 3 年 4 月 6 日～ 4 月 21 日	令和 3 年 4 月 1 日～ 4 月 22 日	令和 3 年 4 月 9 日～ 4 月 19 日	令和 3 年 11 月 4 日～ 11 月 15 日	令和 3 年 11 月 4 日～ 11 月 19 日	令和 3 年 10 月 10 日～ 11 月 5 日
漁獲場所		川内沖	川内沖	川内沖	川内沖	川内沖	川内市沖
漁法		吾智網・刺網	刺網	刺網・定置網	刺網	サビキ釣り・刺網	刺網
試料の個体数		115	111	9	29	282	11
平均全長±標準偏差 最小/最大 (cm)		21.6±1.3 17.2/24.8	21.3±3.1 15.4/33.3	36.1±2.0*2 33.0/39.0*2	33.3±5.4 18.7/42.8	19.0±3.8 12.7/33.3	31.8±4.4*2 21.3/34.8*2
平均体重±標準偏差 最小/最大 (g)		183±28 89/254	178±90 69/680	2228±355 1840/2794	687±298 110/1398	69±51 15/333	1758±591 489/2246
供試部位		肉部	肉部	肉部	肉部	肉部	肉部
灰分 (%)		1.58	1.46	2.63	1.60	1.69	2.51
分析供試量 (g 灰)		53.09	69.10	74.71	52.75	57.66	67.20
測定年月日		令和 3 年 6 月 16 日	令和 3 年 7 月 1 日	令和 3 年 9 月 21 日	令和 3 年 12 月 23 日	令和 3 年 12 月 22 日	令和 3 年 12 月 16 日
放射能濃度*1 (Bq/kg-生鮮物)							
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	0.084 ±0.012	0.15 ±0.0088	0.18 ±0.014	0.065 ±0.0098	0.10 ±0.011	0.17 ±0.015
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。					
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>40</sup> K	140±0.87	130±0.60	93±0.78	150±0.74	140±0.72	110±0.85
	<sup>208</sup> Tl	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>214</sup> Bi	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>228</sup> Ac	ND	ND	ND	ND	ND	ND

\*1 試料の放射能濃度は漁獲年月日（漁獲年月日が複数日の場合にはその最終日）に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

\*2 体盤長の値である。

\*3 漁獲量の減少によりチダイをヘダイに変更した。

\*4 漁獲量の減少によりカイワリをマアジに変更した。

資料 1-2-1 令和 3 年度に核燃海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
試料		ミズダコ	ミズダコ	ヒラメ	ヒラメ	
漁獲年月日		令和 3 年 4 月 9 日	令和 3 年 11 月 29 日	令和 3 年 4 月 23 日	令和 3 年 10 月 12 日 ～10 月 18 日	
漁獲場所		尻屋沖	尻屋崎沖	尻労沖	尻労沖	
漁法		タコカゴ	タコカゴ	底建網	釣り	
試料の個体数		3	3	26	50	
平均全長±標準偏差 最小/最大 (cm)		162.8±5.8 156.5/168.0	161.5±8.0 154.0/170.0	45.4±6.0 34.8/55.5	37.1±4.4 27.2/48.2	
平均体重±標準偏差 最小/最大 (g)		9188±22 9166/9211	9604±529 9082/10139	1134±480 449/2130	619±205 272/1234	
供試部位		肉部	肉部	肉部	肉部	
灰分 (%)		2.28	2.34	1.36	1.46	
分析供試量 (g 灰)	<sup>90</sup> Sr	45.64	46.83	27.25	29.30	
	γ核種	63.12	60.95	56.78	65.22	
	<sup>239+240</sup> Pu	20.00	20.03	13.60	14.61	
測定年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 9 月 22 日	令和 4 年 1 月 28 日	令和 3 年 7 月 8 日	令和 4 年 1 月 4 日	
	γ核種	令和 3 年 8 月 2 日	令和 3 年 12 月 28 日	令和 3 年 6 月 17 日	令和 3 年 11 月 10 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 9 月 15 日	令和 4 年 1 月 18 日	令和 3 年 9 月 10 日	令和 4 年 1 月 4 日	
放射能濃度*1 (Bq/kg-生鮮物)						
人工放射性核種	β	<sup>90</sup> Sr	ND	ND	ND	ND
	γ	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
		<sup>137</sup> Cs	ND	ND	0.13±0.011	0.12±0.011
		その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	ND	ND	ND	ND
自然放射性核種	γ	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND
		<sup>40</sup> K	79±0.65	70±0.59	130±0.75	140±0.73
		<sup>208</sup> Tl	ND	ND	ND	ND
		<sup>214</sup> Bi	ND	ND	ND	ND
		<sup>228</sup> Ac	ND	ND	ND	ND

\*1 試料の放射性核種濃度は漁獲年月日（漁獲年月日が複数日の場合にはその最終日）に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 1-2-2 令和 3 年度に核燃海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
試料		スルメイカ	スルメイカ	サクラマス	シロザケ（雌）	
漁獲年月日		令和 3 年 8 月 30 日	令和 3 年 10 月 18 日	令和 3 年 5 月 5 日 ～5 月 7 日	令和 3 年 11 月 12 日	
漁獲場所		泊前沖	泊沖	六ヶ所村 出戸前沖	六ヶ所村 出戸前沖	
漁法		一本釣	一本釣	定置網	定置網	
試料の個体数		86	101	18	10	
平均全長±標準偏差 最小／最大 (cm)		22.6±0.8*2 21.4/25.1*2	23.1±0.9*2 20.9/25.0*2	49.8±3.0 46.0/57.2	70.5±3.5 65.1/77.0	
平均体重±標準偏差 最小／最大 (g)		252±26 211/343	250±27 191/332	1730±386 1307/2607	3592±707 2863/4830	
供試部位		肉部	肉部	肉部	肉部	
灰分 (%)		1.67	1.77	1.23	1.22	
分析供試量 (g 灰)	<sup>90</sup> Sr	33.47	35.44	24.69	24.43	
	γ核種	63.58	76.19	89.07	61.48	
	<sup>239+240</sup> Pu	16.75	17.70	12.31	12.22	
測定年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 10 月 9 日	令和 3 年 12 月 4 日	令和 3 年 8 月 5 日	令和 4 年 1 月 28 日	
	γ核種	令和 3 年 9 月 21 日	令和 3 年 11 月 9 日	令和 3 年 7 月 29 日	令和 3 年 12 月 23 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 9 月 29 日	令和 4 年 1 月 4 日	令和 3 年 8 月 19 日	令和 4 年 1 月 4 日	
放射能濃度*1 (Bq/kg-生鮮物)						
人工放射性核種	β	<sup>90</sup> Sr	ND	ND	ND	ND
	γ	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
		<sup>137</sup> Cs	0.034±0.0094	ND	0.18±0.0072	0.11±0.0082
		その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	0.00044 ±0.00012	0.00062 ±0.00016	ND	ND
自然放射性核種	γ	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND
		<sup>40</sup> K	110±0.66	110±0.69	120±0.46	110±0.54
		<sup>208</sup> Tl	ND	ND	ND	ND
		<sup>214</sup> Bi	ND	ND	ND	ND
		<sup>228</sup> Ac	ND	ND	ND	ND

\*1 試料の放射性核種濃度は漁獲年月日（漁獲年月日が複数日の場合にはその最終日）に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

\*2 外套長の値である。

資料 1-2-3 令和 3 年度に核燃海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
試料		キアンコウ	シロザケ (雄)	ヒラメ*2	マサバ*3	
漁獲年月日		令和 3 年 4 月 29 日	令和 3 年 11 月 12 日	令和 3 年 7 月 1 日	令和 3 年 12 月 28 日	
漁獲場所		六ヶ所村 出戸前面海域	六ヶ所村 出戸前沖	三沢沖	三沢市沖	
漁法		定置網	定置網	定置網	定置網	
試料の個体数		6	9	46	117	
平均全長±標準偏差 最小/最大 (cm)		65.9±6.1 59.2/75.2	70.6±4.3 65.3/77.7	37.8±1.4 34.6/41.1	29.6±4.6 21.1/41.3	
平均体重±標準偏差 最小/最大 (g)		5688±1962 3379/8810	3468±541 2648/4397	577±64 462/740	228±139 62/684	
供試部位		肉部	肉部	肉部	肉部	
灰分 (%)		1.18	1.21	1.39	1.54	
分析供試量 (g 灰)	<sup>90</sup> Sr	23.63	24.22	27.83	30.82	
	γ核種	72.89	57.89	58.76	60.51	
	<sup>239+240</sup> Pu	11.80	12.11	13.92	15.55	
測定年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 9 月 22 日	令和 4 年 1 月 28 日	令和 3 年 9 月 22 日	令和 4 年 2 月 9 日	
	γ核種	令和 3 年 8 月 5 日	令和 3 年 12 月 7 日	令和 3 年 8 月 6 日	令和 4 年 1 月 20 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 9 月 15 日	令和 4 年 1 月 4 日	令和 3 年 9 月 15 日	令和 4 年 2 月 8 日	
放射能濃度*1 (Bq/kg-生鮮物)						
人工放射性核種	β	<sup>90</sup> Sr	ND	ND	ND	ND
	γ	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
		<sup>137</sup> Cs	0.078±0.0056	0.089±0.0087	0.16±0.011	0.15±0.0096
		その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	ND	ND	ND	ND
自然放射性核種	γ	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND
		<sup>40</sup> K	84±0.41	120±0.63	140±0.71	140±0.64
		<sup>208</sup> Tl	ND	ND	ND	ND
		<sup>214</sup> Bi	ND	ND	ND	ND
		<sup>228</sup> Ac	ND	ND	ND	ND

\*1 試料の放射性核種濃度は漁獲年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

\*2 漁獲量の減少によりマコガレイをヒラメに変更した。

\*3 漁悪霊の減少によりマコガレイをマサバに変更した。

資料 1-2-4 令和 3 年度に核燃海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
試料		マダラ	マダラ	スケトウダラ	スケトウダラ	
漁獲年月日		令和 3 年 4 月 26 日	令和 3 年 10 月 28 日	令和 3 年 4 月 30 日	令和 3 年 10 月 28 日	
漁獲場所		八戸沖	八戸沖	八戸沖	八戸沖	
漁法		底曳網	釣り	底曳網	釣り	
試料の個体数		25	16	134	72	
平均全長±標準偏差 最小/最大 (cm)		52.2±2.3 46.4/55.9	59.7±1.4 57.2/62.5	37.6±2.5 31.4/42.5	43.9±3.6 36.3/50.7	
平均体重±標準偏差 最小/最大 (g)		1563±238 1097/2163	2448±179 1930/2715	328±54 233/502	554±121 343/843	
供試部位		肉部	肉部	肉部	肉部	
灰分 (%)		1.21	1.19	1.20	1.19	
分析供試量 (g 灰)	<sup>90</sup> Sr	24.25	23.83	24.07	23.85	
	γ核種	62.22	51.85	77.32	52.69	
	<sup>239+240</sup> Pu	12.10	11.93	12.03	11.91	
測定年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 7 月 8 日	令和 4 年 1 月 28 日	令和 3 年 7 月 8 日	令和 4 年 1 月 28 日	
	γ核種	令和 3 年 6 月 17 日	令和 3 年 12 月 7 日	令和 3 年 6 月 16 日	令和 3 年 12 月 7 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 9 月 10 日	令和 4 年 1 月 4 日	令和 3 年 6 月 29 日	令和 4 年 1 月 4 日	
放射能濃度*1 (Bq/kg-生鮮物)						
人工放射性核種	β	<sup>90</sup> Sr	ND	ND	ND	ND
	γ	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
		<sup>137</sup> Cs	0.15±0.010	0.21±0.011	0.10±0.0084	0.14±0.010
		その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
α	<sup>239+240</sup> Pu	ND	ND	ND	ND	
自然放射性核種	γ	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND
		<sup>40</sup> K	120±0.62	110±0.61	120±0.56	110±0.65
		<sup>208</sup> Tl	ND	ND	ND	ND
		<sup>214</sup> Bi	ND	ND	ND	ND
		<sup>228</sup> Ac	ND	ND	ND	ND

\*1 試料の放射性核種濃度は漁獲年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 1-2-5 令和 3 年度に核燃海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
試料		キアンコウ	キアンコウ	ホッケ*2	カタクチイワシ	
漁獲年月日		令和 3 年 4 月 26 日	令和 3 年 11 月 2 日	令和 3 年 4 月 30 日	令和 3 年 10 月 7 日	
漁獲場所		八戸沖	八戸沖	八戸沖	八戸沖	
漁法		底曳網	底曳網	底曳網	まき網	
試料の個体数		38	18	84	2140*3	
平均全長±標準偏差 最小/最大 (cm)		45.6±9.3 31.0/66.5	55.8±3.5 51.0/62.6	33.8±1.5 29.9/37.8	10.4±1.8*4 6.6/13.5*4	
平均体重±標準偏差 最小/最大 (g)		1520±1024 490/4939	2704±408 1879/3412	409±54 284/530	8±4*4 2/17*4	
供試部位		肉部	肉部	肉部	全体	
灰分 (%)		1.14	1.21	1.32	3.33	
分析供試量 (g 灰)	<sup>90</sup> Sr	22.85	24.22	26.43	66.69	
	γ核種	62.08	51.87	67.39	83.40	
	<sup>239+240</sup> Pu	11.42	12.10	13.21	20.03	
測定年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 7 月 8 日	令和 4 年 1 月 28 日	令和 3 年 7 月 8 日	令和 3 年 12 月 3 日	
	γ核種	令和 3 年 6 月 17 日	令和 3 年 12 月 22 日	令和 3 年 6 月 8 日	令和 3 年 11 月 15 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 9 月 10 日	令和 4 年 1 月 4 日	令和 3 年 9 月 10 日	令和 3 年 12 月 21 日	
放射能濃度*1 (Bq/kg-生鮮物)						
人工放射性核種	β	<sup>90</sup> Sr	ND	ND	ND	ND
	γ	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
		<sup>137</sup> Cs	0.055±0.0069	0.060±0.0082	0.13±0.0096	0.061±0.010
		その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	ND	ND	ND	0.00094 ±0.00026
自然放射性核種	γ	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	0.75±0.13
		<sup>40</sup> K	76±0.50	91±0.59	120±0.63	120±0.65
		<sup>208</sup> Tl	ND	ND	ND	0.033±0.0088
		<sup>214</sup> Bi	ND	ND	ND	0.26±0.024
		<sup>228</sup> Ac	ND	ND	ND	0.32±0.047

\*1 試料の放射性核種濃度は漁獲年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

\*2 漁獲量の減少によりカタクチイワシをホッケに変更した。

\*3 任意の 100 個体から得られた平均体重で試料重量を除いて求めた個体数である。

\*4 任意の 100 個体から得られた値である。

資料 1-2-6 令和 3 年度に核燃海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
試料		ウスメバル	シロザケ (雄)	マダラ	マダラ	
漁獲年月日		令和 3 年 5 月 25 日 ~6 月 3 日	令和 3 年 11 月 12 日	令和 3 年 5 月 14 日	令和 3 年 10 月 16 日	
漁獲場所		北三陸沖	三陸久慈沖	三陸北部沖	三陸北部沖	
漁法		一本釣	定置網	底曳網	鱧延縄	
試料の個体数		103	9	41	50	
平均全長±標準偏差 最小/最大 (cm)		27.2±1.2 24.4/30.4	71.3±1.6 68.1/73.0	45.8±2.3 41.7/53.6	41.8±2.8 33.0/47.3	
平均体重±標準偏差 最小/最大 (g)		318±44 242/467	3276±379 2881/4094	1154±176 870/1692	712±126 376/941	
供試部位		肉部	肉部	肉部	肉部	
灰分 (%)		1.23	1.29	1.31	1.23	
分析供試量 (g 灰)	<sup>90</sup> Sr	24.64	25.87	26.27	24.64	
	γ核種	56.02	58.68	70.48	72.36	
	<sup>239+240</sup> Pu	12.30	12.92	13.14	12.30	
測定年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 9 月 17 日	令和 4 年 1 月 28 日	令和 3 年 8 月 5 日	令和 3 年 12 月 3 日	
	γ核種	令和 3 年 8 月 4 日	令和 3 年 12 月 23 日	令和 3 年 6 月 24 日	令和 3 年 11 月 9 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 9 月 15 日	令和 4 年 1 月 4 日	令和 3 年 8 月 19 日	令和 4 年 1 月 4 日	
放射能濃度*1 (Bq/kg-生鮮物)						
人工放射性核種	β	<sup>90</sup> Sr	ND	ND	ND	ND
	γ	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
		<sup>137</sup> Cs	0.16±0.0099	0.092±0.0096	0.18±0.0096	0.14±0.0077
		その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
α	<sup>239+240</sup> Pu	ND	ND	ND	ND	
自然放射性核種	γ	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND
		<sup>40</sup> K	110±0.61	120±0.66	130±0.64	110±0.49
		<sup>208</sup> Tl	ND	ND	ND	ND
		<sup>214</sup> Bi	ND	ND	ND	ND
		<sup>228</sup> Ac	ND	ND	ND	ND

\*1 試料の放射性核種濃度は漁獲年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 1-2-7 令和 3 年度に核燃海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
試料		ヤリイカ*2	スルメイカ	ブリ*3	サバ類*4	
漁獲年月日		令和 3 年 5 月 14 日	令和 3 年 10 月 14 日	令和 3 年 8 月 28 日	令和 3 年 12 月 17 日	
漁獲場所		山田湾沖	山田湾沖	釜石沖	仲網漁場	
漁法		定置網	定置網	定置網	定置網	
試料の個体数		93	137	18	50	
平均全長±標準偏差 最小/最大 (cm)		29.0±1.7*5 24.9/32.5*5	18.5±1.1*5 16.5/22.0*5	54.6±2.0 50.2/58.4	40.0±3.2 34.5/47.1	
平均体重±標準偏差 最小/最大 (g)		208±28 155/267	132±24 92/221	1799±172 1458/2145	612±114 447/915	
供試部位		肉部	肉部	肉部	肉部	
灰分 (%)		1.96	2.06	1.37	1.32	
分析供試量 (g 灰)	<sup>90</sup> Sr	39.28	41.27	27.42	26.45	
	γ核種	69.73	63.25	69.00	62.86	
	<sup>239+240</sup> Pu	19.61	20.01	13.73	13.21	
測定年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 8 月 4 日	令和 3 年 12 月 17 日	令和 3 年 10 月 8 日	令和 4 年 2 月 9 日	
	γ核種	令和 3 年 6 月 24 日	令和 3 年 11 月 11 日	令和 3 年 9 月 21 日	令和 4 年 1 月 20 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 8 月 19 日	令和 4 年 1 月 4 日	令和 3 年 10 月 28 日	令和 4 年 1 月 21 日	
放射能濃度*1 (Bq/kg-生鮮物)						
人工放射性核種	β	<sup>90</sup> Sr	ND	ND	ND	ND
	γ	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
		<sup>137</sup> Cs	0.046±0.0090	ND	0.24±0.011	0.12±0.0086
		その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	ND	ND	ND	ND
自然放射性核種	γ	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND
		<sup>40</sup> K	110±0.64	120±0.83	130±0.65	120±0.57
		<sup>208</sup> Tl	ND	ND	ND	ND
		<sup>214</sup> Bi	ND	ND	ND	0.047±0.015
		<sup>228</sup> Ac	ND	ND	ND	ND

\*1 試料の放射性核種濃度は漁獲年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

\*2 漁獲量の減少によりスルメイカをヤリイカに変更した。

\*3 漁獲量の減少によりイカナゴをブリに変更した。

\*4 漁獲量の減少によりシロザケ（雌）をサバ類（マサバ、ゴマサバの混合試料）に変更した。

\*5 外套長の値である。

資料 1-2-8 令和 3 年度に核燃海域で採取した海産生物試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域		
試料		アイナメ	サンマ	
漁獲年月日		令和 3 年 5 月 7 日	令和 3 年 10 月 11 日	
漁獲場所		大船渡沖	大船渡東沖	
漁法		刺網	棒受網	
試料の個体数		20	192	
平均全長±標準偏差 最小/最大 (cm)		48.0±2.4 43.7/54.0	32.0±0.8 30.2/34.6	
平均体重±標準偏差 最小/最大 (g)		1483±220 1215/1959	141±4 131/151	
供試部位		肉部	肉部	
灰分 (%)		1.24	1.21	
分析供試量 (g 灰)	<sup>90</sup> Sr	24.82	24.21	
	γ核種	61.95	58.91	
	<sup>239+240</sup> Pu	12.42	12.10	
測定年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 9 月 17 日	令和 4 年 1 月 28 日	
	γ核種	令和 3 年 8 月 3 日	令和 3 年 12 月 7 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 8 月 19 日	令和 4 年 1 月 4 日	
放射能濃度*1 (Bq/kg-生鮮物)				
人工放射性核種	β	<sup>90</sup> Sr	ND	ND
	γ	<sup>134</sup> Cs	ND	ND
		<sup>137</sup> Cs	0.17±0.0097	0.052±0.0065
		その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。	
	α	<sup>239+240</sup> Pu	ND	ND
自然放射性核種	γ	<sup>7</sup> Be	ND	ND
		<sup>40</sup> K	120±0.61	83±0.46
		<sup>208</sup> Tl	ND	ND
		<sup>214</sup> Bi	ND	ND
		<sup>228</sup> Ac	ND	ND

\*1 試料の放射性核種濃度は漁獲年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 2-1-1 令和 3 年度に発電所海域で採取した海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		北海道海域			
測点		1	2	3	4
採取年月日		令和 3 年 6 月 22 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和 3 年 6 月 22 日
採取位置	N	43° 9.9'	43° 4.7'	43° 2.2'	42° 59.0'
	E	140° 16.0'	140° 15.7'	140° 18.0'	140° 13.0'
水深 (m)		342	415	483	380
採取時泥色		オリーブ黒	灰オリーブ	オリーブ黒	オリーブ黒
採取時泥質		中細砂混じり泥	中細砂混じり泥	中細砂混じり泥	泥混じり中細砂
分析供試量 (g-乾燥土)		95.3	73.7	72.23	132.08
測定年月日		令和 3 年 8 月 2 日	令和 3 年 8 月 4 日	令和 3 年 8 月 9 日	令和 3 年 8 月 3 日
		放射能濃度*1 (Bq/kg-乾燥土)			
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	1.7±0.19	3.3±0.30	3.2±0.32	1.0±0.14
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND
	<sup>40</sup> K	480±6.1	430±8.8	460±8.9	410±4.8
	<sup>208</sup> Tl	9.8±0.29	14±0.44	17±0.48	7.6±0.22
	<sup>214</sup> Bi	21±0.62	30±0.88	30±0.89	15±0.46
	<sup>228</sup> Ac	21±0.85	24±1.3	23±1.3	15±0.65

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>208</sup>Tl、<sup>214</sup>Bi 及び <sup>228</sup>Ac は計測終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 2-1-2 令和 3 年度に発電所海域で採取した海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		青森海域			
測点		1	2	3	4
採取年月日		令和 3 年 6 月 17 日	令和 3 年 6 月 18 日	令和 3 年 6 月 23 日	令和 3 年 6 月 18 日
採取位置	N	41° 12.7'	41° 12.5'	41° 7.8'	41° 7.6'
	E	141° 35.2'	141° 40.2'	141° 30.3'	141° 40.0'
水深 (m)		590	659	482	602
採取時泥色		灰オリーブ	灰オリーブ	オリーブ黒	オリーブ黒
採取時泥質		中細砂混じり泥	中細砂混じり泥	中細砂	中細砂混じり泥
分析供試量 (g-乾燥土)		84.01	77.00	138.41	75.34
測定年月日		令和 3 年 8 月 1 日	令和 3 年 8 月 1 日	令和 3 年 7 月 31 日	令和 3 年 8 月 3 日
		放射能濃度*1 (Bq/kg-乾燥土)			
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	2.5±0.21	2.7±0.28	0.48±0.12	2.9±0.27
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	6.5±1.8	17±3.3
	<sup>40</sup> K	460±6.4	440±8.7	300±4.1	460±8.8
	<sup>208</sup> Tl	10±0.33	12±0.40	3.9±0.17	12±0.41
	<sup>214</sup> Bi	20±0.67	23±0.80	9.1±0.39	21±0.75
	<sup>228</sup> Ac	14±0.83	17±1.2	8.5±0.51	13±1.1

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>208</sup>Tl、<sup>214</sup>Bi 及び <sup>228</sup>Ac は計測終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 2-1-3 令和 3 年度に発電所海域で採取した海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		宮城海域			
測点		1	2	3	4
採取年月日		令和 3 年 5 月 21 日	令和 3 年 5 月 21 日	令和 3 年 5 月 21 日	令和 3 年 5 月 21 日
採取位置	N	38° 29.6′	38° 25.4′	38° 19.9′	38° 15.3′
	E	141° 39.6′	141° 45.1′	141° 39.8′	141° 44.7′
水深 (m)		143	165	142	158
採取時泥色		オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒
採取時泥質		泥混じり中細砂	泥混じり中細砂	泥混じり中細砂	泥混じり中細砂
分析供試量 (g-乾燥土)		115.40	120.35	116.04	128.26
測定年月日		令和 3 年 6 月 27 日	令和 3 年 6 月 27 日	令和 3 年 6 月 28 日	令和 3 年 6 月 28 日
		放射能濃度*1 (Bq/kg-乾燥土)			
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	4.9±0.20	2.2±0.18	3.6±0.21	4.1±0.18
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	5.7±1.9	ND	ND
	<sup>40</sup> K	360±4.9	360±6.3	360±6.4	330±4.4
	<sup>208</sup> Tl	5.7±0.22	5.5±0.24	6.0±0.26	4.3±0.19
	<sup>214</sup> Bi	10±0.46	11±0.47	12±0.50	8.1±0.41
	<sup>228</sup> Ac	14±0.65	12±0.77	14±0.83	8.7±0.53

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>208</sup>Tl、<sup>214</sup>Bi 及び <sup>228</sup>Ac は計測終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 2-1-4 令和 3 年度に発電所海域で採取した海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		福島第一海域			
測点		1	2	3	4
採取年月日		令和 3 年 5 月 22 日	令和 3 年 5 月 23 日	令和 3 年 5 月 22 日	令和 3 年 5 月 23 日
採取位置	N	37° 40.0′	37° 35.1′	37° 29.9′	37° 23.0′
	E	141° 20.6′	141° 24.6′	141° 19.7′	141° 19.9′
水深 (m)		108	135	122	133
採取時泥色		オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒
採取時泥質		泥混じり中細砂	泥混じり中細砂	泥混じり中細砂	泥混じり中細砂
分析供試量 (g-乾燥土)		115.59	111.42	115.78	105.56
測定年月日		令和 3 年 6 月 20 日	令和 3 年 6 月 20 日	令和 3 年 6 月 23 日	令和 3 年 6 月 21 日
		放射能濃度*1 (Bq/kg-乾燥土)			
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	0.65±0.17	ND	1.1±0.18	0.99±0.18
	<sup>137</sup> Cs	16±0.36	14±0.37	31±0.48	26±0.39
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND
	<sup>40</sup> K	400±6.6	400±6.8	360±6.4	420±5.5
	<sup>208</sup> Tl	4.9±0.24	4.6±0.24	5.2±0.24	5.8±0.24
	<sup>214</sup> Bi	8.1±0.45	8.6±0.49	9.8±0.46	12±0.51
	<sup>228</sup> Ac	8.4±0.75	10±0.80	11±0.76	12±0.65

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>208</sup>Tl、<sup>214</sup>Bi 及び <sup>228</sup>Ac は計測終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 2-1-5 令和 3 年度に発電所海域で採取した海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		福島第二海域			
測点		1	2	3	4
採取年月日		令和 3 年 5 月 24 日	令和 3 年 5 月 24 日	令和 3 年 5 月 25 日	令和 3 年 5 月 25 日
採取位置	N	37° 16.1'	37° 12.0'	37° 6.0'	37° 0.2'
	E	141° 25.2'	141° 20.2'	141° 19.0'	141° 19.6'
水深 (m)		157	145	150	165
採取時泥色		オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒
採取時泥質		泥混じり中細砂	泥混じり中細砂	泥混じり中細砂	泥混じり中細砂
分析供試量 (g-乾燥土)		118.35	105.80	122.27	126.58
測定年月日		令和 3 年 6 月 24 日	令和 3 年 6 月 24 日	令和 3 年 6 月 26 日	令和 3 年 6 月 27 日
		放射能濃度*1 (Bq/kg-乾燥土)			
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	0.61±0.18	0.57±0.15	ND
	<sup>137</sup> Cs	9.9±0.29	12±0.35	9.1±0.24	10±0.28
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND
	<sup>40</sup> K	410±6.7	430±7.3	390±4.9	360±6.0
	<sup>208</sup> Tl	4.5±0.23	5.4±0.27	4.7±0.21	3.3±0.20
	<sup>214</sup> Bi	11±0.47	11±0.52	11±0.47	6.9±0.40
	<sup>228</sup> Ac	11±0.77	11±0.86	11±0.60	9.1±0.70

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>208</sup>Tl、<sup>214</sup>Bi 及び <sup>228</sup>Ac は計測終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 2-1-6 令和 3 年度に発電所海域で採取した海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		茨城海域			
測点		1	2	3	4
採取年月日		令和 3 年 5 月 20 日	令和 3 年 5 月 20 日	令和 3 年 5 月 19 日	令和 3 年 5 月 19 日
採取位置	N	36° 35.9'	36° 24.8'	36° 13.9'	36° 5.1'
	E	140° 52.1'	140° 51.0'	140° 47.9'	140° 52.4'
水深 (m)		100	120	91	129
採取時泥色		オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒
採取時泥質		泥混じり中細砂	中細砂	中細砂	泥混じり中細砂
分析供試量 (g-乾燥土)		106.09	115.66	118.68	101.66
測定年月日		令和 3 年 6 月 19 日	令和 3 年 6 月 19 日	令和 3 年 6 月 19 日	令和 3 年 6 月 20 日
		放射能濃度*1 (Bq/kg-乾燥土)			
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	0.81±0.18	0.64±0.17	ND	0.94±0.18
	<sup>137</sup> Cs	33±0.52	17±0.31	13±0.34	17±0.33
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND
	<sup>40</sup> K	510±7.8	420±5.2	460±7.1	490±6.0
	<sup>208</sup> Tl	6.0±0.27	4.6±0.22	4.6±0.23	5.9±0.25
	<sup>214</sup> Bi	10±0.50	9.7±0.48	9.6±0.48	13±0.55
	<sup>228</sup> Ac	15±0.89	12±0.64	12±0.82	12±0.71

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>208</sup>Tl、<sup>214</sup>Bi 及び <sup>228</sup>Ac は計測終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 2-1-7 令和 3 年度に発電所海域で採取した海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		静岡海域			
測点		1	2	3	4
採取年月日		令和 3 年 6 月 9 日	令和 3 年 6 月 9 日	令和 3 年 6 月 9 日	令和 3 年 6 月 9 日
採取位置	N	34° 34.0′	34° 31.0′	34° 30.0′	34° 31.0′
	E	138° 18.0′	138° 15.0′	138° 5.0′	137° 59.0′
水深 (m)		58	74	348	557
採取時泥色		オリーブ黒	オリーブ黒	灰オリーブ	オリーブ黒
採取時泥質		泥混じり中細砂	泥混じり中細砂	泥	泥
分析供試量 (g-乾燥土)		136.19	129.52	101.98	103.12
測定年月日		令和 3 年 7 月 12 日	令和 3 年 7 月 12 日	令和 3 年 7 月 15 日	令和 3 年 7 月 15 日
		放射能濃度*1 (Bq/kg-乾燥土)			
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	ND	0.68±0.14	2.3±0.22	1.7±0.23
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND
	<sup>40</sup> K	470±6.7	500±5.4	700±9.3	720±9.5
	<sup>208</sup> Tl	8.2±0.27	9.2±0.24	12±0.36	13±0.37
	<sup>214</sup> Bi	16±0.50	15±0.48	23±0.68	24±0.72
	<sup>228</sup> Ac	23±0.96	25±0.78	32±1.2	32±1.3

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>208</sup>Tl、<sup>214</sup>Bi 及び <sup>228</sup>Ac は計測終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 2-1-8 令和 3 年度に発電所海域で採取した海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		新潟海域			
測点		1	2	3	4
採取年月日		令和 3 年 6 月 16 日	令和 3 年 6 月 16 日	令和 3 年 6 月 16 日	令和 3 年 6 月 15 日
採取位置	N	37° 56.2'	37° 50.0'	37° 43.9'	37° 37.0'
	E	138° 36.9'	138° 35.0'	138° 26.9'	138° 22.9'
水深 (m)		367	488	516	235
採取時泥色		灰オリーブ	暗オリーブ	暗オリーブ	暗オリーブ
採取時泥質		泥	泥	泥	礫混じり粗砂
分析供試量 (g-乾燥土)		85.57	85.76	85.44	102.26
測定年月日		令和 3 年 8 月 12 日	令和 3 年 8 月 12 日	令和 3 年 8 月 13 日	令和 3 年 8 月 12 日
		放射能濃度*1 (Bq/kg-乾燥土)			
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	6.0±0.33	8.2±0.37	7.3±0.34	2.7±0.20
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND
	<sup>40</sup> K	630±9.5	640±9.8	630±9.6	640±6.8
	<sup>208</sup> Tl	19±0.46	20±0.48	20±0.48	10±0.29
	<sup>214</sup> Bi	25±0.78	30±0.84	30±0.84	19±0.59
	<sup>228</sup> Ac	29±1.3	32±1.4	34±1.4	21±0.85

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>208</sup>Tl、<sup>214</sup>Bi 及び <sup>228</sup>Ac は計測終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 2-1-9 令和 3 年度に発電所海域で採取した海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		石川海域			
測点		1	2	3	4
採取年月日		令和 3 年 6 月 19 日	令和 3 年 6 月 20 日	令和 3 年 6 月 20 日	令和 3 年 6 月 20 日
採取位置	N	37° 17.0'	37° 8.0'	37° 0.1'	36° 52.1'
	E	136° 27.0'	136° 26.0'	136° 28.0'	136° 28.0'
水深 (m)		170	189	170	117
採取時泥色		オリーブ灰	暗オリーブ	灰オリーブ	オリーブ黒
採取時泥質		中細砂混じり泥	中細砂混じり泥	中細砂混じり泥	泥混じり中細砂
分析供試量 (g-乾燥土)		116.27	115.61	118.24	129.82
測定年月日		令和 3 年 8 月 5 日	令和 3 年 8 月 9 日	令和 3 年 8 月 10 日	令和 3 年 8 月 11 日
		放射能濃度*1 (Bq/kg-乾燥土)			
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	1.6±0.17	1.2±0.17	0.86±0.15	1.0±0.16
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND
	<sup>40</sup> K	700±6.7	700±6.7	670±6.5	710±6.3
	<sup>208</sup> Tl	11±0.28	12±0.28	11±0.27	8.7±0.24
	<sup>214</sup> Bi	20±0.57	18±0.55	17±0.53	12±0.46
	<sup>228</sup> Ac	27±0.86	29±0.85	29±0.85	21±0.75

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>208</sup>Tl、<sup>214</sup>Bi 及び <sup>228</sup>Ac は計測終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 2-1-10 令和 3 年度に発電所海域で採取した海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		福井第一海域			
測点		1	2	3	4
採取年月日		令和 3 年 6 月 21 日	令和 3 年 6 月 21 日	令和 3 年 6 月 21 日	令和 3 年 6 月 21 日
採取位置	N	36° 4.9'	35° 56.8'	35° 50.5'	35° 57.9'
	E	135° 50.0'	135° 50.1'	135° 50.0'	135° 42.0'
水深 (m)		266	256	132	270
採取時泥色		暗オリーブ	灰オリーブ	灰オリーブ	灰オリーブ
採取時泥質		中細砂混じり泥	泥	中細砂	泥
分析供試量 (g-乾燥土)		83.4	72.54	131.29	73.93
測定年月日		令和 3 年 8 月 14 日	令和 3 年 8 月 15 日	令和 3 年 8 月 13 日	令和 3 年 8 月 16 日
		放射能濃度*1 (Bq/kg-乾燥土)			
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	2.4±0.25	3.5±0.30	ND	3.5±0.31
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	12±3.8	ND	ND
	<sup>40</sup> K	580±9.3	540±9.5	650±6.1	560±9.7
	<sup>208</sup> Tl	13±0.41	19±0.50	6.8±0.23	15±0.46
	<sup>214</sup> Bi	22±0.74	25±0.84	11±0.45	27±0.84
	<sup>228</sup> Ac	29±1.3	31±1.4	19±0.70	31±1.4

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>208</sup>Tl、<sup>214</sup>Bi 及び <sup>228</sup>Ac は計測終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 2-1-11 令和 3 年度に発電所海域で採取した海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		福井第二海域			
測点		1	2	3	4
採取年月日		令和 3 年 6 月 22 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和 3 年 6 月 22 日
採取位置	N	35° 45.2'	35° 50.0'	35° 55.0'	35° 45.0'
	E	135° 39.6'	135° 35.0'	135° 30.0'	135° 30.0'
水深 (m)		133	201	215	129
採取時泥色		灰オリーブ	暗オリーブ	灰オリーブ	オリーブ黒
採取時泥質		泥混じり中細砂	泥	泥	中細砂混じり泥
分析供試量 (g-乾燥土)		114.02	86.15	89.38	99.75
測定年月日		令和 3 年 8 月 14 日	令和 3 年 8 月 16 日	令和 3 年 8 月 17 日	令和 3 年 8 月 16 日
		放射能濃度*1 (Bq/kg-乾燥土)			
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	0.82±0.15	3.0±0.27	2.8±0.21	1.8±0.18
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	10±2.9
	<sup>40</sup> K	590±6.2	530±8.9	530±6.6	500±6.1
	<sup>208</sup> Tl	8.9±0.26	14±0.41	12±0.32	11±0.29
	<sup>214</sup> Bi	13±0.52	20±0.70	17±0.64	14±0.57
	<sup>228</sup> Ac	22±0.79	26±1.2	27±0.96	22±0.86

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>208</sup>Tl、<sup>214</sup>Bi 及び <sup>228</sup>Ac は計測終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 2-1-12 令和 3 年度に発電所海域で採取した海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		島根海域			
測点		1	2	3	4
採取年月日		令和 3 年 6 月 23 日	令和 3 年 6 月 23 日	令和 3 年 6 月 23 日	令和 3 年 6 月 23 日
採取位置	N	35° 46.9'	35° 40.9'	35° 48.0'	35° 39.9'
	E	133° 12.0'	133° 3.9'	132° 56.0'	132° 52.1'
水深 (m)		73	79	105	102
採取時泥色		オリーブ黒	オリーブ黒	暗オリーブ	オリーブ黒
採取時泥質		中細砂	中細砂	泥混じり中細砂	中細砂混じり泥
分析供試量 (g-乾燥土)		139.31	132.40	123.79	121.81
測定年月日		令和 3 年 8 月 19 日	令和 3 年 8 月 19 日	令和 3 年 8 月 19 日	令和 3 年 8 月 20 日
		放射能濃度*1 (Bq/kg-乾燥土)			
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	ND	0.52±0.14	0.88±0.17	0.82±0.15
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	8.9±2.8
	<sup>40</sup> K	650±7.7	660±6.1	630±8.1	590±6.0
	<sup>208</sup> Tl	4.6±0.22	5.5±0.21	6.4±0.26	7.5±0.24
	<sup>214</sup> Bi	7.4±0.40	11±0.44	12±0.50	13±0.49
	<sup>228</sup> Ac	14±0.80	15±0.66	15±0.90	18±0.75

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>208</sup>Tl、<sup>214</sup>Bi 及び <sup>228</sup>Ac は計測終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 2-1-13 令和 3 年度に発電所海域で採取した海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		愛媛海域			
測点		1	2	3	4
採取年月日		令和 3 年 6 月 11 日	令和 3 年 6 月 11 日	令和 3 年 6 月 11 日	令和 3 年 6 月 11 日
採取位置	N	33° 39.0'	33° 38.0'	33° 36.0'	33° 33.0'
	E	132° 22.0'	132° 17.0'	132° 14.0'	132° 10.0'
水深 (m)		53	62	67	68
採取時泥色		オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒
採取時泥質		中細砂	中細砂	中細砂	中細砂
分析供試量 (g-乾燥土)		119.92	110.22	103.19	107.30
測定年月日		令和 3 年 7 月 17 日	令和 3 年 7 月 17 日	令和 3 年 7 月 18 日	令和 3 年 7 月 18 日
		放射能濃度*1 (Bq/kg-乾燥土)			
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	1.0±0.18	0.82±0.15	ND	0.59±0.19
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND
	<sup>40</sup> K	660±8.5	670±6.7	600±8.5	630±8.7
	<sup>208</sup> Tl	6.7±0.27	8.7±0.26	9.3±0.32	8.7±0.31
	<sup>214</sup> Bi	13±0.52	15±0.52	17±0.60	17±0.60
	<sup>228</sup> Ac	18±0.92	20±0.79	21±1.1	22±1.1

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>208</sup>Tl、<sup>214</sup>Bi 及び <sup>228</sup>Ac は計測終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 2-1-14 令和 3 年度に発電所海域で採取した海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		佐賀海域			
測点		1	2	3	4
採取年月日		令和 3 年 6 月 13 日	令和 3 年 6 月 13 日	令和 3 年 6 月 13 日	令和 3 年 6 月 13 日
採取位置	N	33° 35.0′	33° 37.0′	33° 37.1′	33° 34.0′
	E	129° 59.0′	129° 53.0′	129° 46.3′	129° 44.0′
水深 (m)		37	54	56	49
採取時泥色		灰	オリーブ黒	オリーブ灰	灰オリーブ
採取時泥質		中細砂	礫混じり中細砂	礫混じり中細砂	中細砂
分析供試量 (g-乾燥土)		103.49	130.19	115.48	97.94
測定年月日		令和 3 年 7 月 18 日	令和 3 年 7 月 19 日	令和 3 年 7 月 19 日	令和 3 年 7 月 19 日
		放射能濃度*1 (Bq/kg-乾燥土)			
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	14±2.4	ND	6.9±2.0	ND
	<sup>40</sup> K	460±5.8	610±7.7	470±5.5	350±6.9
	<sup>208</sup> Tl	5.8±0.24	3.7±0.21	2.5±0.18	4.1±0.25
	<sup>214</sup> Bi	11±0.49	6.3±0.39	5.8±0.40	7.3±0.48
	<sup>228</sup> Ac	15±0.73	9.0±0.72	6.9±0.55	9.0±0.80

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>208</sup>Tl、<sup>214</sup>Bi 及び <sup>228</sup>Ac は計測終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 2-1-15 令和 3 年度に発電所海域で採取した海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		鹿児島海域			
測点		1	2	3	4
採取年月日		令和 3 年 6 月 14 日	令和 3 年 6 月 14 日	令和 3 年 6 月 14 日	令和 3 年 6 月 14 日
採取位置	N	31° 55.9'	31° 45.0'	31° 41.0'	31° 35.0'
	E	130° 2.0'	130° 1.0'	130° 4.0'	130° 9.0'
水深 (m)		75	84	95	78
採取時泥色		オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒
採取時泥質		粗砂混じり中細砂	中細砂	中細砂	中細砂
分析供試量 (g-乾燥土)		121.64	115.32	87.76	87.34
測定年月日		令和 3 年 7 月 21 日	令和 3 年 7 月 21 日	令和 3 年 7 月 22 日	令和 3 年 7 月 23 日
		放射能濃度*1 (Bq/kg-乾燥土)			
人工放射性核種	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	0.49±0.15	ND	1.1±0.22	0.73±0.22
	その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
自然放射性核種	<sup>7</sup> Be	ND	ND	8.7±2.6	ND
	<sup>40</sup> K	380±6.4	390±5.1	560±8.9	590±9.2
	<sup>208</sup> Tl	5.5±0.24	6.3±0.22	11±0.36	11±0.38
	<sup>214</sup> Bi	10±0.45	11±0.47	19±0.68	19±0.70
	<sup>228</sup> Ac	14±0.82	16±0.70	25±1.2	29±1.3

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>208</sup>Tl、<sup>214</sup>Bi 及び <sup>228</sup>Ac は計測終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 2-2-1 令和 3 年度に核燃海域で採取した海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		1	2	3	4	
採取年月日		令和 3 年 6 月 9 日	令和 3 年 6 月 9 日	令和 3 年 6 月 9 日	令和 3 年 6 月 10 日	
採取位置	N	40° 29.8'	40° 30.3'	40° 30.4'	40° 45.1'	
	E	141° 45.0'	141° 55.0'	142° 5.1'	141° 30.0'	
水深 (m)		71	110	300	50	
採取時泥色		オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒	
採取時泥質		中細砂	泥混じり中細砂	泥混じり中細砂	中細砂	
分析 供試量 (g-乾燥土)	<sup>90</sup> Sr	150	150	150	150	
	γ 核種	117.67	133.27	128.60	139.50	
	<sup>239+240</sup> Pu	50	50	50	50	
測定 年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 7 月 26 日	令和 3 年 7 月 26 日	令和 3 年 7 月 26 日	令和 3 年 7 月 26 日	
	γ 核種	令和 3 年 7 月 5 日	令和 3 年 7 月 5 日	令和 3 年 7 月 11 日	令和 3 年 7 月 10 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 7 月 20 日	令和 3 年 7 月 15 日	令和 3 年 7 月 19 日	令和 3 年 7 月 19 日	
		放射能濃度*1 (Bq/kg-乾燥土)				
人工 放射性 核種	β	<sup>90</sup> Sr	ND	ND	ND	ND
	γ	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
		<sup>137</sup> Cs	0.87±0.16	0.54±0.13	0.36±0.11	0.51±0.12
		その他の γ 核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	0.63±0.036	0.47±0.025	0.36±0.022	0.42±0.023
自然 放射性 核種	γ	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND
		<sup>40</sup> K	320±6.0	330±4.4	300±4.2	240±4.9
		<sup>208</sup> Tl	4.2±0.22	4.9±0.20	3.7±0.18	2.4±0.18
		<sup>214</sup> Bi	8.1±0.42	12±0.43	8.4±0.40	5.5±0.35
		<sup>228</sup> Ac	7.3±0.72	13±0.60	9.1±0.54	6.0±0.57

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu、<sup>208</sup>Tl、<sup>214</sup>Bi 及び <sup>228</sup>Ac は計測終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 2-2-2 令和 3 年度に核燃海域で採取した海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		5	6	7	8	
採取年月日		令和 3 年 6 月 10 日	令和 3 年 6 月 10 日	令和 3 年 6 月 13 日	令和 3 年 6 月 13 日	
採取位置	N	40° 45.2'	40° 45.0'	40° 54.2'	40° 53.9'	
	E	141° 44.6'	141° 59.9'	141° 29.7'	141° 45.0'	
水深 (m)		113	310	173	299	
採取時泥色		オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒	灰オリーブ	
採取時泥質		中細砂	泥混じり中細砂	中細砂	泥混じり中細砂	
分析 供試量 (g-乾燥土)	<sup>90</sup> Sr	150	150	150	150	
	γ 核種	130.07	128.73	110.64	117.94	
	<sup>239+240</sup> Pu	50	50	50	50	
測定 年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 7 月 26 日	令和 3 年 7 月 26 日	令和 3 年 7 月 29 日	令和 3 年 7 月 29 日	
	γ 核種	令和 3 年 7 月 11 日	令和 3 年 7 月 11 日	令和 3 年 7 月 25 日	令和 3 年 7 月 26 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 7 月 22 日	令和 3 年 7 月 22 日	令和 3 年 7 月 26 日	令和 3 年 7 月 29 日	
		放射能濃度*1 (Bq/kg-乾燥土)				
人工 放射性 核種	β	<sup>90</sup> Sr	ND	ND	ND	ND
	γ	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
		<sup>137</sup> Cs	0.66±0.13	0.60±0.15	0.56±0.16	0.79±0.14
		その他の γ 核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
α	<sup>239+240</sup> Pu	0.54±0.028	0.41±0.023	0.63±0.030	0.64±0.032	
自然 放射性 核種	γ	<sup>7</sup> Be	7.2±1.5	ND	ND	ND
		<sup>40</sup> K	230±4.8	280±5.5	310±6.0	330±4.6
		<sup>208</sup> Tl	3.8±0.19	3.4±0.20	4.6±0.23	4.8±0.20
		<sup>214</sup> Bi	6.6±0.38	22±0.58	9.1±0.45	12±0.46
		<sup>228</sup> Ac	5.8±0.63	8.1±0.67	7.5±0.77	11±0.61

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu、<sup>208</sup>Tl、<sup>214</sup>Bi 及び <sup>228</sup>Ac は計測終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 2-2-3 令和 3 年度に核燃海域で採取した海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		9	10	11	12	
採取年月日		令和 3 年 6 月 13 日	令和 3 年 6 月 16 日	令和 3 年 6 月 23 日	令和 3 年 6 月 24 日	
採取位置	N	40° 54.0′	40° 54.3′	40° 59.9′	41° 1.7′	
	E	141° 59.9′	142° 10.6′	141° 30.5′	141° 45.4′	
水深 (m)		637	972	334	519	
採取時泥色		オリーブ黒	灰オリーブ	オリーブ黒	灰オリーブ	
採取時泥質		中細砂混じり泥	泥	泥混じり中細砂	中細砂混じり泥	
分析 供試量 (g-乾燥土)	<sup>90</sup> Sr	150	150	150	150	
	γ 核種	82.56	70.12	136.15	73.07	
	<sup>239+240</sup> Pu	50	50	50	50	
測定 年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 7 月 29 日	令和 3 年 7 月 29 日	令和 3 年 8 月 12 日	令和 3 年 8 月 12 日	
	γ 核種	令和 3 年 7 月 26 日	令和 3 年 7 月 27 日	令和 3 年 7 月 28 日	令和 3 年 8 月 4 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 7 月 29 日	令和 3 年 8 月 5 日	令和 3 年 8 月 4 日	令和 3 年 8 月 3 日	
		放射能濃度*1 (Bq/kg-乾燥土)				
人工 放射性 核種	β	<sup>90</sup> Sr	0.15±0.040	0.29±0.050	ND	0.21±0.044
	γ	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
		<sup>137</sup> Cs	1.9±0.24	3.0±0.28	0.51±0.13	3.4±0.29
		その他の γ 核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
α	<sup>239+240</sup> Pu	2.3±0.090	4.0±0.15	0.38±0.022	2.8±0.13	
自然 放射性 核種	γ	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	13±3.3
		<sup>40</sup> K	470±8.5	420±8.7	250±4.9	470±9.0
		<sup>208</sup> Tl	9.3±0.36	9.5±0.40	3.2±0.18	14±0.44
		<sup>214</sup> Bi	21±0.71	31±0.91	7.3±0.37	22±0.79
		<sup>228</sup> Ac	15±1.1	13±1.2	6.9±0.62	16±1.2

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu、<sup>208</sup>Tl、<sup>214</sup>Bi 及び <sup>228</sup>Ac は計測終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 2-2-4 令和 3 年度に核燃海域で採取した海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		13	14	15	16	
採取年月日		令和 3 年 6 月 16 日	令和 3 年 6 月 18 日	令和 3 年 6 月 17 日	令和 3 年 6 月 21 日	
採取位置	N	41° 2.1'	41° 15.8'	41° 16.1'	41° 25.7'	
	E	142° 0.7'	141° 35.4'	141° 59.8'	141° 40.4'	
水深 (m)		938	603	1024	756	
採取時泥色		灰オリーブ	オリーブ黒	灰オリーブ	オリーブ黒	
採取時泥質		泥	泥	泥	中細砂混じり泥	
分析 供試量 (g-乾燥土)	<sup>90</sup> Sr	150	150	150	150	
	γ 核種	69.38	97.00	71.36	72.39	
	<sup>239+240</sup> Pu	50	50	50	50	
測定 年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 8 月 12 日	令和 3 年 8 月 12 日	令和 3 年 8 月 12 日	令和 3 年 8 月 12 日	
	γ 核種	令和 3 年 7 月 31 日	令和 3 年 7 月 29 日	令和 3 年 8 月 1 日	令和 3 年 8 月 9 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 8 月 3 日	令和 3 年 8 月 3 日	令和 3 年 8 月 3 日	令和 3 年 8 月 15 日	
		放射能濃度*1 (Bq/kg-乾燥土)				
人工 放射性 核種	β	<sup>90</sup> Sr	0.34±0.049	ND	0.19±0.043	0.21±0.043
	γ	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
		<sup>137</sup> Cs	4.4±0.30	1.7±0.18	2.0±0.27	3.7±0.32
		その他の γ 核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
α	<sup>239+240</sup> Pu	4.8±0.18	2.2±0.085	2.6±0.10	3.2±0.12	
自然 放射性 核種	γ	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND
		<sup>40</sup> K	470±9.2	420±5.7	410±8.6	470±9.2
		<sup>208</sup> Tl	12±0.44	7.3±0.26	9.7±0.39	12±0.42
		<sup>214</sup> Bi	32±0.93	16±0.57	31±0.90	25±0.84
		<sup>228</sup> Ac	15±1.2	11±0.69	15±1.2	15±1.2

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu、<sup>208</sup>Tl、<sup>214</sup>Bi 及び <sup>228</sup>Ac は計測終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 2-2-5 令和 3 年度に核燃海域で採取した海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		17	18	19	20	
採取年月日		令和 3 年 6 月 8 日	令和 3 年 6 月 8 日	令和 3 年 6 月 8 日	令和 3 年 6 月 7 日	
採取位置	N	40° 9.9'	40° 9.8'	39° 50.2'	39° 50.4'	
	E	142° 4.5'	142° 15.0'	142° 9.9'	142° 19.9'	
水深 (m)		123	387	159	514	
採取時泥色		オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒	オリーブ黒	
採取時泥質		中細砂	泥混じり中細砂	中細砂	泥混じり中細砂	
分析 供試量 (g-乾燥土)	<sup>90</sup> Sr	150	150	150	150	
	γ 核種	115.40	108.98	124.04	105.37	
	<sup>239+240</sup> Pu	50	50	50	50	
測定 年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 7 月 19 日	令和 3 年 7 月 19 日	令和 3 年 7 月 19 日	令和 3 年 7 月 19 日	
	γ 核種	令和 3 年 7 月 6 日	令和 3 年 7 月 10 日	令和 3 年 7 月 1 日	令和 3 年 7 月 1 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 8 月 22 日	令和 3 年 8 月 22 日	令和 3 年 6 月 23 日	令和 3 年 6 月 30 日	
		放射能濃度*1 (Bq/kg-乾燥土)				
人工 放射性 核種	β	<sup>90</sup> Sr	ND	ND	ND	ND
	γ	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND
		<sup>137</sup> Cs	0.65±0.14	0.58±0.14	0.67±0.15	ND
		その他の γ 核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
α	<sup>239+240</sup> Pu	0.56±0.035	0.47±0.026	0.43±0.024	0.67±0.034	
自然 放射性 核種	γ	<sup>7</sup> Be	ND	ND	ND	ND
		<sup>40</sup> K	380±5.0	380±5.1	420±6.6	440±7.4
		<sup>208</sup> Tl	5.8±0.21	4.7±0.21	5.1±0.23	5.6±0.26
		<sup>214</sup> Bi	9.8±0.45	11±0.48	10±0.46	14±0.55
		<sup>228</sup> Ac	11±0.60	11±0.64	10±0.75	15±0.93

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu、<sup>208</sup>Tl、<sup>214</sup>Bi 及び <sup>228</sup>Ac は計測終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 2-2-6 令和 3 年度に核燃海域で採取した海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域		
測点		21	22	
採取年月日		令和 3 年 6 月 7 日	令和 3 年 6 月 7 日	
採取位置	N	39° 30.1'	39° 30.3'	
	E	142° 8.1'	142° 15.2'	
水深 (m)		166	362	
採取時泥色		オリーブ黒	オリーブ黒	
採取時泥質		中細砂	泥混じり中細砂	
分析 供試量 (g-乾燥土)	<sup>90</sup> Sr	150	150	
	γ 核種	137.01	117.63	
	<sup>239+240</sup> Pu	50	50	
測定 年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 7 月 19 日	令和 3 年 7 月 19 日	
	γ 核種	令和 3 年 7 月 1 日	令和 3 年 7 月 5 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 6 月 28 日	令和 3 年 6 月 24 日	
放射能濃度*1 (Bq/kg-乾燥土)				
人工 放射性 核種	β	<sup>90</sup> Sr	ND	ND
	γ	<sup>134</sup> Cs	ND	ND
		<sup>137</sup> Cs	0.59±0.12	0.53±0.16
		その他の γ 核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>110m</sup> Ag、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>140</sup> Ba 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。	
	α	<sup>239+240</sup> Pu	0.33±0.019	0.46±0.025
自然 放射性 核種	γ	<sup>7</sup> Be	ND	ND
		<sup>40</sup> K	420±4.9	420±6.8
		<sup>208</sup> Tl	6.3±0.21	5.6±0.25
		<sup>214</sup> Bi	14±0.46	12±0.49
		<sup>228</sup> Ac	16±0.63	13±0.82

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu、<sup>208</sup>Tl、<sup>214</sup>Bi 及び <sup>228</sup>Ac は計測終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 3-1-1 令和 3 年度に発電所海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		北海道海域							
測点		1		2		3		4	
採取年月日		令和 3 年 6 月 22 日		令和 3 年 6 月 22 日		令和 3 年 6 月 22 日		令和 3 年 6 月 22 日	
採取位置	N	43° 10.0'		43° 4.7'		43° 1.9'		42° 59.0'	
	E	140° 16.0'		140° 15.6'		140° 18.3'		140° 13.0'	
水深 (m)		336		416		487		395	
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	表層	下層	表層	下層
		1	318	1	400	1	466	1	376
水温 (°C)		16.7	1.3	16.6	0.9	17.4	0.8	16.6	1.1
塩分 (psu)		33.96	34.04	33.73	34.05	33.76	34.05	33.76	34.05
測定年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 9 月 6 日	令和 3 年 9 月 6 日	令和 3 年 9 月 6 日	令和 3 年 9 月 6 日	令和 3 年 9 月 6 日	令和 3 年 9 月 6 日	令和 3 年 9 月 6 日	令和 3 年 9 月 6 日
	<sup>134</sup> Cs	令和 3 年 9 月 6 日	令和 3 年 9 月 7 日	令和 3 年 9 月 8 日	令和 3 年 9 月 9 日	令和 3 年 9 月 13 日	令和 3 年 9 月 14 日	令和 3 年 9 月 15 日	令和 3 年 9 月 16 日
	<sup>137</sup> Cs								
		放射能濃度*1 (mBq/L)							
放射性核種	<sup>90</sup> Sr	0.84 ±0.13	0.78 ±0.13	0.65 ±0.12	0.70 ±0.12	0.80 ±0.12	0.86 ±0.12	0.78 ±0.12	0.74 ±0.12
	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	1.6 ±0.20	1.6 ±0.20	1.5 ±0.21	1.4 ±0.20	1.7 ±0.20	1.3 ±0.18	1.7 ±0.21	1.4 ±0.19

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 3-1-2 令和 3 年度に発電所海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		青森海域							
測点		1		2		3		4	
採取年月日		令和 3 年 6 月 17 日		令和 3 年 6 月 18 日		令和 3 年 6 月 23 日		令和 3 年 6 月 18 日	
採取位置	N	41° 12.9'		41° 12.7'		41° 7.8'		41° 7.5'	
	E	141° 35.2'		141° 40.5'		141° 30.1'		141° 40.0'	
水深 (m)		591		665		480		598	
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	表層	下層	表層	下層
		1	570	1	641	1	442	1	578
水温 (°C)		14.1	3.6	15.0	3.6	17.1	3.5	15.0	3.6
塩分 (psu)		32.99	33.98	33.80	34.10	34.26	33.96	33.71	33.98
測定年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 8 月 30 日	令和 3 年 9 月 1 日	令和 3 年 9 月 2 日	令和 3 年 9 月 2 日	令和 3 年 9 月 1 日	令和 3 年 9 月 1 日	令和 3 年 9 月 6 日	令和 3 年 9 月 7 日
	<sup>134</sup> Cs	令和 3 年 8 月 16 日	令和 3 年 8 月 17 日	令和 3 年 8 月 18 日	令和 3 年 8 月 19 日	令和 3 年 8 月 23 日	令和 3 年 8 月 24 日	令和 3 年 9 月 8 日	令和 3 年 9 月 9 日
	<sup>137</sup> Cs								
		放射能濃度*1 (mBq/L)							
放射性核種	<sup>90</sup> Sr	0.55 ±0.10	0.29 ±0.088	0.74 ±0.12	ND	0.73 ±0.11	0.40 ±0.090	0.84 ±0.12	0.52 ±0.11
	<sup>134</sup> Cs	ND	ND						
	<sup>137</sup> Cs	1.6 ±0.20	0.91 ±0.19	1.5 ±0.20	1.0 ±0.19	2.0 ±0.21	0.80 ±0.18	1.6 ±0.21	0.88 ±0.18

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 3-1-3 令和 3 年度に発電所海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		宮城海域							
測点		1		2		3		4	
採取年月日		令和 3 年 5 月 21 日		令和 3 年 5 月 21 日		令和 3 年 5 月 21 日		令和 3 年 5 月 21 日	
採取位置	N	38° 30.2'		38° 25.2'		38° 20.0'		38° 15.1'	
	E	141° 40.1'		141° 44.9'		141° 40.5'		141° 45.0'	
水深 (m)		145		164		147		157	
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	表層	下層	表層	下層
		1	128	1	154	1	137	1	147
水温 (°C)		12.4	8.1	11.6	7.8	12.3	8.2	12.1	7.4
塩分 (psu)		32.87	33.77	33.36	33.78	33.21	33.78	33.32	33.75
測定年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 7 月 8 日	令和 3 年 7 月 8 日	令和 3 年 7 月 9 日	令和 3 年 7 月 9 日	令和 3 年 7 月 9 日	令和 3 年 7 月 14 日	令和 3 年 7 月 14 日	令和 3 年 7 月 14 日
	<sup>134</sup> Cs	令和 3 年 7 月 5 日	令和 3 年 7 月 6 日	令和 3 年 7 月 7 日	令和 3 年 7 月 8 日	令和 3 年 7 月 12 日	令和 3 年 7 月 27 日	令和 3 年 7 月 14 日	令和 3 年 7 月 15 日
	<sup>137</sup> Cs								
		放射能濃度*1 (mBq/L)							
放射性核種	<sup>90</sup> Sr	0.65 ±0.11	0.82 ±0.12	0.62 ±0.13	0.73 ±0.14	0.73 ±0.12	0.63 ±0.10	0.66 ±0.10	0.82 ±0.11
	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	<sup>137</sup> Cs	1.8 ±0.22	1.9 ±0.21	1.7 ±0.22	1.8 ±0.21	1.6 ±0.21	1.9 ±0.22	1.4 ±0.22	1.7 ±0.21

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 3-1-4 令和 3 年度に発電所海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		福島第一海域							
測点		1		2		3		4	
採取年月日		令和 3 年 5 月 22 日		令和 3 年 5 月 23 日		令和 3 年 5 月 22 日		令和 3 年 5 月 23 日	
採取位置	N	37° 39.9'		37° 35.1'		37° 29.7'		37° 23.0'	
	E	141° 20.4'		141° 24.8'		141° 19.9'		141° 20.0'	
水深 (m)		106		135		124		132	
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	表層	下層	表層	下層
		1	97	1	125	1	112	1	123
水温 (°C)		15.7	8.5	15.0	8.3	14.4	8.3	14.2	8.3
塩分 (psu)		33.96	33.78	32.88	33.78	33.33	33.79	33.21	33.80
測定年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 7 月 14 日	令和 3 年 7 月 15 日	令和 3 年 7 月 27 日	令和 3 年 7 月 27 日	令和 3 年 7 月 28 日	令和 3 年 7 月 27 日	令和 3 年 7 月 28 日	令和 3 年 7 月 27 日
	<sup>134</sup> Cs	令和 3 年 7 月 5 日	令和 3 年 7 月 6 日	令和 3 年 7 月 19 日	令和 3 年 7 月 8 日	令和 3 年 7 月 12 日	令和 3 年 7 月 13 日	令和 3 年 7 月 14 日	令和 3 年 7 月 15 日
	<sup>137</sup> Cs								
		放射能濃度*1 (mBq/L)							
放射性核種	<sup>90</sup> Sr	0.70 ±0.11	0.80 ±0.11	0.56 ±0.10	0.72 ±0.11	0.74 ±0.12	0.73 ±0.12	0.73 ±0.11	0.74 ±0.11
	<sup>134</sup> Cs	ND							
	<sup>137</sup> Cs	2.6 ±0.21	1.8 ±0.19	2.5 ±0.23	2.2 ±0.20	2.3 ±0.21	2.1 ±0.20	2.0 ±0.20	2.2 ±0.20

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 3-1-5 令和 3 年度に発電所海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		福島第二海域							
測点		1		2		3		4	
採取年月日		令和 3 年 5 月 24 日		令和 3 年 5 月 24 日		令和 3 年 5 月 25 日		令和 3 年 5 月 25 日	
採取位置	N	37° 16.1'		37° 12.1'		37° 5.7'		37° 0.0'	
	E	141° 24.9'		141° 20.0'		141° 19.1'		141° 19.7'	
水深 (m)		156		145		149		164	
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	表層	下層	表層	下層
		1	145	1	134	1	139	1	152
水温 (°C)		13.7	8.4	13.8	8.2	17.4	7.6	17.4	8.1
塩分 (psu)		33.25	33.82	33.13	33.82	34.31	33.73	34.31	33.79
測定年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 7 月 27 日	令和 3 年 7 月 27 日	令和 3 年 7 月 27 日	令和 3 年 7 月 28 日	令和 3 年 7 月 29 日			
	<sup>134</sup> Cs	令和 3 年 7 月 12 日	令和 3 年 7 月 13 日	令和 3 年 7 月 14 日	令和 3 年 7 月 15 日	令和 3 年 7 月 19 日	令和 3 年 7 月 20 日	令和 3 年 7 月 26 日	令和 3 年 7 月 27 日
	<sup>137</sup> Cs								
		放射能濃度*1 (mBq/L)							
放射性核種	<sup>90</sup> Sr	0.76 ±0.11	0.71 ±0.12	0.55 ±0.10	0.58 ±0.11	0.83 ±0.12	0.94 ±0.13	0.94 ±0.13	0.75 ±0.14
	<sup>134</sup> Cs	ND							
	<sup>137</sup> Cs	2.4 ±0.22	1.8 ±0.20	2.2 ±0.20	1.7 ±0.20	2.1 ±0.21	1.9 ±0.20	2.4 ±0.21	1.3 ±0.20

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 3-1-6 令和 3 年度に発電所海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		茨城海域							
測点		1		2		3		4	
採取年月日		令和 3 年 5 月 20 日		令和 3 年 5 月 20 日		令和 3 年 5 月 19 日		令和 3 年 5 月 19 日	
採取位置	N	36° 35.8'		36° 25.0'		36° 14.3'		36° 5.1'	
	E	140° 52.1'		140° 51.2'		140° 47.9'		140° 52.3'	
水深 (m)		100		121		93		130	
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	表層	下層	表層	下層
		1	92	1	113	1	84	1	119
水温 (°C)		19.0	9.8	18.5	10.1	18.9	10.9	18.7	8.9
塩分 (psu)		34.64	34.06	34.56	34.12	34.60	34.20	34.62	33.91
測定年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 7 月 29 日	令和 3 年 7 月 29 日	令和 3 年 7 月 30 日	令和 3 年 7 月 29 日	令和 3 年 7 月 29 日	令和 3 年 7 月 29 日	令和 3 年 8 月 17 日	令和 3 年 8 月 17 日
	<sup>134</sup> Cs	令和 3 年 7 月 7 日	令和 3 年 7 月 8 日	令和 3 年 7 月 12 日	令和 3 年 7 月 13 日	令和 3 年 7 月 14 日	令和 3 年 7 月 20 日	令和 3 年 7 月 26 日	令和 3 年 7 月 28 日
	<sup>137</sup> Cs								
放射能濃度*1 (mBq/L)									
放射性核種	<sup>90</sup> Sr	0.95 ±0.15	0.61 ±0.11	0.63 ±0.12	0.49 ±0.11	0.71 ±0.11	0.54 ±0.11	0.72 ±0.11	0.73 ±0.11
	<sup>134</sup> Cs	ND							
	<sup>137</sup> Cs	2.0 ±0.22	2.3 ±0.20	1.6 ±0.20	2.1 ±0.20	2.0 ±0.20	2.4 ±0.22	1.8 ±0.21	1.9 ±0.20

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 3-1-7 令和 3 年度に発電所海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		静岡海域							
測点		1		2		3		4	
採取年月日		令和 3 年 6 月 9 日		令和 3 年 6 月 9 日		令和 3 年 6 月 9 日		令和 3 年 6 月 9 日	
採取位置	N	34° 34.0'		34° 31.0'		34° 30.0'		34° 31.1'	
	E	138° 18.0'		138° 15.0'		138° 5.1'		137° 59.0'	
水深 (m)		58		74		346		547	
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	表層	下層	表層	下層
		1	49	1	65	1	320	1	533
水温 (°C)		21.6	18.1	21.1	16.9	21.6	10.3	21.5	6.8
塩分 (psu)		32.53	34.58	33.79	34.66	34.22	34.33	34.10	34.25
測定年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 8 月 17 日							
	<sup>134</sup> Cs	令和 3 年 7 月 26 日	令和 3 年 7 月 27 日	令和 3 年 8 月 6 日	令和 3 年 7 月 29 日	令和 3 年 8 月 2 日	令和 3 年 8 月 3 日	令和 3 年 8 月 4 日	令和 3 年 8 月 5 日
	<sup>137</sup> Cs								
		放射能濃度*1 (mBq/L)							
放射性核種	<sup>90</sup> Sr	0.84 ±0.11	0.84 ±0.12	0.59 ±0.098	0.67 ±0.11	0.89 ±0.12	0.59 ±0.11	0.79 ±0.12	0.47 ±0.10
	<sup>134</sup> Cs	ND							
	<sup>137</sup> Cs	1.3 ±0.22	2.0 ±0.24	1.8 ±0.24	1.8 ±0.23	1.7 ±0.24	2.2 ±0.23	2.0 ±0.22	0.90 ±0.21

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 3-1-8 令和 3 年度に発電所海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		新潟海域							
測点		1		2		3		4	
採取年月日		令和 3 年 6 月 16 日		令和 3 年 6 月 16 日		令和 3 年 6 月 16 日		令和 3 年 6 月 15 日	
採取位置	N	37° 56.3'		37° 49.9'		37° 44.0'		37° 37.0'	
	E	138° 36.9'		138° 35.0'		138° 26.7'		138° 22.9'	
水深 (m)		365		488		515		235	
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	表層	下層	表層	下層
		1	350	1	470	1	490	1	220
水温 (°C)		20.8	1.1	20.8	0.9	20.9	0.9	19.0	5.6
塩分 (psu)		34.23	34.07	33.74	34.07	33.05	34.07	33.86	34.08
測定年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 9 月 10 日							
	<sup>134</sup> Cs	令和 3 年 8 月 23 日	令和 3 年 8 月 24 日	令和 3 年 8 月 25 日	令和 3 年 8 月 26 日	令和 3 年 8 月 30 日	令和 3 年 8 月 31 日	令和 3 年 9 月 1 日	令和 3 年 9 月 2 日
	<sup>137</sup> Cs								
		放射能濃度*1 (mBq/L)							
放射性核種	<sup>90</sup> Sr	0.80 ±0.12	0.82 ±0.12	0.87 ±0.12	0.53 ±0.11	0.76 ±0.11	0.69 ±0.11	0.66 ±0.10	0.67 ±0.11
	<sup>134</sup> Cs	ND							
	<sup>137</sup> Cs	1.6 ±0.22	1.1 ±0.22	1.4 ±0.22	1.0 ±0.21	1.6 ±0.22	1.1 ±0.22	1.5 ±0.23	1.0 ±0.22

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 3-1-9 令和 3 年度に発電所海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		石川海域							
測点		1		2		3		4	
採取年月日		令和 3 年 6 月 19 日		令和 3 年 6 月 20 日		令和 3 年 6 月 20 日		令和 3 年 6 月 20 日	
採取位置	N	37° 17.0'		37° 8.0'		37° 0.0'		36° 52.0'	
	E	136° 27.0'		136° 26.0'		136° 28.2'		136° 28.0'	
水深 (m)		170		189		169		116	
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	表層	下層	表層	下層
		1	160	1	174	1	160	1	105
水温 (°C)		21.3	10.0	20.2	7.2	20.5	8.6	21.1	15.0
塩分 (psu)		34.35	34.24	34.32	34.14	34.39	34.18	34.37	34.60
測定年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 9 月 10 日							
	<sup>134</sup> Cs	令和 3 年 8 月 25 日	令和 3 年 8 月 26 日	令和 3 年 8 月 30 日	令和 3 年 8 月 31 日	令和 3 年 9 月 1 日	令和 3 年 9 月 2 日	令和 3 年 9 月 6 日	令和 3 年 9 月 7 日
	<sup>137</sup> Cs								
		放射能濃度*1 (mBq/L)							
放射性核種	<sup>90</sup> Sr	0.71 ±0.11	0.81 ±0.11	0.98 ±0.12	0.84 ±0.12	0.89 ±0.12	0.95 ±0.13	0.74 ±0.11	0.73 ±0.11
	<sup>134</sup> Cs	ND							
	<sup>137</sup> Cs	1.5 ±0.20	1.8 ±0.22	1.6 ±0.21	1.8 ±0.21	2.5 ±0.22	1.9 ±0.21	1.6 ±0.20	2.2 ±0.21

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 3-1-10 令和 3 年度に発電所海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		福井第一海域							
測点		1		2		3		4	
採取年月日		令和 3 年 6 月 21 日		令和 3 年 6 月 21 日		令和 3 年 6 月 21 日		令和 3 年 6 月 21 日	
採取位置	N	36° 5.0'		35° 57.2'		35° 50.2'		35° 58.0'	
	E	135° 50.3'		135° 49.9'		135° 49.9'		135° 42.0'	
水深 (m)		260		258		126		270	
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	表層	下層	表層	下層
		1	240	1	248	1	115	1	250
水温 (°C)		22.1	1.0	20.7	0.7	21.9	17.0	21.4	0.8
塩分 (psu)		34.08	34.07	34.35	34.08	34.16	34.69	34.11	34.07
測定年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 9 月 10 日	令和 3 年 9 月 27 日						
	<sup>134</sup> Cs	令和 3 年 9 月 6 日	令和 3 年 9 月 7 日	令和 3 年 9 月 8 日	令和 3 年 9 月 9 日	令和 3 年 9 月 13 日	令和 3 年 9 月 14 日	令和 3 年 9 月 15 日	令和 3 年 9 月 16 日
	<sup>137</sup> Cs								
		放射能濃度*1 (mBq/L)							
放射性核種	<sup>90</sup> Sr	0.61 ±0.11	0.61 ±0.11	0.70 ±0.11	0.55 ±0.10	0.79 ±0.12	0.69 ±0.11	0.71 ±0.11	0.59 ±0.11
	<sup>134</sup> Cs	ND							
	<sup>137</sup> Cs	1.7 ±0.21	1.4 ±0.20	1.8 ±0.20	0.86 ±0.20	1.8 ±0.20	1.7 ±0.21	1.9 ±0.21	1.3 ±0.20

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 3-1-11 令和 3 年度に発電所海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		福井第二海域							
測点		1		2		3		4	
採取年月日		令和 3 年 6 月 22 日		令和 3 年 6 月 22 日		令和 3 年 6 月 22 日		令和 3 年 6 月 22 日	
採取位置	N	35° 45.0'		35° 50.0'		35° 55.0'		35° 45.1'	
	E	135° 40.1'		135° 35.0'		135° 30.0'		135° 30.0'	
水深 (m)		125		201		215		129	
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	表層	下層	表層	下層
		1	113	1	185	1	200	1	118
水温 (°C)		21.9	16.5	21.5	9.4	22.1	5.5	21.3	15.2
塩分 (psu)		34.16	34.65	34.25	34.18	34.26	34.09	34.20	34.69
測定年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 9 月 27 日	令和 3 年 9 月 28 日	令和 3 年 9 月 27 日	令和 3 年 9 月 28 日	令和 3 年 9 月 28 日			
	<sup>134</sup> Cs	令和 3 年 9 月 13 日	令和 3 年 9 月 14 日	令和 3 年 9 月 15 日	令和 3 年 9 月 16 日	令和 3 年 9 月 21 日	令和 3 年 9 月 22 日	令和 3 年 9 月 29 日	令和 3 年 9 月 30 日
	<sup>137</sup> Cs								
放射能濃度*1 (mBq/L)									
放射性核種	<sup>90</sup> Sr	0.77 ±0.12	0.75 ±0.11	1.0 ±0.13	0.84 ±0.12	0.83 ±0.12	0.81 ±0.11	0.57 ±0.12	0.48 ±0.12
	<sup>134</sup> Cs	ND							
	<sup>137</sup> Cs	1.6 ±0.20	1.7 ±0.20	2.0 ±0.22	1.6 ±0.21	2.0 ±0.21	1.4 ±0.20	1.4 ±0.20	1.7 ±0.20

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 3-1-12 令和 3 年度に発電所海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		島根海域							
測点		1		2		3		4	
採取年月日		令和 3 年 6 月 23 日		令和 3 年 6 月 23 日		令和 3 年 6 月 23 日		令和 3 年 6 月 23 日	
採取位置	N	35° 46.9'		35° 40.9'		35° 47.9'		35° 40.0'	
	E	133° 12.0'		133° 4.0'		132° 55.7'		132° 52.0'	
水深 (m)		73		78		106		102	
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	表層	下層	表層	下層
		1	63	1	69	1	96	1	94
水温 (°C)		22.3	18.7	22.4	19.4	22.7	17.3	22.7	18.6
塩分 (psu)		34.11	34.52	33.98	34.47	34.12	34.55	34.00	34.54
測定年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 9 月 27 日	令和 3 年 9 月 28 日	令和 3 年 9 月 27 日	令和 3 年 9 月 27 日				
	<sup>134</sup> Cs	令和 3 年 9 月 8 日	令和 3 年 9 月 9 日	令和 3 年 9 月 13 日	令和 3 年 9 月 14 日	令和 3 年 9 月 15 日	令和 3 年 9 月 16 日	令和 3 年 9 月 21 日	令和 3 年 9 月 22 日
	<sup>137</sup> Cs								
		放射能濃度*1 (mBq/L)							
放射性核種	<sup>90</sup> Sr	0.73 ±0.12	0.78 ±0.13	0.61 ±0.11	0.68 ±0.11	0.76 ±0.11	0.69 ±0.11	0.79 ±0.11	0.76 ±0.11
	<sup>134</sup> Cs	ND							
	<sup>137</sup> Cs	1.6 ±0.22	1.8 ±0.23	1.7 ±0.23	1.9 ±0.22	1.7 ±0.22	1.8 ±0.24	1.6 ±0.22	1.8 ±0.22

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 3-1-13 令和 3 年度に発電所海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		愛媛海域							
測点		1		2		3		4	
採取年月日		令和 3 年 6 月 11 日		令和 3 年 6 月 11 日		令和 3 年 6 月 11 日		令和 3 年 6 月 11 日	
採取位置	N	33° 39.0'		33° 38.0'		33° 36.0'		33° 33.0'	
	E	132° 22.0'		132° 17.0'		132° 14.1'		132° 10.0'	
水深 (m)		53		62		67		67	
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	表層	下層	表層	下層
		1	45	1	55	1	61	1	60
水温 (°C)		19.3	16.8	19.1	16.0	20.4	15.7	20.5	15.9
塩分 (psu)		33.12	33.34	33.01	33.37	32.91	33.39	32.88	33.32
測定年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 8 月 21 日	令和 3 年 8 月 20 日	令和 3 年 8 月 21 日	令和 3 年 8 月 20 日	令和 3 年 8 月 21 日			
	<sup>134</sup> Cs	令和 3 年 8 月 18 日	令和 3 年 7 月 29 日	令和 3 年 8 月 2 日	令和 3 年 8 月 3 日	令和 3 年 8 月 19 日	令和 3 年 8 月 5 日	令和 3 年 8 月 16 日	令和 3 年 8 月 17 日
	<sup>137</sup> Cs								
		放射能濃度*1 (mBq/L)							
放射性核種	<sup>90</sup> Sr	0.86 ±0.13	0.71 ±0.11	0.72 ±0.12	0.67 ±0.12	0.67 ±0.11	0.76 ±0.11	0.75 ±0.12	0.74 ±0.13
	<sup>134</sup> Cs	ND							
	<sup>137</sup> Cs	1.9 ±0.20	1.9 ±0.21	1.5 ±0.20	2.0 ±0.20	1.7 ±0.20	1.6 ±0.22	1.7 ±0.20	1.9 ±0.20

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 3-1-14 令和 3 年度に発電所海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		佐賀海域							
測点		1		2		3		4	
採取年月日		令和 3 年 6 月 13 日		令和 3 年 6 月 13 日		令和 3 年 6 月 13 日		令和 3 年 6 月 13 日	
採取位置	N	33° 35.0'		33° 37.0'		33° 37.1'		33° 34.1'	
	E	129° 59.0'		129° 53.0'		129° 46.1'		129° 44.0'	
水深 (m)		37		53		57		51	
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	表層	下層	表層	下層
		1	30	1	45	1	49	1	41
水温 (°C)		20.7	20.7	20.8	20.5	21.8	19.6	21.7	19.7
塩分 (psu)		34.28	34.27	34.25	34.31	34.21	34.42	34.24	34.41
測定年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 8 月 21 日	令和 3 年 8 月 20 日	令和 3 年 8 月 20 日	令和 3 年 8 月 20 日	令和 3 年 8 月 21 日	令和 3 年 8 月 20 日	令和 3 年 8 月 20 日	令和 3 年 8 月 21 日
	<sup>134</sup> Cs	令和 3 年 7 月 28 日	令和 3 年 7 月 29 日	令和 3 年 8 月 16 日	令和 3 年 8 月 17 日	令和 3 年 8 月 18 日	令和 3 年 8 月 19 日	令和 3 年 8 月 23 日	令和 3 年 8 月 24 日
	<sup>137</sup> Cs								
		放射能濃度*1 (mBq/L)							
放射性核種	<sup>90</sup> Sr	0.76 ±0.13	0.91 ±0.13	0.61 ±0.11	0.58 ±0.10	0.51 ±0.11	0.59 ±0.11	0.61 ±0.11	0.74 ±0.12
	<sup>134</sup> Cs	ND							
	<sup>137</sup> Cs	1.8 ±0.23	1.7 ±0.23	1.7 ±0.22	1.7 ±0.22	1.5 ±0.22	1.6 ±0.22	1.9 ±0.22	2.1 ±0.23

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 3-1-15 令和 3 年度に発電所海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		鹿児島海域							
測点		1		2		3		4	
採取年月日		令和 3 年 6 月 14 日		令和 3 年 6 月 14 日		令和 3 年 6 月 14 日		令和 3 年 6 月 14 日	
採取位置	N	31° 55.9'		31° 45.0'		31° 41.0'		31° 34.9'	
	E	130° 2.0'		130° 1.0'		130° 4.0'		130° 9.0'	
水深 (m)		75		84		95		78	
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	表層	下層	表層	下層
		1	68	1	76	1	86	1	69
水温 (°C)		22.9	19.1	22.8	18.1	23.3	17.2	23.0	18.1
塩分 (psu)		33.82	34.54	33.73	34.49	33.19	34.54	33.53	34.53
測定年月日	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 8 月 20 日	令和 3 年 8 月 21 日	令和 3 年 8 月 21 日	令和 3 年 8 月 20 日	令和 3 年 8 月 31 日	令和 3 年 8 月 30 日	令和 3 年 8 月 30 日	令和 3 年 8 月 31 日
	<sup>134</sup> Cs	令和 3 年 8 月 23 日	令和 3 年 8 月 24 日	令和 3 年 8 月 25 日	令和 3 年 8 月 26 日	令和 3 年 9 月 6 日	令和 3 年 9 月 7 日	令和 3 年 9 月 8 日	令和 3 年 9 月 9 日
	<sup>137</sup> Cs								
		放射能濃度*1 (mBq/L)							
放射性核種	<sup>90</sup> Sr	0.82 ±0.12	0.90 ±0.14	0.63 ±0.13	0.86 ±0.12	0.43 ±0.094	0.49 ±0.10	0.59 ±0.10	0.62 ±0.11
	<sup>134</sup> Cs	ND							
	<sup>137</sup> Cs	1.8 ±0.21	2.2 ±0.22	1.7 ±0.21	1.8 ±0.23	1.3 ±0.21	2.0 ±0.21	1.7 ±0.21	1.5 ±0.20

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 3-2-1 令和 3 年度に核燃海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		1		1		
採取年月日		令和 3 年 6 月 9 日		令和 3 年 10 月 7 日		
採取位置	N	40° 30.0'		40° 30.1'		
	E	141° 44.9'		141° 44.7'		
水深 (m)		72		72		
採水深度 (m)	表層	下層	表層	下層		
	1	62	1	63		
水温 (°C)		15.1	11.4	20.1	19.5	
塩分 (psu)		34.08	33.83	34.00	34.08	
測定年月日	トリチウム	令和 3 年 7 月 14 日	令和 3 年 7 月 14 日	令和 3 年 11 月 24 日	令和 3 年 11 月 24 日	
	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 8 月 2 日	令和 3 年 8 月 2 日	令和 3 年 12 月 1 日	令和 3 年 11 月 30 日	
	γ 核種	令和 3 年 7 月 5 日	令和 3 年 7 月 12 日	令和 3 年 11 月 8 日	令和 3 年 11 月 9 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 7 月 9 日	令和 3 年 7 月 9 日	令和 3 年 12 月 14 日	令和 3 年 12 月 14 日	
放射能濃度*1 (mBq/L、ただしトリチウムは Bq/L)						
放射性核種	β	トリチウム	0.091±0.019	0.077±0.019	0.070±0.019	ND
		<sup>90</sup> Sr	0.55±0.096	0.45±0.091	0.84±0.12	0.68±0.11
	γ	<sup>137</sup> Cs	1.9±0.22	1.6±0.23	1.6±0.22	1.6±0.21
		その他の γ 核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>134</sup> Cs 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
α	<sup>239+240</sup> Pu	0.0036±0.0010	0.0066±0.0014	0.0030±0.00088	0.0029±0.00086	

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu は測定終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合は「ND」で示す。

資料 3-2-2 令和 3 年度に核燃海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		2		2		
採取年月日		令和 3 年 6 月 9 日		令和 3 年 10 月 7 日		
採取位置	N	40° 30.0'		40° 29.6'		
	E	141° 54.9'		141° 54.8'		
水深 (m)		109		110		
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	
		1	101	1	102	
水温 (°C)		14.4	11.1	20.1	15.1	
塩分 (psu)		33.94	33.86	34.06	34.32	
測定年月日	トリチウム	令和 3 年 7 月 14 日	令和 3 年 7 月 14 日	令和 3 年 11 月 24 日	令和 3 年 11 月 24 日	
	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 8 月 3 日	令和 3 年 8 月 2 日	令和 3 年 11 月 30 日	令和 3 年 11 月 30 日	
	γ核種	令和 3 年 7 月 5 日	令和 3 年 7 月 6 日	令和 3 年 11 月 9 日	令和 3 年 11 月 10 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 7 月 9 日	令和 3 年 7 月 9 日	令和 3 年 12 月 14 日	令和 3 年 12 月 14 日	
放射能濃度*1 (mBq/L、ただしトリチウムは Bq/L)						
放射性核種	β	トリチウム	0.080±0.019	0.066±0.019	ND	ND
		<sup>90</sup> Sr	0.72±0.11	0.60±0.10	0.60±0.11	0.83±0.13
	γ	<sup>137</sup> Cs	1.7±0.21	1.5±0.21	1.6±0.21	1.7±0.23
		その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>134</sup> Cs 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	ND	0.0035±0.00095	ND	0.0026±0.00082

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu は測定終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 3-2-3 令和 3 年度に核燃海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		3		3		
採取年月日		令和 3 年 6 月 9 日		令和 3 年 10 月 7 日		
採取位置	N	40° 30.0'		40° 29.9'		
	E	142° 4.8'		142° 5.0'		
水深 (m)		285		289		
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	
		1	264	1	273	
水温 (°C)		15.5	4.7	20.2	4.3	
塩分 (psu)		34.06	33.61	34.07	33.63	
測定年月日	トリチウム	令和 3 年 7 月 14 日	令和 3 年 7 月 14 日	令和 3 年 11 月 24 日	令和 3 年 11 月 24 日	
	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 8 月 3 日	令和 3 年 8 月 2 日	令和 3 年 12 月 1 日	令和 3 年 12 月 2 日	
	γ核種	令和 3 年 7 月 7 日	令和 3 年 7 月 8 日	令和 3 年 11 月 10 日	令和 3 年 11 月 11 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 9 月 10 日	令和 3 年 7 月 9 日	令和 3 年 12 月 14 日	令和 3 年 12 月 14 日	
放射能濃度*1 (mBq/L、ただしトリチウムは Bq/L)						
放射性核種	β	トリチウム	0.063±0.019	0.093±0.020	0.081±0.019	ND
		<sup>90</sup> Sr	0.64±0.11	0.53±0.11	0.54±0.11	0.57±0.10
	γ	<sup>137</sup> Cs	1.8±0.23	1.9±0.25	1.7±0.23	1.1±0.24
		その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>134</sup> Cs 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	0.0030±0.00086	0.0069±0.0014	ND	0.0090±0.0015

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu は測定終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 3-2-4 令和 3 年度に核燃海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		4		4		
採取年月日		令和 3 年 6 月 10 日		令和 3 年 10 月 8 日		
採取位置	N	40° 45.3'		40° 44.8'		
	E	141° 30.0'		141° 30.2'		
水深 (m)		51		52		
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	
		1	42	1	43	
水温 (°C)		13.9	12.8	20.0	20.0	
塩分 (psu)		33.69	33.76	33.93	34.00	
測定年月日	トリチウム	令和 3 年 7 月 14 日	令和 3 年 7 月 14 日	令和 3 年 11 月 24 日	令和 3 年 11 月 24 日	
	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 8 月 3 日	令和 3 年 8 月 3 日	令和 3 年 12 月 3 日	令和 3 年 12 月 2 日	
	γ核種	令和 3 年 8 月 2 日	令和 3 年 8 月 3 日	令和 3 年 11 月 10 日	令和 3 年 11 月 24 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 9 月 10 日	令和 3 年 7 月 8 日	令和 3 年 12 月 21 日	令和 3 年 12 月 21 日	
放射能濃度*1 (mBq/L、ただしトリチウムは Bq/L)						
放射性核種	β	トリチウム	0.11±0.019	0.086±0.019	0.094±0.019	ND
		<sup>90</sup> Sr	0.88±0.14	0.89±0.14	0.60±0.11	0.63±0.11
	γ	<sup>137</sup> Cs	1.9±0.23	1.5±0.21	1.6±0.22	1.4±0.22
		その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>134</sup> Cs 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	ND	ND	ND	0.0029±0.00084

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu は測定終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 3-2-5 令和 3 年度に核燃海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		5		5		
採取年月日		令和 3 年 6 月 10 日		令和 3 年 10 月 8 日		
採取位置	N	40° 45.1'		40° 45.1'		
	E	141° 44.9'		141° 45.2'		
水深 (m)		114		114		
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	
		1	106	1	103	
水温 (°C)		15.2	10.8	19.9	14.8	
塩分 (psu)		34.10	33.92	33.98	34.36	
測定年月日	トリチウム	令和 3 年 8 月 3 日	令和 3 年 8 月 3 日	令和 3 年 11 月 29 日	令和 3 年 11 月 29 日	
	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 8 月 2 日	令和 3 年 8 月 3 日	令和 3 年 12 月 2 日	令和 3 年 12 月 3 日	
	γ 核種	令和 3 年 8 月 4 日	令和 3 年 8 月 5 日	令和 3 年 12 月 1 日	令和 3 年 12 月 2 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 9 月 10 日	令和 3 年 9 月 10 日	令和 3 年 12 月 21 日	令和 3 年 12 月 21 日	
放射能濃度*1 (mBq/L、ただしトリチウムは Bq/L)						
放射性核種	β	トリチウム	0.071±0.016	0.092±0.017	0.099±0.021	0.079±0.020
		<sup>90</sup> Sr	0.82±0.13	0.89±0.14	0.81±0.12	0.66±0.11
	γ	<sup>137</sup> Cs	1.4±0.22	1.8±0.23	1.8±0.28	2.0±0.27
		その他の γ 核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>134</sup> Cs 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	ND	ND	0.0032±0.00089	0.0055±0.0012

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu は測定終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 3-2-6 令和 3 年度に核燃海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		6		6		
採取年月日		令和 3 年 6 月 10 日		令和 3 年 10 月 8 日		
採取位置	N	40° 44.9'		40° 45.1'		
	E	141° 59.8'		142° 0.2'		
水深 (m)		293		329		
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	
		1	292	1	295	
水温 (°C)		14.7	3.7	20.2	5.4	
塩分 (psu)		34.01	33.63	34.03	33.91	
測定年月日	トリチウム	令和 3 年 8 月 3 日	令和 3 年 8 月 3 日	令和 3 年 11 月 29 日	令和 3 年 11 月 29 日	
	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 10 月 1 日	令和 3 年 10 月 14 日	令和 3 年 12 月 22 日	令和 3 年 12 月 23 日	
	γ 核種	令和 3 年 8 月 2 日	令和 3 年 8 月 3 日	令和 3 年 12 月 1 日	令和 3 年 12 月 2 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 7 月 8 日	令和 3 年 7 月 8 日	令和 3 年 12 月 21 日	令和 3 年 12 月 21 日	
放射能濃度*1 (mBq/L、ただしトリチウムは Bq/L)						
放射性核種	β	トリチウム	0.063±0.016	0.053±0.016	0.076±0.021	0.063±0.020
		<sup>90</sup> Sr	0.53±0.11	0.44±0.11	0.80±0.12	0.57±0.11
	γ	<sup>137</sup> Cs	1.9±0.23	1.1±0.22	2.0±0.22	1.3±0.20
		その他の γ 核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>134</sup> Cs 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	ND	0.011±0.0019	0.0029±0.00086	0.017±0.0020

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu は測定終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 3-2-7 令和 3 年度に核燃海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		7		7		
採取年月日		令和 3 年 6 月 13 日		令和 3 年 10 月 10 日		
採取位置	N	40° 54.2'		40° 54.1'		
	E	141° 29.9'		141° 30.1'		
水深 (m)		181		184		
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	
		1	170	1	180	
水温 (°C)		15.1	11.5	19.8	11.4	
塩分 (psu)		33.57	33.93	33.91	34.21	
測定年月日	トリチウム	令和 3 年 8 月 3 日	令和 3 年 8 月 3 日	令和 3 年 12 月 5 日	令和 3 年 11 月 29 日	
	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 10 月 1 日	令和 3 年 10 月 13 日	令和 4 年 1 月 7 日	令和 4 年 1 月 7 日	
	γ 核種	令和 3 年 9 月 28 日	令和 3 年 9 月 29 日	令和 3 年 12 月 20 日	令和 3 年 12 月 21 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 9 月 10 日	令和 3 年 7 月 19 日	令和 3 年 12 月 23 日	令和 3 年 12 月 23 日	
放射能濃度*1 (mBq/L、ただしトリチウムは Bq/L)						
放射性核種	β	トリチウム	0.11±0.017	0.14±0.017	ND	0.065±0.020
		<sup>90</sup> Sr	0.53±0.12	0.71±0.13	0.75±0.13	0.80±0.14
	γ	<sup>137</sup> Cs	1.9±0.22	1.9±0.21	1.6±0.22	2.1±0.23
		その他の γ 核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>134</sup> Cs 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	0.0031±0.00094	ND	0.0034±0.0011	0.013±0.0019

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu は測定終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 3-2-8 令和 3 年度に核燃海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		8		8		
採取年月日		令和 3 年 6 月 13 日		令和 3 年 10 月 18 日		
採取位置	N	40° 54.0'		40° 54.2'		
	E	141° 45.0'		141° 45.1'		
水深 (m)		306		312		
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	
		1	293	1	278	
水温 (°C)		18.0	5.1	18.6	6.2	
塩分 (psu)		34.25	33.70	34.00	33.85	
測定年月日	トリチウム	令和 3 年 8 月 3 日	令和 3 年 8 月 3 日	令和 3 年 11 月 29 日	令和 3 年 12 月 5 日	
	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 10 月 2 日	令和 3 年 10 月 1 日	令和 4 年 1 月 8 日	令和 4 年 1 月 22 日	
	γ 核種	令和 3 年 9 月 28 日	令和 3 年 9 月 29 日	令和 3 年 12 月 20 日	令和 3 年 12 月 21 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 7 月 19 日	令和 3 年 7 月 19 日	令和 3 年 12 月 24 日	令和 3 年 12 月 24 日	
放射能濃度*1 (mBq/L、ただしトリチウムは Bq/L)						
放射性核種	β	トリチウム	0.089±0.016	0.097±0.017	0.097±0.020	ND
		<sup>90</sup> Sr	0.79±0.13	0.73±0.11	0.73±0.12	0.82±0.13
	γ	<sup>137</sup> Cs	2.0±0.26	1.3±0.25	1.3±0.23	1.3±0.20
		その他の γ 核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>134</sup> Cs 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	ND	0.0071±0.0014	0.0037±0.0010	0.010±0.0019

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu は測定終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 3-2-9 令和 3 年度に核燃海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		9		9		
採取年月日		令和 3 年 6 月 13 日		令和 3 年 10 月 18 日		
採取位置	N	40° 53.8'		40° 54.0'		
	E	142° 0.0'		141° 59.9'		
水深 (m)		633		640		
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	
		1	609	1	609	
水温 (°C)		19.4	3.6	18.4	3.7	
塩分 (psu)		34.50	34.06	33.92	34.16	
測定年月日	トリチウム	令和 3 年 8 月 6 日	令和 3 年 8 月 6 日	令和 3 年 12 月 13 日	令和 3 年 12 月 13 日	
	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 10 月 1 日	令和 3 年 10 月 2 日	令和 4 年 1 月 11 日	令和 4 年 1 月 11 日	
	γ核種	令和 3 年 9 月 28 日	令和 3 年 9 月 29 日	令和 4 年 1 月 3 日	令和 3 年 12 月 23 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 9 月 10 日	令和 3 年 9 月 10 日	令和 4 年 1 月 4 日	令和 4 年 1 月 4 日	
放射能濃度*1 (mBq/L、ただしトリチウムは Bq/L)						
放射性核種	β	トリチウム	ND	0.091±0.021	0.058±0.016	0.067±0.016
		<sup>90</sup> Sr	0.78±0.13	0.29±0.087	0.84±0.12	0.34±0.096
	γ	<sup>137</sup> Cs	2.0±0.27	ND	1.6±0.19	ND
		その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>134</sup> Cs 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	0.0033±0.00089	0.017±0.0021	ND	0.017±0.0028

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu は測定終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 3-2-10 令和 3 年度に核燃海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		10		10		
採取年月日		令和 3 年 6 月 16 日		令和 3 年 10 月 18 日		
採取位置	N	40° 54.3'		40° 54.0'		
	E	142° 11.8'		142° 9.7'		
水深 (m)		1024		954		
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	
		1	964	1	929	
水温 (°C)		14.0	3.0	18.8	2.8	
塩分 (psu)		33.35	34.34	34.07	34.38	
測定年月日	トリチウム	令和 3 年 8 月 6 日	令和 3 年 8 月 6 日	令和 3 年 12 月 13 日	令和 3 年 12 月 13 日	
	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 10 月 1 日	令和 3 年 10 月 1 日	令和 4 年 1 月 11 日	令和 4 年 1 月 11 日	
	γ核種	令和 3 年 9 月 28 日	令和 3 年 9 月 29 日	令和 3 年 12 月 20 日	令和 3 年 12 月 21 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 8 月 23 日	令和 3 年 9 月 10 日	令和 4 年 1 月 4 日	令和 4 年 1 月 4 日	
放射能濃度*1 (mBq/L、ただしトリチウムは Bq/L)						
放射性核種	β	トリチウム	0.13±0.021	ND	0.066±0.016	ND
		<sup>90</sup> Sr	0.75±0.12	ND	0.78±0.12	ND
	γ	<sup>137</sup> Cs	1.3±0.20	ND	1.6±0.26	ND
		その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>134</sup> Cs 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	0.0042±0.0010	0.017±0.0023	ND	0.020±0.0023

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu は測定終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 3-2-11 令和 3 年度に核燃海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		11		11		
採取年月日		令和 3 年 6 月 23 日		令和 3 年 10 月 10 日		
採取位置	N	41° 0.0'		41° 0.0'		
	E	141° 30.3'		141° 29.9'		
水深 (m)		335		324		
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	
		1	304	1	315	
水温 (°C)		16.0	3.6	20.1	4.6	
塩分 (psu)		33.92	33.63	34.00	33.73	
測定年月日	トリチウム	令和 3 年 8 月 6 日	令和 3 年 8 月 6 日	令和 3 年 12 月 14 日	令和 3 年 12 月 14 日	
	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 10 月 19 日	令和 3 年 10 月 19 日	令和 4 年 1 月 7 日	令和 4 年 1 月 7 日	
	γ 核種	令和 3 年 10 月 4 日	令和 3 年 10 月 5 日	令和 3 年 12 月 22 日	令和 3 年 12 月 23 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 7 月 28 日	令和 3 年 9 月 10 日	令和 3 年 12 月 23 日	令和 3 年 12 月 23 日	
放射能濃度*1 (mBq/L、ただしトリチウムは Bq/L)						
放射性核種	β	トリチウム	0.084±0.021	0.11±0.021	0.080±0.018	ND
		<sup>90</sup> Sr	0.82±0.12	0.56±0.10	0.81±0.14	0.65±0.13
	γ	<sup>137</sup> Cs	1.4±0.21	0.94±0.20	1.4±0.23	1.5±0.22
		その他の γ 核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>134</sup> Cs 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	ND	0.011±0.0020	0.0032±0.0010	0.0078±0.0015

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu は測定終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 3-2-12 令和 3 年度に核燃海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		12		12		
採取年月日		令和 3 年 6 月 24 日		令和 3 年 10 月 11 日		
採取位置	N	41° 1.7'		41° 2.2'		
	E	141° 45.2'		141° 45.0'		
水深 (m)		517		535		
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	
		1	497	1	513	
水温 (°C)		18.4	3.7	19.7	3.8	
塩分 (psu)		34.32	33.92	33.97	33.92	
測定年月日	トリチウム	令和 3 年 8 月 6 日	令和 3 年 8 月 6 日	令和 3 年 12 月 14 日	令和 3 年 12 月 14 日	
	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 10 月 19 日	令和 3 年 11 月 1 日	令和 4 年 1 月 7 日	令和 4 年 1 月 7 日	
	γ 核種	令和 3 年 10 月 4 日	令和 3 年 10 月 5 日	令和 3 年 12 月 22 日	令和 3 年 12 月 23 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 7 月 28 日	令和 3 年 9 月 10 日	令和 3 年 12 月 23 日	令和 3 年 12 月 23 日	
放射能濃度*1 (mBq/L、ただしトリチウムは Bq/L)						
放射性核種	β	トリチウム	0.11±0.021	0.071±0.020	ND	0.059±0.017
		<sup>90</sup> Sr	0.82±0.12	0.33±0.089	0.90±0.14	0.54±0.11
	γ	<sup>137</sup> Cs	2.2±0.24	0.80±0.21	1.6±0.21	1.2±0.20
		その他の γ 核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>134</sup> Cs 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	ND	0.014±0.0022	ND	0.015±0.0020

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu は測定終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 3-2-13 令和 3 年度に核燃海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		13		13		
採取年月日		令和 3 年 6 月 16 日		令和 3 年 10 月 16 日		
採取位置	N	41° 1.8'		41° 2.0'		
	E	142° 1.2'		142° 0.0'		
水深 (m)		970		955		
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	
		1	919	1	923	
水温 (°C)		14.8	3.1	18.3	3.1	
塩分 (psu)		33.70	34.31	33.76	34.32	
測定年月日	トリチウム	令和 3 年 8 月 24 日	令和 3 年 8 月 24 日	令和 3 年 12 月 14 日	令和 3 年 12 月 14 日	
	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 10 月 19 日	令和 3 年 10 月 18 日	令和 4 年 1 月 12 日	令和 4 年 1 月 12 日	
	γ核種	令和 3 年 10 月 4 日	令和 3 年 10 月 5 日	令和 4 年 1 月 10 日	令和 4 年 1 月 11 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 9 月 10 日	令和 3 年 7 月 28 日	令和 4 年 1 月 4 日	令和 4 年 1 月 4 日	
放射能濃度*1 (mBq/L、ただしトリチウムは Bq/L)						
放射性核種	β	トリチウム	ND	ND	0.065±0.018	ND
		<sup>90</sup> Sr	0.74±0.12	ND	0.68±0.12	ND
	γ	<sup>137</sup> Cs	1.7±0.25	ND	1.5±0.22	ND
		その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>134</sup> Cs 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	0.0050±0.0012	0.022±0.0026	ND	0.020±0.0022

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu は測定終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 3-2-14 令和 3 年度に核燃海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		14		14		
採取年月日		令和 3 年 6 月 18 日		令和 3 年 10 月 11 日		
採取位置	N	41° 15.8'		41° 16.6'		
	E	141° 35.3'		141° 34.7'		
水深 (m)		603		603		
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	
		1	576	1	580	
水温 (°C)		14.9	3.6	19.6	3.8	
塩分 (psu)		33.50	34.00	34.01	34.06	
測定年月日	トリチウム	令和 3 年 8 月 24 日	令和 3 年 8 月 24 日	令和 3 年 12 月 14 日	令和 3 年 12 月 14 日	
	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 10 月 18 日	令和 3 年 10 月 18 日	令和 4 年 1 月 7 日	令和 4 年 1 月 8 日	
	γ核種	令和 3 年 10 月 4 日	令和 3 年 10 月 6 日	令和 3 年 12 月 27 日	令和 3 年 12 月 28 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 7 月 28 日	令和 3 年 7 月 28 日	令和 3 年 12 月 24 日	令和 3 年 12 月 24 日	
放射能濃度*1 (mBq/L、ただしトリチウムは Bq/L)						
放射性核種	β	トリチウム	0.092±0.021	ND	0.082±0.018	ND
		<sup>90</sup> Sr	0.55±0.11	ND	0.85±0.13	0.51±0.11
	γ	<sup>137</sup> Cs	1.4±0.20	0.76±0.21	1.6±0.25	0.84±0.25
		その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>134</sup> Cs 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	0.0036±0.00090	0.019±0.0022	0.0038±0.00095	0.015±0.0020

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu は測定終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 3-2-15 令和 3 年度に核燃海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		15		15		
採取年月日		令和 3 年 6 月 17 日		令和 3 年 10 月 16 日		
採取位置	N	41° 16.2'		41° 16.3'		
	E	142° 0.3'		142° 0.1'		
水深 (m)		1037		1052		
採水深度 (m)	表層		下層	表層	下層	
	1		1014	1	1017	
水温 (°C)		16.3	3.0	18.9	2.7	
塩分 (psu)		34.07	34.35	34.03	34.42	
測定年月日	トリチウム	令和 3 年 8 月 24 日	令和 3 年 8 月 24 日	令和 3 年 12 月 20 日	令和 3 年 12 月 20 日	
	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 10 月 18 日	令和 3 年 10 月 18 日	令和 4 年 1 月 12 日	令和 4 年 1 月 11 日	
	γ 核種	令和 3 年 10 月 4 日	令和 3 年 10 月 5 日	令和 4 年 1 月 10 日	令和 4 年 1 月 11 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 9 月 10 日	令和 3 年 7 月 28 日	令和 4 年 1 月 4 日	令和 4 年 1 月 4 日	
放射能濃度*1 (mBq/L、ただしトリチウムは Bq/L)						
放射性核種	β	トリチウム	0.072±0.021	ND	0.070±0.020	ND
		<sup>90</sup> Sr	0.61±0.12	ND	0.80±0.13	ND
	γ	<sup>137</sup> Cs	1.8±0.24	ND	1.6±0.20	ND
		その他の γ 核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>134</sup> Cs 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	0.0038±0.00096	0.021±0.0025	ND	0.015±0.0021

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu は測定終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 3-2-16 令和 3 年度に核燃海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		16		16		
採取年月日		令和 3 年 6 月 21 日		令和 3 年 10 月 16 日		
採取位置	N	41° 25.7'		41° 25.9'		
	E	141° 40.3'		141° 39.8'		
水深 (m)		760		751		
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	
		1	725	1	725	
水温 (°C)		14.8	3.5	18.9	3.4	
塩分 (psu)		33.83	34.17	34.01	34.21	
測定年月日	トリチウム	令和 3 年 8 月 24 日	令和 3 年 8 月 24 日	令和 3 年 12 月 20 日	令和 3 年 12 月 20 日	
	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 10 月 19 日	令和 3 年 10 月 19 日	令和 4 年 1 月 11 日	令和 4 年 1 月 12 日	
	γ 核種	令和 3 年 10 月 4 日	令和 3 年 10 月 5 日	令和 4 年 1 月 12 日	令和 4 年 1 月 13 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 8 月 19 日	令和 3 年 8 月 19 日	令和 4 年 1 月 4 日	令和 4 年 1 月 4 日	
放射能濃度*1 (mBq/L、ただしトリチウムは Bq/L)						
放射性核種	β	トリチウム	0.11±0.021	0.064±0.020	0.087±0.021	ND
		<sup>90</sup> Sr	0.70±0.11	0.37±0.090	0.55±0.13	ND
	γ	<sup>137</sup> Cs	1.5±0.21	ND	1.8±0.23	0.67±0.22
		その他の γ 核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>134</sup> Cs 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	ND	0.018±0.0023	0.0028±0.00085	0.016±0.0022

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu は測定終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 3-2-17 令和 3 年度に核燃海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		17		17		
採取年月日		令和 3 年 6 月 8 日		令和 3 年 10 月 7 日		
採取位置	N	40° 10.0'		40° 10.1'		
	E	142° 5.1'		142° 5.4'		
水深 (m)		126		134		
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	
		1	117	1	123	
水温 (°C)		14.6	10.8	20.0	12.3	
塩分 (psu)		33.68	33.87	33.98	34.17	
測定年月日	トリチウム	令和 3 年 9 月 2 日	令和 3 年 9 月 2 日	令和 3 年 12 月 20 日	令和 3 年 12 月 20 日	
	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 10 月 20 日	令和 3 年 10 月 19 日	令和 3 年 12 月 22 日	令和 3 年 12 月 22 日	
	γ 核種	令和 3 年 8 月 2 日	令和 3 年 8 月 3 日	令和 3 年 12 月 1 日	令和 3 年 12 月 2 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 9 月 10 日	令和 3 年 7 月 8 日	令和 3 年 12 月 21 日	令和 3 年 12 月 21 日	
放射能濃度*1 (mBq/L、ただしトリチウムは Bq/L)						
放射性核種	β	トリチウム	0.087±0.022	ND	ND	0.097±0.021
		<sup>90</sup> Sr	0.78±0.13	0.76±0.12	0.76±0.12	0.87±0.13
	γ	<sup>137</sup> Cs	2.0±0.23	1.6±0.24	1.7±0.22	1.9±0.22
		その他の γ 核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>134</sup> Cs 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	0.0045±0.0011	0.0040±0.0010	0.0039±0.00098	0.0042±0.00096

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu は測定終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 3-2-18 令和 3 年度に核燃海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		18		18		
採取年月日		令和 3 年 6 月 8 日		令和 3 年 10 月 7 日		
採取位置	N	40° 10.0'		40° 10.1'		
	E	142° 14.9'		142° 15.2'		
水深 (m)		387		407		
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	
		1	377	1	393	
水温 (°C)		18.0	3.1	19.6	3.2	
塩分 (psu)		34.40	33.66	33.99	33.73	
測定年月日	トリチウム	令和 3 年 9 月 2 日	令和 3 年 9 月 2 日	令和 3 年 12 月 20 日	令和 3 年 12 月 26 日	
	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 10 月 20 日	令和 3 年 10 月 19 日	令和 3 年 12 月 23 日	令和 3 年 12 月 22 日	
	γ核種	令和 3 年 10 月 4 日	令和 3 年 8 月 5 日	令和 3 年 12 月 6 日	令和 3 年 12 月 7 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 7 月 8 日	令和 3 年 7 月 8 日	令和 3 年 12 月 21 日	令和 3 年 12 月 21 日	
放射能濃度*1 (mBq/L、ただしトリチウムは Bq/L)						
放射性核種	β	トリチウム	ND	ND	0.089±0.021	ND
		<sup>90</sup> Sr	0.71±0.12	0.51±0.12	0.68±0.12	0.40±0.097
	γ	<sup>137</sup> Cs	1.8±0.17	1.5±0.25	1.9±0.27	1.3±0.25
		その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>134</sup> Cs 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	ND	0.013±0.0020	ND	0.014±0.0019

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu は測定終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 3-2-19 令和 3 年度に核燃海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		19		19		
採取年月日		令和 3 年 6 月 8 日		令和 3 年 10 月 5 日		
採取位置	N	39° 49.8'		39° 50.3'		
	E	142° 10.0'		142° 10.2'		
水深 (m)		161		166		
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	
		1	152	1	154	
水温 (°C)		15.9	10.5	20.6	9.8	
塩分 (psu)		34.31	33.94	34.05	34.02	
測定年月日	トリチウム	令和 3 年 8 月 16 日	令和 3 年 8 月 16 日	令和 3 年 12 月 26 日	令和 3 年 12 月 26 日	
	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 10 月 20 日	令和 3 年 10 月 20 日	令和 3 年 12 月 22 日	令和 3 年 12 月 22 日	
	γ 核種	令和 3 年 8 月 2 日	令和 3 年 8 月 3 日	令和 3 年 12 月 20 日	令和 3 年 12 月 21 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 9 月 10 日	令和 3 年 7 月 8 日	令和 3 年 12 月 21 日	令和 3 年 12 月 21 日	
放射能濃度*1 (mBq/L、ただしトリチウムは Bq/L)						
放射性核種	β	トリチウム	ND	0.070±0.022	ND	ND
		<sup>90</sup> Sr	0.63±0.12	0.72±0.13	0.71±0.12	0.63±0.11
	γ	<sup>137</sup> Cs	2.4±0.23	2.3±0.24	2.0±0.23	1.3±0.22
		その他の γ 核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>134</sup> Cs 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
		<sup>239+240</sup> Pu	ND	0.0059±0.0014	0.0031±0.00086	0.0062±0.0012

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu は測定終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 3-2-20 令和 3 年度に核燃海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		20		20		
採取年月日		令和 3 年 6 月 7 日		令和 3 年 10 月 5 日		
採取位置	N	39° 50.3'		39° 50.7'		
	E	142° 20.1'		142° 20.5'		
水深 (m)		525		530		
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	
		1	511	1	510	
水温 (°C)		18.3	3.4	20.6	4.1	
塩分 (psu)		34.46	33.89	33.95	34.03	
測定年月日	トリチウム	令和 3 年 8 月 16 日	令和 3 年 8 月 16 日	令和 3 年 12 月 26 日	令和 3 年 12 月 26 日	
	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 10 月 19 日	令和 3 年 10 月 20 日	令和 3 年 12 月 22 日	令和 3 年 12 月 23 日	
	γ核種	令和 3 年 9 月 21 日	令和 3 年 9 月 22 日	令和 3 年 12 月 20 日	令和 3 年 12 月 21 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 8 月 23 日	令和 3 年 7 月 19 日	令和 3 年 12 月 23 日	令和 3 年 12 月 23 日	
放射能濃度*1 (mBq/L、ただしトリチウムは Bq/L)						
放射性核種	β	トリチウム	ND	ND	ND	ND
		<sup>90</sup> Sr	0.51±0.12	0.41±0.11	0.80±0.12	0.48±0.10
	γ	<sup>137</sup> Cs	1.6±0.24	0.91±0.24	1.7±0.21	0.87±0.20
		その他の γ核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>134</sup> Cs 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	ND	0.014±0.0023	ND	0.023±0.0025

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu は測定終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 3-2-21 令和 3 年度に核燃海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		21		21		
採取年月日		令和 3 年 6 月 7 日		令和 3 年 10 月 5 日		
採取位置	N	39° 29.9'		39° 30.2'		
	E	142° 8.1'		142° 7.9'		
水深 (m)		167		164		
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	
		1	156	1	155	
水温 (°C)		16.8	10.2	20.2	12.0	
塩分 (psu)		34.53	34.02	34.06	34.24	
測定年月日	トリチウム	令和 3 年 8 月 16 日	令和 3 年 8 月 16 日	令和 3 年 12 月 26 日	令和 3 年 12 月 26 日	
	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 9 月 17 日	令和 3 年 9 月 17 日	令和 3 年 12 月 23 日	令和 3 年 12 月 23 日	
	γ 核種	令和 3 年 9 月 21 日	令和 3 年 9 月 22 日	令和 3 年 12 月 20 日	令和 3 年 12 月 21 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 10 月 1 日	令和 3 年 9 月 29 日	令和 3 年 12 月 23 日	令和 3 年 12 月 23 日	
放射能濃度*1 (mBq/L、ただしトリチウムは Bq/L)						
放射性核種	β	トリチウム	ND	ND	0.070±0.018	0.068±0.018
		<sup>90</sup> Sr	0.71±0.11	0.80±0.12	0.59±0.12	0.68±0.13
	γ	<sup>137</sup> Cs	2.2±0.22	1.7±0.19	1.9±0.25	1.8±0.26
		その他の γ 核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>134</sup> Cs 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	ND	0.0081±0.0016	0.0029±0.00095	0.0047±0.0012

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu は測定終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料 3-2-22 令和 3 年度に核燃海域で採取した海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果

調査海域		核燃海域				
測点		22		22		
採取年月日		令和 3 年 6 月 7 日		令和 3 年 10 月 5 日		
採取位置	N	39° 30.2'		39° 30.4'		
	E	142° 15.3'		142° 14.9'		
水深 (m)		373		362		
採水深度 (m)		表層	下層	表層	下層	
		1	362	1	348	
水温 (°C)		16.3	3.1	20.7	5.1	
塩分 (psu)		34.19	33.64	34.06	33.89	
測定年月日	トリチウム	令和 3 年 8 月 16 日	令和 3 年 8 月 16 日	令和 3 年 12 月 26 日	令和 3 年 12 月 26 日	
	<sup>90</sup> Sr	令和 3 年 9 月 17 日	令和 3 年 9 月 17 日	令和 3 年 12 月 23 日	令和 3 年 12 月 23 日	
	γ 核種	令和 3 年 9 月 21 日	令和 3 年 9 月 30 日	令和 3 年 12 月 22 日	令和 3 年 12 月 23 日	
	<sup>239+240</sup> Pu	令和 3 年 7 月 19 日	令和 3 年 9 月 10 日	令和 3 年 12 月 23 日	令和 3 年 12 月 23 日	
放射能濃度*1 (mBq/L、ただしトリチウムは Bq/L)						
放射性核種	β	トリチウム	ND	ND	ND	ND
		<sup>90</sup> Sr	0.65±0.11	0.42±0.096	0.65±0.13	0.46±0.12
	γ	<sup>137</sup> Cs	2.3±0.24	0.86±0.23	1.8±0.26	0.90±0.24
		その他の γ 核種	<sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>65</sup> Zn、 <sup>95</sup> Zr、 <sup>95</sup> Nb、 <sup>103</sup> Ru、 <sup>106</sup> Ru、 <sup>125</sup> Sb、 <sup>134</sup> Cs 及び <sup>144</sup> Ce は、すべて検出下限値以下であった。			
	α	<sup>239+240</sup> Pu	ND	0.012±0.0021	ND	0.012±0.0019

\*1 試料の放射能濃度は試料採取年月日に減衰補正した値(<sup>239+240</sup>Pu は測定終了時の値)で、誤差は計数誤差である。測定値が検出下限値以下の場合には「ND」で示す。

資料4-1(1) 令和3年度 解析調査 海底土の性状

海域	測点	見かけ 比重	含水率 (%)	細礫分 (%)	粗砂分 (%)	中砂分 (%)	細砂分 (%)	シルト分 (%)	粘土分 (%)	2000 $\mu$ m 通過質量率 (%)	425 $\mu$ m 通過質量率 (%)	75 $\mu$ m 通過質量率 (%)	最大 粒径※ (mm)	60%粒径 (mm)	50%粒径 (mm)	30%粒径 (mm)	10%粒径 (mm)	均等 係数 (Uc)	曲率 係数 (Uc)	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	全有機 炭素 (mg/g)	全窒素 (mg/g)
北海道	2	1.23	70	0.19	0	0	2.4	57	40	99.8	99.8	97.4	2.0	0.012	0.0063	0.0035	-	-	-	2.64	27	3.2
	4	1.67	28	11	17	45	17	9.7	35	89.1	49.7	0	2.0	0.62	0.43	0.27	0.080	7.8	1.5	3.04	4.1	0.55
青森	2	1.19	68	0.053	0.053	0.56	26	39	35	100	99.7	73.6	2.0	0.033	0.011	0.0040	-	-	-	2.01	23	3.3
	4	1.15	71	0.31	0.078	0.29	21	46	33	99.7	99.5	78.8	2.0	0.029	0.014	0.0026	-	-	-	1.74	25	3.5
宮城	2	1.64	32	4.1	2.2	28	33	25	7.6	95.9	84.9	33.0	2.0	0.21	0.15	0.069	0.010	21	2.2	2.57	5.0	0.75
	4	1.68	27	1.2	2.5	40	37	13	6.4	98.8	84.9	19.0	2.0	0.27	0.22	0.13	0.050	5.4	1.1	2.66	2.7	0.50
福島 第一	2	1.57	39	0	1.3	34	36	18	12	100	90.0	29.5	0.85	0.23	0.18	0.078	0.0020	110	13	2.94	7.0	1.1
	4	1.42	47	0	0.34	19	34	32	14	100	96.3	0	0.85	0.12	0.088	0.036	0.0024	52	4.3	2.72	6.9	1.1
福島 第二	2	1.50	41	1.4	2.3	11	47	33	5.8	98.6	91.7	38.6	2.0	0.16	0.12	0.060	0.017	9.4	1.4	2.61	5.9	0.90
	4	1.70	31	1.7	8.0	45	28	7.7	9.7	98.3	68.3	17.4	2.0	0.36	0.28	0.16	0.0050	72	14	2.64	3.6	0.65
茨城	2	1.63	33	0.018	1.2	24	52	16	7.6	100	90.7	23.4	2.0	0.20	0.17	0.11	0.0053	38	11	2.70	3.8	0.60
	4	1.43	46	0.13	0.040	2.8	53	29	15	99.9	99.5	43.8	2.0	0.13	0.091	0.032	0.0027	46	3.0	2.31	6.5	1.0
静岡	2	1.72	25	4.3	5.6	20	48	9.3	12	95.7	83.6	21.6	2.0	0.21	0.18	0.12	-	-	-	2.33	3.2	0.65
	4	1.51	52	0.047	0.0094	0.32	13	64	23	100	99.9	86.2	2.0	0.040	0.034	0.013	-	-	-	2.96	8.5	1.4
新潟	2	1.23	76	0.054	0	0	0.34	41	59	99.9	99.6	99.6	2.0	0.0084	0.0018	0.0014	-	-	-	2.79	23	3.3
	4	1.64	37	21	7.9	22	27	7.2	16	79.1	65.2	0	2.0	0.37	0.26	0.14	-	-	-	3.50	3.9	0.80
石川	2	1.51	45	0	0.087	5.0	33	44	18	100	99.2	61.9	0.85	0.072	0.052	0.021	0.0025	29	2.4	2.82	7.9	1.3
	4	1.80	27	7.8	26	29	24	2.4	11	92.2	47.3	13.2	2.0	0.71	0.49	0.20	0.0028	250	20	2.82	3.2	0.55
福井 第一	2	1.17	79	0.060	0	0	0.18	46	54	99.9	99.9	99.8	2.0	0.0056	0.0044	0.0015	-	-	-	2.60	35	4.4
	4	1.17	76	0	0	0	0.45	49	50	100	100	99.5	0.106	0.0046	0.0045	-	-	-	-	2.15	31	4.3
福井 第二	2	1.30	66	0	0	0	2.0	66	32	100	100	98.0	0.106	0.024	0.017	0.0036	-	-	-	2.93	23	3.1
	4	1.43	52	0	0.029	0.57	24	55	20	100	99.8	75.8	0.85	0.049	0.034	0.011	-	-	-	2.89	13	1.8
島根	2	1.88	24	1.5	5.3	36	46	2.0	8.5	98.5	80.6	10.6	2.0	0.28	0.093	0.029	0.067	4.1	0.044	2.76	2.0	0.30
	4	1.61	36	0.23	0.67	25	31	30	13	99.8	90.0	43.0	2.0	0.15	0.095	0.033	-	-	-	2.55	9.2	1.0
愛媛	2	1.53	39	0.47	1.4	12	72	2.0	12	99.5	92.5	13.8	2.0	0.19	0.17	0.12	0.0026	73	30	2.38	3.4	0.50
	4	1.56	37	0	0.17	3.2	87	10	100	99.3	10.0	10.0	0.85	0.19	0.17	0.14	-	-	-	2.28	3.2	0.70
佐賀	2	1.84	24	14	18	56	12	0.65	86.1	42.2	0.650	2.0	0.72	0.55	0.35	0.22	0.78	3.2	0.78	2.48	1.5	0.40
	4	1.60	41	0	3.5	15	63	3.4	14	100	90.7	0	0.85	0.20	0.18	0.13	0.0018	110	44	2.60	8.9	1.2
鹿児島	2	1.73	31	0.67	2.1	41	44	8.2	3.8	99.3	84.0	12.0	2.0	0.27	0.23	0.16	0.068	4.0	1.4	2.54	1.3	0.25
	4	1.39	45	0.050	0.13	9.2	62	13	16	99.9	98.2	28.9	2.0	0.17	0.14	0.038	-	-	-	2.06	4.6	0.55
大和堆 四国沖	4	1.29	63	0.12	0.059	0.42	3.0	51	45	99.9	99.6	96.5	2.0	0.012	0.0074	0.0021	-	-	-	2.97	14	2.0
	1	1.26	72	0.12	0.25	6.2	7.9	46	40	99.9	96.9	85.5	2.0	0.013	0.0076	0.0028	-	-	-	2.88	14	1.9

\* 2mm以上の粒子は未測定

資料 4-1(2) 令和 3 年度 解析調査 海底土の性状

海域	測点	見かけ 比重	含水率 (%)	細礫分 (%)	粗砂分 (%)	中砂分 (%)	細砂分 (%)	シルト分 (%)	粘土分 (%)	2000 $\mu\text{m}$ 通過質量率 (%)	425 $\mu\text{m}$ 通過質量率 (%)	75 $\mu\text{m}$ 通過質量率 (%)	最大 粒径※ (mm)	60%粒径	50%粒径	30%粒径	10%粒径	均等 係数 (Uc)	曲率 係数 (Uc')	密度 ( $\text{g}/\text{cm}^3$ )	全有機 炭素 (mg/g)	全窒素 (mg/g)		
														(mm)	(mm)	(mm)	(mm)							
核燃	1	1.78	29	1.1	2.5	22	70	4.6	98.9	89.3	4.63	2.0	0.22	0.19	0.15	0.095	2.3	1.0	2.85	2.1	0.40			
	2	1.87	22	8.1	1.8	17	71	2.2	91.9	82.7	2.15	2.0	0.22	0.20	0.16	0.11	2.0	0.98	2.69	1.4	0.35			
	3	1.81	28	1.2	5.2	35	54	4.6	98.8	79.2	4.64	2.0	0.26	0.22	0.16	0.096	2.7	1.0	2.64	2.1	0.40			
	4	1.86	23	0.14	0.059	2.1	97	0.44	99.9	99.6	0.44	2.0	0.19	0.17	0.14	0.11	1.7	0.96	2.73	0.90	0.30			
	5	1.74	26	1.3	1.7	54	36	6.8	98.7	79.3	6.84	2.0	0.33	0.28	0.20	0.12	2.8	0.98	2.62	1.6	0.40			
	6	1.73	26	0.19	3.6	43	53	0.47	99.8	79.7	0.473	2.0	0.30	0.24	0.18	0.13	2.3	0.90	2.42	2.2	0.50			
	7	1.60	33	0.68	1.9	23	64	2.9	7.7	99.3	88.4	10.6	2.0	0.22	0.19	0.15	0.061	3.5	1.6	2.44	2.5	0.55		
	8	1.60	31	0.33	1.7	21	66	6.8	4.6	99.7	90.7	11.3	2.0	0.21	0.19	0.14	0.068	3.1	1.3	2.40	2.9	0.55		
	9	1.26	63	0.092	0.060	0.13	21	57	22	99.9	99.8	79.0	2.0	0.060	0.052	0.015	-	-	-	2.36	17	2.4		
	10	1.16	76	0.083	0.050	0.12	5.1	40	55	99.9	99.8	94.6	2.0	0.0077	0.0056	-	-	-	-	2.64	30	4.3		
	11	1.82	24	1.2	2.8	24	68	3.9	8.4	98.8	88.1	3.94	2.0	0.22	0.20	0.16	0.11	2.0	0.98	2.82	1.8	0.40		
	12	1.18	73	0	0	0.070	12	50	38	100	100	87.7	0.425	0.010	0.0088	0.0052	-	-	-	2.23	26	3.7		
	13	1.17	79	0	0	0	3.7	44	52	100	100	96.3	0.106	0.080	0.0060	0.00030	-	-	-	2.36	33	4.7		
	14	1.34	48	0.32	0.081	0.91	53	24	22	99.7	99.5	46.0	2.0	0.12	0.086	0.016	-	-	-	2.43	18	2.4		
	15	1.22	73	0.97	0.53	0.55	20	38	40	99.0	98.4	78.1	2.0	0.014	0.0075	0.0034	-	-	-	2.80	29	4.2		
	16	1.20	72	0.23	0	0.34	18	81	44	99.8	99.7	81.4	2.0	0.012	0.0066	0.0027	-	-	-	2.40	26	3.9		
	17	1.72	30	0.27	0.71	14	81	4.1	4.1	99.7	93.3	4.1	2.0	0.20	0.18	0.14	0.097	2.1	1.0	2.72	2.6	0.60		
	18	1.57	33	0.39	3.3	16	72	4.2	4.3	99.6	89.7	8.48	2.0	0.20	0.18	0.14	0.082	2.5	1.1	2.53	4.4	0.85		
	19	1.74	26	0.25	0.44	16	79	3.9	3.9	99.7	94.9	3.95	2.0	0.20	0.18	0.14	0.098	2.0	1.0	2.56	2.3	0.60		
	20	1.57	35	0.20	1.5	8.0	78	6.5	5.5	99.8	95.4	12.0	2.0	0.18	0.15	0.11	0.063	2.8	1.0	2.30	4.4	0.85		
	21	1.87	21	3.2	2.1	26	52	13	2.7	96.8	86.4	0	2.0	0.22	0.19	0.14	0.060	3.7	1.4	2.67	1.9	0.50		
	22	1.75	31	0.37	4.5	21	74	0	0	99.6	86.3	0	2.0	0.21	0.18	0.12	0.087	2.4	0.76	2.64	4.4	0.85		

\* 2mm 以上の粒子は未測定

資料4-1(3) 令和3年度 解析調査 海底土の性状

海域	測点	Al		Cr		Mn		Fe		Ni		Cu		Zn		As		Sr	
		(mg/g)	誤差	(µg/g)	誤差	(µg/g)	誤差	(mg/g)	誤差	(µg/g)	誤差	(µg/g)	誤差	(µg/g)	誤差	(µg/g)	誤差	(µg/g)	誤差
北海道	2	55	0.63	37	0.22	390	5.1	31	0.20	25	0.92	23	0.42	82	1.3	11	0.20	120	2.2
	4	62	2.4	50	0.14	1000	32	51	0.60	19	0.95	11	0.098	76	3.7	9.1	0.080	200	1.5
青森	2	59	0.44	50	0.27	370	4.0	32	0.38	25	0.48	22	0.20	95	0.48	15	0.21	150	3.1
	4	59	1.3	52	0.62	370	6.7	33	1.3	31	0.70	24	0.40	98	0.57	17	0.35	140	3.2
宮城	2	56	3.0	23	0.092	820	6.0	35	0.55	11	0.28	6.6	0.058	66	0.86	4.0	0.037	160	2.5
	4	53	3.7	21	0.20	800	5.1	38	1.2	11	0.86	5.2	0.13	68	0.35	4.6	0.11	140	2.0
福島 第一	2	53	0.75	28	0.37	690	4.1	40	0.62	15	0.57	7.7	0.17	75	1.4	5.8	0.091	140	0.71
	4	56	0.81	29	0.38	410	2.5	32	0.63	26	0.32	8.4	0.20	66	0.81	4.7	0.059	140	2.3
福島 第二	2	45	0.46	35	0.37	530	2.0	35	0.25	15	0.43	7.4	0.12	70	1.3	4.0	0.065	120	1.7
	4	49	0.27	24	0.94	810	4.2	46	0.49	10	0.25	5.5	0.037	73	1.8	3.8	0.037	150	1.7
茨城	2	47	0.075	25	0.42	640	1.6	37	0.17	9.9	0.73	6.2	0.18	72	1.8	5.6	0.060	130	1.3
	4	58	3.0	32	0.26	450	4.5	34	0.21	13	0.19	10	0.075	77	0.12	5.5	0.0055	140	1.1
静岡	2	54	1.3	58	1.1	440	5.1	37	0.64	18	0.32	7.7	0.10	71	1.8	12	0.16	380	1.2
	4	54	5.0	71	1.2	460	1.1	31	0.47	31	0.45	19	0.12	81	0.41	6.0	0.11	110	1.0
新潟	2	72	1.4	86	0.53	1100	8.6	37	0.51	42	0.26	26	0.45	110	2.7	13	0.11	110	5.1
	4	43	0.68	50	0.12	450	5.2	76	0.91	20	0.14	6.8	0.00088	84	0.13	16	0.084	140	2.1
石川	2	66	0.53	43	0.14	340	0.36	34	0.25	18	0.57	11	0.63	75	2.6	6.3	0.083	220	2.3
	4	55	1.0	24	0.25	300	2.4	25	0.23	9.0	0.37	5.1	0.023	54	1.3	8.8	0.14	310	5.0
福井 第一	2	61	1.3	50	0.37	310	3.2	29	0.36	30	1.1	27	0.064	100	0.45	8.2	0.066	150	4.1
	4	64	1.1	45	0.69	330	2.5	28	0.29	26	0.57	25	1.0	91	1.4	8.0	0.10	180	3.6
福井 第二	2	70	5.8	43	0.32	410	1.5	30	0.54	35	0.40	19	0.37	92	0.33	6.6	0.10	250	3.4
	4	81	2.1	48	0.11	440	4.6	33	0.89	25	0.16	15	0.17	83	0.072	6.1	0.070	390	2.4
島根	2	72	2.1	11	0.069	260	1.1	42	0.41	5.7	0.55	3.5	0.33	32	1.2	4.4	0.023	290	5.0
	4	72	1.7	21	0.22	340	4.6	34	0.16	13	0.78	11	0.10	70	0.057	5.3	0.092	290	7.2
愛媛	2	46	0.50	42	0.20	770	7.4	15	0.26	17	0.27	9.3	0.64	85	8.5	5.9	0.037	220	5.5
	4	68	2.0	32	0.31	920	21	33	0.73	14	0.27	9.1	0.30	73	0.78	4.7	0.038	270	5.8
佐賀	2	34	7.9	22	0.34	280	2.6	15	0.33	5.3	0.21	2.6	0.062	21	0.44	5.6	0.11	710	11
	4	30	0.80	23	0.28	210	1.4	15	0.41	8.7	0.53	5.1	0.33	33	1.2	3.3	0.065	1500	6.5
鹿児島	2	51	2.9	24	0.24	430	3.4	28	0.35	12	1.3	6.9	0.81	55	0.43	9.0	0.11	350	2.2
	4	56	3.3	15	0.21	350	1.9	23	0.25	7.3	0.36	5.2	0.42	53	1.9	6.4	0.17	290	1.3
大和堆	4	62	1.9	54	0.34	2698	23	33	0.52	42	0.78	32	0.87	100	1.5	7.2	0.066	214	2.1
	1	68	2.1	46	0.27	806	2.8	34	0.36	30	0.17	30	0.47	83	0.35	6.1	0.057	250	2.2

資料 4-1(4) 令和 3 年度 解析調査 海底土の性状

海域	測点	Al		Cr		Mn		Fe		Ni		Cu		Zn		As		Sr	
		(mg/g)	誤差	(μg/g)	誤差	(μg/g)	誤差	(mg/g)	誤差	(μg/g)	誤差	(μg/g)	誤差	(μg/g)	誤差	(μg/g)	誤差	(μg/g)	誤差
	1	47	0.53	29	0.84	770	1.9	33	0.34	7.9	0.29	5.4	0.13	87	1.3	8.9	0.19	470	0.53
	2	41	1.4	58	0.37	1000	9.5	28	0.27	12	0.14	5.3	0.035	71	0.72	5.3	0.041	280	2.4
	3	49	1.7	31	0.27	930	1.6	27	0.48	8.1	0.29	7.0	0.16	78	0.54	4.4	0.039	280	2.6
	4	50	3.6	38	0.27	980	6.2	32	0.15	9.5	0.37	5.1	0.17	82	1.8	9.2	0.063	250	3.5
	5	96	3.6	18	0.19	830	6.8	39	0.37	8.5	0.80	5.2	0.41	85	0.35	6.5	0.099	370	5.8
	6	80	1.2	27	0.086	640	1.7	36	0.56	12	0.55	5.3	0.032	71	0.68	5.8	0.076	360	1.6
	7	71	1.6	25	0.29	650	8.3	34	0.40	7.6	0.015	5.8	0.23	77	1.9	6.7	0.076	300	2.1
	8	72	1.0	35	0.43	890	9.5	44	0.38	12	1.8	8.1	0.19	82	1.4	5.3	0.071	300	3.7
	9	26	0.96	53	0.50	340	2.8	31	4.3	33	0.84	21	0.18	95	1.2	9.9	0.12	86	1.4
	10	21	0.37	65	0.099	290	2.0	28	0.30	34	0.73	32	0.20	100	0.37	12	0.097	67	0.20
	11	68	1.3	36	0.28	1300	12	51	0.51	12	0.35	7.4	0.034	100	1.2	4.7	0.036	240	1.1
	12	51	1.3	56	0.37	370	4.0	31	0.15	28	0.28	25	0.14	100	1.3	10	0.11	120	2.1
	13	46	1.0	64	0.47	320	1.7	29	0.35	33	0.61	32	0.19	110	1.4	14	0.14	130	0.92
	14	60	5.7	49	0.97	420	1.6	33	0.24	30	2.0	23	0.47	100	3.2	8.9	0.093	160	3.1
	15	47	1.3	45	0.64	340	4.0	25	0.23	32	0.33	28	0.32	97	0.97	6.9	0.12	130	1.3
	16	40	0.85	57	0.41	350	5.8	28	0.39	33	0.29	26	0.16	96	0.24	11	0.070	110	0.095
	17	73	1.3	30	0.082	650	13	36	0.76	9.9	0.094	6.4	0.26	66	0.23	4.3	0.039	260	1.9
	18	73	0.36	35	0.39	650	18	36	0.38	9.9	0.58	8.4	0.18	68	1.1	4.9	0.091	240	2.5
	19	65	4.3	30	0.39	680	26	35	0.57	9.6	0.28	6.3	0.080	61	0.38	3.9	0.070	220	3.5
	20	59	2.5	34	0.091	520	1.9	31	0.97	12	0.34	8.8	0.053	63	2.6	5.1	0.098	200	4.0
	21	52	1.4	55	0.79	970	8.9	36	0.39	13	0.045	6.0	0.035	62	0.56	4.1	0.059	200	1.4
	22	65	5.7	34	0.32	670	13	33	0.64	11	0.22	8.9	0.081	65	0.54	4.5	0.023	230	1.1

核燃

資料 4-1(5) 令和 3 年度 解析調査 海底土の性状

海域	測点	Mo		Ag		Cd		Sn		Sb		Cs		Pb		U	
		(ng/g)	誤差	(ng/g)	誤差	(ng/g)	誤差	(ng/g)	誤差	(ng/g)	誤差	(ng/g)	誤差	(μg/g)	誤差	(ng/g)	誤差
北海道	2	1900	6.8	390	5.1	160	0.91	1800	17	930	12	2900	52	31	0.16	2200	20
	4	730	9.1	180	2.7	130	5.3	1000	14	930	2.7	2700	44	16	0.13	1400	16
青森	2	1600	17	460	9.2	1100	13	1700	71	790	8.3	3000	20	29	0.19	1700	12
	4	1400	33	500	12	970	28	1900	16	790	15	3200	16	28	0.13	1700	11
宮城	2	550	3.5	92	0.58	98	2.2	900	6.8	320	0.69	1200	8.3	12	0.21	770	3.9
	4	410	11	79	2.0	88	2.2	780	8.1	350	5.3	1100	3.0	11	0.12	700	7.6
福島 第一	2	460	3.7	84	1.7	97	4.8	910	5.4	370	11	1500	10	15	0.11	780	20
	4	620	11	95	1.4	110	1.6	1000	74	350	19	1600	35	14	0.18	960	28
福島 第二	2	530	5.1	92	2.1	110	7.6	1100	100	340	2.6	1500	43	14	0.17	840	13
	4	360	9.4	71	1.4	80	2.5	770	24	330	5.7	1300	13	10	0.018	620	2.0
茨城	2	460	8.7	90	2.3	99	3.9	920	32	340	6.5	1100	30	12	0.16	720	20
	4	640	5.7	110	0.74	150	2.3	1300	11	350	6.5	1800	33	17	0.23	1100	19
静岡	2	290	41	85	5.4	53	1.7	1400	36	410	8.5	2800	48	18	0.21	1500	16
	4	390	3.0	200	0.64	100	1.6	2400	12	530	2.9	3600	93	17	0.18	1600	51
新潟	2	2100	26	230	1.1	270	7.6	3000	62	1300	21	5100	150	48	0.23	2400	28
	4	410	1.0	99	0.95	85	1.7	1200	16	760	7.2	3500	12	24	0.12	1400	3.7
石川	2	470	13	130	3.7	88	7.6	1800	39	660	24	4100	14	23	0.62	1500	34
	4	440	9.7	86	1.7	72	5.0	1100	6.1	530	14	2600	16	20	0.27	1100	20
福井 第一	2	1100	97	240	2.4	150	2.6	2900	15	940	16	4900	61	33	0.30	2000	12
	4	1100	12	220	5.1	140	4.8	2600	19	890	7.7	5100	55	30	0.33	2300	12
福井 第二	2	630	3.9	200	5.2	130	3.5	2600	18	770	17	3700	26	29	0.18	1900	4.0
	4	500	15	130	1.3	97	2.5	2000	10	560	4.5	4000	33	25	0.20	1800	37
島根	2	220	6.2	58	1.1	42	1.4	1100	2.5	340	1.5	1700	13	16	0.053	840	6.4
	4	490	21	110	0.99	77	3.3	2100	23	480	9.5	3400	29	22	0.22	1500	30
愛媛	2	590	14	120	1.4	110	4.3	2400	45	450	7.8	3800	54	21	0.23	1600	3.8
	4	530	5.0	100	3.9	72	4.3	2000	6.5	410	5.6	3300	8.7	21	0.29	1300	7.5
佐賀	2	210	2.7	33	1.0	50	1.9	670	2.4	290	0.36	1100	25	13	0.020	790	2.0
	4	380	14	46	0.58	110	4.7	630	9.5	310	8.2	1100	19	11	0.26	1200	24
鹿児島	2	590	20	87	4.2	74	1.1	1100	24	620	22	2000	180	15	0.31	920	18
	4	1100	37	170	3.2	99	4.3	1700	63	600	14	4600	86	19	0.41	1700	19
大和堆	4	3600	8.5	300	6.1	270	4.5	3100	22	1600	32	6900	85	32	0.31	2200	16
	1	850	18	330	6.9	220	7.1	2200	14	950	3.4	5400	100	20	0.15	1700	14

資料 4-1(6) 令和 3 年度 解析調査 海底土の性状

海域	測点	Mo		Ag		Cd		Sn		Sb		Cs		Pb		U	
		(ng/g)	誤差	(ng/g)	誤差	(ng/g)	誤差	(ng/g)	誤差	(ng/g)	誤差	(ng/g)	誤差	(ng/g)	誤差	(ng/g)	誤差
核燃	1	410	13	86	2.1	91	3.3	810	20	480	4.4	1500	24	16	0.35	620	8.2
	2	440	4.7	88	2.0	83	3.7	850	4.4	400	5.8	1400	17	13	0.17	790	5.3
	3	580	13	98	2.1	150	7.5	710	24	450	4.9	1600	16	12	0.16	690	19
	4	290	5.9	67	1.7	80	6.2	610	18	340	5.0	1100	5.7	11	0.16	510	12
	5	550	4.0	100	2.0	110	2.7	790	23	500	4.7	1300	6.4	17	0.13	540	11
	6	520	2.7	100	2.5	99	4.3	650	21	610	10	2000	13	14	0.29	600	13
	7	590	2.3	100	3.8	110	7.0	830	12	490	5.6	1500	20	17	0.20	630	21
	8	590	14	120	2.0	140	5.1	810	6.8	500	5.4	1900	15	14	0.093	840	7.3
	9	1600	18	460	9.2	1000	7.1	1500	33	740	12	1700	7.2	23	0.11	1400	17
	10	1300	17	870	11	700	2.4	1700	6.8	1000	6.9	1700	12	26	0.25	1600	9.2
	11	470	11	96	3.0	150	3.0	590	8.8	440	10	1200	8.7	11	0.10	540	8.1
	12	1600	23	430	8.5	710	15	2200	110	980	13	2800	32	30	0.21	1900	43
	13	1600	9.5	910	16	690	12	1800	35	1100	16	3200	7.3	30	0.11	2300	25
	14	1000	13	370	6.9	440	7.8	1700	49	810	13	3000	20	29	0.12	1700	26
	15	870	3.2	710	13	560	6.3	1200	21	770	21	2900	25	25	0.57	1900	8.3
	16	2600	12	510	7.9	560	2.6	1800	13	970	22	2800	6.7	31	0.19	2500	35
	17	470	3.3	95	2.2	93	7.0	820	45	450	3.8	1700	7.5	14	0.033	820	2.8
	18	950	13	120	0.44	160	8.3	890	50	600	6.0	2000	27	13	0.091	910	13
	19	400	6.9	94	4.0	85	3.8	800	17	420	8.5	1600	9.0	13	0.068	1000	15
	20	620	7.0	150	4.5	250	9.3	930	26	630	13	1900	12	13	0.078	940	7.9
	21	310	5.6	71	0.35	73	2.9	1500	36	400	9.4	1700	27	12	0.17	1000	17
	22	600	15	110	1.6	120	5.5	890	15	540	7.5	1900	21	12	0.068	950	23

(参考1) 平成18年度から平成22年度(事故前5年間)の調査における海産生物試料の代替実績

事業年度	時期	海域	予定魚種	代替魚種	当該海域	生息層類似性	食性類似性	
平成18年度	後期	福井第一	ヒラメ	ノロゲンゲ	○	○	—	
		愛媛	カナガシラ	オニカナガシラ	○	○	○	
平成19年度	後期	福井第一	ヒラメ	ヤナギムシガレイ	○	○	—	
			スルメイカ	ケンサキイカ	○	○	○	
		愛媛	カナガシラ	カナガシラ類	○	○	○	
		核燃(三沢)	マコガレイ	スルメイカ	○	—	—	
平成20年度	前期	青森	ホッケ	マコガレイ	○	○	—	
	後期	愛媛	カナガシラ	オニカナガシラ	○	○	○	
平成21年度	後期	静岡	マゴチ	ヒラメ	○	○	○	
		福井第一	ヒラメ	ノロゲンゲ	○	○	—	
		愛媛	カナガシラ	オニカナガシラ	○	○	○	
		核燃(三沢)	マコガレイ	スルメイカ	○	—	—	
平成22年度	前期	青森	ホッケ	マダラ	○	○	○	
		愛媛	カナガシラ	カナガシラ類	○	○	○	
	後期	青森	アイナメ	キツネメバル	○	○	○	
			ヤリイカ	スルメイカ	○	○	○	
			茨城	マコガレイ	マガレイ	○	○	○
			福井第一	ヒラメ	ノロゲンゲ	○	○	—
		愛媛	カナガシラ	オニカナガシラ	○	○	○	

(参考 2 (1)) 令和 3 年度までの直近 10 年間の調査における海産生物試料の代替実績

事業年度	時期	海域	予定魚種	代替魚種	当該海域	生息層類似性	食性類似性
平成 24 年度	前期	青森	ホッケ	ウスメバル	○	○	○
		福島第一	スズキ	マアジ	○	○	—
			メバル	ババガレイ	○	○	○
			イシガレイ	マガレイ	○	○	○
		福島第二	マガレイ	マコガレイ	○	○	○
			ミズダコ	ヒラメ	○	○	○
	後期	青森	アイナメ	クロソイ	○	○	○
		福島第一	スズキ	ヒラメ	○	—	○
			メバル	チダイ	○	○	○
			イシガレイ	マガレイ	○	○	○
		福島第二	マダラ	ヒラメ	○	○	○
			マガレイ	マコガレイ	○	○	○
			ミズダコ	コモンカスベ	○	○	○
		茨城	マコガレイ	ムシガレイ	○	○	○
福井第一	ヒラメ	ノロゲンゲ	○	○	—		
愛媛	カナガシラ	オニカナガシラ	○	○	○		

事業年度	時期	海域	予定魚種	代替魚種	当該海域	生息層類似性	食性類似性
平成 25 年度	前期	青森	ホッケ	ウスメバル	○	○	○
		福島第一	スズキ	マダラ	○	—	○
			メバル	ババガレイ	○	○	○
			イシガレイ	アカガレイ	○	○	○
		福島第二	マガレイ	マコガレイ	○	○	○
		茨城	マコガレイ	ムシガレイ	○	○	○
	新潟	ホッケ	ソウハチガレイ	○	○	—	
	後期	青森	アイナメ	クロソイ	○	○	○
		福島第一	スズキ	マガレイ	○	—	—
			メバル	ババガレイ	○	○	○
		福島第二	マダラ	マコガレイ	○	○	—
		福井第一	ヒラメ	ノロゲンゲ	○	○	—
スルメイカ			ソデイカ	○	—	○	

(参考 2 (2)) 令和 3 年度までの直近 10 年間の調査における海産生物試料の代替実績

事業年度	時期	海域	予定魚種	代替魚種	当該海域	生息層類似性	食性類似性
平成 26 年度	前期	青森	ホッケ	ホウボウ	○	○	○
		福島第一	スズキ	マダラ	○	—	○
			メバル	ババガレイ	○	○	○
			イシガレイ	ヒラメ	○	○	—
		福島第二	マガレイ	ババガレイ	○	○	○
		新潟	ホッケ	ソウハチガレイ	○	○	—
		愛媛	カナガシラ	ハモ	○	○	○
		核燃 (三沢)	マコガレイ	ヒラメ	○	○	—
	後期	青森	クロソイ	ヒラメ	○	○	○
			アイナメ	キツネメバル	○	○	○
		福島第一	スズキ	カラスガレイ	○	—	—
			メバル	マガレイ	○	○	○
			イシガレイ	マダラ	○	○	—
		福島第二	マダラ	ミギガレイ	○	○	—
		茨城	マコガレイ	ムシガレイ	○	○	○
		新潟	ホッケ	ソウハチガレイ	○	○	—
		福井第一	ヒラメ	ノロゲンゲ	○	○	—

(参考 2 (3)) 令和 3 年度までの直近 10 年間の調査における海産生物試料の代替実績

事業年度	時期	海域	予定魚種	代替魚種	当該海域	生息層類似性	食性類似性
平成 27 年度	前期	青森	ホッケ	ブリ(若魚)	○	—	—
		福島第一	スズキ	ババガレイ	○	—	—
			メバル	ヒラメ	○	○	—
			イシガレイ	マダラ	○	○	—
		新潟	ホッケ	ソウハチガレイ	○	○	—
		愛媛	コウイカ	ハモ	○	○	○
		核燃(八戸)	カタクチイワシ	サバ属 (混合試料)	○	○	—
		核燃(三沢)	マコガレイ	ヒラメ	○	○	—
	核燃 (六ヶ所)	サクラマス	ヒラメ	○	—	—	
	後期	青森	アイナメ	ヒラメ	○	○	○
			ヤリイカ	スルメイカ	○	○	○
		福島第一	スズキ	ヒラメ	○	—	○
			イシガレイ	マダイ	○	—	○
			メバル	マガレイ	○	○	○
		福島第二	マダラ	ミギガレイ	○	○	—
		茨城	マコガレイ	ムシガレイ	○	○	○
		福井第一	ヒラメ	ノロゲンゲ	○	○	—
		島根	ヒラメ	キダイ	○	—	—
		愛媛	カナガシラ	イゴダカホドリ	○	○	○
		佐賀	カサゴ	マダイ	○	—	○
核燃(三沢)		マコガレイ	ヒラメ	○	○	—	

(参考 2 (4)) 令和 3 年度までの直近 10 年間の調査における海産生物試料の代替実績

事業年度	時期	海域	予定魚種	代替魚種	当該海域	生息層類似性	食性類似性
平成 28 年度	前期	青森	クロソイ	カナガシラ	○	○	—
		青森	ホッケ	ヒラメ	○	○	○
		福島第一	スズキ	ババガレイ	○	—	—
			メバル	ヒラメ	○	○	—
			イシガレイ	マガレイ	○	○	○
		茨城	マコガレイ	マルアオメエソ	○	○	○
		静岡	クロウシノシタ	アカカマス	○	—	○
		新潟	ホッケ	ソウハチガレイ	○	○	—
		石川	ハタハタ	マガレイ	○	○	○
		愛媛	カナガシラ	カナガシラ類 (混合試料)	○	○	○
			コウイカ	ハモ	○	○	○
		佐賀	カサゴ	マダイ	○	—	○
		核燃 (八戸)	カタクチイワシ	マサバ	○	○	—
		核燃 (三沢)	マコガレイ	ヒラメ	○	○	—
		核燃 (六ヶ所)	サクラマス	ブリ	○	○	—
	後期	青森	クロソイ	ヒラメ	○	○	○
		福島第一	スズキ	ヒラメ	○	—	○
			メバル	マガレイ	○	○	○
			イシガレイ	マコガレイ	○	○	○
		福島第二	マダラ	マコガレイ	○	○	—
		茨城	マコガレイ	マトウダイ	○	—	○
			ミズダコ	ヤリイカ	○	—	○
		新潟	ホッケ	マダイ	○	—	○
		福井第一	ヒラメ	ノロゲンゲ	○	○	—
		愛媛	シログチ	ニベ科(混合試料)	○	○	○
佐賀	カサゴ	マダイ	○	—	○		
核燃 (三沢)	マコガレイ	ヒラメ	○	○	—		

(参考2(5)) 令和3年度まで直近10年間の調査における海産生物試料の代替実績

事業年度	時期	海域	予定魚種	代替魚種	当該海域	生息層類似性	食性類似性
平成 29年度	前期	青森	ホッケ	ゴマサバ	○	—	—
		福島第一	スズキ	ババガレイ	○	—	—
			メバル	ヒラメ	○	○	—
			イシガレイ	マガレイ	○	○	○
			茨城	ヒラメ	マルアオメエソ	○	○
		茨城	マコガレイ	スルメイカ	○	—	—
			静岡	クロウシノシタ	アカカマス	○	—
		新潟	スケトウダラ	マダイ	○	—	○
			ホッケ	ソウハチガレイ	○	○	—
		石川	ニギス	マガレイ	○	○	○
			ハタハタ	マダラ	○	○	—
			ホッコクアカエビ	アカガレイ	○	○	—
		島根	ヒラメ	マアジ	○	—	—
		愛媛	カナガシラ	カナガシラ類 (混合試料)	○	○	○
			コウイカ	ハモ類 (混合試料)	○	○	○
		佐賀	カサゴ	マダイ	○	—	○
		核燃(八戸)	カタクチイワシ	サバ類 (混合試料)	○	○	—
		核燃(三沢)	マコガレイ	サバ類 (混合試料)	○	—	—
		核燃(六ヶ所)	サクラマス	ブリ	○	○	—
			キアンコウ	アンコウ類 (混合試料)	○	○	○
	後期	青森	アイナメ	ヒラメ	○	○	○
		福島第一	スズキ	ヒラメ	○	—	○
			メバル	マダイ	○	○	○
			イシガレイ	ムシガレイ	○	○	○
			福島第二	マダラ	マコガレイ	○	○
		ミズダコ		マダコ	○	○	○
		茨城	マコガレイ	ムシガレイ	○	○	○
			ミズダコ	ヤナギダコ	○	○	○
静岡		ニベ	カサゴ	○	○	—	
		クロウシノシタ	シタピラメ類 (混合試料)	○	○	○	

(参考 2 (6)) 令和 3 年度までの直近 10 年間の調査における海産生物試料の代替実績

事業年度	時期	海域	予定魚種	代替魚種	当該海域	生息層類似性	食性類似性
平成 29 年度 (続き)	後期 (続き)	新潟	スケトウダラ	マダイ	○	—	○
			ホッケ	ソウハチガレイ	○	○	—
		石川	アカガレイ	マガレイ	○	○	○
			ホッコクアカエビ	マダラ	○	○	—
		福井第一	ヒラメ	ノロゲンゲ	○	○	—
		島根	ヒラメ	ホウボウ	○	○	—
		愛媛	カナガシラ	イゴダカホドリ	○	○	○
		佐賀	カサゴ	マダイ	○	—	○
		鹿児島	カイワリ	ヘダイ	○	○	○
		核燃 (三沢)	マコガレイ	ムシガレイ	○	○	○

(参考 2 (7)) 令和 3 年度までの直近 10 年間の調査における海産生物試料の代替実績

事業年度	時期	海域	予定魚種	代替魚種	当該海域	生息層類似性	食性類似性
平成 30 年度	前期	青森	ホッケ	ムシガレイ	○	○	—
		福島第一	スズキ	マガレイ	○	—	—
			メバル	ヒラメ	○	○	—
			イシガレイ	ババガレイ	○	○	○
		福島第二	マダラ	マコガレイ	○	○	—
			ミズダコ	ヤナギダコ	○	○	○
		茨城	ヒラメ	ムシガレイ	○	○	—
			マコガレイ	マルアオメエソ	○	○	○
			ミズダコ	ヤナギダコ	○	○	○
		静岡	クロウシノシタ	シタピラメ類 (混合試料)	○	○	○
		愛媛	カナガシラ	カナガシラ類 (混合試料)	○	○	○
		核燃 (八戸)	カタクチイワシ	マサバ	○	○	—
		核燃 (三沢)	マコガレイ	ヒラメ	○	○	—
		後期	青森	クロソイ	スズキ	○	—
	福島第一		スズキ	マガレイ	○	—	—
			メバル	マダイ	○	○	○
			イシガレイ	マコガレイ	○	○	○
	福島第二		マダラ	マコガレイ	○	○	—
			ミズダコ	マダコ	○	○	○
	茨城		マコガレイ	カガミダイ	○	—	○
			ミズダコ	ヤリイカ	○	—	○
	静岡		クロウシノシタ	シタピラメ類 (混合試料)	○	○	○
	福井第一		ヒラメ	ノロゲンゲ	○	○	—
	愛媛	カナガシラ	イゴダカホデリ	○	○	○	
佐賀	カサゴ	マダイ	○	—	○		
鹿児島	カイワリ	ヘダイ	○	○	○		

(参考 2 (8)) 令和 3 年度までの直近 10 年間の調査における海産生物試料の代替実績

事業年度	時期	海域	予定魚種	代替魚種	当該海域	生息層類似性	食性類似性
平成 31 (令和元) 年度	前期	青森	ホッケ	ヒラメ	○	○	○
		福島第一	スズキ	マガレイ	○	—	—
			メバル	ババガレイ	○	○	○
		福島第二	ミズダコ	ヤナギダコ	○	○	○
		茨城	マコガレイ	ムシガレイ	○	○	○
			ミズダコ	ヤナギダコ	○	○	○
		静岡	クロウシノシタ	シタピラメ類 (混合試料)	○	○	○
		愛媛	カナガシラ	カナガシラ類 (混合試料)	○	○	○
		佐賀	カサゴ	マダイ	○	—	○
		核燃(三沢)	マコガレイ	ヒラメ	○	○	—
	核燃(八戸)	カタクチイワシ	マイワシ	○	○	○	
	後期	青森	クロソイ	ヒラメ	○	○	○
		福島第一	スズキ	エゾイソアイナメ	○	—	○
			メバル	マダラ	○	○	—
			イシガレイ	ヤナギダコ	○	○	○
		福島第二	ミズダコ	マダコ	○	○	○
		茨城	マコガレイ	ムシガレイ	○	○	○
			ミズダコ	ヤナギダコ	○	○	○
		静岡	クロウシノシタ	シタピラメ類 (混合試料)	○	○	○
		福井第一	ヒラメ	ソウハチガレイ	○	○	—
		島根	ヒラメ	マトウダイ	○	—	—
		愛媛	カナガシラ	カナガシラ類 (混合試料)	○	○	○
		佐賀	カサゴ	マダイ	○	—	○
鹿児島		カイワリ	ヘダイ	○	○	○	
核燃(三沢)	マコガレイ	マサバ	○	—	—		

(参考 2 (9)) 令和 3 年度までの直近 10 年間の調査における海産生物試料の代替実績

事業年度	時期	海域	予定魚種	代替魚種	当該海域	生息層類似性	食性類似性
令和 2 年度	前期	福島第一	スズキ	ヒラメ	○	－	○
			メバル	ババガレイ	○	○	○
			イシガレイ	コモンカスベ	○	○	○
		福島第二	マダラ	スズキ	○	－	○
			ミズダコ	ヤナギダコ	○	○	○
		茨城	ヒラメ	ムシガレイ	○	○	－
			マコガレイ	マルアオメエソ	○	○	○
			ミズダコ	ヤナギダコ	○	○	○
		静岡	マゴチ	イネゴチ	○	○	○
			クロウシノシタ	アカカマス	○	－	○
		愛媛	コウイカ	ケンサキイカ	○	－	○
		佐賀	カサゴ	マダイ	○	－	○
		核燃（三沢）	マコガレイ	サバ類 （混合試料）	○	－	－
		核燃（八戸）	カタクチイワシ	マサバ	○	○	－
	後期	青森	クロソイ	ヒラメ	○	○	○
		宮城	アイナメ	エゾイソアイナメ	○	－	○
		福島第一	スズキ	スルメイカ	○	－	○
			メバル	キアンコウ	○	○	－
			イシガレイ	マガレイ	○	○	○
		福島第二	マダラ	カナガシラ	○	○	－
			ミズダコ	マダコ	○	○	○
		茨城	マコガレイ	スルメイカ	○	－	○
			ミズダコ	ヤナギダコ	○	○	○
		静岡	クロウシノシタ	オオシタヒラメ	○	○	○
福井第一	ヒラメ	ノロゲンゲ	○	○	－		
島根	ヒラメ	マトウダイ	○	－	○		
佐賀	カサゴ	マダイ	○	－	○		

(参考2(10)) 令和3年度までの直近10年間の調査における海産生物試料の代替実績

事業年度	時期	海域	予定魚種	代替魚種	当該海域	生息層類似性	食性類似性
令和3年度	前期	福島第一	スズキ	ソウハチガレイ	○	—	○
			メバル	ババガレイ	○	○	○
			イシガレイ	ヤナギダコ	○	○	○
		福島第二	マダラ	マアナゴ	○	○	○
			ミズダコ	ヤナギダコ	○	○	○
		茨城	ヒラメ	カナガシラ	○	○	○
			マコガレイ	キンメダイ	○	○	○
			ミズダコ	ヤナギダコ	○	○	○
		静岡	マゴチ	イサキ	○	—	○
			クロウシノシタ	アカカマス	○	—	○
		愛媛	カナガシラ	ハモ	○	○	○
			コウイカ	ケンサキイカ	○	—	○
		佐賀	スズキ	イサキ	○	○	○
			カサゴ	マダイ	○	—	○
		核燃(三沢)	マコガレイ	ヒラメ	○	○	○
		核燃(八戸)	カタクチイワシ	ホッケ	○	○	—
		核燃(山田)	スルメイカ	ヤリイカ	○	○	○
		核燃(釜石)	イカナゴ	ブリ	○	—	—
	後期	北海道	スケトウダラ	マサバ	○	—	○
		福島第一	スズキ	サバ類 (混合試料)	○	○	○
			メバル	ユメカサゴ	○	○	○
			イシガレイ	ヤリイカ	○	—	○
		福島第二	マダラ	カナガシラ	○	○	—
			ミズダコ	マダコ	○	○	○
		茨城	マコガレイ	ムシガレイ	○	○	○
			ミズダコ	ヤナギダコ	○	○	○
		静岡	クロウシノシタ	アカシタビラメ	○	○	○
福井第一		ヒラメ	ムシガレイ	○	○	—	
		スルメイカ	キダイ	○	○	○	
島根		ヒラメ	マトウダイ	○	—	○	
	ムシガレイ	ホウボウ	○	○	○		

(参考 2 (11)) 令和 3 年度までの直近 10 年間の調査における海産生物試料の代替実績

事業年度	時期	海域	予定魚種	代替魚種	当該海域	生息層類似性	食性類似性
令和 3 年度 (続き)	後期 (続き)	愛媛	カナガンラ	カナガシラ類 (混合試料)	○	○	○
		佐賀	スズキ	イサキ	○	○	○
			カサゴ	マダイ	○	—	○
		鹿児島	チダイ	ヘダイ	○	○	○
			カイワリ	マアジ	○	○	○
		核燃 (三沢)	マコガレイ	マサバ	○	—	—
		核燃 (釜石)	シロザケ (雌)	サバ類 (混合試料)	○	○	○

(参考3) 海洋放射能調査における作業等の様子

(1) 海洋放射能調査における海産生物試料関係



①海産生物試料の前処理



②キアンコウの体表（皮）を剥ぐ様子



③海産生物試料（マアナゴ）の分け取り



④マアナゴの肉部の細断



⑤海産生物試料の胃の内容物の確認



⑥筋肉部位を分け取った後のキアンコウ

(2) 海洋放射能調査における海底土試料関係



①調査船舶の一例（第一開洋丸）



②調査船舶の一例（第一開洋丸）



③ボックス型採泥器



④ボックス型採泥器内の海底土

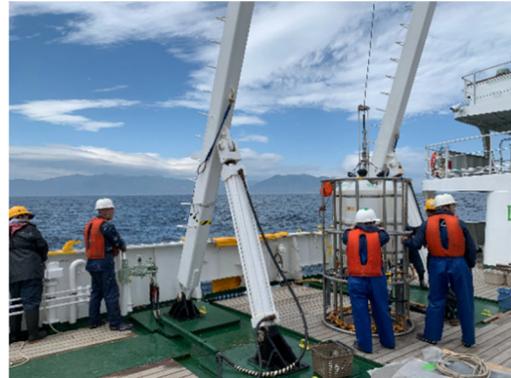


⑤海底土の分取

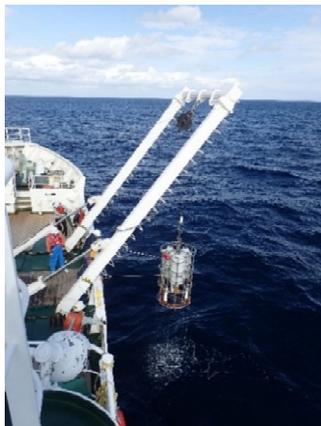
(3) 海洋放射能調査における海水試料関係



①大型バンドーン採水器の投入準備



②大型バンドーン採水器の投入準備



③大型バンドーン採水器の揚収



④水面下の大型バンドーン採水器



⑤海水を分取するフレキシブル容器



⑥分取した海水を梱包する様子

資料 5-1-1(1) 海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 近傍・沿岸海域

(単位：mBq/L)

測点	採取年月日	航海期	採取位置		採取深 (m)	<sup>134</sup> Cs		<sup>137</sup> Cs		<sup>90</sup> Sr		トリチウム	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
M-101	令和3年2月5日	2月期	37° 25. 65'	141° 02. 61'	0.5	0.95	0.19	15	0.40	0.77	0.19	120	19
M-102	令和3年2月4日	2月期	37° 25. 14'	141° 02. 57'	0.5	1.3	0.18	32	0.51	0.94	0.16	120	19
M-103	令和3年2月5日	2月期	37° 26. 70'	141° 02. 82'	0.5	0.38	0.10	8.9	0.16	0.80	0.16	90	17
M-104	令和3年2月4日	2月期	37° 24. 10'	141° 02. 81'	0.5	0.41	0.082	11	0.18	0.85	0.16	97	17
T-D1	令和3年2月5日	2月期	37° 29. 97'	141° 04. 31'	0.5	0.43	0.079	7.9	0.14	0.75	0.18	120	17
T-D5	令和3年2月4日	2月期	37° 24. 99'	141° 04. 37'	0.5	ND	ND	2.0	0.17	0.66	0.17	85	19
T-D9	令和3年2月4日	2月期	37° 20. 00'	141° 04. 35'	0.5	ND	ND	2.7	0.19	0.68	0.17	79	19
M-101	令和3年3月5日	3月期	37° 25. 62'	141° 02. 57'	0.5	2.8	0.21	61	0.73	11	0.38	350	21
M-102	令和3年3月4日	3月期	37° 25. 14'	141° 02. 58'	0.5	1.1	0.16	27	0.51	5.2	0.28	90	16
M-103	令和3年3月5日	3月期	37° 26. 73'	141° 02. 80'	0.5	0.71	0.18	16	0.38	1.4	0.17	100	15
M-104	令和3年3月4日	3月期	37° 24. 10'	141° 02. 81'	0.5	0.62	0.086	11	0.20	0.68	0.15	67	17
T-D1	令和3年3月5日	3月期	37° 30. 04'	141° 04. 36'	0.5	0.44	0.067	10	0.16	1.3	0.18	72	16
T-D5	令和3年3月4日	3月期	37° 25. 01'	141° 04. 32'	0.5	ND	ND	6.3	0.13	0.69	0.15	65	18
T-D9	令和3年3月4日	3月期	37° 20. 00'	141° 04. 33'	0.5	ND	ND	5.0	0.12	0.79	0.17	58	15
M-101	令和3年4月22日	4月期	37° 25. 61'	141° 02. 59'	0.5	0.56	0.12	13	0.32	1.0	0.17	96	21
M-102	令和3年4月24日	4月期	37° 25. 14'	141° 02. 58'	0.5	0.73	0.20	20	0.45	1.1	0.17	110	17
M-103	令和3年4月22日	4月期	37° 26. 69'	141° 02. 82'	0.5	ND	ND	10	0.29	0.83	0.17	61	15
M-104	令和3年4月24日	4月期	37° 24. 10'	141° 02. 83'	0.5	ND	ND	9.8	0.29	0.94	0.16	67	17
T-D1	令和3年4月22日	4月期	37° 29. 98'	141° 04. 32'	0.5	ND	ND	7.7	0.25	0.76	0.18	77	15
T-D5	令和3年4月24日	4月期	37° 25. 01'	141° 04. 34'	0.5	ND	ND	6.5	0.23	0.65	0.15	120	20
T-D9	令和3年4月24日	4月期	37° 20. 05'	141° 04. 36'	0.5	ND	ND	2.6	0.16	0.87	0.15	88	20
M-101	令和3年5月19日	5月期	37° 25. 61'	141° 02. 59'	0.5	ND	ND	9.8	0.28	0.79	0.16	ND	ND
M-102	令和3年5月18日	5月期	37° 25. 14'	141° 02. 52'	0.5	0.86	0.15	22	0.39	0.98	0.17	92	16
M-103	令和3年5月19日	5月期	37° 26. 69'	141° 02. 81'	0.5	ND	ND	6.8	0.23	0.84	0.17	74	17
M-104	令和3年5月18日	5月期	37° 24. 05'	141° 02. 81'	0.5	ND	ND	5.8	0.24	0.96	0.16	78	19
T-D1	令和3年5月19日	5月期	37° 29. 99'	141° 04. 34'	0.5	ND	ND	3.7	0.18	0.69	0.18	ND	ND
T-D5	令和3年5月18日	5月期	37° 24. 99'	141° 04. 24'	0.5	ND	ND	4.8	0.21	0.91	0.17	110	18
T-D9	令和3年5月18日	5月期	37° 20. 01'	141° 04. 36'	0.5	ND	ND	3.6	0.20	0.93	0.16	ND	ND

「ND」は検出下限値以下、「誤差」は計数誤差を示す。

資料 5-1-1-1(2) 海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 近傍・沿岸海域

(単位: mBq/L)

測点	採取年月日	航海期	採取位置		採取深 (m)	<sup>134</sup> Cs		<sup>137</sup> Cs		<sup>90</sup> Sr		トリチウム	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
M-101	令和3年6月11日	6月期	37° 25. 61'	141° 02. 57'	0.5	0.63	0.14	13	0.31	0.89	0.16	150	19
M-102	令和3年6月10日	6月期	37° 25. 14'	141° 02. 58'	0.5	0.64	0.15	12	0.27	0.89	0.15	110	15
M-103	令和3年6月11日	6月期	37° 26. 69'	141° 02. 81'	0.5	ND	ND	5.3	0.21	0.87	0.15	97	17
M-104	令和3年6月10日	6月期	37° 24. 11'	141° 02. 83'	0.5	ND	ND	5.4	0.22	0.83	0.14	100	17
T-D1	令和3年6月11日	6月期	37° 29. 99'	141° 04. 32'	0.5	ND	ND	3.1	0.16	0.79	0.16	85	17
T-D5	令和3年6月10日	6月期	37° 25. 00'	141° 04. 31'	0.5	ND	ND	2.7	0.18	0.86	0.16	140	16
T-D9	令和3年6月10日	6月期	37° 20. 00'	141° 04. 35'	0.5	ND	ND	4.3	0.19	0.71	0.16	74	15
M-101	令和3年7月13日	7月期	37° 25. 60'	141° 02. 58'	0.5	ND	ND	3.4	0.18	0.91	0.16	94	20
M-102	令和3年7月14日	7月期	37° 25. 14'	141° 02. 60'	0.5	ND	ND	11	0.30	0.97	0.15	100	18
M-103	令和3年7月13日	7月期	37° 26. 67'	141° 02. 81'	0.5	ND	ND	4.3	0.20	0.84	0.16	130	16
M-104	令和3年7月14日	7月期	37° 24. 10'	141° 02. 78'	0.5	ND	ND	4.9	0.19	0.77	0.15	220	19
T-D1	令和3年7月13日	7月期	37° 30. 03'	141° 04. 29'	0.5	ND	ND	2.5	0.15	0.57	0.17	160	21
T-D5	令和3年7月14日	7月期	37° 24. 97'	141° 04. 34'	0.5	ND	ND	2.4	0.15	0.75	0.15	130	17
T-D9	令和3年7月14日	7月期	37° 19. 97'	141° 04. 36'	0.5	ND	ND	3.0	0.17	0.86	0.15	120	19
M-101	令和3年8月7日	8月期	37° 25. 62'	141° 02. 58'	0.5	ND	ND	16	0.34	1.1	0.18	140	17
M-102	令和3年8月6日	8月期	37° 25. 15'	141° 02. 56'	0.5	ND	ND	4.9	0.21	0.74	0.16	92	16
M-103	令和3年8月7日	8月期	37° 26. 69'	141° 02. 84'	0.5	ND	ND	11	0.26	1.0	0.16	120	16
M-104	令和3年8月6日	8月期	37° 24. 11'	141° 02. 82'	0.5	ND	ND	3.9	0.19	0.72	0.15	75	13
T-D1	令和3年8月7日	8月期	37° 30. 02'	141° 04. 35'	0.5	ND	ND	3.1	0.15	0.77	0.18	110	17
T-D5	令和3年8月6日	8月期	37° 25. 00'	141° 04. 33'	0.5	ND	ND	4.0	0.19	0.77	0.15	100	15
T-D9	令和3年8月6日	8月期	37° 20. 01'	141° 04. 35'	0.5	ND	ND	4.0	0.19	0.99	0.16	74	16
M-101	令和3年9月9日	9月期	37° 25. 62'	141° 02. 60'	0.5	3.5	0.20	93	0.80	11	0.39	380	23
M-102	令和3年9月10日	9月期	37° 25. 14'	141° 02. 56'	0.5	0.86	0.12	19	0.32	1.9	0.18	85	19
M-103	令和3年9月9日	9月期	37° 26. 68'	141° 02. 82'	0.5	0.64	0.13	19	0.37	1.5	0.17	120	21
M-104	令和3年9月10日	9月期	37° 24. 14'	141° 02. 78'	0.5	ND	ND	5.8	0.23	1.0	0.16	ND	ND
T-D1	令和3年9月9日	9月期	37° 29. 99'	141° 04. 39'	0.5	ND	ND	7.0	0.21	1.1	0.18	76	22
T-D5	令和3年9月10日	9月期	37° 25. 01'	141° 04. 31'	0.5	ND	ND	2.9	0.17	0.89	0.15	83	19
T-D9	令和3年9月10日	9月期	37° 19. 99'	141° 04. 27'	0.5	ND	ND	2.7	0.15	0.66	0.14	75	18

「ND」は検出下限値以下、「誤差」は計数誤差を示す。

資料 5-1-1-1(3) 海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 近傍・沿岸海域

(単位：mBq/L)

測点	採取年月日	航海期	採取位置		採取深 (m)	<sup>134</sup> Cs		<sup>137</sup> Cs		<sup>90</sup> Sr		トリチウム	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
M-101	令和3年10月8日	10月期	37° 25. 62'	141° 02. 58'	0.5	3.0	0.18	83	0.67	4.3	0.26	320	18
M-102	令和3年10月7日	10月期	37° 25. 15'	141° 02. 57'	0.5	0.66	0.15	17	0.36	1.9	0.20	110	15
M-103	令和3年10月8日	10月期	37° 26. 71'	141° 02. 83'	0.5	0.56	0.10	16	0.31	0.72	0.16	92	15
M-104	令和3年10月7日	10月期	37° 24. 10'	141° 02. 82'	0.5	ND	ND	5.9	0.20	0.74	0.16	88	15
T-D1	令和3年10月8日	10月期	37° 30. 00'	141° 04. 34'	0.5	0.57	0.12	14	0.32	0.95	0.16	76	16
T-D5	令和3年10月7日	10月期	37° 25. 01'	141° 04. 33'	0.5	ND	ND	4.9	0.22	1.0	0.16	130	16
T-D9	令和3年10月7日	10月期	37° 20. 01'	141° 04. 35'	0.5	ND	ND	3.6	0.17	1.1	0.17	180	16
M-101	令和3年11月5日	11月期	37° 25. 62'	141° 02. 58'	0.5	ND	ND	17	0.31	0.88	0.17	52	16
M-102	令和3年11月4日	11月期	37° 25. 14'	141° 02. 54'	0.5	ND	ND	7.4	0.25	0.75	0.16	110	17
M-103	令和3年11月5日	11月期	37° 26. 71'	141° 02. 89'	0.5	ND	ND	8.2	0.25	0.87	0.16	150	17
M-104	令和3年11月4日	11月期	37° 24. 11'	141° 02. 81'	0.5	ND	ND	4.7	0.22	0.91	0.16	ND	ND
T-D1	令和3年11月5日	11月期	37° 29. 97'	141° 04. 34'	0.5	ND	ND	3.9	0.19	0.83	0.16	54	16
T-D5	令和3年11月4日	11月期	37° 25. 00'	141° 04. 32'	0.5	ND	ND	5.5	0.22	0.67	0.17	64	17
T-D9	令和3年11月4日	11月期	37° 19. 98'	141° 04. 36'	0.5	ND	ND	6.0	0.23	0.69	0.17	ND	ND
M-101	令和3年12月15日	12月期	37° 25. 61'	141° 02. 59'	0.5	0.87	0.13	25	0.43	2.7	0.22	130	19
M-102	令和3年12月14日	12月期	37° 25. 14'	141° 02. 56'	0.5	1.1	0.22	18	0.37	2.0	0.22	120	20
M-103	令和3年12月15日	12月期	37° 26. 70'	141° 02. 85'	0.5	0.73	0.14	17	0.32	1.0	0.16	ND	ND
M-104	令和3年12月14日	12月期	37° 24. 10'	141° 02. 80'	0.5	ND	ND	13	0.31	0.70	0.14	73	19
T-D1	令和3年12月15日	12月期	37° 30. 00'	141° 04. 34'	0.5	ND	ND	9.1	0.27	0.88	0.16	160	20
T-D5	令和3年12月14日	12月期	37° 24. 99'	141° 04. 33'	0.5	ND	ND	9.0	0.24	0.76	0.16	ND	ND
T-D9	令和3年12月14日	12月期	37° 20. 00'	141° 04. 32'	0.5	ND	ND	4.4	0.21	0.82	0.17	99	20
M-101	令和4年1月13日	1月期	37° 25. 62'	141° 02. 58'	0.5	1.0	0.14	30	0.48	1.4	0.19	130	19
M-102	令和4年1月15日	1月期	37° 25. 15'	141° 02. 61'	0.5	ND	ND	3.6	0.19	1.3	0.18	ND	ND
M-103	令和4年1月13日	1月期	37° 26. 70'	141° 02. 81'	0.5	ND	ND	12	0.31	0.96	0.17	ND	ND
M-104	令和4年1月15日	1月期	37° 24. 11'	141° 02. 82'	0.5	ND	ND	3.4	0.19	0.92	0.17	67	19
T-D1	令和4年1月13日	1月期	37° 30. 02'	141° 04. 35'	0.5	ND	ND	9.6	0.28	0.97	0.17	ND	ND
T-D5	令和4年1月15日	1月期	37° 25. 00'	141° 04. 33'	0.5	ND	ND	2.5	0.15	0.92	0.16	ND	ND
T-D9	令和4年1月15日	1月期	37° 20. 02'	141° 04. 30'	0.5	ND	ND	2.6	0.16	0.84	0.17	ND	ND

「ND」は検出下限値以下、「誤差」は計数誤差を示す。

資料 5-1-2(1) 海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 沖合海域

(単位：mBq/L)

測点	調査日	採取時期	採取位置		採取深度 (m)	<sup>134</sup> Cs		<sup>137</sup> Cs		<sup>90</sup> Sr		トリチウム		全β放射能	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
A1	令和3年5月13日	5月期	38° 30.0'	141° 50.8'	1	ND		1.3	0.034	—	—	—	—	—	—
A1	令和3年5月13日	5月期	38° 30.0'	141° 50.9'	100	ND		1.3	0.031	—	—	—	—	—	—
A1	令和3年5月13日	5月期	38° 30.0'	141° 50.9'	186	ND		1.3	0.033	—	—	—	—	—	—
A3	令和3年5月13日	5月期	38° 29.9'	142° 04.9'	1	ND		1.1	0.026	—	—	—	—	—	—
A3	令和3年5月13日	5月期	38° 30.1'	142° 05.0'	100	ND		1.3	0.028	—	—	—	—	—	—
A3	令和3年5月13日	5月期	38° 30.0'	142° 05.0'	470	ND		0.66	0.017	—	—	—	—	—	—
B1	令和3年5月10日	5月期	38° 05.0'	141° 15.5'	1	ND		2.4	0.051	—	—	—	—	—	—
B1	令和3年5月10日	5月期	38° 05.0'	141° 15.5'	36	0.23	0.032	6.7	0.090	—	—	—	—	—	—
B3	令和3年5月10日	5月期	38° 04.9'	141° 29.4'	1	ND		2.4	0.049	0.70	0.16	—	—	—	—
B3	令和3年5月10日	5月期	38° 04.9'	141° 29.4'	50	ND		1.4	0.037	—	—	—	—	—	—
B3	令和3年5月10日	5月期	38° 05.0'	141° 29.4'	103	ND		1.5	0.039	—	—	—	—	—	—
B5	令和3年5月11日	5月期	38° 00.0'	142° 00.0'	1	ND		1.1	0.026	—	—	—	—	—	—
B5	令和3年5月11日	5月期	38° 00.0'	142° 00.0'	100	ND		1.1	0.024	—	—	—	—	—	—
B5	令和3年5月11日	5月期	38° 00.0'	141° 59.9'	343	ND		0.92	0.024	—	—	—	—	—	—
C1	令和3年5月18日	5月期	37° 44.9'	141° 15.4'	1	ND		2.3	0.055	0.83	0.16	—	—	—	—
C1	令和3年5月18日	5月期	37° 45.0'	141° 15.4'	46	ND		1.7	0.043	—	—	—	—	—	—
C3	令和3年5月18日	5月期	37° 45.0'	141° 29.4'	1	ND		2.1	0.052	0.85	0.15	56	7.1	27	3.4
C3	令和3年5月18日	5月期	37° 45.0'	141° 29.4'	50	ND		1.4	0.037	—	—	—	—	—	—
C3	令和3年5月18日	5月期	37° 45.0'	141° 29.4'	118	ND		1.4	0.029	—	—	—	—	—	—
D1	令和3年5月18日	5月期	37° 35.0'	141° 22.2'	1	ND		2.3	0.045	0.82	0.16	—	—	—	—
D1	令和3年5月18日	5月期	37° 35.0'	141° 22.4'	50	ND		1.5	0.038	—	—	—	—	—	—
D1	令和3年5月18日	5月期	37° 35.0'	141° 22.4'	109	ND		1.4	0.035	—	—	—	—	—	—
D3	令和3年5月15日	5月期	37° 34.9'	141° 36.4'	1	ND		1.5	0.044	0.62	0.16	86	7.9	25	3.3
D3	令和3年5月15日	5月期	37° 35.0'	141° 36.4'	100	ND		1.3	0.035	—	—	—	—	—	—
D3	令和3年5月15日	5月期	37° 35.0'	141° 36.4'	206	ND		1.2	0.027	—	—	—	—	—	—
E1	令和3年5月21日	5月期	37° 25.0'	141° 22.5'	1	ND		1.9	0.044	0.79	0.15	—	—	—	—
E1	令和3年5月21日	5月期	37° 24.9'	141° 22.5'	50	ND		1.3	0.036	—	—	—	—	—	—

「ND」は検出下限値以下、「—」は分析対象外、「誤差」は計数誤差を示す。

資料 5-1-2(2) 海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 沖合海域

(単位：mBq/L)

測点	調査日	採取時期	採取位置		採取深度 (m)	<sup>134</sup> Cs		<sup>137</sup> Cs		<sup>90</sup> Sr		トリチウム		全β放射能	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
E1	令和3年5月21日	5月期	37° 25.0'	141° 22.4'	123	ND	ND	1.5	0.036	—	—	—	—	—	—
E3	令和3年5月15日	5月期	37° 24.9'	141° 36.2'	1	ND	ND	1.6	0.037	0.72	0.16	82	7.8	23	3.2
E3	令和3年5月15日	5月期	37° 25.0'	141° 36.4'	100	ND	ND	1.4	0.032	—	—	—	—	—	—
E3	令和3年5月15日	5月期	37° 25.0'	141° 36.4'	213	ND	ND	1.2	0.030	—	—	—	—	—	—
E5	令和3年5月11日	5月期	37° 30.1'	142° 00.2'	1	ND	ND	1.2	0.028	0.71	0.15	77	7.8	23	3.2
E5	令和3年5月11日	5月期	37° 30.0'	142° 00.1'	100	ND	ND	1.4	0.029	—	—	—	—	—	—
E5	令和3年5月11日	5月期	37° 30.1'	142° 00.1'	518	ND	ND	0.52	0.015	—	—	—	—	—	—
F1	令和3年5月21日	5月期	37° 15.0'	141° 22.4'	1	ND	ND	1.8	0.042	—	—	—	—	—	—
F1	令和3年5月21日	5月期	37° 15.0'	141° 22.4'	134	ND	ND	1.6	0.037	—	—	—	—	—	—
F3	令和3年5月15日	5月期	37° 15.0'	141° 36.4'	1	ND	ND	1.7	0.038	0.95	0.20	75	7.4	24	3.2
F3	令和3年5月15日	5月期	37° 15.0'	141° 36.4'	100	ND	ND	1.4	0.037	—	—	—	—	—	—
F3	令和3年5月15日	5月期	37° 15.0'	141° 36.4'	215	ND	ND	1.2	0.031	—	—	—	—	—	—
G0	令和3年5月21日	5月期	37° 05.0'	141° 08.3'	1	ND	ND	1.8	0.048	—	—	—	—	—	—
G0	令和3年5月21日	5月期	37° 05.0'	141° 08.4'	50	ND	ND	1.8	0.039	—	—	—	—	—	—
G0	令和3年5月21日	5月期	37° 05.0'	141° 08.3'	96	ND	ND	1.8	0.039	—	—	—	—	—	—
G1	令和3年5月20日	5月期	37° 05.0'	141° 15.4'	1	ND	ND	2.0	0.043	—	—	—	—	—	—
G1	令和3年5月20日	5月期	37° 04.9'	141° 15.4'	125	ND	ND	1.5	0.037	—	—	—	—	—	—
G3	令和3年5月12日	5月期	37° 05.0'	141° 29.5'	1	ND	ND	1.5	0.032	0.70	0.16	43	7.4	30	3.5
G3	令和3年5月12日	5月期	37° 05.0'	141° 29.4'	100	ND	ND	1.5	0.031	—	—	—	—	—	—
G3	令和3年5月12日	5月期	37° 05.0'	141° 29.4'	192	ND	ND	1.3	0.030	—	—	—	—	—	—
G4	令和3年5月12日	5月期	36° 59.9'	141° 45.1'	1	ND	ND	1.6	0.039	0.68	0.16	50	7.4	28	3.4
G4	令和3年5月12日	5月期	37° 00.0'	141° 44.9'	100	ND	ND	1.4	0.029	—	—	—	—	—	—
G4	令和3年5月12日	5月期	37° 00.1'	141° 45.0'	643	ND	ND	0.46	0.014	—	—	—	—	—	—
H1	令和3年5月22日	5月期	36° 55.0'	141° 08.4'	1	ND	ND	1.8	0.041	—	—	—	—	—	—
H1	令和3年5月22日	5月期	36° 55.0'	141° 08.4'	121	ND	ND	1.5	0.036	—	—	—	—	—	—
H3	令和3年5月12日	5月期	36° 55.0'	141° 22.5'	1	ND	ND	1.5	0.038	0.57	0.15	43	7.2	30	3.5
H3	令和3年5月12日	5月期	36° 55.0'	141° 22.5'	100	ND	ND	1.8	0.034	—	—	—	—	—	—

「ND」は検出下限値以下、「—」は分析対象外、「誤差」は計数誤差を示す。

資料 5-1-2(3) 海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 沖合海域

(単位：mBq/L)

測点	調査日	採取時期	採取位置		採取深度 (m)	<sup>134</sup> Cs		<sup>137</sup> Cs		<sup>90</sup> Sr		トリチウム		全β放射能	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
H3	令和3年5月12日	5月期	36° 55.1'	141° 22.5'	213	ND		1.4	0.029	—		—		—	
I0	令和3年5月22日	5月期	36° 45.0'	140° 53.0'	1	ND		1.6	0.039	0.81	0.16	—		—	
I0	令和3年5月22日	5月期	36° 44.9'	140° 53.0'	63	ND		2.1	0.046	—		—		—	
I1	令和3年5月22日	5月期	36° 45.1'	140° 57.0'	1	ND		1.6	0.037	—		—		—	
I1	令和3年5月22日	5月期	36° 45.0'	140° 57.0'	50	ND		1.9	0.047	—		—		—	
I1	令和3年5月22日	5月期	36° 45.0'	140° 57.0'	88	ND		1.9	0.040	—		—		—	
I3	令和3年5月20日	5月期	36° 45.0'	141° 11.1'	1	ND		1.5	0.036	—		—		—	
I3	令和3年5月20日	5月期	36° 45.0'	141° 11.0'	100	ND		1.8	0.040	—		—		—	
I3	令和3年5月20日	5月期	36° 45.0'	141° 11.2'	175	ND		1.5	0.030	—		—		—	
IB2	令和3年5月23日	5月期	36° 25.0'	140° 51.0'	1	ND		1.6	0.038	—		—		—	
IB2	令和3年5月23日	5月期	36° 25.1'	140° 51.0'	103	ND		1.7	0.038	—		—		—	
IB4	令和3年5月23日	5月期	36° 05.1'	140° 51.8'	1	ND		1.6	0.037	—		—		—	
IB4	令和3年5月23日	5月期	36° 05.0'	140° 52.0'	107	ND		1.7	0.038	—		—		—	
J1	令和3年5月23日	5月期	36° 25.1'	140° 43.0'	1	ND		1.6	0.036	0.88	0.15	—		—	
J1	令和3年5月23日	5月期	36° 25.0'	140° 43.0'	39	ND		1.8	0.042	—		—		—	
J3	令和3年5月20日	5月期	36° 25.0'	141° 04.0'	1	ND		1.7	0.039	—		—		—	
J3	令和3年5月20日	5月期	36° 25.0'	141° 04.0'	100	ND		1.8	0.032	—		—		—	
J3	令和3年5月20日	5月期	36° 25.0'	141° 04.0'	549	ND		0.72	0.021	—		—		—	
K1	令和3年5月23日	5月期	36° 04.0'	140° 43.0'	1	ND		1.7	0.040	—		—		—	
K1	令和3年5月23日	5月期	36° 04.0'	140° 43.1'	24	ND		1.8	0.043	—		—		—	
L1	令和3年5月19日	5月期	35° 44.9'	140° 56.9'	1	ND		1.7	0.038	—		—		—	
L1	令和3年5月19日	5月期	35° 45.0'	140° 57.0'	34	ND		1.8	0.041	—		—		—	
L3	令和3年5月19日	5月期	35° 45.0'	141° 11.0'	1	ND		1.7	0.038	—		—		—	
L3	令和3年5月19日	5月期	35° 45.0'	141° 11.0'	100	ND		1.5	0.035	—		—		—	
L3	令和3年5月19日	5月期	35° 45.0'	141° 11.0'	153	ND		1.4	0.029	—		—		—	
M1	令和3年5月19日	5月期	35° 30.0'	141° 00.1'	1	ND		1.5	0.036	—		—		—	
M1	令和3年5月19日	5月期	35° 30.0'	141° 00.0'	100	ND		1.8	0.038	—		—		—	

「ND」は検出下限値以下、「—」は分析対象外、「誤差」は計数誤差を示す。

資料 5-1-2(4) 海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 沖合海域

(単位：mBq/L)

測点	調査日	採取時期	採取位置		採取深度 (m)	<sup>134</sup> Cs		<sup>137</sup> Cs		<sup>90</sup> Sr		トリチウム		全β放射能	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
M14	令和3年5月13日	5月期	38° 15.0'	141° 45.1'	1	ND		1.3	0.035	—	—	—	—	—	—
M14	令和3年5月13日	5月期	38° 15.0'	141° 45.0'	100	ND		1.4	0.035	—	—	—	—	—	—
M14	令和3年5月13日	5月期	38° 15.0'	141° 45.0'	140	ND		1.4	0.035	—	—	—	—	—	—
A1	令和3年8月7日	8月期	38° 29.9'	141° 51.0'	1	ND		1.4	0.035	—	—	—	—	—	—
A1	令和3年8月7日	8月期	38° 29.9'	141° 51.1'	100	ND		1.4	0.032	—	—	—	—	—	—
A1	令和3年8月7日	8月期	38° 29.9'	141° 51.0'	188	ND		1.2	0.034	—	—	—	—	—	—
A3	令和3年8月7日	8月期	38° 30.0'	142° 04.9'	1	ND		1.4	0.029	—	—	—	—	—	—
A3	令和3年8月7日	8月期	38° 30.0'	142° 05.0'	100	ND		1.5	0.041	—	—	—	—	—	—
A3	令和3年8月7日	8月期	38° 30.0'	142° 04.9'	469	ND		0.72	0.017	—	—	—	—	—	—
B1	令和3年8月17日	8月期	38° 05.0'	141° 15.3'	1	ND		1.8	0.049	—	—	—	—	—	—
B1	令和3年8月17日	8月期	38° 05.0'	141° 15.4'	34	ND		1.5	0.041	—	—	—	—	—	—
B3	令和3年8月17日	8月期	38° 04.9'	141° 29.3'	1	ND		1.4	0.033	0.95	0.16	—	—	—	—
B3	令和3年8月17日	8月期	38° 05.0'	141° 29.4'	50	ND		1.4	0.038	—	—	—	—	—	—
B3	令和3年8月17日	8月期	38° 05.0'	141° 29.4'	108	ND		1.6	0.041	—	—	—	—	—	—
B5	令和3年8月6日	8月期	37° 59.5'	142° 00.1'	1	ND		1.4	0.031	—	—	—	—	—	—
B5	令和3年8月6日	8月期	38° 00.1'	142° 00.0'	100	ND		1.5	0.033	—	—	—	—	—	—
B5	令和3年8月6日	8月期	38° 00.0'	142° 00.0'	348	ND		0.97	0.025	—	—	—	—	—	—
C1	令和3年8月17日	8月期	37° 44.9'	141° 15.5'	1	ND		1.4	0.043	0.71	0.16	—	—	—	—
C1	令和3年8月17日	8月期	37° 45.0'	141° 15.5'	46	ND		1.5	0.041	—	—	—	—	—	—
C3	令和3年8月17日	8月期	37° 45.0'	141° 29.4'	1	ND		1.6	0.046	0.88	0.17	69	7.2	34	3.7
C3	令和3年8月17日	8月期	37° 45.0'	141° 29.5'	50	ND		1.4	0.036	—	—	—	—	—	—
C3	令和3年8月17日	8月期	37° 45.0'	141° 29.4'	124	ND		1.5	0.040	—	—	—	—	—	—
D1	令和3年8月5日	8月期	37° 34.9'	141° 22.3'	1	ND		2.3	0.055	0.85	0.16	—	—	—	—
D1	令和3年8月5日	8月期	37° 35.0'	141° 22.4'	50	ND		1.4	0.038	—	—	—	—	—	—
D1	令和3年8月5日	8月期	37° 34.9'	141° 22.3'	116	ND		1.5	0.038	—	—	—	—	—	—
D3	令和3年8月5日	8月期	37° 34.8'	141° 36.4'	1	0.095	0.026	2.3	0.051	0.86	0.17	67	7.4	26	3.4
D3	令和3年8月5日	8月期	37° 34.8'	141° 36.3'	100	ND		1.5	0.037	—	—	—	—	—	—

「ND」は検出下限値以下、「—」は分析対象外、「誤差」は計数誤差を示す。

資料 5-1-2(5) 海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 沖合海域

(単位：mBq/L)

測点	調査日	採取時期	採取位置		採取深度 (m)	<sup>134</sup> Cs		<sup>137</sup> Cs		<sup>90</sup> Sr		トリチウム		全β放射能	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
D3	令和3年8月5日	8月期	37° 34.7'	141° 36.3'	203	ND		1.3	0.029	—	—	—	—	—	—
E1	令和3年8月4日	8月期	37° 24.7'	141° 22.4'	1	ND		2.2	0.050	0.87	0.17	—	—	—	—
E1	令和3年8月4日	8月期	37° 24.9'	141° 22.5'	50	ND		1.9	0.051	—	—	—	—	—	—
E1	令和3年8月4日	8月期	37° 24.8'	141° 22.4'	124	0.066	0.020	1.8	0.041	—	—	—	—	—	—
E3	令和3年8月5日	8月期	37° 25.0'	141° 36.5'	1	ND		1.8	0.049	0.77	0.15	50	7.1	32	3.6
E3	令和3年8月5日	8月期	37° 24.8'	141° 36.3'	100	ND		1.8	0.041	—	—	—	—	—	—
E3	令和3年8月5日	8月期	37° 24.7'	141° 36.2'	212	ND		1.4	0.029	—	—	—	—	—	—
E5	令和3年8月6日	8月期	37° 30.1'	142° 00.1'	1	ND		1.2	0.027	0.93	0.15	46	7.0	36	3.8
E5	令和3年8月6日	8月期	37° 29.8'	141° 59.8'	100	ND		1.5	0.039	—	—	—	—	—	—
E5	令和3年8月6日	8月期	37° 29.3'	141° 59.2'	507	ND		0.52	0.015	—	—	—	—	—	—
F1	令和3年8月4日	8月期	37° 14.9'	141° 22.3'	1	ND		1.7	0.039	—	—	—	—	—	—
F1	令和3年8月4日	8月期	37° 14.5'	141° 21.9'	131	ND		2.2	0.046	—	—	—	—	—	—
F3	令和3年8月4日	8月期	37° 15.1'	141° 36.6'	1	ND		1.5	0.039	0.78	0.16	59	7.5	31	3.6
F3	令和3年8月4日	8月期	37° 14.7'	141° 36.1'	100	ND		1.7	0.034	—	—	—	—	—	—
F3	令和3年8月4日	8月期	37° 14.6'	141° 36.1'	218	ND		1.8	0.041	—	—	—	—	—	—
G0	令和3年8月21日	8月期	37° 04.9'	141° 08.3'	1	ND		1.3	0.034	—	—	—	—	—	—
G0	令和3年8月21日	8月期	37° 05.0'	141° 08.4'	50	ND		2.0	0.045	—	—	—	—	—	—
G0	令和3年8月21日	8月期	37° 05.0'	141° 08.4'	96	ND		2.1	0.052	—	—	—	—	—	—
G1	令和3年8月21日	8月期	37° 05.0'	141° 15.3'	1	ND		1.4	0.036	—	—	—	—	—	—
G1	令和3年8月21日	8月期	37° 05.0'	141° 15.5'	132	ND		1.3	0.034	—	—	—	—	—	—
G3	令和3年8月22日	8月期	37° 04.9'	141° 29.4'	1	ND		1.5	0.030	0.79	0.15	52	7.5	19	3.0
G3	令和3年8月22日	8月期	37° 04.9'	141° 29.4'	100	ND		1.8	0.037	—	—	—	—	—	—
G3	令和3年8月22日	8月期	37° 05.0'	141° 29.4'	197	ND		1.4	0.030	—	—	—	—	—	—
G4	令和3年8月22日	8月期	37° 00.0'	141° 45.0'	1	ND		1.3	0.029	0.92	0.16	43	7.3	29	3.5
G4	令和3年8月22日	8月期	37° 00.0'	141° 44.9'	100	ND		1.8	0.049	—	—	—	—	—	—
G4	令和3年8月22日	8月期	37° 00.1'	141° 45.0'	642	ND		0.28	0.0097	—	—	—	—	—	—
H1	令和3年8月21日	8月期	36° 54.9'	141° 08.3'	1	ND		1.4	0.039	—	—	—	—	—	—

「ND」は検出下限値以下、「—」は分析対象外、「誤差」は計数誤差を示す。

資料 5-1-2(6) 海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 沖合海域

(単位：mBq/L)

測点	調査日	採取時期	採取位置		採取深度 (m)	<sup>134</sup> Cs		<sup>137</sup> Cs		<sup>90</sup> Sr		トリチウム		全β放射能	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
H1	令和3年8月21日	8月期	36° 54.9'	141° 08.4'	125	ND	—	1.7	0.042	—	—	—	—	—	—
H3	令和3年8月22日	8月期	36° 55.0'	141° 22.5'	1	ND	—	1.5	0.038	0.79	0.15	57	7.7	22	3.1
H3	令和3年8月22日	8月期	36° 55.0'	141° 22.4'	100	ND	—	1.9	0.043	—	—	—	—	—	—
H3	令和3年8月22日	8月期	36° 55.0'	141° 22.4'	221	ND	—	1.2	0.027	—	—	—	—	—	—
I0	令和3年8月19日	8月期	36° 45.1'	140° 53.1'	1	ND	—	1.8	0.041	0.68	0.14	—	—	—	—
I0	令和3年8月19日	8月期	36° 44.9'	140° 53.0'	64	ND	—	2.5	0.050	—	—	—	—	—	—
I1	令和3年8月19日	8月期	36° 45.0'	140° 57.0'	1	ND	—	1.5	0.038	—	—	—	—	—	—
I1	令和3年8月19日	8月期	36° 44.9'	140° 57.0'	50	ND	—	1.8	0.043	—	—	—	—	—	—
I1	令和3年8月19日	8月期	36° 45.0'	140° 57.0'	90	ND	—	2.2	0.044	—	—	—	—	—	—
I3	令和3年8月21日	8月期	36° 45.1'	141° 11.0'	1	ND	—	1.5	0.038	—	—	—	—	—	—
I3	令和3年8月21日	8月期	36° 45.0'	141° 11.0'	100	ND	—	1.8	0.041	—	—	—	—	—	—
I3	令和3年8月21日	8月期	36° 44.9'	141° 11.0'	175	ND	—	1.5	0.038	—	—	—	—	—	—
IB2	令和3年8月19日	8月期	36° 24.9'	140° 51.0'	1	ND	—	1.5	0.032	—	—	—	—	—	—
IB2	令和3年8月19日	8月期	36° 24.8'	140° 50.9'	110	ND	—	1.7	0.042	—	—	—	—	—	—
IB4	令和3年8月20日	8月期	36° 05.0'	140° 51.9'	1	ND	—	1.6	0.038	—	—	—	—	—	—
IB4	令和3年8月20日	8月期	36° 04.8'	140° 52.0'	111	ND	—	1.9	0.042	—	—	—	—	—	—
J1	令和3年8月19日	8月期	36° 25.0'	140° 43.0'	1	ND	—	1.6	0.040	0.93	0.16	—	—	—	—
J1	令和3年8月19日	8月期	36° 24.9'	140° 43.0'	39	ND	—	1.7	0.039	—	—	—	—	—	—
J3	令和3年8月20日	8月期	36° 24.8'	141° 04.2'	1	ND	—	1.3	0.029	—	—	—	—	—	—
J3	令和3年8月20日	8月期	36° 24.7'	141° 04.0'	100	ND	—	1.9	0.047	—	—	—	—	—	—
J3	令和3年8月20日	8月期	36° 24.3'	141° 03.7'	555	ND	—	0.59	0.015	—	—	—	—	—	—
K1	令和3年8月20日	8月期	36° 04.0'	140° 43.0'	1	ND	—	1.8	0.040	—	—	—	—	—	—
K1	令和3年8月20日	8月期	36° 04.0'	140° 43.0'	24	ND	—	1.6	0.038	—	—	—	—	—	—
L1	令和3年8月23日	8月期	35° 44.9'	140° 57.0'	1	ND	—	1.6	0.040	—	—	—	—	—	—
L1	令和3年8月23日	8月期	35° 44.9'	140° 57.0'	35	ND	—	1.7	0.041	—	—	—	—	—	—
L3	令和3年8月23日	8月期	35° 45.0'	141° 10.8'	1	ND	—	1.4	0.036	—	—	—	—	—	—
L3	令和3年8月23日	8月期	35° 44.9'	141° 10.9'	100	ND	—	1.9	0.046	—	—	—	—	—	—

「ND」は検出下限値以下、「—」は分析対象外、「誤差」は計数誤差を示す。

資料 5-1-2(7) 海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 沖合海域

(単位：mBq/L)

測点	調査日	採取時期	採取位置		採取深度 (m)	<sup>134</sup> Cs		<sup>137</sup> Cs		<sup>90</sup> Sr		トリチウム		全β放射能	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
L3	令和3年8月23日	8月期	35° 45.0'	141° 10.9'	154	ND		1.6	0.033	—	—	—	—	—	—
M1	令和3年8月23日	8月期	35° 29.9'	140° 59.9'	1	ND		1.5	0.031	—	—	—	—	—	—
M1	令和3年8月23日	8月期	35° 29.9'	141° 00.0'	107	ND		1.8	0.039	—	—	—	—	—	—
M14	令和3年8月7日	8月期	38° 15.0'	141° 45.0'	1	ND		1.4	0.031	—	—	—	—	—	—
M14	令和3年8月7日	8月期	38° 14.8'	141° 44.8'	100	ND		1.5	0.041	—	—	—	—	—	—
M14	令和3年8月7日	8月期	38° 15.0'	141° 45.0'	142	ND		1.4	0.044	—	—	—	—	—	—
A1	令和3年11月7日	11月期	38° 30.0'	141° 51.1'	1	ND		1.4	0.039	—	—	—	—	—	—
A1	令和3年11月7日	11月期	38° 30.1'	141° 51.2'	100	ND		1.4	0.032	—	—	—	—	—	—
A1	令和3年11月7日	11月期	38° 30.0'	141° 51.1'	197	ND		1.3	0.028	—	—	—	—	—	—
A3	令和3年11月7日	11月期	38° 29.9'	142° 04.9'	1	ND		1.4	0.035	—	—	—	—	—	—
A3	令和3年11月7日	11月期	38° 30.2'	142° 05.0'	100	ND		1.4	0.035	—	—	—	—	—	—
A3	令和3年11月7日	11月期	38° 30.3'	142° 05.0'	483	ND		0.59	0.014	—	—	—	—	—	—
B1	令和3年11月2日	11月期	38° 05.1'	141° 15.6'	1	ND		1.9	0.049	—	—	—	—	—	—
B1	令和3年11月2日	11月期	38° 05.2'	141° 15.7'	37	ND		1.9	0.050	—	—	—	—	—	—
B3	令和3年11月2日	11月期	38° 05.0'	141° 29.6'	1	ND		1.4	0.036	0.89	0.17	—	—	—	—
B3	令和3年11月2日	11月期	38° 05.0'	141° 29.7'	50	ND		1.4	0.029	—	—	—	—	—	—
B3	令和3年11月2日	11月期	38° 04.9'	141° 29.3'	112	ND		1.6	0.039	—	—	—	—	—	—
B5	令和3年11月11日	11月期	38° 00.1'	141° 59.9'	1	ND		1.5	0.031	—	—	—	—	—	—
B5	令和3年11月11日	11月期	37° 59.9'	141° 59.9'	100	ND		1.4	0.035	—	—	—	—	—	—
B5	令和3年11月11日	11月期	38° 00.1'	141° 59.8'	340	ND		1.1	0.020	—	—	—	—	—	—
C1	令和3年11月3日	11月期	37° 45.0'	141° 15.4'	1	ND		1.6	0.041	0.57	0.15	—	—	—	—
C1	令和3年11月3日	11月期	37° 44.9'	141° 15.4'	47	ND		1.5	0.039	—	—	—	—	—	—
C3	令和3年11月6日	11月期	37° 45.1'	141° 29.2'	1	ND		1.4	0.029	0.69	0.16	72	8.1	33	3.7
C3	令和3年11月6日	11月期	37° 45.1'	141° 29.5'	50	ND		1.4	0.038	—	—	—	—	—	—
C3	令和3年11月6日	11月期	37° 45.0'	141° 29.1'	124	ND		1.6	0.038	—	—	—	—	—	—
D1	令和3年11月3日	11月期	37° 35.2'	141° 22.4'	1	ND		1.4	0.035	0.65	0.15	—	—	—	—
D1	令和3年11月3日	11月期	37° 35.0'	141° 22.2'	50	ND		1.4	0.035	—	—	—	—	—	—

「ND」は検出下限値以下、「—」は分析対象外、「誤差」は計数誤差を示す。

資料 5-1-2(8) 海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 沖合海域

(単位：mBq/L)

測点	調査日	採取時期	採取位置		採取深度 (m)	<sup>134</sup> Cs		<sup>137</sup> Cs		<sup>90</sup> Sr		トリチウム		全β放射能	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
D1	令和3年11月3日	11月期	37° 35.3'	141° 22.3'	117	ND		1.4	0.036	—	—	—	—	—	—
D3	令和3年11月6日	11月期	37° 34.9'	141° 36.5'	1	ND		1.4	0.039	0.81	0.17	70	8.0	32	3.7
D3	令和3年11月6日	11月期	37° 35.2'	141° 36.3'	100	ND		1.4	0.038	—	—	—	—	—	—
D3	令和3年11月6日	11月期	37° 34.9'	141° 36.6'	217	ND		1.4	0.038	—	—	—	—	—	—
E1	令和3年11月3日	11月期	37° 25.2'	141° 22.5'	1	ND		1.5	0.040	0.69	0.16	—	—	—	—
E1	令和3年11月3日	11月期	37° 24.9'	141° 22.2'	50	ND		1.5	0.036	—	—	—	—	—	—
E1	令和3年11月3日	11月期	37° 25.1'	141° 22.4'	123	ND		1.5	0.044	—	—	—	—	—	—
E3	令和3年11月6日	11月期	37° 25.0'	141° 36.5'	1	ND		1.5	0.030	0.71	0.17	65	8.0	34	3.8
E3	令和3年11月6日	11月期	37° 25.0'	141° 36.3'	100	ND		1.4	0.032	—	—	—	—	—	—
E3	令和3年11月6日	11月期	37° 25.0'	141° 36.3'	215	ND		1.4	0.029	—	—	—	—	—	—
E5	令和3年11月12日	11月期	37° 30.1'	142° 00.0'	1	ND		1.4	0.042	0.67	0.15	45	7.6	32	3.7
E5	令和3年11月12日	11月期	37° 30.3'	142° 00.1'	100	ND		1.8	0.041	—	—	—	—	—	—
E5	令和3年11月12日	11月期	37° 30.1'	142° 00.0'	520	ND		0.54	0.012	—	—	—	—	—	—
F1	令和3年11月3日	11月期	37° 15.1'	141° 22.6'	1	ND		1.4	0.037	—	—	—	—	—	—
F1	令和3年11月3日	11月期	37° 15.0'	141° 22.3'	135	0.069	0.023	1.5	0.037	—	—	—	—	—	—
F3	令和3年11月12日	11月期	37° 15.0'	141° 36.6'	1	ND		1.4	0.035	0.74	0.16	69	7.9	31	3.6
F3	令和3年11月12日	11月期	37° 15.0'	141° 36.2'	100	ND		1.5	0.037	—	—	—	—	—	—
F3	令和3年11月12日	11月期	37° 15.1'	141° 36.1'	214	ND		1.6	0.039	—	—	—	—	—	—
G0	令和3年11月4日	11月期	37° 05.1'	141° 08.2'	1	ND		1.4	0.028	—	—	—	—	—	—
G0	令和3年11月4日	11月期	37° 04.7'	141° 08.4'	50	ND		1.5	0.036	—	—	—	—	—	—
G0	令和3年11月4日	11月期	37° 04.9'	141° 08.1'	97	ND		1.6	0.039	—	—	—	—	—	—
G1	令和3年11月4日	11月期	37° 05.0'	141° 15.4'	1	ND		1.4	0.035	—	—	—	—	—	—
G1	令和3年11月4日	11月期	37° 04.7'	141° 15.6'	128	ND		1.8	0.040	—	—	—	—	—	—
G3	令和3年11月12日	11月期	37° 05.1'	141° 29.4'	1	ND		1.5	0.035	0.84	0.16	52	8.3	32	3.7
G3	令和3年11月12日	11月期	37° 05.1'	141° 29.1'	100	ND		1.5	0.037	—	—	—	—	—	—
G3	令和3年11月12日	11月期	37° 04.9'	141° 29.5'	200	ND		1.4	0.036	—	—	—	—	—	—
G4	令和3年11月13日	11月期	36° 59.8'	141° 45.2'	1	ND		1.4	0.042	0.78	0.16	64	7.9	31	3.6

「ND」は検出下限値以下、「—」は分析対象外、「誤差」は計数誤差を示す。

資料 5-1-2(9) 海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 沖合海域

(単位：mBq/L)

測点	調査日	採取時期	採取位置		採取深度 (m)	<sup>134</sup> Cs		<sup>137</sup> Cs		<sup>90</sup> Sr		トリチウム		全β放射能	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
G4	令和3年11月13日	11月期	37° 00.3'	141° 44.8'	100	ND	0.030	1.5	0.030	—	—	—	—	—	—
G4	令和3年11月13日	11月期	37° 00.2'	141° 44.7'	650	ND	0.011	0.43	0.011	—	—	—	—	—	—
H1	令和3年11月4日	11月期	36° 55.0'	141° 08.5'	1	ND	0.037	1.5	0.037	—	—	—	—	—	—
H1	令和3年11月4日	11月期	36° 55.0'	141° 08.4'	123	ND	0.041	1.6	0.041	—	—	—	—	—	—
H3	令和3年11月13日	11月期	36° 55.3'	141° 22.3'	1	ND	0.031	1.5	0.031	0.74	0.15	62	7.9	29	3.5
H3	令和3年11月13日	11月期	36° 55.3'	141° 22.3'	100	ND	0.038	1.4	0.038	—	—	—	—	—	—
H3	令和3年11月13日	11月期	36° 55.3'	141° 22.3'	215	ND	0.037	1.5	0.037	—	—	—	—	—	—
I0	令和3年11月5日	11月期	36° 45.2'	140° 53.0'	1	ND	0.044	1.8	0.044	0.77	0.17	—	—	—	—
I0	令和3年11月5日	11月期	36° 45.1'	140° 53.0'	63	ND	0.052	2.0	0.052	—	—	—	—	—	—
I1	令和3年11月4日	11月期	36° 45.1'	140° 57.1'	1	ND	0.043	2.0	0.043	—	—	—	—	—	—
I1	令和3年11月4日	11月期	36° 45.1'	140° 56.9'	50	ND	0.041	1.8	0.041	—	—	—	—	—	—
I1	令和3年11月4日	11月期	36° 45.1'	140° 57.0'	90	ND	0.043	1.9	0.043	—	—	—	—	—	—
I3	令和3年11月13日	11月期	36° 45.3'	141° 11.1'	1	ND	0.041	1.8	0.041	—	—	—	—	—	—
I3	令和3年11月13日	11月期	36° 45.1'	141° 11.1'	100	ND	0.034	1.7	0.034	—	—	—	—	—	—
I3	令和3年11月13日	11月期	36° 45.3'	141° 11.1'	175	ND	0.039	1.7	0.039	—	—	—	—	—	—
IB2	令和3年11月5日	11月期	36° 25.1'	140° 51.1'	1	ND	0.041	1.9	0.041	—	—	—	—	—	—
IB2	令和3年11月5日	11月期	36° 25.0'	140° 51.0'	109	ND	0.033	1.8	0.033	—	—	—	—	—	—
IB4	令和3年11月14日	11月期	36° 04.9'	140° 52.0'	1	ND	0.037	1.5	0.037	—	—	—	—	—	—
IB4	令和3年11月14日	11月期	36° 04.9'	140° 52.2'	116	ND	0.039	1.8	0.039	—	—	—	—	—	—
J1	令和3年11月5日	11月期	36° 25.1'	140° 43.1'	1	ND	0.045	1.9	0.045	0.67	0.17	—	—	—	—
J1	令和3年11月5日	11月期	36° 25.1'	140° 43.1'	42	ND	0.068	3.5	0.068	—	—	—	—	—	—
J3	令和3年11月14日	11月期	36° 25.1'	141° 03.9'	1	ND	0.036	1.5	0.036	—	—	—	—	—	—
J3	令和3年11月14日	11月期	36° 24.9'	141° 04.1'	100	ND	0.038	1.6	0.038	—	—	—	—	—	—
J3	令和3年11月14日	11月期	36° 24.6'	141° 03.9'	561	ND	0.012	0.53	0.012	—	—	—	—	—	—
K1	令和3年11月14日	11月期	36° 04.0'	140° 43.3'	1	ND	0.040	1.6	0.040	—	—	—	—	—	—
K1	令和3年11月14日	11月期	36° 04.0'	140° 42.8'	20	ND	0.040	1.7	0.040	—	—	—	—	—	—
L1	令和3年11月15日	11月期	35° 45.0'	140° 56.9'	1	ND	0.037	1.4	0.037	—	—	—	—	—	—

「ND」は検出下限値以下、「—」は分析対象外、「誤差」は計数誤差を示す。

資料 5-1-2(10) 海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 沖合海域

(単位：mBq/L)

測点	調査日	採取時期	採取位置		採取深度 (m)	<sup>134</sup> Cs		<sup>137</sup> Cs		<sup>90</sup> Sr		トリチウム		全β放射能	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
L1	令和3年11月15日	11月期	35° 45.0'	140° 56.8'	35	ND		1.7	0.040	—	—	—	—	—	—
L3	令和3年11月15日	11月期	35° 45.1'	141° 10.9'	1	ND		1.5	0.031	—	—	—	—	—	—
L3	令和3年11月15日	11月期	35° 44.8'	141° 11.0'	100	ND		1.8	0.040	—	—	—	—	—	—
L3	令和3年11月15日	11月期	35° 45.0'	141° 11.0'	160	ND		1.7	0.040	—	—	—	—	—	—
M1	令和3年11月15日	11月期	35° 30.7'	141° 00.2'	1	ND		1.4	0.029	—	—	—	—	—	—
M1	令和3年11月15日	11月期	35° 30.5'	141° 00.1'	108	ND		1.6	0.032	—	—	—	—	—	—
M14	令和3年11月7日	11月期	38° 15.0'	141° 45.0'	1	ND		1.4	0.030	—	—	—	—	—	—
M14	令和3年11月7日	11月期	38° 15.0'	141° 44.8'	100	ND		1.5	0.040	—	—	—	—	—	—
M14	令和3年11月7日	11月期	38° 15.0'	141° 44.9'	146	ND		1.6	0.032	—	—	—	—	—	—
A1	令和4年1月15日	1月期	38° 30.1'	141° 51.0'	1	ND		1.4	0.033	—	—	—	—	—	—
A1	令和4年1月15日	1月期	38° 30.0'	141° 51.0'	100	ND		1.5	0.032	—	—	—	—	—	—
A1	令和4年1月15日	1月期	38° 30.0'	141° 51.0'	188	ND		1.3	0.035	—	—	—	—	—	—
A3	令和4年1月15日	1月期	38° 29.9'	142° 05.1'	1	ND		1.4	0.030	—	—	—	—	—	—
A3	令和4年1月15日	1月期	38° 30.0'	142° 05.1'	100	ND		1.4	0.033	—	—	—	—	—	—
A3	令和4年1月15日	1月期	38° 30.0'	142° 05.1'	472	ND		1.0	0.029	—	—	—	—	—	—
B1	令和4年1月12日	1月期	38° 05.0'	141° 15.5'	1	ND		1.6	0.042	—	—	—	—	—	—
B1	令和4年1月12日	1月期	38° 05.0'	141° 15.4'	35	ND		1.7	0.041	—	—	—	—	—	—
B3	令和4年1月14日	1月期	38° 05.0'	141° 29.4'	1	ND		1.4	0.040	0.94	0.16	—	—	—	—
B3	令和4年1月14日	1月期	38° 05.0'	141° 29.5'	50	ND		1.4	0.038	—	—	—	—	—	—
B3	令和4年1月14日	1月期	38° 05.0'	141° 29.4'	111	ND		1.6	0.040	—	—	—	—	—	—
B5	令和4年1月16日	1月期	38° 00.0'	141° 59.9'	1	ND		1.4	0.037	—	—	—	—	—	—
B5	令和4年1月16日	1月期	38° 00.0'	142° 00.0'	100	0.063	0.017	1.4	0.032	—	—	—	—	—	—
B5	令和4年1月16日	1月期	38° 00.0'	142° 00.0'	341	ND		1.2	0.028	—	—	—	—	—	—
C1	令和4年1月14日	1月期	37° 45.0'	141° 15.5'	1	ND		1.8	0.038	0.73	0.15	—	—	—	—
C1	令和4年1月14日	1月期	37° 45.0'	141° 15.4'	48	ND		1.8	0.048	—	—	—	—	—	—
C3	令和4年1月11日	1月期	37° 44.9'	141° 29.5'	1	ND		1.7	0.039	0.67	0.16	58	7.3	27	3.5
C3	令和4年1月11日	1月期	37° 44.9'	141° 29.5'	50	ND		1.5	0.031	—	—	—	—	—	—

「ND」は検出下限値以下、「—」は分析対象外、「誤差」は計数誤差を示す。

資料 5-1-2(11) 海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 沖合海域

(単位：mBq/L)

測点	調査日	採取時期	採取位置		採取深度 (m)	<sup>134</sup> Cs		<sup>137</sup> Cs		<sup>90</sup> Sr		トリチウム		全β放射能	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
C3	令和4年1月11日	1月期	37° 45.0'	141° 29.5'	125	ND		1.4	0.038	—		—		—	
D1	令和4年1月14日	1月期	37° 35.0'	141° 22.6'	1	ND		2.0	0.053	0.91	0.16	—		—	
D1	令和4年1月14日	1月期	37° 35.0'	141° 22.5'	50	ND		1.9	0.051	—		—		—	
D1	令和4年1月14日	1月期	37° 35.0'	141° 22.6'	116	ND		1.5	0.041	—		—		—	
D3	令和4年1月13日	1月期	37° 34.9'	141° 36.5'	1	ND		1.4	0.037	0.80	0.15	65	7.4	34	3.8
D3	令和4年1月13日	1月期	37° 34.9'	141° 36.4'	100	ND		1.4	0.035	—		—		—	
D3	令和4年1月13日	1月期	37° 34.9'	141° 36.4'	210	ND		1.3	0.029	—		—		—	
E1	令和4年1月14日	1月期	37° 24.9'	141° 22.5'	1	ND		1.8	0.050	0.67	0.17	—		—	
E1	令和4年1月14日	1月期	37° 25.0'	141° 22.5'	50	ND		1.8	0.046	—		—		—	
E1	令和4年1月14日	1月期	37° 25.0'	141° 22.5'	125	ND		1.3	0.039	—		—		—	
E3	令和4年1月13日	1月期	37° 24.9'	141° 36.4'	1	ND		1.5	0.038	0.88	0.18	65	7.4	33	3.8
E3	令和4年1月13日	1月期	37° 25.0'	141° 36.4'	100	ND		1.4	0.037	—		—		—	
E3	令和4年1月13日	1月期	37° 25.0'	141° 36.4'	215	ND		1.3	0.036	—		—		—	
E5	令和4年1月11日	1月期	37° 29.9'	141° 59.9'	1	ND		1.4	0.034	0.73	0.15	74	7.5	29	3.6
E5	令和4年1月11日	1月期	37° 30.1'	141° 59.8'	100	ND		1.3	0.028	—		—		—	
E5	令和4年1月11日	1月期	37° 30.1'	141° 59.7'	522	ND		0.62	0.016	—		—		—	
F1	令和4年1月13日	1月期	37° 15.0'	141° 22.4'	1	ND		1.5	0.041	—		—		—	
F1	令和4年1月13日	1月期	37° 15.0'	141° 22.4'	136	ND		1.7	0.040	—		—		—	
F3	令和4年1月13日	1月期	37° 15.0'	141° 36.6'	1	ND		1.8	0.042	0.72	0.18	50	7.3	26	3.5
F3	令和4年1月13日	1月期	37° 15.0'	141° 36.5'	100	ND		1.4	0.032	—		—		—	
F3	令和4年1月13日	1月期	37° 15.0'	141° 36.5'	219	ND		1.2	0.028	—		—		—	
G0	令和4年1月18日	1月期	37° 05.0'	141° 08.4'	1	ND		1.7	0.043	—		—		—	
G0	令和4年1月18日	1月期	37° 05.0'	141° 08.4'	50	0.067	0.022	1.8	0.041	—		—		—	
G0	令和4年1月18日	1月期	37° 05.0'	141° 08.4'	99	ND		1.4	0.036	—		—		—	
G1	令和4年1月18日	1月期	37° 05.0'	141° 15.4'	1	ND		1.6	0.040	—		—		—	
G1	令和4年1月18日	1月期	37° 05.0'	141° 15.4'	128	ND		1.5	0.038	—		—		—	
G3	令和4年1月10日	1月期	37° 04.9'	141° 29.5'	1	ND		1.5	0.041	0.85	0.16	56	7.6	34	3.8

「ND」は検出下限値以下、「—」は分析対象外、「誤差」は計数誤差を示す。

資料 5-1-2(12) 海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 沖合海域

(単位: mBq/L)

測点	調査日	採取時期	採取位置		採取深度 (m)	<sup>134</sup> Cs		<sup>137</sup> Cs		<sup>90</sup> Sr		トリチウム		全β放射能	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
G3	令和4年1月10日	1月期	37° 04.9'	141° 29.5'	100	ND		1.7	0.044	—	—	—	—	—	—
G3	令和4年1月10日	1月期	37° 04.9'	141° 29.5'	194	ND		1.7	0.033	—	—	—	—	—	—
G4	令和4年1月10日	1月期	36° 59.8'	141° 44.9'	1	ND		1.5	0.037	0.92	0.17	51	7.3	32	3.7
G4	令和4年1月10日	1月期	36° 59.8'	141° 44.8'	100	ND		1.6	0.038	—	—	—	—	—	—
G4	令和4年1月10日	1月期	36° 59.8'	141° 44.9'	645	ND		0.46	0.014	—	—	—	—	—	—
H1	令和4年1月18日	1月期	36° 54.9'	141° 08.4'	1	ND		1.8	0.050	—	—	—	—	—	—
H1	令和4年1月18日	1月期	36° 55.0'	141° 08.4'	123	ND		1.5	0.033	—	—	—	—	—	—
H3	令和4年1月10日	1月期	36° 54.4'	141° 22.2'	1	ND		1.6	0.039	0.83	0.15	46	7.3	34	3.7
H3	令和4年1月10日	1月期	36° 54.5'	141° 22.3'	100	ND		1.5	0.038	—	—	—	—	—	—
H3	令和4年1月10日	1月期	36° 54.5'	141° 22.2'	223	ND		1.5	0.030	—	—	—	—	—	—
I0	令和4年1月9日	1月期	36° 45.1'	140° 53.0'	1	ND		1.5	0.038	0.82	0.17	—	—	—	—
I0	令和4年1月9日	1月期	36° 45.2'	140° 53.0'	61	ND		1.9	0.046	—	—	—	—	—	—
I1	令和4年1月9日	1月期	36° 45.0'	140° 57.0'	1	ND		1.6	0.040	—	—	—	—	—	—
I1	令和4年1月9日	1月期	36° 45.0'	140° 57.0'	50	ND		1.7	0.039	—	—	—	—	—	—
I1	令和4年1月9日	1月期	36° 45.0'	140° 57.0'	91	0.17	0.030	5.6	0.085	—	—	—	—	—	—
I3	令和4年1月18日	1月期	36° 45.0'	141° 11.1'	1	ND		1.6	0.040	—	—	—	—	—	—
I3	令和4年1月18日	1月期	36° 45.0'	141° 11.1'	100	ND		1.7	0.035	—	—	—	—	—	—
I3	令和4年1月18日	1月期	36° 45.0'	141° 11.1'	175	ND		1.4	0.034	—	—	—	—	—	—
IB2	令和4年1月20日	1月期	36° 25.0'	140° 50.9'	1	ND		1.5	0.039	—	—	—	—	—	—
IB2	令和4年1月20日	1月期	36° 25.0'	140° 50.9'	108	ND		1.7	0.040	—	—	—	—	—	—
IB4	令和4年1月20日	1月期	36° 05.0'	140° 52.0'	1	ND		1.6	0.047	—	—	—	—	—	—
IB4	令和4年1月20日	1月期	36° 05.0'	140° 52.0'	113	ND		1.8	0.043	—	—	—	—	—	—
J1	令和4年1月9日	1月期	36° 25.0'	140° 43.1'	1	ND		1.7	0.040	0.79	0.16	—	—	—	—
J1	令和4年1月9日	1月期	36° 25.0'	140° 43.1'	41	ND		1.8	0.042	—	—	—	—	—	—
J3	令和4年1月20日	1月期	36° 25.0'	141° 04.0'	1	ND		1.6	0.039	—	—	—	—	—	—
J3	令和4年1月20日	1月期	36° 25.0'	141° 04.1'	100	ND		1.7	0.034	—	—	—	—	—	—
J3	令和4年1月20日	1月期	36° 25.0'	141° 04.1'	556	ND		0.67	0.016	—	—	—	—	—	—

「ND」は検出下限値以下、「—」は分析対象外、「誤差」は計数誤差を示す。

資料 5-1-2(13) 海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 沖台海域

(単位：mBq/L)

測点	調査日	採取時期	採取位置		採取深度 (m)	<sup>134</sup> Cs		<sup>137</sup> Cs		<sup>90</sup> Sr		トリチウム		全β放射能	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
K1	令和4年1月20日	1月期	36° 03.9'	140° 43.1'	1	ND		1.7	0.043	—		—		—	
K1	令和4年1月20日	1月期	36° 03.9'	140° 43.1'	24	ND		2.0	0.043	—		—		—	
L1	令和4年1月19日	1月期	35° 45.0'	140° 57.1'	1	ND		1.6	0.040	—		—		—	
L1	令和4年1月19日	1月期	35° 45.0'	140° 57.1'	36	ND		1.6	0.040	—		—		—	
L3	令和4年1月19日	1月期	35° 45.0'	141° 11.0'	1	ND		1.7	0.042	—		—		—	
L3	令和4年1月19日	1月期	35° 44.9'	141° 11.0'	100	ND		1.7	0.041	—		—		—	
L3	令和4年1月19日	1月期	35° 45.0'	141° 11.0'	157	ND		1.7	0.034	—		—		—	
M1	令和4年1月19日	1月期	35° 30.1'	141° 00.1'	1	ND		1.5	0.037	—		—		—	
M1	令和4年1月19日	1月期	35° 30.1'	141° 00.1'	107	ND		1.7	0.044	—		—		—	
M14	令和4年1月15日	1月期	38° 14.9'	141° 45.0'	1	ND		1.4	0.037	—		—		—	
M14	令和4年1月15日	1月期	38° 15.0'	141° 45.0'	100	ND		1.3	0.029	—		—		—	
M14	令和4年1月15日	1月期	38° 14.9'	141° 45.0'	146	ND		1.3	0.029	—		—		—	

「ND」は検出下限値以下、「—」は分析対象外、「誤差」は計数誤差を示す。

資料 5-1-3(1) 海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 外洋海域

(単位：mBq/L)

測点	調査日	採取時期	採取位置		採取深度 (m)	<sup>134</sup> Cs		<sup>137</sup> Cs		<sup>90</sup> Sr		トリチウム		全β放射能	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
10	令和3年7月24日	7月期	38° 30.0'	143° 00.0'	1	ND		1.7	0.17	—	—	—	—	—	—
10	令和3年7月24日	7月期	38° 29.9'	143° 00.2'	100	ND		1.7	0.17	—	—	—	—	—	—
10	令和3年7月24日	7月期	38° 29.9'	143° 00.1'	200	ND		1.6	0.16	—	—	—	—	—	—
10	令和3年7月24日	7月期	38° 29.9'	143° 00.0'	300	ND		1.0	0.15	—	—	—	—	—	—
10	令和3年7月24日	7月期	38° 30.5'	143° 00.0'	500	ND		0.62	0.14	—	—	—	—	—	—
11	令和3年7月24日	7月期	38° 30.0'	144° 00.0'	1	ND		1.5	0.16	—	—	—	—	—	—
11	令和3年7月24日	7月期	38° 30.0'	144° 00.1'	100	ND		1.6	0.16	—	—	—	—	—	—
11	令和3年7月24日	7月期	38° 30.0'	144° 00.5'	200	ND		1.2	0.16	—	—	—	—	—	—
11	令和3年7月24日	7月期	38° 30.1'	144° 00.3'	300	ND		1.0	0.14	—	—	—	—	—	—
11	令和3年7月24日	7月期	38° 30.1'	144° 00.0'	500	ND		0.57	0.14	—	—	—	—	—	—
14	令和3年7月23日	7月期	37° 30.2'	143° 00.4'	1	ND		1.3	0.15	—	—	—	—	—	—
14	令和3年7月23日	7月期	37° 29.8'	142° 59.8'	100	ND		1.8	0.15	—	—	—	—	—	—
14	令和3年7月23日	7月期	37° 29.7'	142° 59.8'	200	ND		2.1	0.17	—	—	—	—	—	—
14	令和3年7月23日	7月期	37° 29.8'	142° 59.7'	300	ND		2.6	0.17	—	—	—	—	—	—
14	令和3年7月23日	7月期	37° 29.8'	142° 59.6'	500	ND		1.4	0.15	—	—	—	—	—	—
15	令和3年7月23日	7月期	37° 30.0'	144° 00.1'	1	ND		1.2	0.17	—	—	—	—	—	—
15	令和3年7月23日	7月期	37° 30.1'	143° 59.5'	100	ND		1.5	0.18	—	—	—	—	—	—
15	令和3年7月23日	7月期	37° 30.0'	143° 59.5'	200	ND		1.6	0.19	—	—	—	—	—	—
15	令和3年7月23日	7月期	37° 29.9'	143° 59.6'	300	ND		2.4	0.20	—	—	—	—	—	—
15	令和3年7月23日	7月期	37° 29.8'	143° 59.6'	500	ND		1.9	0.18	—	—	—	—	—	—
19	令和3年7月22日	7月期	36° 30.0'	142° 00.2'	1	ND		1.5	0.17	—	—	—	—	—	—
19	令和3年7月22日	7月期	36° 29.7'	142° 00.2'	100	ND		1.8	0.17	—	—	—	—	—	—
19	令和3年7月22日	7月期	36° 29.8'	142° 00.0'	200	ND		1.7	0.18	—	—	—	—	—	—
19	令和3年7月22日	7月期	36° 29.9'	141° 59.9'	300	ND		2.3	0.18	—	—	—	—	—	—
19	令和3年7月22日	7月期	36° 29.6'	141° 59.8'	500	ND		1.6	0.17	—	—	—	—	—	—
20	令和3年7月22日	7月期	36° 30.1'	143° 00.1'	1	ND		1.6	0.16	—	—	—	—	—	—
20	令和3年7月22日	7月期	36° 29.8'	143° 00.1'	100	ND		1.7	0.16	—	—	—	—	—	—

「ND」は検出下限値以下、「—」は分析対象外、「誤差」は計数誤差を示す。

資料 5-1-3(2) 海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 外洋海域

(単位：mBq/L)

測点	調査日	採取時期	採取位置		採取深度 (m)	<sup>134</sup> Cs		<sup>137</sup> Cs		<sup>90</sup> Sr		トリチウム		全β放射能	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
20	令和3年7月22日	7月期	36° 30.0'	143° 00.1'	200	ND		2.1	0.18	—	—	—	—	—	—
20	令和3年7月22日	7月期	36° 29.6'	143° 00.0'	300	ND		1.8	0.18	—	—	—	—	—	—
20	令和3年7月22日	7月期	36° 29.7'	143° 00.2'	500	ND		2.0	0.17	—	—	—	—	—	—
21	令和3年7月22日	7月期	36° 29.9'	144° 00.1'	1	ND		1.5	0.18	—	—	—	—	—	—
21	令和3年7月22日	7月期	36° 30.0'	144° 00.1'	100	ND		1.9	0.18	—	—	—	—	—	—
21	令和3年7月22日	7月期	36° 29.9'	144° 00.1'	200	ND		1.5	0.18	—	—	—	—	—	—
21	令和3年7月22日	7月期	36° 30.1'	143° 59.8'	300	ND		1.8	0.18	—	—	—	—	—	—
21	令和3年7月22日	7月期	36° 30.0'	144° 00.0'	500	ND		2.2	0.19	—	—	—	—	—	—
25	令和3年7月21日	7月期	35° 29.9'	142° 00.2'	1	ND		1.7	0.17	—	—	—	—	—	—
25	令和3年7月21日	7月期	35° 30.1'	141° 59.7'	100	ND		1.7	0.18	—	—	—	—	—	—
25	令和3年7月21日	7月期	35° 29.8'	141° 59.6'	200	ND		1.9	0.18	—	—	—	—	—	—
25	令和3年7月21日	7月期	35° 29.9'	141° 59.5'	300	ND		1.9	0.18	—	—	—	—	—	—
25	令和3年7月21日	7月期	35° 29.9'	141° 59.7'	500	ND		2.0	0.19	—	—	—	—	—	—
26	令和3年7月21日	7月期	35° 30.0'	142° 59.6'	1	ND		1.4	0.17	—	—	—	—	—	—
26	令和3年7月21日	7月期	35° 30.1'	143° 00.4'	100	ND		1.9	0.18	—	—	—	—	—	—
26	令和3年7月21日	7月期	35° 29.9'	143° 00.2'	200	ND		1.8	0.18	—	—	—	—	—	—
26	令和3年7月21日	7月期	35° 30.1'	143° 00.5'	300	ND		1.6	0.17	—	—	—	—	—	—
26	令和3年7月21日	7月期	35° 30.1'	143° 00.4'	500	ND		1.3	0.15	—	—	—	—	—	—
27	令和3年7月21日	7月期	35° 30.0'	143° 59.8'	1	ND		1.7	0.16	—	—	—	—	—	—
27	令和3年7月22日	7月期	35° 30.0'	144° 00.5'	100	ND		1.5	0.16	—	—	—	—	—	—
27	令和3年7月22日	7月期	35° 30.0'	144° 00.5'	200	ND		2.0	0.16	—	—	—	—	—	—
27	令和3年7月22日	7月期	35° 29.8'	144° 00.5'	300	ND		2.3	0.16	—	—	—	—	—	—
27	令和3年7月21日	7月期	35° 30.0'	144° 00.5'	500	ND		2.1	0.17	—	—	—	—	—	—
10	令和3年12月5日	12月期	38° 30.3'	142° 59.8'	1	ND		1.4	0.20	—	—	—	—	—	—
10	令和3年12月5日	12月期	38° 29.3'	142° 59.9'	100	ND		1.1	0.19	—	—	—	—	—	—
10	令和3年12月5日	12月期	38° 29.5'	142° 59.9'	200	ND		1.4	0.19	—	—	—	—	—	—
10	令和3年12月5日	12月期	38° 29.7'	142° 59.9'	300	ND		0.84	0.17	—	—	—	—	—	—

「ND」は検出下限値以下、「—」は分析対象外、「誤差」は計数誤差を示す。

資料 5-1-3(3) 海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 外洋海域

(単位：mBq/L)

測点	調査日	採取時期	採取位置		採取深度 (m)	<sup>134</sup> Cs		<sup>137</sup> Cs		<sup>90</sup> Sr		トリチウム		全β放射能	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
10	令和3年12月5日	12月期	38° 30.2'	142° 59.8'	500	ND		0.51	0.15	—	—	—	—	—	—
11	令和3年12月5日	12月期	38° 29.7'	143° 59.5'	1	ND		1.7	0.17	—	—	—	—	—	—
11	令和3年12月5日	12月期	38° 30.1'	144° 00.5'	100	ND		1.3	0.17	—	—	—	—	—	—
11	令和3年12月5日	12月期	38° 30.1'	144° 00.3'	200	ND		1.5	0.17	—	—	—	—	—	—
11	令和3年12月5日	12月期	38° 29.9'	144° 00.0'	300	ND		1.2	0.17	—	—	—	—	—	—
11	令和3年12月5日	12月期	38° 29.7'	143° 59.6'	500	ND		0.60	0.15	—	—	—	—	—	—
14	令和3年12月4日	12月期	37° 29.6'	142° 59.9'	1	ND		1.8	0.17	—	—	—	—	—	—
14	令和3年12月4日	12月期	37° 30.0'	143° 00.5'	100	ND		2.1	0.18	—	—	—	—	—	—
14	令和3年12月4日	12月期	37° 29.9'	143° 00.3'	200	ND		1.7	0.16	—	—	—	—	—	—
14	令和3年12月4日	12月期	37° 29.8'	143° 00.2'	300	ND		1.4	0.15	—	—	—	—	—	—
14	令和3年12月4日	12月期	37° 29.6'	142° 59.9'	500	ND		0.80	0.14	—	—	—	—	—	—
15	令和3年12月4日	12月期	37° 30.0'	143° 59.2'	1	ND		1.6	0.16	—	—	—	—	—	—
15	令和3年12月4日	12月期	37° 30.0'	144° 00.5'	100	ND		1.6	0.16	—	—	—	—	—	—
15	令和3年12月4日	12月期	37° 29.7'	143° 59.2'	200	ND		2.1	0.17	—	—	—	—	—	—
15	令和3年12月4日	12月期	37° 29.9'	143° 59.3'	300	ND		2.5	0.17	—	—	—	—	—	—
15	令和3年12月4日	12月期	37° 30.1'	144° 00.0'	500	ND		1.5	0.16	—	—	—	—	—	—
19	令和3年12月2日	12月期	36° 30.1'	142° 00.0'	1	ND		2.0	0.21	—	—	—	—	—	—
19	令和3年12月2日	12月期	36° 30.2'	142° 00.7'	100	ND		1.6	0.21	—	—	—	—	—	—
19	令和3年12月2日	12月期	36° 30.2'	142° 00.4'	200	ND		2.0	0.21	—	—	—	—	—	—
19	令和3年12月2日	12月期	36° 30.1'	142° 00.2'	300	ND		1.5	0.20	—	—	—	—	—	—
19	令和3年12月2日	12月期	36° 30.1'	142° 00.1'	500	ND		0.65	0.17	—	—	—	—	—	—
20	令和3年12月4日	12月期	36° 29.7'	142° 59.4'	1	ND		1.6	0.19	—	—	—	—	—	—
20	令和3年12月4日	12月期	36° 30.3'	143° 00.1'	100	ND		1.7	0.18	—	—	—	—	—	—
20	令和3年12月4日	12月期	36° 29.9'	142° 59.7'	200	ND		2.2	0.20	—	—	—	—	—	—
20	令和3年12月4日	12月期	36° 29.4'	142° 59.4'	300	ND		2.3	0.21	—	—	—	—	—	—
20	令和3年12月4日	12月期	36° 29.8'	142° 59.6'	500	ND		2.5	0.21	—	—	—	—	—	—
21	令和3年12月3日	12月期	36° 29.6'	143° 59.9'	1	ND		1.3	0.16	—	—	—	—	—	—

「ND」は検出下限値以下、「—」は分析対象外、「誤差」は計数誤差を示す。

資料 5-1-3(4) 海水試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 外洋海域

(単位：mBq/L)

測点	調査日	採取時期	採取位置		採取深度 (m)	<sup>134</sup> Cs		<sup>137</sup> Cs		<sup>90</sup> Sr		トリチウム		全β放射能	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
21	令和3年12月3日	12月期	36° 30.5'	144° 00.5'	100	ND		1.8	0.16	—	—	—	—	—	—
21	令和3年12月3日	12月期	36° 30.1'	144° 00.4'	200	ND		2.0	0.16	—	—	—	—	—	—
21	令和3年12月3日	12月期	36° 29.4'	143° 59.8'	300	ND		2.1	0.17	—	—	—	—	—	—
21	令和3年12月3日	12月期	36° 29.7'	143° 59.9'	500	ND		2.8	0.18	—	—	—	—	—	—
25	令和3年12月2日	12月期	35° 30.1'	141° 59.7'	1	ND		1.6	0.20	—	—	—	—	—	—
25	令和3年12月2日	12月期	35° 30.6'	141° 59.8'	100	ND		1.8	0.22	—	—	—	—	—	—
25	令和3年12月2日	12月期	35° 30.6'	141° 59.7'	200	ND		1.5	0.21	—	—	—	—	—	—
25	令和3年12月2日	12月期	35° 30.4'	141° 59.7'	300	ND		2.6	0.23	—	—	—	—	—	—
25	令和3年12月2日	12月期	35° 30.2'	141° 59.6'	500	ND		2.4	0.21	—	—	—	—	—	—
26	令和3年12月3日	12月期	35° 29.2'	143° 00.3'	1	ND		1.6	0.17	—	—	—	—	—	—
26	令和3年12月3日	12月期	35° 29.6'	142° 59.8'	100	ND		1.6	0.18	—	—	—	—	—	—
26	令和3年12月3日	12月期	35° 29.5'	142° 59.9'	200	ND		2.1	0.19	—	—	—	—	—	—
26	令和3年12月3日	12月期	35° 29.4'	143° 00.0'	300	ND		1.8	0.19	—	—	—	—	—	—
26	令和3年12月3日	12月期	35° 29.3'	143° 00.2'	500	ND		2.2	0.19	—	—	—	—	—	—
27	令和3年12月3日	12月期	35° 29.1'	144° 00.1'	1	ND		1.7	0.17	—	—	—	—	—	—
27	令和3年12月3日	12月期	35° 29.6'	143° 59.5'	100	ND		1.5	0.18	—	—	—	—	—	—
27	令和3年12月3日	12月期	35° 29.5'	143° 59.6'	200	ND		2.1	0.17	—	—	—	—	—	—
27	令和3年12月3日	12月期	35° 29.3'	143° 59.7'	300	ND		2.1	0.17	—	—	—	—	—	—
27	令和3年12月3日	12月期	35° 29.2'	144° 00.0'	500	ND		2.9	0.19	—	—	—	—	—	—

「ND」は検出下限値以下、「—」は分析対象外、「誤差」は計数誤差を示す。

資料 5-2-1(1) 海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 沖合海域

(単位：Bq/kg-乾燥土)

測点	調査日	航海期	採取位置		採取層 (cm)	<sup>134</sup> Cs		<sup>137</sup> Cs		<sup>90</sup> Sr		<sup>110m</sup> Ag		<sup>125</sup> Sb	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
A1	令和3年5月13日	5月期	38° 30.0'	141° 51.0'	0-3	ND	ND	1.4	0.11	—	—	—	—	—	—
A3	令和3年5月13日	5月期	38° 30.0'	142° 05.0'	0-3	ND	ND	3.4	0.16	—	—	—	—	—	—
B1	令和3年5月10日	5月期	38° 05.0'	141° 15.5'	0-3	ND	ND	1.2	0.096	—	—	—	—	—	—
B3	令和3年5月10日	5月期	38° 05.0'	141° 29.4'	0-3	0.65	0.12	15	0.27	ND	ND	—	—	—	—
B5	令和3年5月11日	5月期	38° 00.0'	141° 59.9'	0-3	ND	ND	1.9	0.12	—	—	—	—	—	—
C1	令和3年5月18日	5月期	37° 45.0'	141° 15.4'	0-3	ND	ND	1.7	0.10	—	—	—	—	—	—
C3	令和3年5月18日	5月期	37° 45.0'	141° 29.4'	0-3	0.45	0.089	13	0.22	—	—	—	—	—	—
D1	令和3年5月18日	5月期	37° 35.0'	141° 22.4'	0-3	1.2	0.34	31	0.49	ND	ND	—	—	—	—
D3	令和3年5月15日	5月期	37° 35.0'	141° 36.4'	0-3	0.66	0.11	16	0.36	—	—	—	—	—	—
E1	令和3年5月21日	5月期	37° 25.0'	141° 22.4'	0-3	0.55	0.12	19	0.42	ND	ND	—	—	—	—
E3	令和3年5月15日	5月期	37° 25.0'	141° 36.4'	0-3	0.48	0.091	9.5	0.29	—	—	—	—	—	—
E5	令和3年5月11日	5月期	37° 30.0'	142° 00.0'	0-3	ND	ND	4.4	0.24	—	—	—	—	—	—
F1	令和3年5月21日	5月期	37° 15.0'	141° 22.4'	0-3	0.51	0.12	13	0.35	ND	ND	—	—	—	—
F3	令和3年5月15日	5月期	37° 15.0'	141° 36.4'	0-3	0.65	0.10	11	0.30	—	—	—	—	—	—
G0	令和3年5月21日	5月期	37° 05.0'	141° 08.4'	0-3	1.8	0.16	49	0.47	—	—	—	—	—	—
G1	令和3年5月20日	5月期	37° 05.0'	141° 15.4'	0-3	0.65	0.11	19	0.29	—	—	—	—	—	—
G3	令和3年5月12日	5月期	37° 05.0'	141° 29.4'	0-3	0.65	0.083	14	0.22	—	—	—	—	—	—
G4	令和3年5月12日	5月期	37° 00.0'	141° 45.0'	0-3	0.52	0.12	9.0	0.24	—	—	—	—	—	—
H1	令和3年5月22日	5月期	36° 55.0'	141° 08.4'	0-3	1.2	0.11	24	0.30	—	—	—	—	—	—
H3	令和3年5月12日	5月期	36° 55.0'	141° 22.4'	0-3	0.50	0.088	12	0.22	—	—	—	—	—	—
I0	令和3年5月22日	5月期	36° 45.0'	140° 53.0'	0-3	3.1	0.16	74	0.55	—	—	—	—	—	—
I1	令和3年5月22日	5月期	36° 45.0'	140° 57.0'	0-3	2.5	0.15	62	0.52	ND	ND	—	—	—	—
I3	令和3年5月20日	5月期	36° 45.0'	141° 11.0'	0-3	0.39	0.081	7.8	0.17	—	—	—	—	—	—
IB2	令和3年5月23日	5月期	36° 25.0'	140° 51.0'	0-3	0.55	0.11	18	0.37	—	—	—	—	—	—
IB4	令和3年5月23日	5月期	36° 05.0'	140° 52.0'	0-3	0.40	0.12	12	0.33	—	—	—	—	—	—
J1	令和3年5月23日	5月期	36° 25.0'	140° 44.0'	0-3	ND	ND	3.7	0.15	ND	ND	—	—	—	—
J3	令和3年5月20日	5月期	36° 25.0'	141° 04.0'	0-3	ND	ND	13	0.40	—	—	—	—	—	—
K1	令和3年5月23日	5月期	36° 04.0'	140° 43.0'	0-3	ND	ND	1.1	0.14	—	—	—	—	—	—
L1	令和3年5月19日	5月期	35° 45.0'	140° 57.0'	0-3	ND	ND	0.49	0.12	—	—	—	—	—	—
L3	令和3年5月19日	5月期	35° 45.0'	141° 11.0'	0-3	0.56	0.13	12	0.36	—	—	—	—	—	—
M1	令和3年5月19日	5月期	35° 30.8'	141° 00.0'	0-3	ND	ND	1.9	0.16	—	—	—	—	—	—
M14	令和3年5月13日	5月期	38° 15.0'	141° 45.0'	0-3	ND	ND	4.1	0.15	—	—	—	—	—	—

「ND」は検出下限値以下、「—」は分析対象外、「誤差」は計数誤差を示す。

資料 5-2-1(2) 海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 沖合海域

(単位：Bq/kg-乾燥土)

測点	調査日	航海期	採取位置		採取層 (cm)	<sup>134</sup> Cs		<sup>137</sup> Cs		<sup>90</sup> Sr		<sup>110m</sup> Ag		<sup>125</sup> Sb	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
A1	令和3年8月7日	8月期	38° 30.0'	141° 51.1'	0-3	ND	ND	1.1	0.12	—	—	—	—	—	—
A3	令和3年8月7日	8月期	38° 30.0'	142° 05.0'	0-3	ND	ND	3.6	0.16	—	—	—	—	—	—
B1	令和3年8月17日	8月期	38° 05.0'	141° 15.4'	0-3	ND	ND	1.7	0.099	—	—	—	—	—	—
B3	令和3年8月17日	8月期	38° 05.0'	141° 29.4'	0-3	0.46	0.12	16	0.28	0.11	0.023	—	—	—	—
B5	令和3年8月6日	8月期	38° 00.0'	142° 00.0'	0-3	ND	ND	2.1	0.13	—	—	—	—	—	—
C1	令和3年8月17日	8月期	37° 45.0'	141° 15.5'	0-3	ND	ND	1.5	0.10	—	—	—	—	—	—
C3	令和3年8月17日	8月期	37° 44.9'	141° 29.4'	0-3	0.53	0.090	15	0.23	—	—	—	—	—	—
D1	令和3年8月5日	8月期	37° 35.0'	141° 22.4'	0-3	1.3	0.12	31	0.50	0.13	0.022	—	—	—	—
D3	令和3年8月5日	8月期	37° 34.9'	141° 36.3'	0-3	0.45	0.10	7.6	0.27	—	—	—	—	—	—
E1	令和3年8月4日	8月期	37° 24.9'	141° 22.4'	0-3	0.85	0.16	20	0.43	0.095	0.021	—	—	—	—
E3	令和3年8月5日	8月期	37° 24.8'	141° 36.2'	0-3	0.49	0.11	11	0.30	—	—	—	—	—	—
E5	令和3年8月6日	8月期	37° 29.7'	141° 59.6'	0-3	ND	ND	4.9	0.24	—	—	—	—	—	—
F1	令和3年8月4日	8月期	37° 14.8'	141° 22.2'	0-3	0.38	0.11	13	0.35	0.069	0.020	—	—	—	—
F3	令和3年8月4日	8月期	37° 14.8'	141° 36.3'	0-3	1.1	0.11	28	0.45	—	—	—	—	—	—
G0	令和3年8月21日	8月期	37° 05.0'	141° 08.4'	0-3	2.2	0.16	54	0.49	—	—	—	—	—	—
G1	令和3年8月21日	8月期	37° 05.0'	141° 15.4'	0-3	0.71	0.12	24	0.33	—	—	—	—	—	—
G3	令和3年8月22日	8月期	37° 04.9'	141° 29.4'	0-3	0.64	0.085	17	0.23	—	—	—	—	—	—
G4	令和3年8月22日	8月期	37° 00.0'	141° 45.0'	0-3	ND	ND	4.4	0.19	—	—	—	—	—	—
H1	令和3年8月21日	8月期	36° 55.0'	141° 08.4'	0-3	0.86	0.11	21	0.28	—	—	—	—	—	—
H3	令和3年8月22日	8月期	36° 54.9'	141° 22.4'	0-3	0.52	0.10	16	0.25	—	—	—	—	—	—
I0	令和3年8月19日	8月期	36° 44.9'	140° 53.0'	0-3	3.2	0.16	90	0.60	—	—	—	—	—	—
I1	令和3年8月19日	8月期	36° 44.9'	140° 57.1'	0-3	2.2	0.14	53	0.47	0.074	0.021	—	—	—	—
I3	令和3年8月21日	8月期	36° 44.9'	141° 10.9'	0-3	0.29	0.076	6.8	0.17	—	—	—	—	—	—
IB2	令和3年8月19日	8月期	36° 25.0'	140° 50.8'	0-3	0.65	0.11	21	0.40	—	—	—	—	—	—
IB4	令和3年8月20日	8月期	36° 04.9'	140° 52.0'	0-3	0.71	0.12	16	0.38	—	—	—	—	—	—
J1	令和3年8月19日	8月期	36° 24.9'	140° 44.0'	0-3	ND	ND	6.0	0.17	ND	ND	—	—	—	—
J3	令和3年8月20日	8月期	36° 24.7'	141° 03.9'	0-3	0.67	0.15	12	0.41	—	—	—	—	—	—
K1	令和3年8月20日	8月期	36° 04.0'	140° 43.0'	0-3	ND	ND	1.4	0.15	—	—	—	—	—	—
L1	令和3年8月23日	8月期	35° 45.0'	140° 57.0'	0-3	ND	ND	0.87	0.13	—	—	—	—	—	—
L3	令和3年8月23日	8月期	35° 45.0'	141° 11.0'	0-3	ND	ND	13	0.36	—	—	—	—	—	—
M1	令和3年8月23日	8月期	35° 30.8'	141° 00.0'	0-3	ND	ND	1.7	0.16	—	—	—	—	—	—
M14	令和3年8月7日	8月期	38° 15.0'	141° 44.8'	0-3	ND	ND	2.8	0.12	—	—	—	—	—	—

「ND」は検出下限値以下、「—」は分析対象外、「誤差」は計数誤差を示す。

資料 5-2-1(3) 海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 沖合海域

(単位：Bq/kg-乾燥土)

測点	調査日	航海期	採取位置		採取層 (cm)	<sup>134</sup> Cs		<sup>137</sup> Cs		<sup>90</sup> Sr		<sup>110m</sup> Ag		<sup>125</sup> Sb	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
A1	令和3年11月7日	11月期	38° 30.0'	141° 51.1'	0-3	ND	0.10	1.1	0.10	—	—	—	—	—	—
A3	令和3年11月7日	11月期	38° 30.4'	142° 05.1'	0-3	0.64	0.11	9.1	0.21	—	—	—	—	—	—
B1	令和3年11月2日	11月期	38° 05.1'	141° 15.6'	0-3	ND	0.095	1.3	0.095	—	—	—	—	—	—
B3	令和3年11月2日	11月期	38° 04.9'	141° 29.5'	0-3	0.45	0.11	14	0.25	0.095	0.019	—	—	—	—
B5	令和3年11月11日	11月期	37° 59.9'	142° 00.1'	0-3	ND	0.12	2.0	0.12	—	—	—	—	—	—
C1	令和3年11月3日	11月期	37° 44.8'	141° 15.4'	0-3	ND	0.087	0.79	0.087	—	—	—	—	—	—
C3	令和3年11月6日	11月期	37° 45.0'	141° 29.4'	0-3	0.40	0.052	12	0.21	—	—	—	—	—	—
D1	令和3年11月3日	11月期	37° 34.9'	141° 22.2'	0-3	1.6	0.14	45	0.62	0.090	0.018	—	—	—	—
D3	令和3年11月6日	11月期	37° 35.0'	141° 36.4'	0-3	ND	0.27	7.3	0.27	—	—	—	—	—	—
E1	令和3年11月3日	11月期	37° 25.1'	141° 22.5'	0-3	0.82	0.13	20	0.44	0.062	0.017	—	—	—	—
E3	令和3年11月6日	11月期	37° 25.1'	141° 36.4'	0-3	0.32	0.093	8.2	0.28	—	—	—	—	—	—
E5	令和3年11月12日	11月期	37° 30.0'	142° 00.0'	0-3	ND	0.23	4.2	0.23	—	—	—	—	—	—
F1	令和3年11月3日	11月期	37° 15.0'	141° 22.6'	0-3	0.44	0.12	12	0.35	ND	—	—	—	—	—
F3	令和3年11月12日	11月期	37° 14.8'	141° 36.3'	0-3	0.46	0.091	11	0.30	—	—	—	—	—	—
G0	令和3年11月4日	11月期	37° 05.0'	141° 08.4'	0-3	3.7	0.16	110	0.66	—	—	—	—	—	—
G1	令和3年11月4日	11月期	37° 05.3'	141° 15.1'	0-3	1.2	0.12	29	0.34	—	—	—	—	—	—
G3	令和3年11月12日	11月期	37° 05.1'	141° 29.0'	0-3	0.57	0.088	19	0.25	—	—	—	—	—	—
G4	令和3年11月13日	11月期	37° 00.2'	141° 44.9'	0-3	ND	0.22	9.1	0.22	—	—	—	—	—	—
H1	令和3年11月4日	11月期	36° 55.2'	141° 08.3'	0-3	1.0	0.12	28	0.32	—	—	—	—	—	—
H3	令和3年11月13日	11月期	36° 55.0'	141° 22.4'	0-3	0.94	0.12	24	0.30	—	—	—	—	1.4	0.30
I0	令和3年11月5日	11月期	36° 44.9'	140° 53.0'	0-3	3.0	0.16	76	0.54	—	—	—	—	—	—
I1	令和3年11月4日	11月期	36° 45.0'	140° 56.8'	0-3	2.2	0.15	57	0.49	0.065	0.017	—	—	—	—
I3	令和3年11月13日	11月期	36° 45.1'	141° 11.2'	0-3	0.34	0.088	8.6	0.18	—	—	—	—	—	—
IB2	令和3年11月5日	11月期	36° 25.0'	140° 50.8'	0-3	ND	0.38	19	0.38	—	—	—	—	—	—
IB4	令和3年11月14日	11月期	36° 05.2'	140° 51.5'	0-3	0.61	0.11	15	0.37	—	—	—	—	—	—
J1	令和3年11月5日	11月期	36° 25.1'	140° 42.6'	0-3	ND	0.12	2.6	0.12	0.060	0.017	—	—	—	—
J3	令和3年11月14日	11月期	36° 25.1'	141° 04.2'	0-3	0.65	0.15	15	0.44	—	—	—	—	—	—
K1	令和3年11月14日	11月期	36° 04.4'	140° 42.7'	0-3	ND	0.14	0.56	0.14	—	—	—	—	—	—
L1	令和3年11月15日	11月期	35° 45.0'	140° 56.9'	0-3	ND	0.12	0.39	0.12	—	—	—	—	—	—
L3	令和3年11月15日	11月期	35° 45.1'	141° 11.0'	0-3	ND	0.16	7.6	0.16	—	—	—	—	—	—
M1	令和3年11月15日	11月期	35° 30.8'	141° 00.0'	0-3	ND	0.10	3.3	0.10	—	—	—	—	—	—
M14	令和3年11月7日	11月期	38° 15.0'	141° 44.9'	0-3	ND	0.13	2.9	0.13	—	—	—	—	—	—

「ND」は検出下限値以下、「—」は分析対象外、「誤差」は計数誤差を示す。

資料 5-2-1(4) 海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 沖合海域

(単位：Bq/kg-乾燥土)

測点	調査日	航海期	採取位置		採取層 (cm)	<sup>134</sup> Cs		<sup>137</sup> Cs		<sup>90</sup> St		<sup>110m</sup> Ag		<sup>125</sup> Sb	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
A1	令和4年1月15日	1月期	38° 30.0'	141° 51.1'	0-3	ND		1.3	0.12	—		—		—	
A3	令和4年1月15日	1月期	38° 30.0'	142° 05.0'	0-3	ND		2.0	0.15	—		—		—	
B1	令和4年1月12日	1月期	38° 05.0'	141° 15.4'	0-3	ND		1.2	0.085	—		—		—	
B3	令和4年1月14日	1月期	38° 05.0'	141° 29.5'	0-3	0.48	0.11	14	0.25	0.062	0.020	—		—	
B5	令和4年1月16日	1月期	38° 00.0'	142° 00.0'	0-3	ND		5.3	0.16	—		—		—	
C1	令和4年1月14日	1月期	37° 45.0'	141° 15.4'	0-3	ND		1.3	0.11	—		—		—	
C3	令和4年1月11日	1月期	37° 45.0'	141° 29.5'	0-3	0.44	0.093	12	0.21	—		—		—	
D1	令和4年1月14日	1月期	37° 35.0'	141° 22.5'	0-3	0.80	0.12	31	0.50	0.088	0.021	—		—	
D3	令和4年1月13日	1月期	37° 34.9'	141° 36.5'	0-3	ND		7.8	0.27	—		—		—	
E1	令和4年1月14日	1月期	37° 25.0'	141° 22.5'	0-3	0.50	0.12	17	0.39	0.083	0.019	—		—	
E3	令和4年1月13日	1月期	37° 24.9'	141° 36.4'	0-3	0.46	0.11	12	0.33	—		—		—	
E5	令和4年1月11日	1月期	37° 30.1'	141° 59.8'	0-3	ND		3.4	0.22	—		—		—	
F1	令和4年1月13日	1月期	37° 15.0'	141° 22.4'	0-3	0.49	0.11	11	0.33	ND		—		—	
F3	令和4年1月13日	1月期	37° 14.9'	141° 36.5'	0-3	0.35	0.10	9.0	0.28	—		—		—	
G0	令和4年1月18日	1月期	37° 05.1'	141° 08.4'	0-3	2.4	0.15	67	0.53	—		—		—	
G1	令和4年1月18日	1月期	37° 05.0'	141° 15.4'	0-3	0.50	0.10	15	0.25	—		—		—	
G3	令和4年1月10日	1月期	37° 05.0'	141° 29.5'	0-3	13	0.23	400	1.1	—		—		—	
G4	令和4年1月10日	1月期	36° 59.9'	141° 45.0'	0-3	0.45	0.12	6.7	0.19	—		—		—	
H1	令和4年1月18日	1月期	36° 55.0'	141° 08.3'	0-3	0.67	0.10	18	0.26	—		—		—	
H3	令和4年1月10日	1月期	36° 54.8'	141° 22.3'	0-3	0.58	0.10	17	0.26	—		—		—	
I0	令和4年1月9日	1月期	36° 45.1'	140° 53.8'	0-3	3.3	0.17	100	0.65	—		—		—	
I1	令和4年1月9日	1月期	36° 45.0'	140° 57.1'	0-3	1.4	0.15	47	0.44	0.083	0.020	—		—	
I3	令和4年1月18日	1月期	36° 45.0'	141° 11.1'	0-3	ND		7.6	0.19	—		—		—	
IB2	令和4年1月20日	1月期	36° 25.0'	140° 50.9'	0-3	0.44	0.097	16	0.35	—		—		—	
IB4	令和4年1月20日	1月期	36° 05.0'	140° 52.0'	0-3	0.80	0.12	17	0.39	—		—		—	
J1	令和4年1月9日	1月期	36° 25.1'	140° 43.7'	0-3	ND		4.8	0.16	ND		—		—	
J3	令和4年1月20日	1月期	36° 25.0'	141° 04.0'	0-3	0.58	0.14	16	0.45	—		—		—	
K1	令和4年1月20日	1月期	36° 03.8'	140° 42.7'	0-3	ND		1.6	0.16	—		—		—	
L1	令和4年1月19日	1月期	35° 45.0'	140° 57.1'	0-3	ND		0.55	0.12	—		—		—	
L3	令和4年1月19日	1月期	35° 45.0'	141° 11.0'	0-3	0.40	0.11	18	0.41	—		—		—	
M1	令和4年1月19日	1月期	35° 30.7'	141° 00.0'	0-3	ND		2.7	0.19	—		—		—	
M14	令和4年1月15日	1月期	38° 14.9'	141° 45.0'	0-3	ND		2.8	0.14	—		—		—	

「ND」は検出下限値以下、「—」は分析対象外、「誤差」は計数誤差を示す。

資料 5-2-2 海底土試料に含まれる放射性核種の放射能分析結果 (α線放出核種) 沖合海域

(単位: Bq/kg-乾燥土)

測点	調査日	航海期	採取位置		採取層 (cm)	<sup>238</sup> Pu		<sup>239+240</sup> Pu		<sup>241</sup> Am		<sup>242</sup> Cm		<sup>243+244</sup> Cm	
			N	E		濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差	濃度	誤差
B3	令和3年8月17日	8月期	38° 05.0'	141° 29.4'	0-3	0.018	0.0037	1.1	0.044	0.53	0.022	ND	ND	ND	ND
E1	令和3年8月4日	8月期	37° 24.9'	141° 22.4'	0-3	0.017	0.0033	0.88	0.034	0.49	0.022	ND	ND	ND	ND
I1	令和3年8月19日	8月期	36° 44.9'	140° 57.1'	0-3	0.018	0.0032	1.2	0.042	0.66	0.026	ND	ND	ND	ND

「ND」は検出下限値以下、「誤差」は計数誤差を示す。

資料5-2-3(1) 海底土の色・質・生物種等

測点	調査日	航海期	水深 (m)	泥色	泥質	見かけ比重 (g/cm <sup>3</sup> )	含水率 (%)	生物種*
A1	令和3年5月13日	5月期	205	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.60	34.2	ゴカイ類の棲管
A3	令和3年5月13日	5月期	487	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.36	45.2	クモヒトデ類,ゴカイ類の棲管
B1	令和3年5月10日	5月期	44	暗オリーブ	中細砂	1.92	19.0	ヨコエビ類,ゴカイ類の棲管,貝殻
B3	令和3年5月10日	5月期	118	オリーブ黒	泥	1.31	59.6	ゴカイ類の棲管
B5	令和3年5月11日	5月期	362	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.60	36.5	ヨコエビ類,ゴカイ類の棲管
C1	令和3年5月18日	5月期	54	黒褐	礫混じり粗砂	1.94	15.1	ヨコエビ類,ゴカイ類
C3	令和3年5月18日	5月期	133	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.61	34.3	ゴカイ類の棲管
D1	令和3年5月18日	5月期	124	オリーブ黒	中細砂混じり泥	1.45	52.0	ゴカイ類の棲管
D3	令和3年5月15日	5月期	225	オリーブ黒	中細砂混じり泥	1.41	44.8	ヨコエビ類,ゴカイ類の棲管
E1	令和3年5月21日	5月期	135	オリーブ灰	泥	1.43	55.8	クモヒトデ類,ゴカイ類の棲管
E3	令和3年5月15日	5月期	231	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.49	38.4	クモヒトデ類,ゴカイ類,ゴカイ類の棲管
E5	令和3年5月11日	5月期	533	オリーブ黒	中細砂混じり泥	1.47	42.8	クモヒトデ類,ゴカイ類の棲管
F1	令和3年5月21日	5月期	146	オリーブ黒	泥	1.43	48.8	ゴカイ類の棲管
F3	令和3年5月15日	5月期	234	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.48	38.1	ゴカイ類,ゴカイ類の棲管
G0	令和3年5月21日	5月期	106	オリーブ黒	泥	1.39	52.9	ゴカイ類の棲管
G1	令和3年5月20日	5月期	138	オリーブ黒	中細砂混じり泥	1.31	51.6	ゴカイ類の棲管
G3	令和3年5月12日	5月期	210	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.64	31.4	ゴカイ類の棲管
G4	令和3年5月12日	5月期	657	オリーブ黒	中細砂混じり泥	1.38	56.3	ゴカイ類の棲管
H1	令和3年5月22日	5月期	134	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.45	39.5	ゴカイ類の棲管
H3	令和3年5月12日	5月期	231	オリーブ黒	中細砂混じり泥	1.56	39.9	クモヒトデ類,ヨコエビ類,ゴカイ類の棲管
I0	令和3年5月22日	5月期	72	オリーブ黒	泥	1.36	51.3	ゴカイ類の棲管
I1	令和3年5月22日	5月期	98	オリーブ黒	泥	1.33	58.4	ヨコエビ類,ゴカイ類の棲管
I3	令和3年5月20日	5月期	183	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.75	28.7	ゴカイ類の棲管
IB2	令和3年5月23日	5月期	117	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.55	40.0	ゴカイ類の棲管
IB4	令和3年5月23日	5月期	122	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.45	43.2	ゴカイ類の棲管
J1	令和3年5月23日	5月期	53	オリーブ黒	中細砂	1.98	23.3	アミ類,二枚貝類
J3	令和3年5月20日	5月期	564	オリーブ黒	泥	1.29	67.5	ゴカイ類,ゴカイ類の棲管
K1	令和3年5月23日	5月期	31	オリーブ黒	中細砂	1.90	24.7	—
L1	令和3年5月19日	5月期	45	黒褐	礫混じり粗砂	2.03	12.3	ゴカイ類の棲管
L3	令和3年5月19日	5月期	168	オリーブ黒	泥	1.45	54.6	ゴカイ類の棲管
M1	令和3年5月19日	5月期	112	オリーブ黒	礫混じり中細砂	1.83	26.2	ヨコエビ類,貝殻
M14	令和3年5月13日	5月期	155	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.70	26.9	クモヒトデ類,ゴカイ類,ゴカイ類の棲管

\* : 採取時に目視観察された生物種を記載。生物種が確認されなかったものを「-」で示した。

資料 5-2-3(2) 海底土の色・質・生物種等

測点	調査日	航海期	水深 (m)	泥色	泥質	見かけ比重 (g/cm <sup>3</sup> )	含水率 (%)	生物種*
A1	令和3年8月7日	8月期	207	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.68	35.9	ヨコエビ, ゴカイ類
A3	令和3年8月7日	8月期	491	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.49	43.0	ヨコエビ, ゴカイ類, クモヒトデ
B1	令和3年8月17日	8月期	44	灰オリーブ	中細砂	2.04	15.1	貝殻, 礫, ヨコエビ, ゴカイ類
B3	令和3年8月17日	8月期	119	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.37	55.3	棲管
B5	令和3年8月6日	8月期	363	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.73	34.0	棲管, ヨコエビ, ゴカイ類, クモヒトデ, 貝類
C1	令和3年8月17日	8月期	55	オリーブ褐	粗砂	2.02	14.0	ヨコエビ, 貝殻
C3	令和3年8月17日	8月期	134	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.65	34.9	クーマ, エビ類, 棲管
D1	令和3年8月5日	8月期	124	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.45	50.6	—
D3	令和3年8月5日	8月期	224	オリーブ黒	中細砂混じり泥	1.56	42.9	棲管, ヨコエビ
E1	令和3年8月4日	8月期	134	灰オリーブ	泥混じり中細砂	1.45	48.4	棲管, ヨコエビ
E3	令和3年8月5日	8月期	228	オリーブ黒	中細砂混じり泥	1.65	39.0	棲管, ヨコエビ, クモヒトデ
E5	令和3年8月6日	8月期	522	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.60	40.3	棲管
F1	令和3年8月4日	8月期	144	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.51	49.2	棲管, ヨコエビ, ゴカイ類, エビ
F3	令和3年8月4日	8月期	231	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.68	38.6	棲管, ヨコエビ
G0	令和3年8月21日	8月期	107	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.38	54.8	クーマ, 棲管, カニ類, カニ幼生
G1	令和3年8月21日	8月期	140	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.46	54.9	棲管
G3	令和3年8月22日	8月期	211	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.83	28.5	ヨコエビ, クーマ, カニ類
G4	令和3年8月22日	8月期	666	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.45	53.6	ゴカイ類, コペポダ, 棲管, クモヒトデ, フナムシ
H1	令和3年8月21日	8月期	133	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.55	43.3	棲管
H3	令和3年8月22日	8月期	236	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.61	41.2	ヨコエビ, クーマ, 棲管
I0	令和3年8月19日	8月期	72	オリーブ黒	中細砂混じり泥	1.48	54.3	ヨコエビ, 棲管, ゴカイ類
I1	令和3年8月19日	8月期	99	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.41	56.6	棲管
I3	令和3年8月21日	8月期	184	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.87	24.9	棲管, カニ類
IB2	令和3年8月19日	8月期	117	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.57	42.1	棲管
IB4	令和3年8月20日	8月期	121	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.56	46.6	棲管, エビ類
J1	令和3年8月19日	8月期	54	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.91	23.4	魚類
J3	令和3年8月20日	8月期	574	オリーブ黒	中細砂混じり泥	1.24	66.7	棲管, クモヒトデ, ヨコエビ, ゴカイ類
K1	令和3年8月20日	8月期	30	オリーブ黒	中細砂	1.87	24.6	貝殻, エビ類, カニ幼生, 棲管
L1	令和3年8月23日	8月期	44	オリーブ褐	礫	2.08	13.8	—
L3	令和3年8月23日	8月期	168	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.46	54.0	ヤドカリ, エビ類, 棲管
M1	令和3年8月23日	8月期	113	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.87	25.7	貝殻, クーマ, 棲管, ヒトデ類, ゴカイ類
MI4	令和3年8月7日	8月期	154	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.85	25.7	棲管, ヨコエビ

\* : 採取時に目視観察された生物種を記載。生物種が確認されなかったものを「—」で示した。

資料 5-2-3(3) 海底土の色・質・生物種等

測点	調査日	航海期	水深 (m)	泥色	泥質	見かけ比重 (g/cm <sup>3</sup> )	含水率 (%)	生物種*
A1	令和3年11月7日	11月期	211	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.64	34.8	棲管, エビ類
A3	令和3年11月7日	11月期	496	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.54	42.2	棲管, ゴカイ類, ヒトデ類, クモヒトデ
B1	令和3年11月2日	11月期	45	オリーブ黒	粗砂	1.93	14.6	ゴカイ類, カニ, ヨコエビ, 貝殻
B3	令和3年11月2日	11月期	122	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.41	55.1	棲管
B5	令和3年11月11日	11月期	376	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.65	35.5	エビ類, 棲管, 不明生物, クモヒトデ, ヨコエビ
C1	令和3年11月3日	11月期	56	にぶい、黄褐	粗砂	1.99	13.9	-
C3	令和3年11月6日	11月期	136	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.66	34.2	エビ類, ヨコエビ, 棲管, ゴカイ類
D1	令和3年11月3日	11月期	125	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.46	48.0	棲管
D3	令和3年11月6日	11月期	229	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.58	39.6	棲管, ゴカイ類, ヨコエビ
E1	令和3年11月3日	11月期	139	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.47	55.3	棲管, エビ類
E3	令和3年11月6日	11月期	235	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.72	33.1	ゴカイ類, 棲管, クモヒトデ
E5	令和3年11月12日	11月期	539	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.54	40.5	棲管, ゴカイ類
F1	令和3年11月3日	11月期	148	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.56	45.4	ゴカイ類, 棲管, エビ類
F3	令和3年11月12日	11月期	234	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.67	37.0	棲管, ゴカイ類, エビ類, ヨコエビ
G0	令和3年11月4日	11月期	108	オリーブ黒	中細砂混じり泥	1.38	54.4	棲管, エビ類
G1	令和3年11月4日	11月期	143	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.37	52.2	棲管
G3	令和3年11月12日	11月期	204	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.71	29.9	棲管, ヨコエビ, クモヒトデ
G4	令和3年11月13日	11月期	659	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.43	52.1	棲管, クモヒトデ, ヨコエビ
H1	令和3年11月4日	11月期	136	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.53	45.1	ゴカイ類, 棲管
H3	令和3年11月13日	11月期	235	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.47	43.1	エビ類, 棲管, クモヒトデ
I0	令和3年11月5日	11月期	74	オリーブ黒	中細砂混じり泥	1.40	50.6	棲管, ヨコエビ
I1	令和3年11月4日	11月期	100	オリーブ黒	中細砂混じり泥	1.41	55.4	魚類, 棲管
I3	令和3年11月13日	11月期	189	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.70	26.5	貝殻, 棲管, ヨコエビ
IB2	令和3年11月5日	11月期	119	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.62	37.0	棲管, エビ類
IB4	令和3年11月14日	11月期	119	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.50	45.5	ヨコエビ, 棲管, エビ類
J1	令和3年11月5日	11月期	47	灰オリーブ	中細砂	1.89	23.2	カニ類, 貝殻
J3	令和3年11月14日	11月期	579	オリーブ黒	泥	1.22	70.2	棲管, ゴカイ類, クモヒトデ
K1	令和3年11月14日	11月期	27	灰	中細砂	1.96	21.0	貝殻
L1	令和3年11月15日	11月期	44	オリーブ褐	礫混じり粗砂	2.04	13.5	貝殻
L3	令和3年11月15日	11月期	170	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.56	43.1	棲管
M1	令和3年11月15日	11月期	115	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.75	27.9	貝殻, 棲管, ヨコエビ, クモヒトデ
MI4	令和3年11月7日	11月期	156	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.79	27.6	エビ類, 貝殻, 棲管, ゴカイ類, ヒトデ類

\* : 採取時に目視観察された生物種を記載。生物種が確認されなかったものを「—」で示した。

資料 5-2-3-3(4) 海底土の色・質・生物種等

測点	調査日	航海期	水深 (m)	泥色	泥質	見かけ比重 (g/cm <sup>3</sup> )	含水率 (%)	生物種*
A1	令和4年1月15日	1月期	207	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.60	33.2	棲管
A3	令和4年1月15日	1月期	487	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.49	44.0	棲管, ヨコエビ, クモヒトデ
B1	令和4年1月12日	1月期	44	にぶい黄褐	粗砂	2.01	15.8	イトゴカイ, 貝殻, ホヤ
B3	令和4年1月14日	1月期	119	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.38	58.7	棲管
B5	令和4年1月16日	1月期	361	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.60	33.3	ヨコエビ, 棲管, クモヒトデ
C1	令和4年1月14日	1月期	56	褐	礫混じり粗砂	1.98	14.0	ヨコエビ
C3	令和4年1月11日	1月期	134	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.57	33.7	棲管, ヨコエビ
D1	令和4年1月14日	1月期	124	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.39	51.4	棲管
D3	令和4年1月13日	1月期	227	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.53	37.9	棲管, 貝殻
E1	令和4年1月14日	1月期	135	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.45	51.1	棲管, ウミズモ
E3	令和4年1月13日	1月期	234	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.55	38.1	棲管, 貝殻, ホヤ
E5	令和4年1月11日	1月期	533	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.54	39.8	棲管, 貝殻, ヒトデ
F1	令和4年1月13日	1月期	145	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.44	46.2	棲管, エビ類
F3	令和4年1月13日	1月期	207	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.56	36.5	棲管, 巻貝, ヨコエビ
G0	令和4年1月18日	1月期	137	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.41	49.5	棲管, ヨコエビ
G1	令和4年1月18日	1月期	140	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.41	46.5	棲管, ヨコエビ
G3	令和4年1月10日	1月期	211	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.67	28.5	貝殻, 棲管, ヨコエビ, クモヒトデ
G4	令和4年1月10日	1月期	666	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.39	52.1	クモヒトデ, 棲管
H1	令和4年1月18日	1月期	134	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.56	37.3	棲管, エビ類
H3	令和4年1月10日	1月期	237	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.51	41.7	棲管
I0	令和4年1月9日	1月期	75	灰オリーブ	泥混じり中細砂	1.35	54.0	棲管
I1	令和4年1月9日	1月期	98	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.39	56.7	棲管, エビ類
I3	令和4年1月18日	1月期	186	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.77	28.1	棲管
IB2	令和4年1月20日	1月期	117	灰オリーブ	泥混じり中細砂	1.54	36.7	棲管, ヨコエビ
IB4	令和4年1月20日	1月期	122	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.43	45.0	ヨコエビ, 棲管
J1	令和4年1月9日	1月期	51	オリーブ黒	中細砂	1.84	23.6	貝殻, 棲管
J3	令和4年1月20日	1月期	571	灰オリーブ	泥混じり中細砂	1.19	69.4	クモヒトデ, 棲管
K1	令和4年1月20日	1月期	28	オリーブ黒	中細砂	1.84	23.4	棲管
L1	令和4年1月19日	1月期	44	にぶい黄褐	粗砂	2.08	11.9	ヨコエビ, 貝殻, エビ類
L3	令和4年1月19日	1月期	168	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.37	53.0	ゴカイ
M1	令和4年1月19日	1月期	113	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.89	20.4	棲管, 貝殻, イトゴカイ
M14	令和4年1月15日	1月期	154	オリーブ黒	泥混じり中細砂	1.70	25.2	貝殻, 棲管

\* : 採取時に目視観察された生物種を記載。生物種が確認されなかったものを「-」で示した。

資料5-2-4 令和2年度 海底土試料に含まれる<sup>90</sup>Sr放射能分析結果 沖合海域（再解析）  
 （単位：Bq/kg-乾燥土）

測点	調査日	航海期	採取位置		採取層 (cm)	<sup>90</sup> Sr	
			N	E		濃度	誤差
B3	令和2年5月10日	5月期	38° 05.0'	141° 29.4'	0-3	0.13	0.028
D1	令和2年5月15日	5月期	37° 35.0'	141° 22.4'	0-3	0.11	0.027
E1	令和2年5月17日	5月期	37° 25.0'	141° 22.4'	0-3	0.074	0.024
F1	令和2年5月25日	5月期	37° 15.0'	141° 22.4'	0-3	0.15	0.025
I1	令和2年5月24日	5月期	36° 45.0'	140° 57.0'	0-3	0.13	0.025
J1	令和2年5月22日	5月期	36° 25.5'	140° 43.0'	0-3	0.12	0.025
B3	令和2年8月13日	8月期	38° 05.1'	141° 29.4'	0-3	0.18	0.028
D1	令和2年8月11日	8月期	37° 35.1'	141° 22.4'	0-3	0.11	0.024
E1	令和2年8月11日	8月期	37° 25.2'	141° 22.5'	0-3	0.091	0.023
F1	令和2年8月17日	8月期	37° 15.1'	141° 22.4'	0-3	ND	
I1	令和2年8月14日	8月期	36° 45.0'	140° 56.8'	0-3	0.32	0.028
J1	令和2年8月15日	8月期	36° 25.0'	140° 43.6'	0-3	ND	
B3	令和2年11月16日	11月期	38° 05.0'	141° 29.4'	0-3	ND	
D1	令和2年11月14日	11月期	37° 35.1'	141° 22.4'	0-3	0.082	0.024
E1	令和2年11月14日	11月期	37° 25.1'	141° 22.2'	0-3	0.097	0.024
F1	令和2年11月14日	11月期	37° 15.1'	141° 22.7'	0-3	0.14	0.023
I1	令和2年11月21日	11月期	36° 45.1'	141° 57.0'	0-3	0.20	0.025
J1	令和2年11月20日	11月期	36° 25.1'	140° 43.7'	0-3	ND	
B3	令和3年1月15日	1月期	38° 05.0'	141° 29.4'	0-3	0.11	0.022
D1	令和3年1月13日	1月期	37° 35.0'	141° 22.5'	0-3	0.11	0.022
E1	令和2年1月20日	1月期	37° 25.0'	141° 22.3'	0-3	0.089	0.023
F1	令和2年1月20日	1月期	37° 14.9'	141° 22.4'	0-3	0.083	0.023
I1	令和2年1月18日	1月期	36° 44.9'	140° 57.0'	0-3	0.19	0.025
J1	令和2年1月18日	1月期	36° 25.2'	140° 42.8'	0-3	ND	

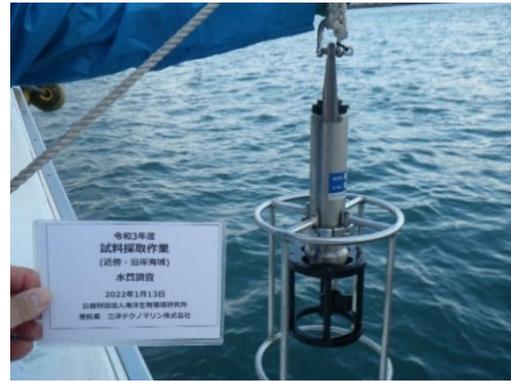
「ND」は検出下限値以下、「誤差」は計数誤差を示す。

(参考4) 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所周辺の海域モニタリング  
における作業等の様子

(1) 近傍沿岸における試料採取関係



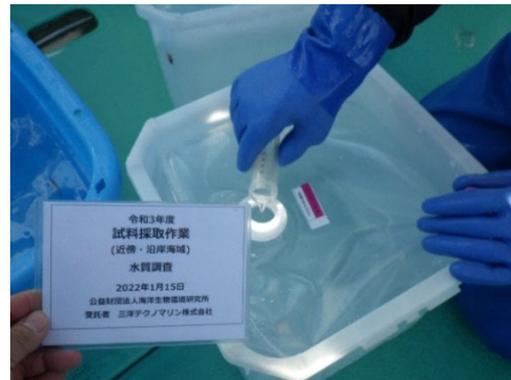
①出港前の準備



②水温塩分測定のための観測機器



③透明度を観測する透明度板

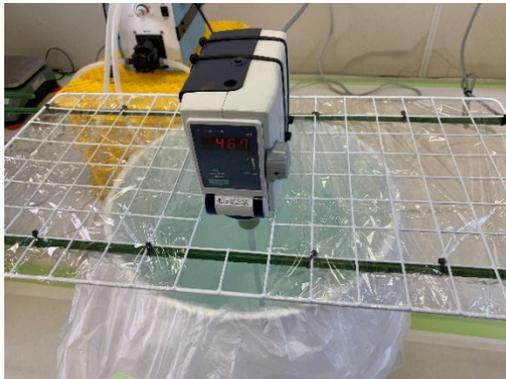


④海水試料に硝酸を添加する様子



⑤海水試料の梱包作業

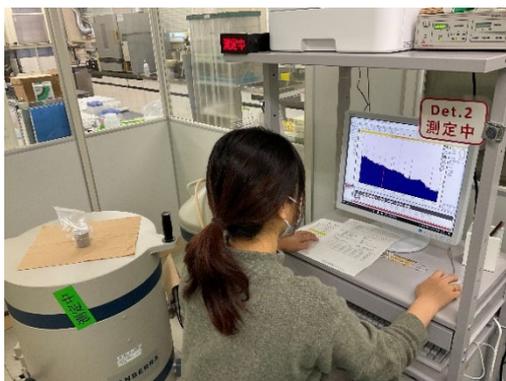
(2) 近傍・沿岸海域で採取した海水試料の放射能分析関係



①海水試料に沈殿分離法を適用する  
(攪拌器で一定時間混ぜる)



②放射性セシウム分析の際のリンモリブデン  
酸アンモニウム(黄色粉末)のろ別



③高純度ゲルマニウム半導体検出器によるガ  
ンマ線スペクトロメトリー

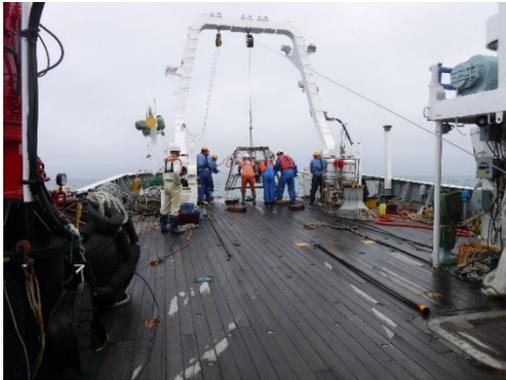


④トリチウムの放射能分析の前処理に用いる  
電解濃縮槽



⑤トリチウムを定量するため、液体シンチレー  
ションカウンタに測定用試料を投入する様子

(3) 沖合海域における試料採取関係



①マルチプルコアラーの投入



②水面直下のマルチプルコアラー



③大型バンドーン採水器の投入



④大型バンドーン採水器の投入



⑤海水試料を収納する段ボール（取り忘れ・取間違いがないよう、番号順に列挙している）



⑥海水試料の搬出(数百箱に及ぶ数になるため、搬出忘れがないか確認をしつつ、作業を行う)

(4) 外洋海域における試料採取関係



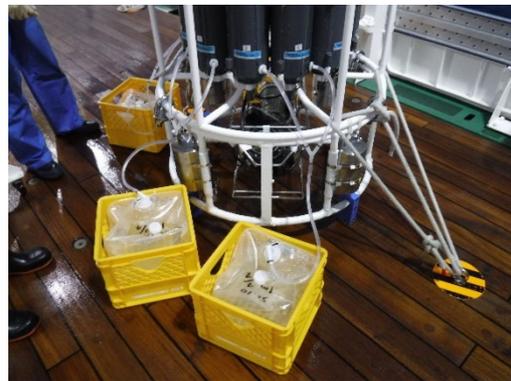
①11月下旬の出港前のおしよろ丸（函館港）



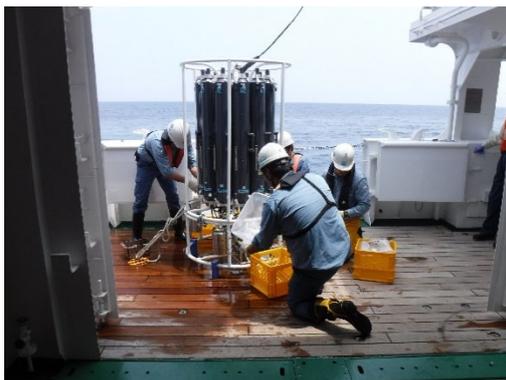
②使用のための準備に入るニスキン採水器



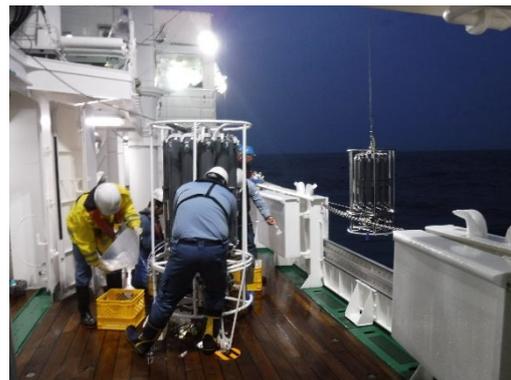
③揚収後にニスキン採水器を確認する様子



④ニスキン採水器から海水を分取する様子



⑤ニスキン採水器から海水を分取する様子



⑥夜間における海水採取作業の様子